

296
528



推理的日本地理
卷下

東京高等師範學校
山本幸雄 著

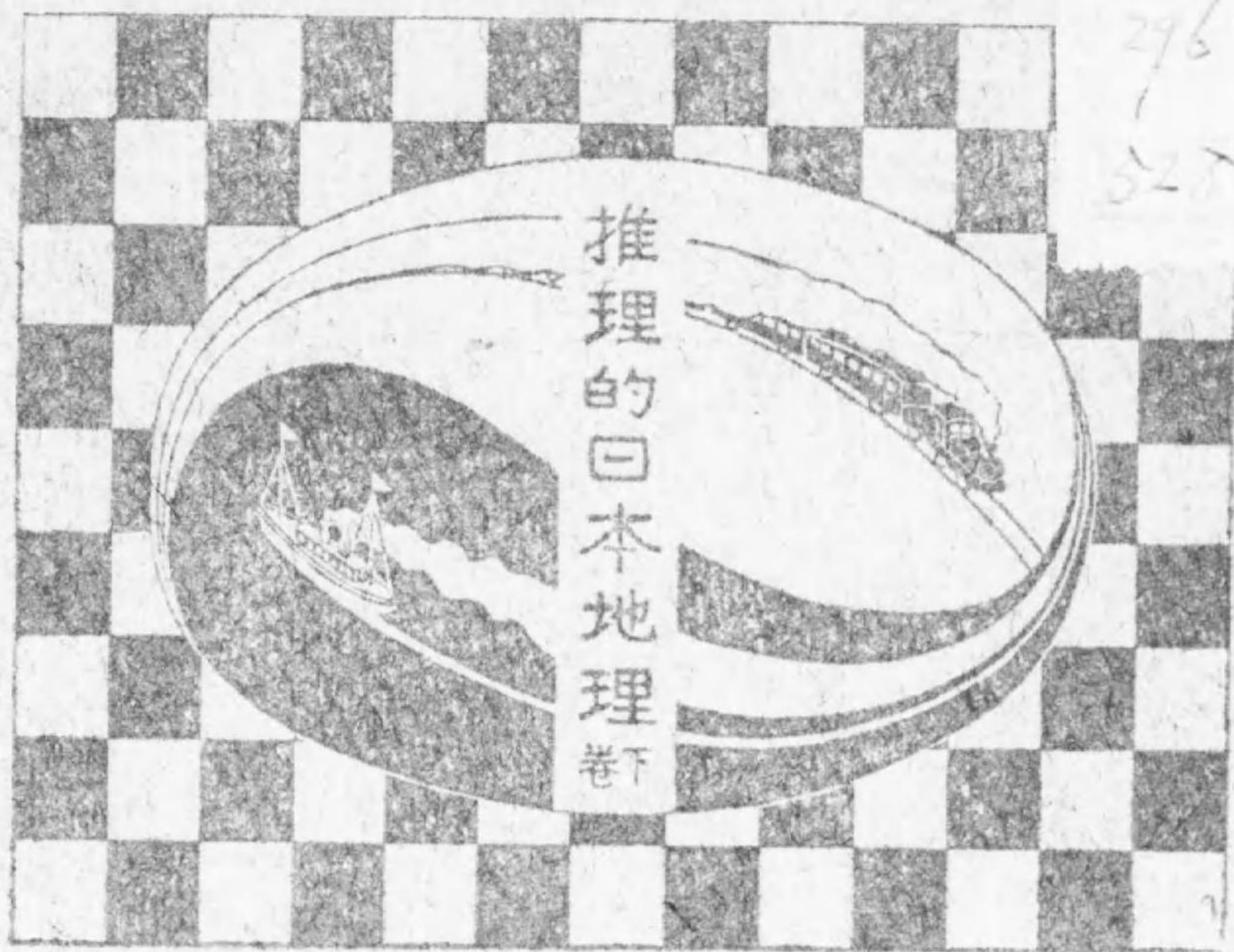
東京中文館



始



296
528



東京高等師範學校教授

山本幸雄 著

東京中央圖書館

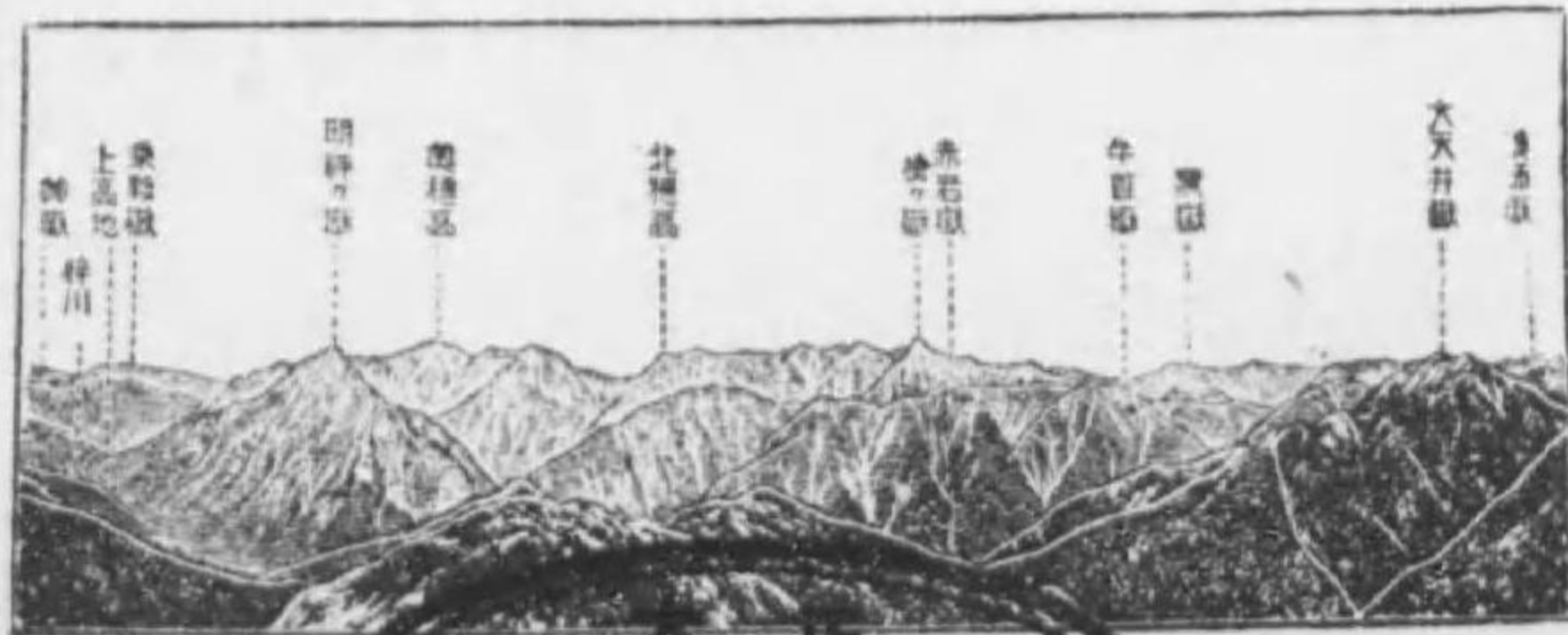
83115
697

東京高等師範學校教諭

山本幸雄著

推理的
日本地理
卷下

中文館藏版



大正
ス プ ル ア
14.11.20
内交

序

近來一般教育上、生徒の自發活動を尊重する傾向が、著しくなつて來た。これは過去の教師本位、權威中心の教育では、眞の教育的効果が尠ないといふ自覺に基いて、生徒本位、自由中心の所謂自學主義の教育に推移したものである。

我が地理教育界に於ても、此の種の新思潮が漸く高唱せられ、已に諸種の新しい研究も試みられてゐるやうである。併し時恰も過渡期の難時とて、或は尙舊套を脱し得ず、注入的講演式の教授に甘んずる向もあるべく、或は新主義に據るべくあせりながら、實際教育を如何にすべきかに苦しむ向もあるかに想はれる。斯くの如きは一つは自學自習に適する良書の缺如するに因るものではあるまいか。

爰に、著者はこの新主義によつて、過去數年間、直接生徒學習の指導に當り、體得した經驗の一端を公にして、一方所謂生徒の自學自習に便し、一方地理科の學習をして一層推理的研究的ならしめんと希ふのである。

従つて、本書は少くとも次のやうな特色を有するものと著者の信ずる所である。

- 一、従前の地理教科書が記事の簡潔を主とした結果、兎角無味乾燥の傾きがあつたので、本書はなるべく、その缺點を補ふことにつとめたこと。
- 一、基本となるべき地理學的事項を適當に擧げて説明し、これによつて、他を類推了解するやう、その素地を作ることにつとめたこと。
- 一、材料は自然と人文との相關に留意するやう排列したこと。
- 一、可及的、適當な地理的單元を定め、これによつて材料を取扱つたこと。
- 一、簡單にして適當な問題を提出して、或は考察力の養成に資し、或は實習に備へたこと。
- 一、簡明にして適切な地圖、寫眞、圖表等を多く挿入して學習の便を計つたこと。

若し夫れ、世の地理教授者にとつて何等かの參考ともなり、生徒自學の一助ともなれば、幸甚の至りである。

尙ほ本書は新しき試みであるから、更に研究の餘地が各所に多々あることである。願くは幸諸彦の懇ろなる御批評と御指導とを。

著 者 識 す。

目次

第七章 九州地方……………(一)

一、自然地理總說……………(一)

位置地勢 (問題)

氣候 (問題)

二、人文地理總說……………(三)

行政區分 住民 產業 交通 (問題)

三、地方誌……………(三)

福岡縣 (問題) 佐賀縣 (問題) 長崎縣 (問題)

熊本縣 (問題) 大分縣 (問題) 宮崎縣 (問題)

鹿兒島縣 (問題) 沖繩縣 (問題)

第八章 臺灣地方……………(七)

一、自然地理總說……………(七)

位置地勢 (問題)

氣候 生物 (問題)

二、人文地理總說……………(10)

政治 住民 (問題)

產業 (問題) 交通 (問題)

三、地方誌……………(101)

北部 (臺北・新竹兩州) 地方の都邑

中部 (臺 中 州) 地方の都邑

南部 (臺南・高雄兩州) 地方の都邑

東 部 (花蓮港・臺東兩廳) 地方の都邑 (問題)

澎湖諸島 (附題)

第九章 北海道地方……………(110)

一、自然地理總說……………(110)

位置 地勢 (問題)

氣候 (問題)

二、人文地理總說……………(114)

政治 住民 (問題)

產業 (問題) 交通 (問題)

三、地方誌……………(117)

半島部の都邑 (問題)

軀幹部西南部の都邑 (問題)

軀幹部東北部の都邑 (問題)

千 島 列 島 (問題)

第十章 樺太地方……………(121)

一、自然地理總說……………(121)

位置 地勢 (問題)

氣候 (問題)

二、人文地理總說……………(126)

政治 (問題) 住民 (問題)

產業 (問題) 交通 (問題)

三、地方誌……………(一〇)

(問題)

第十一章 朝鮮地方……………(一八五)

一、自然地理總說……………(一八五)

位置 地勢 (問題)

氣候 生物 (問題)

二、人文地理總說……………(一九四)

政治 住民 (問題)

產業 (問題)

交通 (問題)

三、地方誌……………(二〇〇)

南部地方 (問題)

中部地方 (問題)

北部地方 (問題)

第三編 括論……………(二三五)

第一章 自然地理……………(二三五)

一、地形 (問題四〇)……………(二三五)

二、海洋……………(二四二)

沿海 (問題四)

海流 (問題五)

潮汐 (問題八)

三、氣候……………(二四四)

溫度 (問題四)

風 (問題三)

雨 (問題七)

四、動植物 (問題九)……………(二四七)

第二章 人文地理……………(二四八)

一、住民……………(二四八)

養蠶業	(問題)	三)
林業	(問題)	七)
水産業	(問題)	五)
鑛業	(問題)	七)
工業	(問題)	四)
商業	(問題)	九)
五、交通
陸運		
道路	(問題)	三)
鐵道	(問題)	八)
水運		
河湖の交通	(問題)	二)
海上の交通	(問題)	五)
通信		
郵便	(問題)	二)

種族	(問題)	三)
人口	(問題)	一〇)
都會	(問題)	三)
二、政治
國體	(問題)	三)
政體	(問題)	九)
財政	(問題)	六)
國防	(問題)	一〇)
外交	(問題)	三)
三、教育・神社・宗教
教育	(問題)	七)
神社・宗教	(問題)	七)
四、産業
農業	(問題)	一七)
牧畜	(問題)	四)

電 信 (問題 四)
電 話 (問題 三)

目 次 終

第 七 章 九 州 地 方

一 自 然 地 理 總 說

【位置】 九州地方は本州・四國の西南に隣り、其の西北は壹岐・對馬の二島によつて朝鮮に迫り、中華民國に接近する。西南は飛石の如うに、散點する琉球諸島によつて、遠く臺灣に對し、西は支那海に面す。斯の如く位置の良好なことが、この地方の今日の發達を促がした有力な理由の一つになつてゐる。

【地勢】

概観 本島は崑崙山系が我が本土で初めて起る所で、北に筑紫山脈、南に九州山脈の

兩山脈となつて九州全島の骨格を作つてゐる。そして兩者の間には阿蘇火山脈が噴起し、又別に筑紫山脈の北に白山火山脈の並走する霧島火山脈もある。斯の如くであつて一般に山地が多いけれども、西北部には平野も少くない。されば地勢は比較的複雑で、殊に火山活動の盛んなことは我が國列島中稀に見る所である。



九州地勢圖

した誤りで、全く、陥没した低地と陥没の残塊である山塊とで、交互に配列された地帯である。そしてこれ等の陥没は、多くは我が國に於ける第三紀の時代に行はれたものと思はれる。即ち其の陥没部には第三紀の石炭を多量に埋藏してゐる。今各自の地圖

によつて陥没部と残塊とを摘出してみよ。

九州山脈 筑紫山脈が中國山脈と同じく老年期の地貌を呈してゐるのに對して、九州山脈は四國山脈と同じく壯年期の地貌を呈し、山勢

如何にも雄峻で、流石は九州島の骨格をなすものであることにうなづかれる。本脈は大分縣の南部に發し、宮崎・熊本兩縣の境上を南走し、薩摩の北部を下つて、一旦は海に没し、再び甕島に表はれてゐる。その間に雄峯祖母山（一七五七米）をはじめ、市房・白髮等の諸峯を屹て、五家莊・米良莊の深山幽谷の地を收めてゐる。そして、九州北部山脈である前述の筑紫山脈の石炭埋藏量の多いのに對して、この九州南部山脈なる九州山脈は、金屬礦物に富んで、金・銅を産出する。こ



の點も矢張四國山脈に酷似してゐる。

阿蘇火山脈 前述兩山脈の間を東西に通じて四國の北部に及んでゐる。阿蘇山（一五九二米）を盟主として東北には九重山・由布岳・鶴見岳・兩子山を起し、西方には温



温 泉 岳 の 噴 汽 孔

泉岳、多良岳等を噴起させてゐる。この火山脈の噴出前には中國、四國で云ふならば、兩者間に瀬戸内海の横つてゐるやうに此の地帯に所謂 Aso Channel が横つてゐたものであるといふ説もあつたが、最近はこの Aso Channel なるものを否定するやうな研究が進んで來てゐる。

脈中で、阿蘇山は二重式火山の標式的のものである。即中央火口丘は根子・高・中・烏帽子・杵島等の諸峯で、中岳は頂上に周圍一里の噴火口があつて、今尙盛んに活動してゐる。火口原は阿蘇谷及南郷谷で、こゝに宮地・内牧・高森三町の外十一ヶ村が散布し、約四萬の生靈が住んでゐる。湯泉場には朽木・垂玉・地獄・湯谷等がある。そして外輪山はその規模の雄大なこと世界第一で、南北の長徑六里、東西の短徑四里

に及ぶ。火口原の水は流れて北は黒川となり、南は白川となり、合流して立野の火口瀬をなして、遂に白川となる。

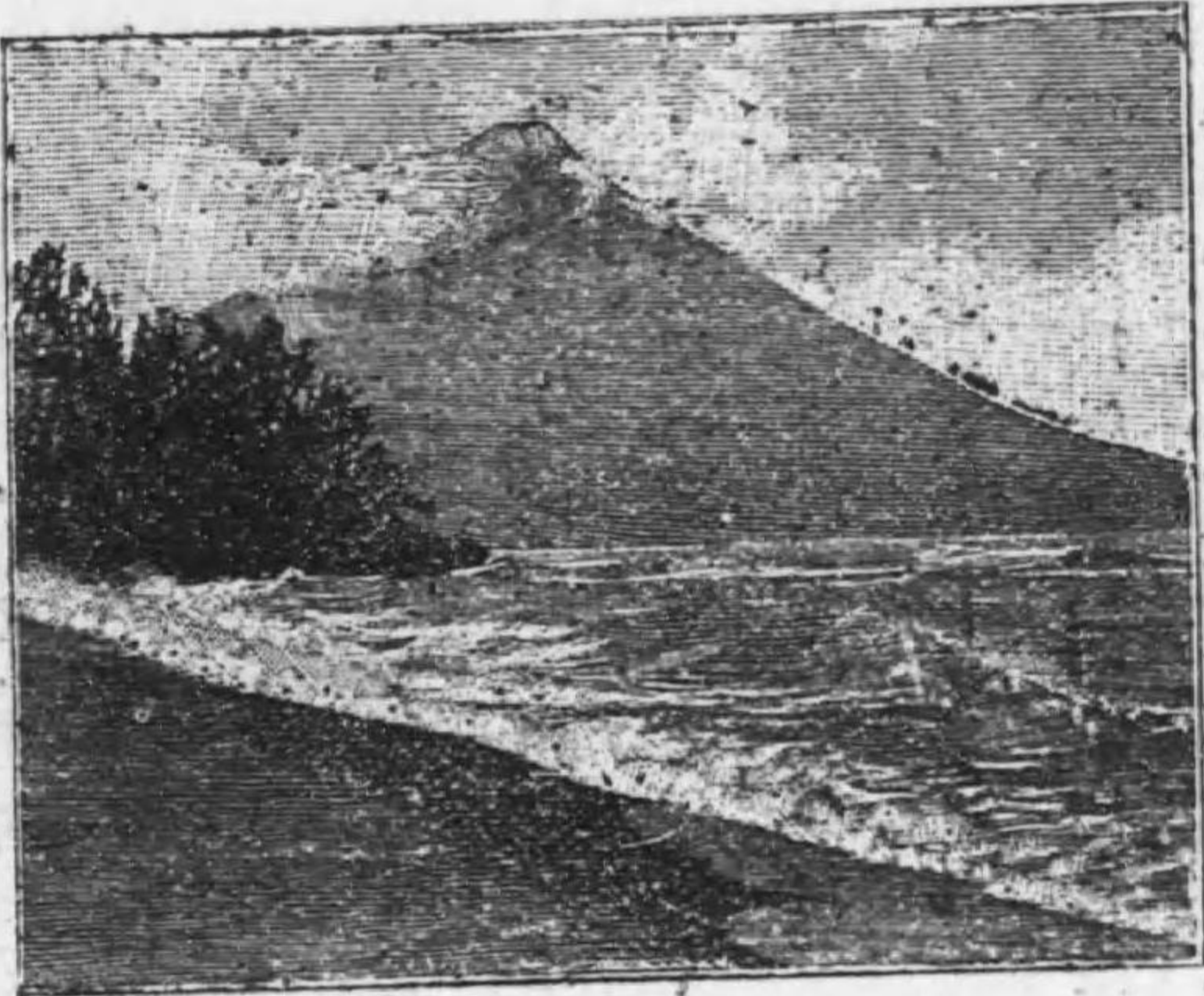
火山中由布・鶴見・九重等が、中國の青野山・大山・三瓶山に似てトロイド (Tholoide) 式であるのに阿蘇山はその形状から推すと、多量の熔岩を流した Aspire 式火山錐であつたらう。世界有數の大 Caldera はその後が生じたのであつて、一時湛へられた湖水は、西方に向つて白川の流れ出した爲めに、乾涸消滅したのである。

島原半島の中央に高く聳ゆる温泉岳は、その山腹にある温泉場に、夏季浴客の集まることを以つて有名で、遠く上海・香港方面からの外人も多く來り、今や關西屈指の保養地と目されるに至つた。その完全な二重式火山は規則正しい火口丘・外輪山・火口原・火口瀬等を有してゐる。

耶馬溪は妙義式の諸山と全く同じく、集塊岩が風雨の作用によつて浸蝕霉爛されたもので、彼の頼山陽が詩を賦してから殊に名高い。

霧島火山脈 盟主は霧島山で、南走して櫻島・開聞岳を起し、九州半島を離れ、琉

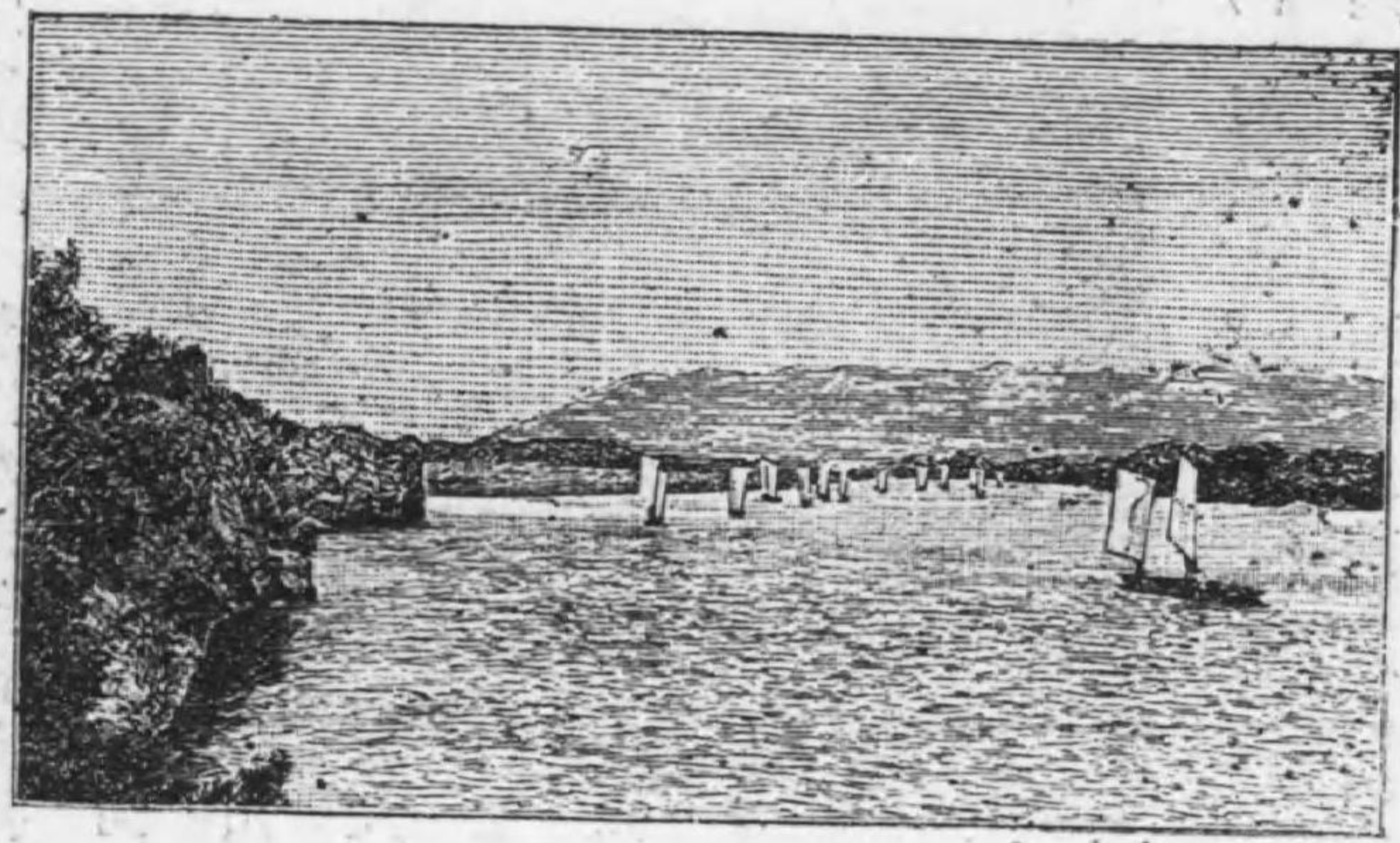
球列島を構成する山脈の西に、之れと併立して、硫黄島・口之永良部島・吐噶喇列島・



鳥島等となり、遙か西南、臺灣の大屯火山脈と呼應してゐる。

霧島火山は大小三十餘の火山彙の總稱で、その中高千穂峰は海拔一五七四米、天孫降臨の地と傳へられるもので、頂には有名な天逆錐があり、盛んに噴煙を上げてゐる。韓國岳はこの北に在つて、高千穂峰を東霧島山といふに對し、西霧島山とも稱し、其の火山口は已に全く活動を止めてゐるが、海拔一七〇〇米で、本火山脈中の最高峰である。櫻島の大正三年一月に起つた噴火は今尙我等の耳目に新たな處で、溢

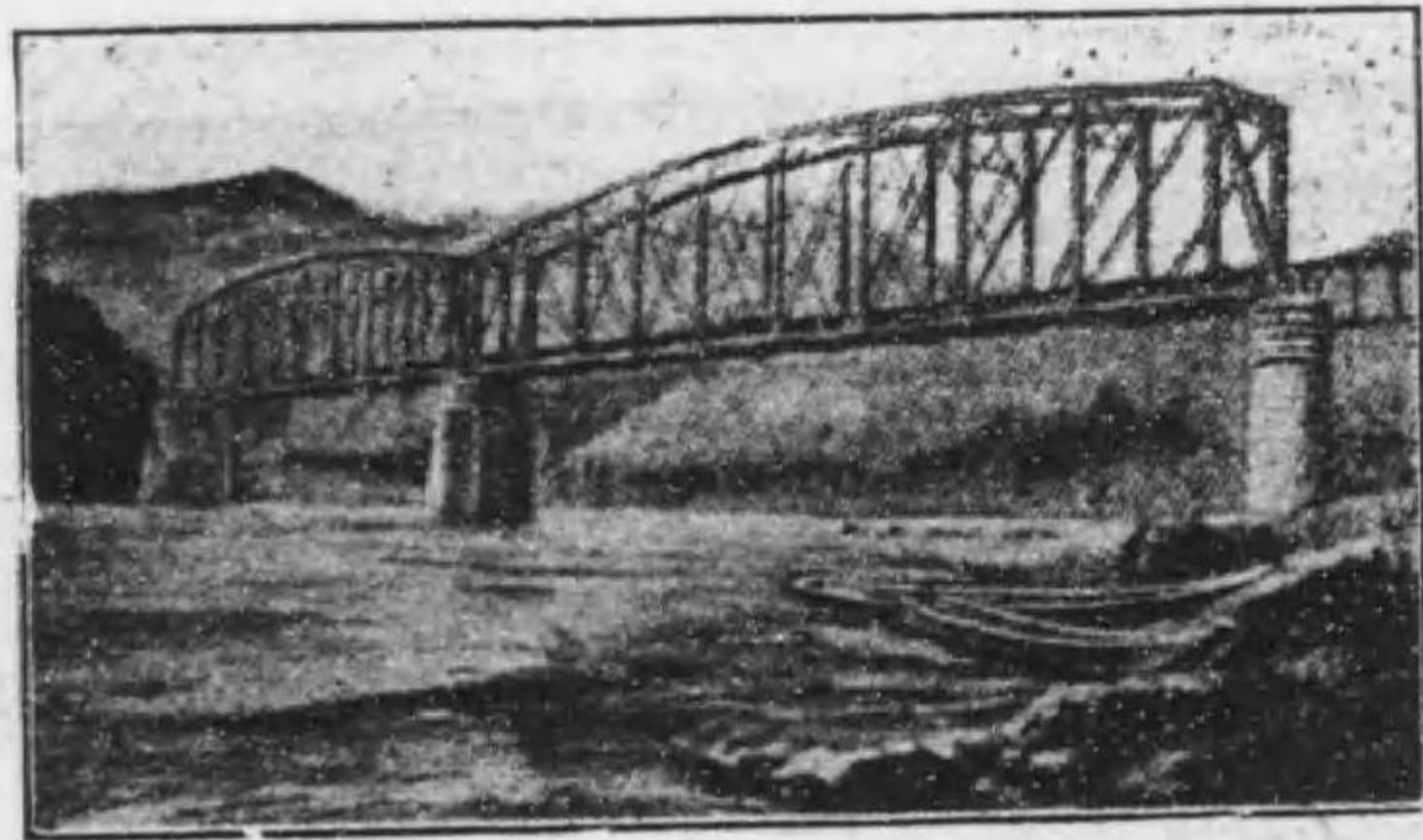
出せる熔岩は横山・赤水以下多くの聚落を埋没して、島は遂に櫻島半島となつたのである。



はその各々の平野を貫流してゐる。中で最も主要なものは遠賀川で、その流域平野と

筑後川 平野と河川 此等の山脈・火山脈を連ねると、北は關門海峡から、南は鹿兒島灣にかけて、蜿蜒たる一大分水嶺を見出す。今之によつて分つと東西の兩斜面が得られる。所でその東斜面の主な河川は北から、山國川・大分川・大野川・五箇瀬川・美々津川・一ノ瀬川・大淀川と順に擧げることが出来る。然し之等は概して流れ短かく、而も峡谷をうがち、急流をなすので、舟楫の便は至極少ない。されば、平野といふ平野は殆どなく、大分附近の平野と大淀川流域の平野とが稍著しいことにいはれてゐる。さて西斜面をみると、北の玄海灘と壹岐海峡との方面では、前述の如くに、平野が山塊に交互して置かれ、河川

福岡平野とは平野の主なものである。有明海の斜面には本島に於ける大平野と大河川とを集め、確に人文發展上特別の一區をなしてゐる。即ち平野は筑紫・熊本の大平野



球磨川の急流

て河川は筑後川・菊池川・白川・緑川の四つである。中にも筑後川は筑紫三郎の別稱もあつて、全長一四四軒、舟運の利甚だ大で、九州第一といはれてゐる。九州の最高峯九重山に發源したこの川は、蜿蜒として西流し、有明海北部に注いでゐる。八代海とそれ以南の海の斜面には、球磨川・川内川の二流がある。前者は横谷をなすが故に流れ急に、河中數十の瀬を數ふ。而して八代・人吉間六十餘軒。それを挽き舟で三日費して上るべきを、下りは僅か六七時間であると思へば丁度富士川上下のその如うで、古來本邦三急流の一といはれてゐる

のに背かぬ。

海岸 北と西の筑前・肥前の海岸は大小の出入多く、本邦中殆ど他にその比をみない。



これ全くこの地方を構成する筑紫山脈の斷續のはげしいこと、阿蘇・白山の兩火山脈が盛んに活動することによる。東海岸は概して單調であるといへる。然し東北に突出せる國東半島は、主に阿蘇火山脈中の兩子山の噴出によつて出來たもので、その放射谷の發達と、谷の出口の平野とは地形上一考に値するものである。南方、地藏崎以南で豊後水道に面して見事なリアス式の海岸をみとめる。九州山脈の挫折面で、對岸四國地方と全く同一形式を呈し、その地藏崎と相對する佐田崎との間は僅かに八湊で、潮流は急である。このリアス式海岸もやがて美々津附近から一變して、驚くべき單調を示し、殆ど出入といふ出入を作らず、さながら九十九里

の海岸の様で實に九州第一の單調さである。學者の研究によれば、美々津附近を不動點として、海岸が南と北とて各昇降したものとみなされてゐる。又特に海岸地形から

しても興味ある天草諸島や甌島は、或は東北宇土半島と共に、九州山脈の支脈によつて構成され、或はその末端によつて形づくられてゐる。されば九州山脈の走向を川内



川の方向で示すと同時に甌島の排列で語るも理由あることである。さて南海岸の吹上濱は春日氏の研究にもあるやうに、砂丘の發達せる點に於て注意に値するもので、當地方が火山灰から成つてゐること、遠淺で干潮には二籽以上も干潟となることがあるといふことが、砂丘の發達に好都合な譯で、實に約四十籽に亘つて起伏してゐる。

【問題】

- 1 地形上本地方と中國・四國とを比較考察せよ。
- 2 北九州山脈と南九州山脈即筑紫山脈と九州山脈とを比較研究せよ。
- 3 遠賀川流域と筑後川流域との自然・人文の両方面に亘つて、著しい異同の點があらばあげよ。
- 4 本地方に興味ある例へば國東半島、櫻島半島の如うな半島の多い理由は如何。
- 5 本地方の海岸につきて興味ある問題數個をあげてみよ。
- 6 本地方の地勢略圖を描け。

【氣候】

北部は筑紫山脈以北の土地で、大體中國日本海斜面の氣候を示し、冬季積雪の量が割合に多い。然し前述の通り、筑紫山脈は中國山脈とは違つて、幾多の小山塊に斷たれてゐるので、この中國日本海斜面の氣候も、自ら山脈以南にも流れ込み易い。

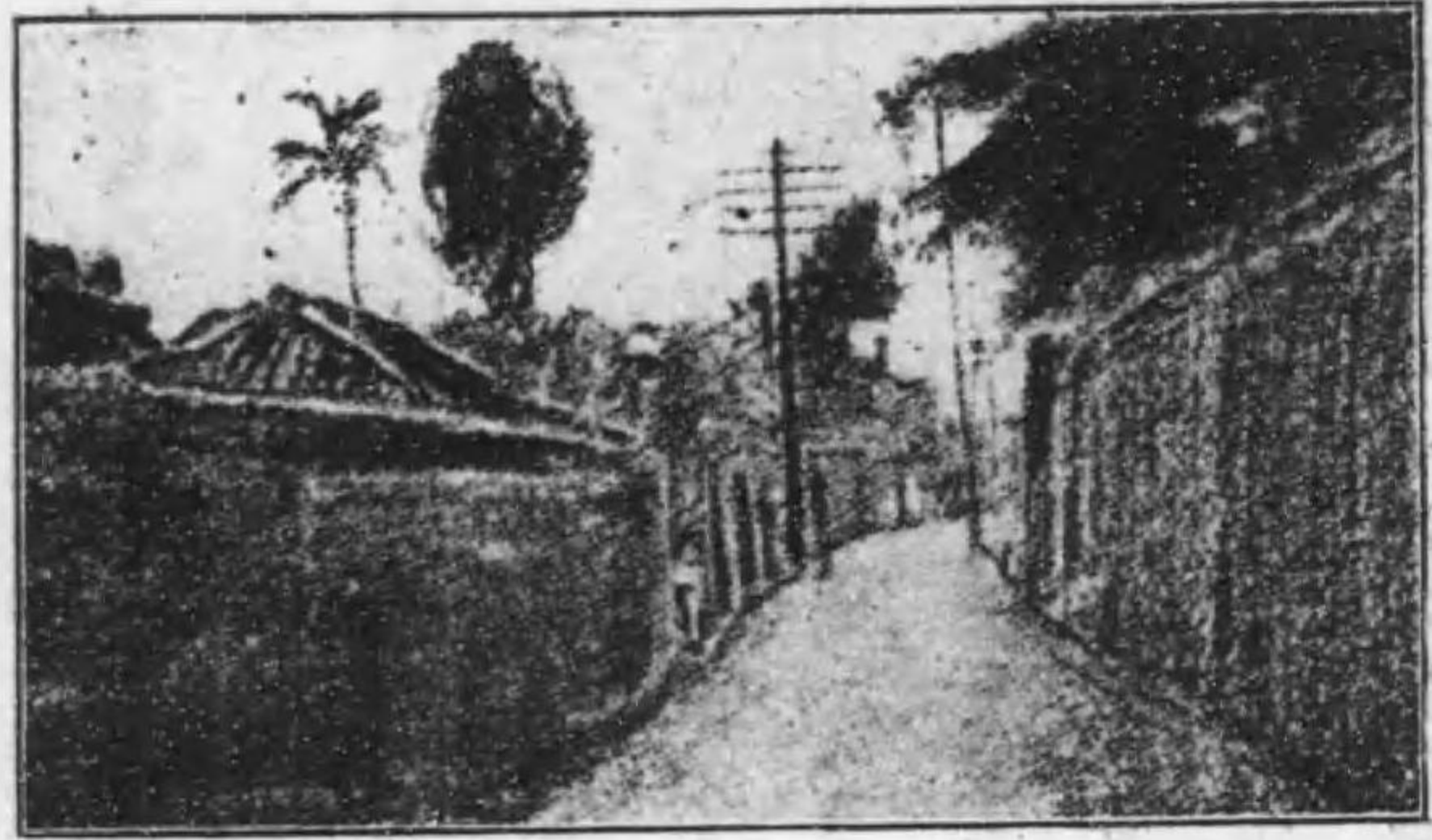
南部は九州山脈以南の土地で、概して近畿、四國の南部と共通する所が多く、雨量多く、夏涼しく冬暖かである。中にも薩南地方の如きでは雪を見ることが至極稀である。

中部は勿論中間の土地で、熊本附近はそれをよく代表してゐて、九州各地の中で夏の温度は最も高く、冬の温度は最も低く、まるで大陸的氣候であるといへる。

然し琉球だけは九州本島と別に見るべきで、かりに琉球各地の一月の温度を、東京の温度と比べてみるに、那覇は東京の八月末、石垣島は東京の九月初めと各々似てゐる、そして八月の温度も那覇の如き熊本に比べて、僅か〇、七度高い丈である。全く寒

暑の差が少なく、四時花咲き鳥歌ふといふ洋上の樂園である。又基隆に次いで我國の

最多雨の土地でもある。されば植物の繁茂に適し、甘蔗・甘藷をはじめ芭蕉・蘇鐵等がよく生育する。けれどもこの地は颱風の通過する所に當つてゐるので、住民はやむなく低く家を造り、石垣を高く繞らし、て苦熱と闘ひつゝ、その襲來を免れてゐるのである。



民 家 の 高 塀

【問題】

- 1 北部と南部の氣候を比較し、その相異のよつて來たる所を明にせよ。
- 2 中部の大陸的氣候である理由を考察せよ。
- 3 琉球諸島の氣候を特別取り立て、考へねばならぬ理由があるか。ありとすれば何か。
- 4 氣候の上で分けた各部の代表をもみるべき土地をあげ、統計表から氣温と雨量とを引出して表記してみよ。
- 5 氣候と産業との關係を説くに好都合の例があるか。

二 人文地理總説

【行政區分】

行政上八縣に分つ。管轄區域及縣廳所在地は左の如し。

福 岡	縣(筑前・筑後・豊前の一部)	福 岡 市
佐 賀	縣(肥前の一部)	佐 賀 市
長 崎	縣(肥前の一部・壹岐・對馬)	長 崎 市
熊 本	縣(肥 後)	熊 本 市
大 分	縣(豊前の一部・豊後)	大 分 市
宮 崎	縣(日 向)	宮 崎 町
鹿 兒 島	縣(薩摩・大隅)	鹿 兒 島 市
沖 繩	縣(琉 球)	那 覇 市

【住民】

本地方全體の平均密度は三、〇四五人で、國東地方の五、三二八に比べて約二分の一、中部・中國・四國の諸地方と大體同じ位である。北部三縣は平均以上で、殊に福岡

は東京・大阪・神奈川について本邦第四位に位す。其の他南部四縣は平均以下で、種々の點に於て確かに裏九州であると考へさせられる。殊に宮崎の密度は、奥羽の北部三縣青森・山形・秋田と相並んで、本邦で最も稀薄な部分である。沖繩縣は別に平均以上である。

【産業】

農業 本地方は氣候溫暖で、雨量も多く、土地又よく肥えてゐるので、至る所に農業が起り、平野地方には水田遠く連なり、米・麥・菜種の産多く、山麓の臺地、傾斜面には畑作が盛で、粟・玉蜀黍・甘蔗・甘藷・煙草等が栽培されてゐる。米は筑後米・肥後米・肥前米があつて、肥後米はその品質優良を以つて名高い。粟は熊本縣の産額が本邦第一である。菜種は福岡に多く、麻の如き大分・鹿兒島・長崎各縣が名産地である。又鹿兒島縣下の國分煙草は品質の點に於て他を凌ぎ、沖繩・鹿兒島の甘蔗・甘藷は本邦有数のもので、九州の秋を飾る櫨は各地に栽培されてゐる。

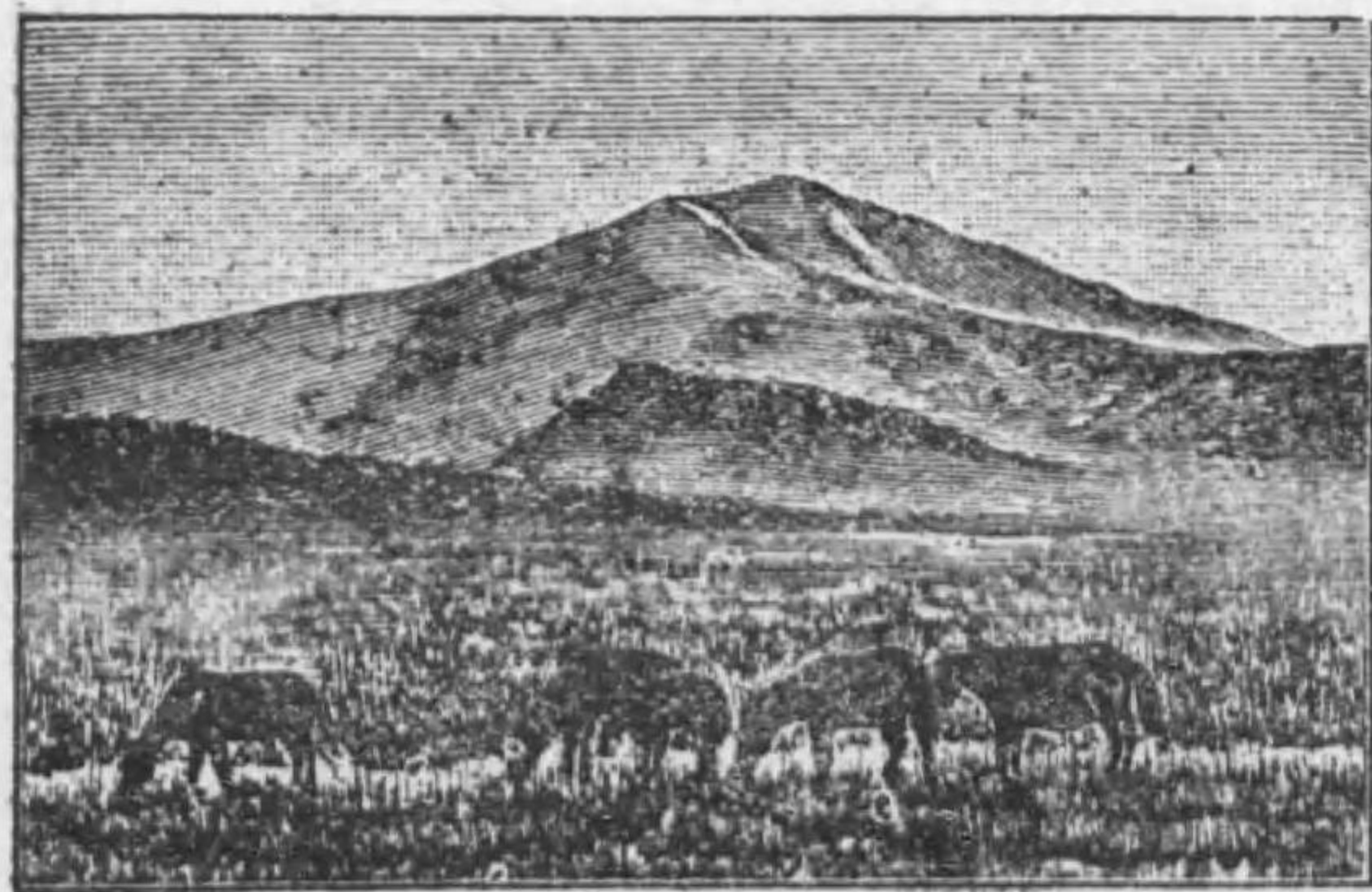
牧畜 南部四縣は草原廣く、牧草繁茂して、牧畜に適し、牛・馬の飼養が盛んに行は

林業 南九州の九州山脈に屬する各縣は、近來四國の



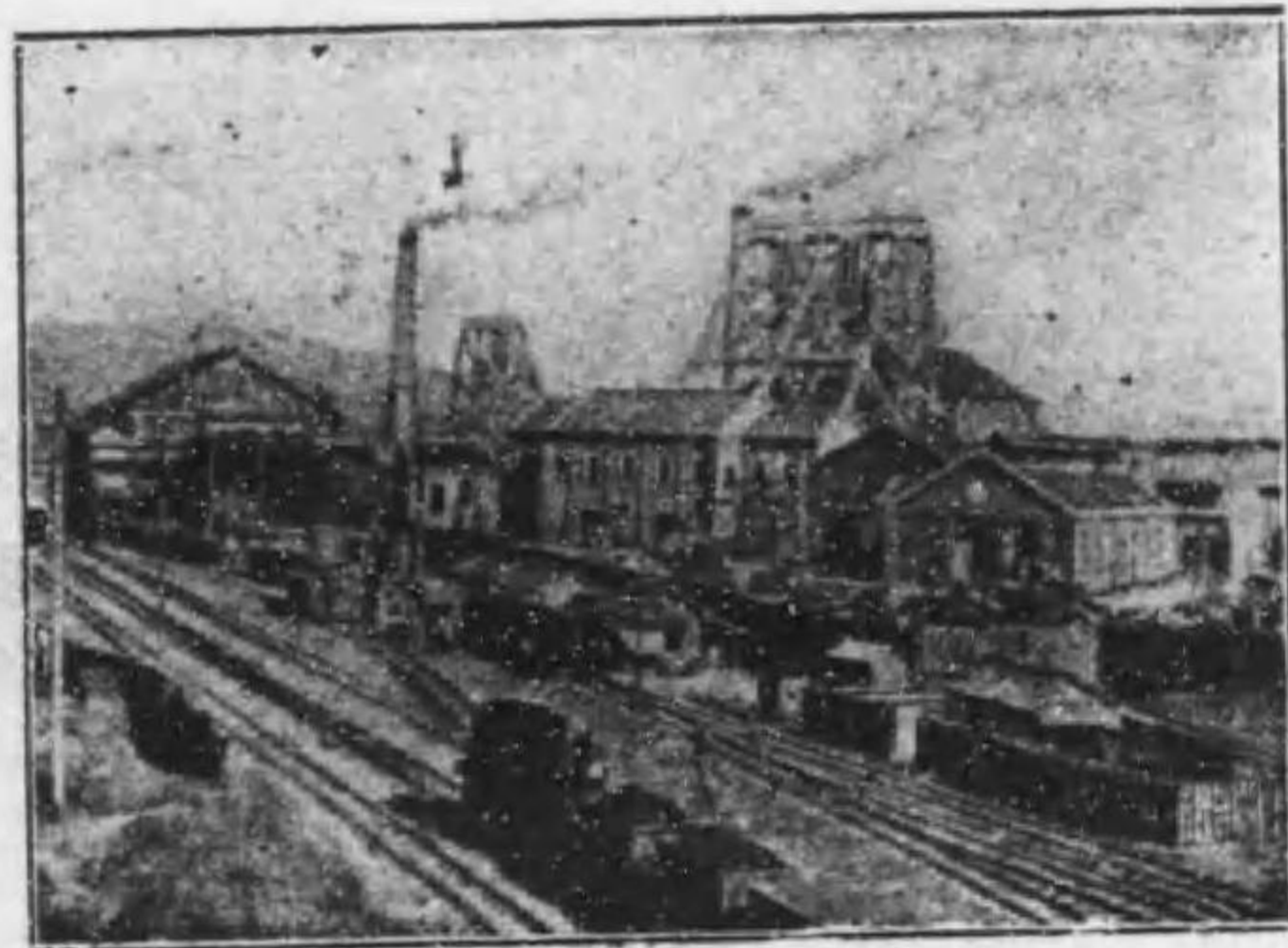
植 實 の 採 集

れてゐる。鹿兒島縣の馬は北海道を除いて第一で、薩摩馬の名は夙に天下に高い。熊本縣は之につぐ。されば、本地方は牧馬地としては北海道・東北と共に並稱されてゐる。牧馬の外に牧牛・養豚も益んで、前者は中國地方に次いで鹿兒島・長崎に多く、養豚は沖繩・鹿兒島が第一位・第二位を占めてゐる。



阿蘇火口原の牧場

南部と同様、温暖多雨なるが故に、林業が最もよく發達し、杉・松・檜・竹等の良材、木炭・椎茸等の副産物に富んでゐる。



三池炭坑の萬田堅坑

鑛業、鑛産は北部の石炭を第一とし、南部の金・銀・錫・銅これに次ぐ。石炭は筑紫山脈の陥没部に埋藏されてゐるもので、筑豊・唐津・杵島・肥前・西彼杵等の炭田はその主なものである。その他三池炭田・天草炭田もある。九州炭は實に日本石炭の七割を占め、筑豊炭は中にも九州炭の九割強を占めてゐる。之を縣の順位で示すと福岡・佐賀・長崎となる。金は大分縣が最も多いが、勿論佐賀關に於ける製産の額の多いことを意味してゐる。鹿兒島の牛尾・大口・山ヶ野・芹ヶ野等は概ね産銀地を兼ねてゐる。

水産業 海岸線の出入の最も著しい、而も暖流に洗はれてゐる長崎縣が最も盛んで、

鹿兒島縣は之に次ぐ。長崎縣の近海は五島鯨・五島鰯・鰯・海鼠・鰻等の漁獲多く、鹿兒

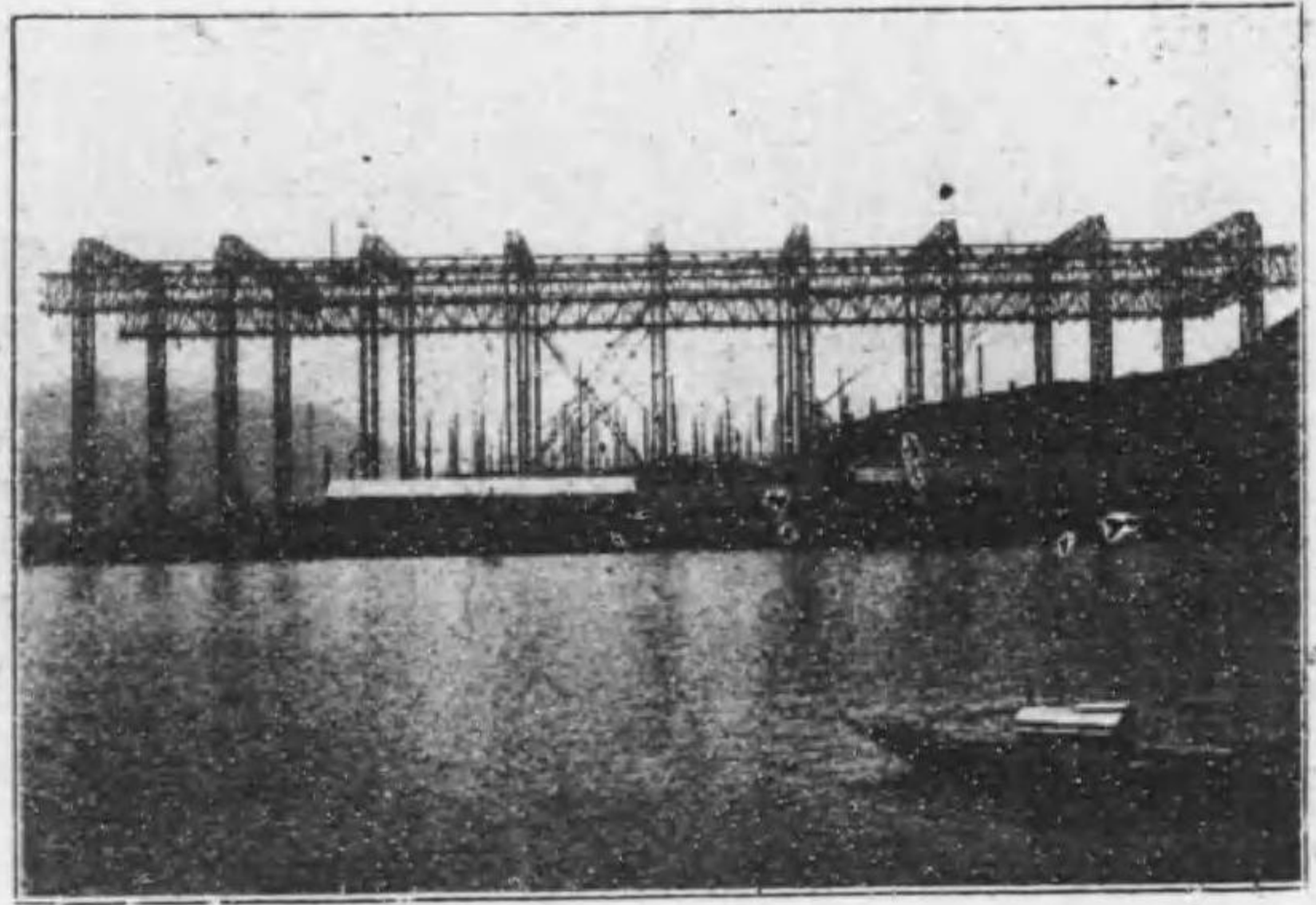


平 戸 の 捕 鯨

島・宮崎の二縣は鰹・鰯等の産に富み、屋久島の如き薩摩節の本場である。大分縣は鯛・鰻を産し、島原灣は牡蠣・鯉介、大村灣は眞珠貝の養殖で名高い。又甑島近海の珊瑚も有名で、五島の漁民が採取に従事してゐる。

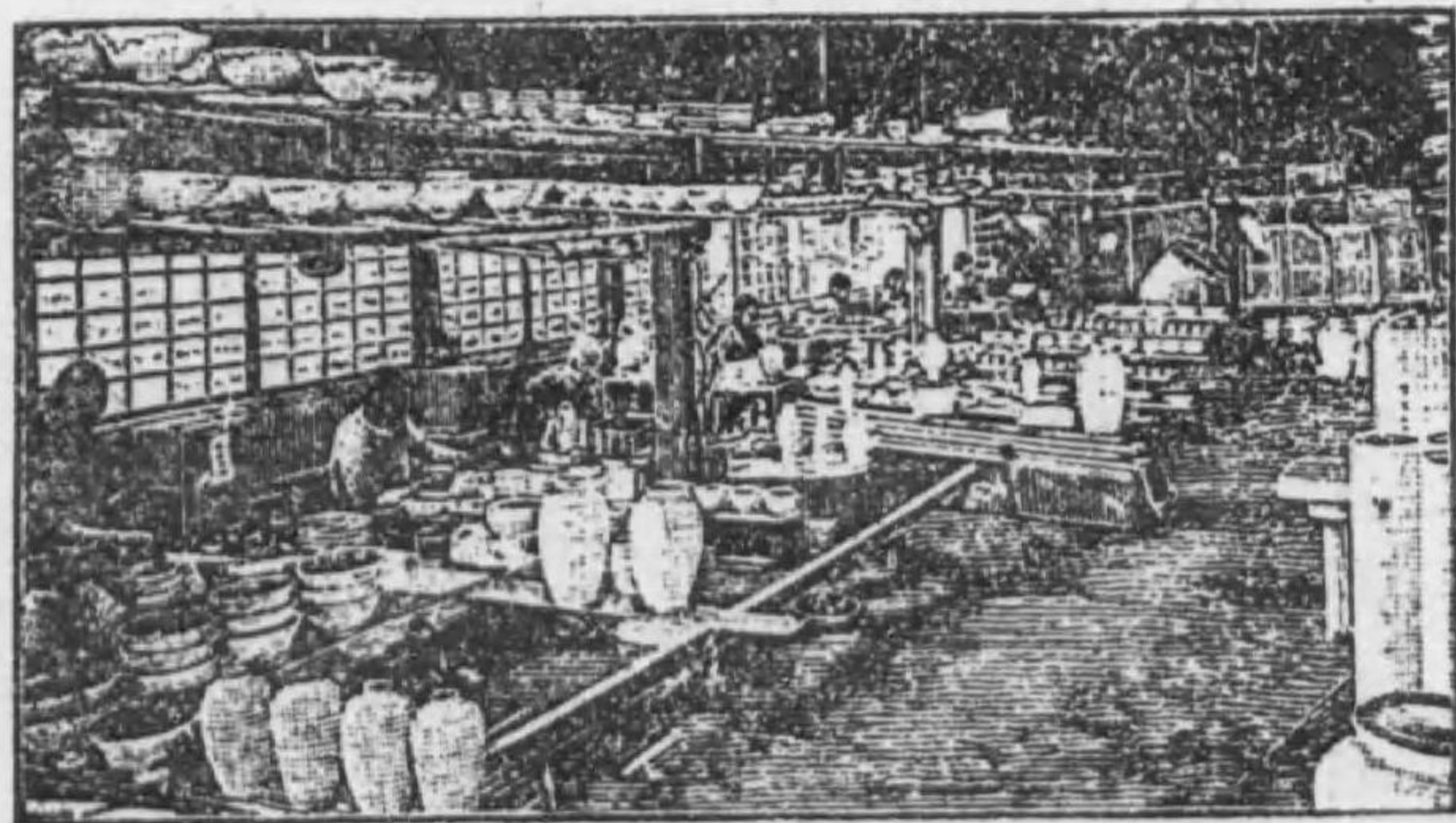
工業 北九州は燃料の産地であり、支那方面からの原料品買入の便もある上に、製造品の大需要地も亦近く目の前に横つてゐるばかりか、人口稠密で勞役も比較的容易に得られるので、今や一躍して日本三大工業地區に入つた。そののみか動もすれば、本邦工業の中心地が、京濱或は阪神の地を去つて、當地に移らんとするの形勢がないでもない。

最新の工業は製鐵・造船・セメント製造等で、八幡の製鐵所はその規模東洋第一、其



長崎三菱造船所「リトナール」

他附近に多数の製鐵所がある。造船では佐世保、工廠の外に民間私設の三菱造船所が長崎にあつて盛に艦船を建造してゐる。三菱造船所は神戸川崎造船所と共に双壁と稱へられてゐる。門司の淺野セメント會社は本邦第一で本邦需要の



有田燒工場

大部分を充たすばかりか、遠くは海外にも輸出してゐる。尙八幡附近の硝子工業、小倉の洋紙、大里の製糖等は又盛なものといふべく、綿絲紡績は久留米・熊本・中

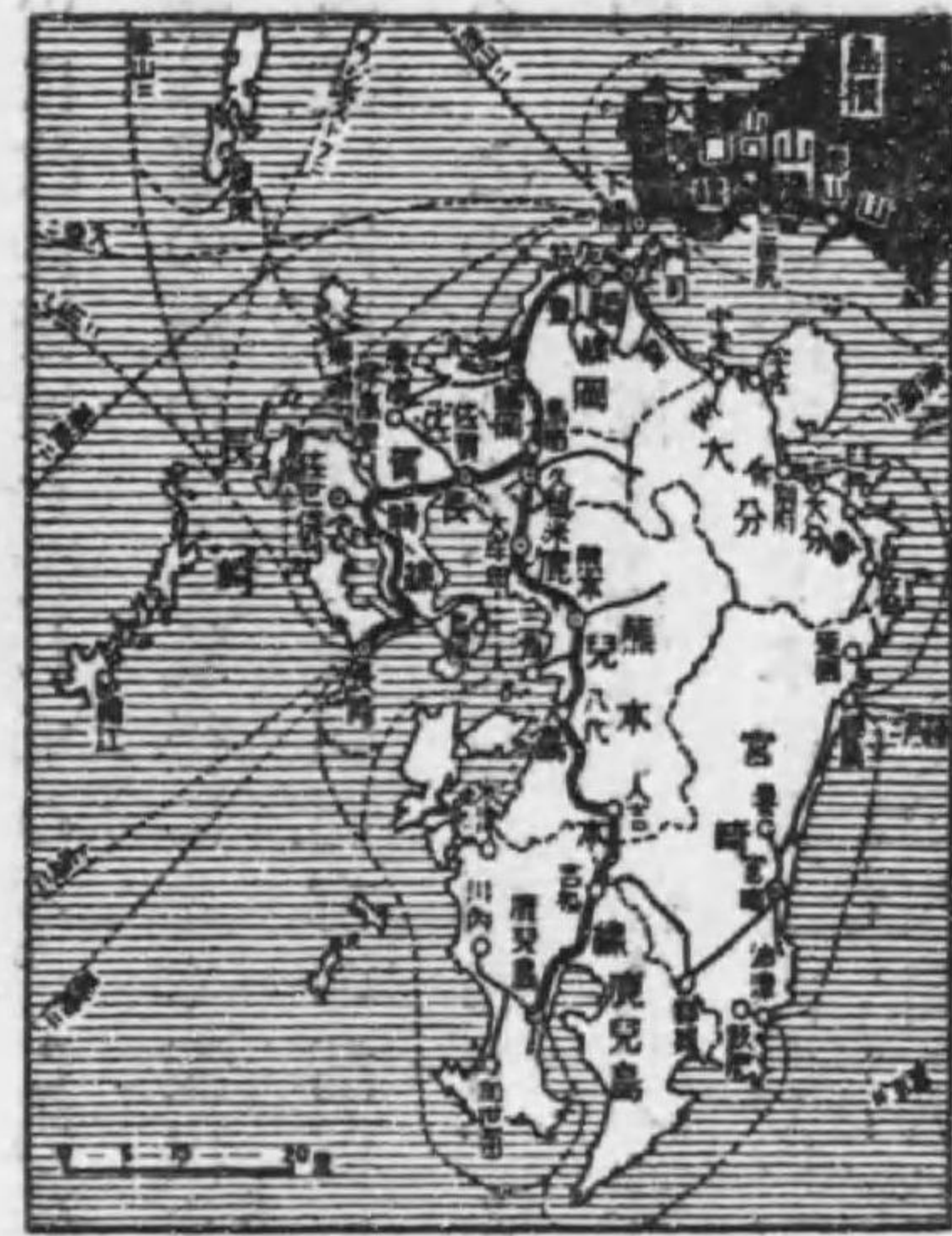
津等に行はれてゐる。

舊來からの工業として、歴史的にも一考に値あるものに、織物に博多織・久留米織・小倉織があり、陶器に唐津燒・有田燒がある。然しこれ等も共に新時代の要求によつて大いに改良發展を致してゐる。この外醸造は柳河・城島等筑後川下流に多くみられ、木蠟は櫛の産の多い筑後に多く産出する。

商業 内國商業では福岡市の活況が素晴らしいもので、方に六大都市を摩すの觀がある。この外熊本、鹿兒島兩市も、それ／＼その地方の中心市場である。外國貿易港は門司・若松・博多・唐津・長崎・口ノ津・住ノ江・三池・三角・鹿兒島・那覇・嚴原・佐須奈・鹿見の十四港で、日本總貿易港數の三分の一を占め、その過半は北部三縣に集つてゐる。以上の諸港の中で、門司・若松・長崎の三港が特に盛大を致してゐるものである。そして、古來朝鮮に對する港として發達した嚴原・佐須奈・鹿見の三港と、三角・鹿兒島・那覇の三港との合計六港を除いた他の全部は石炭の取引港であることが面白い。試みに統計表によつてみるも興味あることである。

【交通】

鐵道 鹿兒島本線は流石は九州の鐵道幹線であり、本邦鐵道の大幹線の一部である。小倉で岐れた豊州本線と吉松で分れた宮崎線は最近已に相連絡して、九州東部の縦貫



九州地方交通圖

線をなして裏九州の交通の上に大なる便利を與へ、長崎線は長崎・佐世保に通じて經濟上、軍事上意味深く、九州中部唯一の横斷線たる豊肥線は遠からず竣工することであらう。尙一方遠賀川流域をみるに樹枝狀に發達せる鐵道網に注意する。これ炭田地方などにある特例である。

電車及軌道の發達の北九州に著しい様は、あたかも近畿地方のその感がある。中にも門司・大牟田間に開通しやうとする百哩の電車は本邦最長のものである。その工事は漸次進捗してゐる。

航路 内外共に航路よく發達して、門司・長崎はその大焦點として交通大いに開け、博多・鹿兒島は内地航路の中心地として、前者は北九州及其の對岸、後者は南九州・琉球・臺灣等と連絡してゐる。その他、有明海岸では、鐵路直接長崎と連絡ある島原が中心で、沿岸諸港と連絡し、瀬戸内の沿岸には別府、日向灘沿岸には細島などがそれ〴〵中心地である。

電信 海底無線。本地方はその位置大陸に近ければ海底電信の長いものが多い。例へば朝鮮との連絡線、臺灣との連絡線をはじめ、支那・南洋・シベリヤ等との連絡線等がそれである。無線電信局は福江島大瀬岬と、琉球大東島とにある。

【問題】

- 1 本地方が南北によつて人口密度の著しく相異なる理を考察せよ。
- 2 所謂九州人といふ中にも南・北九州によつてその性情を異にしてゐる。例をあげて比較してみよ。
- 3 九州人その他の地方の住民との氣質を較べて考へてみよ。
- 4 人口密度の上からして都邑分布圖を作製してみよ。興味がある。
- 5 農業中、平野と山地とに於いて相異なる著しい點を列挙せよ。
- 6 簡略な産業分布圖を描け。

- 7 北九州に於ける工業の種類をあげ、且、その状況について述べてみよ。
- 8 商業上・交通上南北兩九州の比較をなせ。
- 9 貿易港の位置を地圖にて示せ。
- 10 山河の配置と道路及び鐵道の配置との關係につきて一考せよ。
- 11 古來海上交通の發達せる理由を各方面からまとめてみよ。

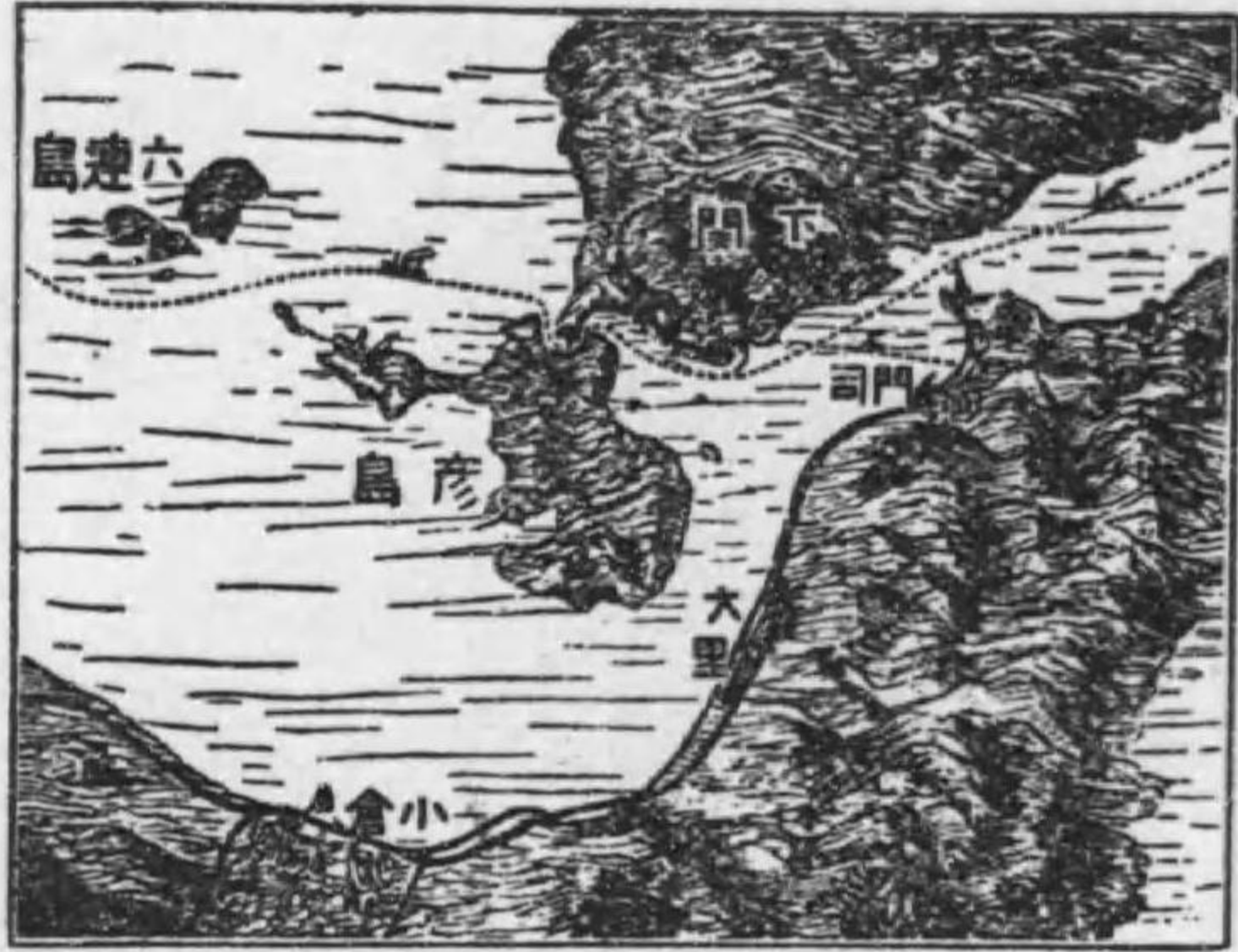
三、地 方 誌

【福岡縣】

北は玄海灘と瀬戸内海とに面し、狭い下ノ關海峡を挾んで山口縣に對す。遠賀川は筑紫山脈の中を北流し、その上・中流の沿岸は有名な炭田で、運搬用の船舶は之を通航し、運河を経て洞ノ海に入る。玄海灘は波浪險惡を以つて名高く、沿岸には海ノ中道の沙嘴長く突出して中に博多灣を擁し、芥屋ノ大門は柱狀をなせる玄武岩の斷崖で、九州沿岸勝地の一である。平野は灣頭から南に延びて、山脈の間を過ぎ、縣の南部筑後川下流の地に及び、大いに發展して、豊饒な筑紫平野の一部をなし、米・菜種を多く産出する。一般人文の發達に於て、本縣は九州の諸縣に優れ、戸口稠密で都邑も多く、

市制を布くもの實に七に及び、他に其の比をみぬ。

【實滿山脈以東の部分】



下關海峽の島嶼圖

門司市(七、二) 下關市と相對して瀬戸内海の西口を扼し、九州の咽喉に當つてゐるので、交通・商業・工業上の要都である。

交通市として本市は本州・九州の連絡點で又遠洋航路の要津でもあるから内外の汽船が輻輳し、この海峡を通過する船でこの港に寄らないものは殆どない。商業市として本市をみるに、本港は本邦第一の石炭の輸出港であり、精糖・綿絲・綿織・セメント等各種の製造品の輸出港である。この輸出に對し輸入

品には線綿・粗糖・豆糟・鐵等の原料品や、米・小麥等の食料品がある。それで開港場として我國第四位の上席を占めてゐる。これによつても、本市のヒンターランド

(Hinterland) が想像される。

交通市・商業市としての発展の外に市は又工業市としても大いに発展して、現に市

内に浅野セメントの大工場を經營し、西日本、朝鮮臺灣はるか、支那・印度・濠洲にまでも販路をもつてゐる。最近は西南の大里をも併合して益々工業的色彩を濃厚にして來た。

門 司 停 車 場



いたつて軍備削減の結果、本市は不幸にもその厄をまぬかれることが出来なかつた。

小倉市(三、四) 下關海峡の西口大瀬戸の南にある小笠原氏の舊城市で、昔九州諸藩主が東上の船場として、頗る榮えたものであるが、門司市の發達によつて漸次繁榮を奪はれ、僅かに日豊線の分岐點としての交通市の意義と第十二師團司令部所在地としての軍事的意義としかみられなかつた。然るに最近に

斯くの如き状態になつて來たが、嘗ては僅々小倉織のみに限られた市の工業は今や製

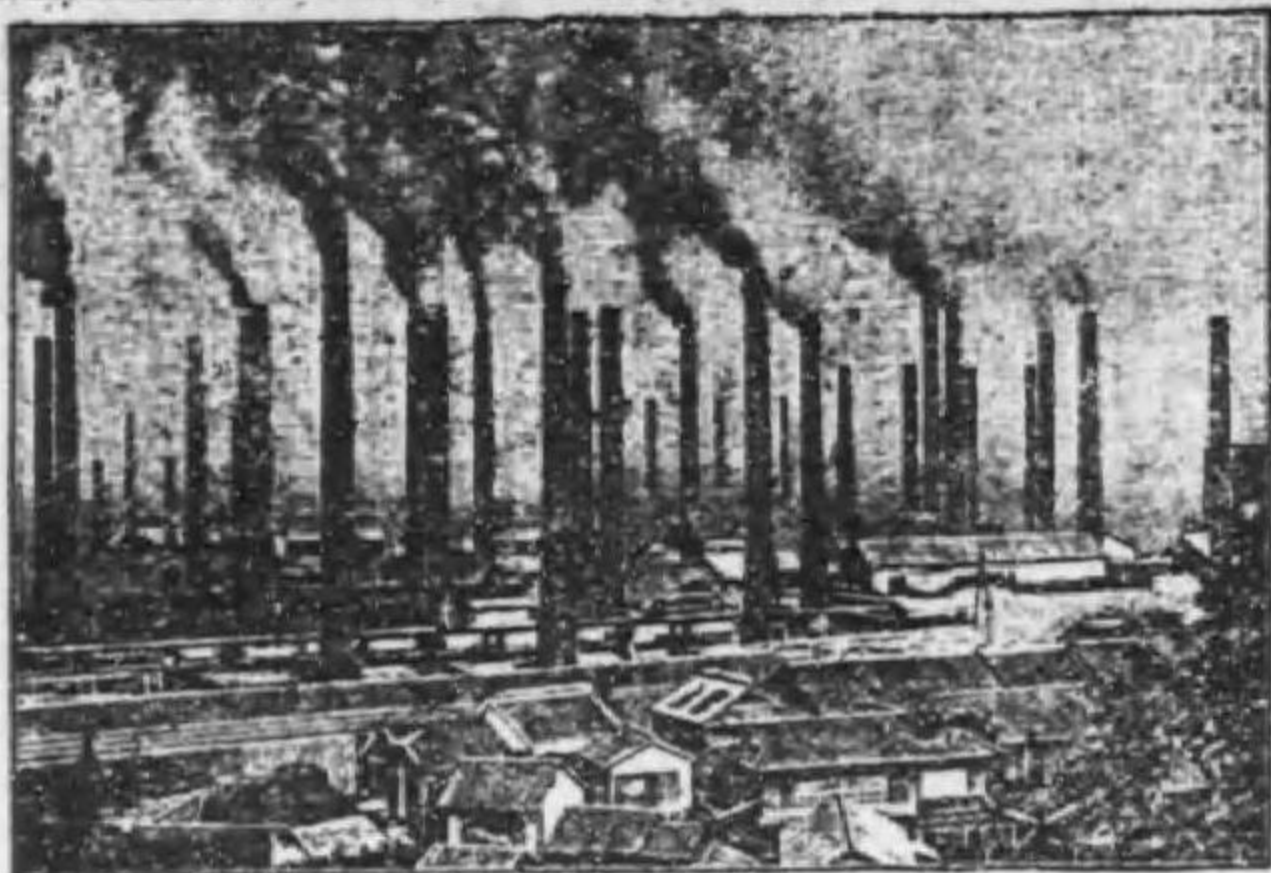
綱・製紙・陶器製造・電氣化學工業等各種の方面に發展し來つて、工業市として相當の位置を占めるやうになつた。

戸畑(三、四) 小倉の西方にある戸畑は明治専門學校の所在地で、又製綱・耐火煉瓦・精糖・紡績・鑄物工場の連る純然たる工業都市で、而も全く新興の都である。又已に大都市としての Town Planning も出來た。

八幡市(一〇、〇) 彼の遠賀川流域平野の

連續である洞ノ海沿岸の一寒村に、官設の製鐵所が設置されたのは日清役後間もないことであつた。もと勃々たる大陸發展の雄圖

をいただける我が日東の帝國が、軍器の獨立を慮つて設立した工場であるだけに、原料の



門 司 港 の 展 望 と 八 幡 製 鐵 所

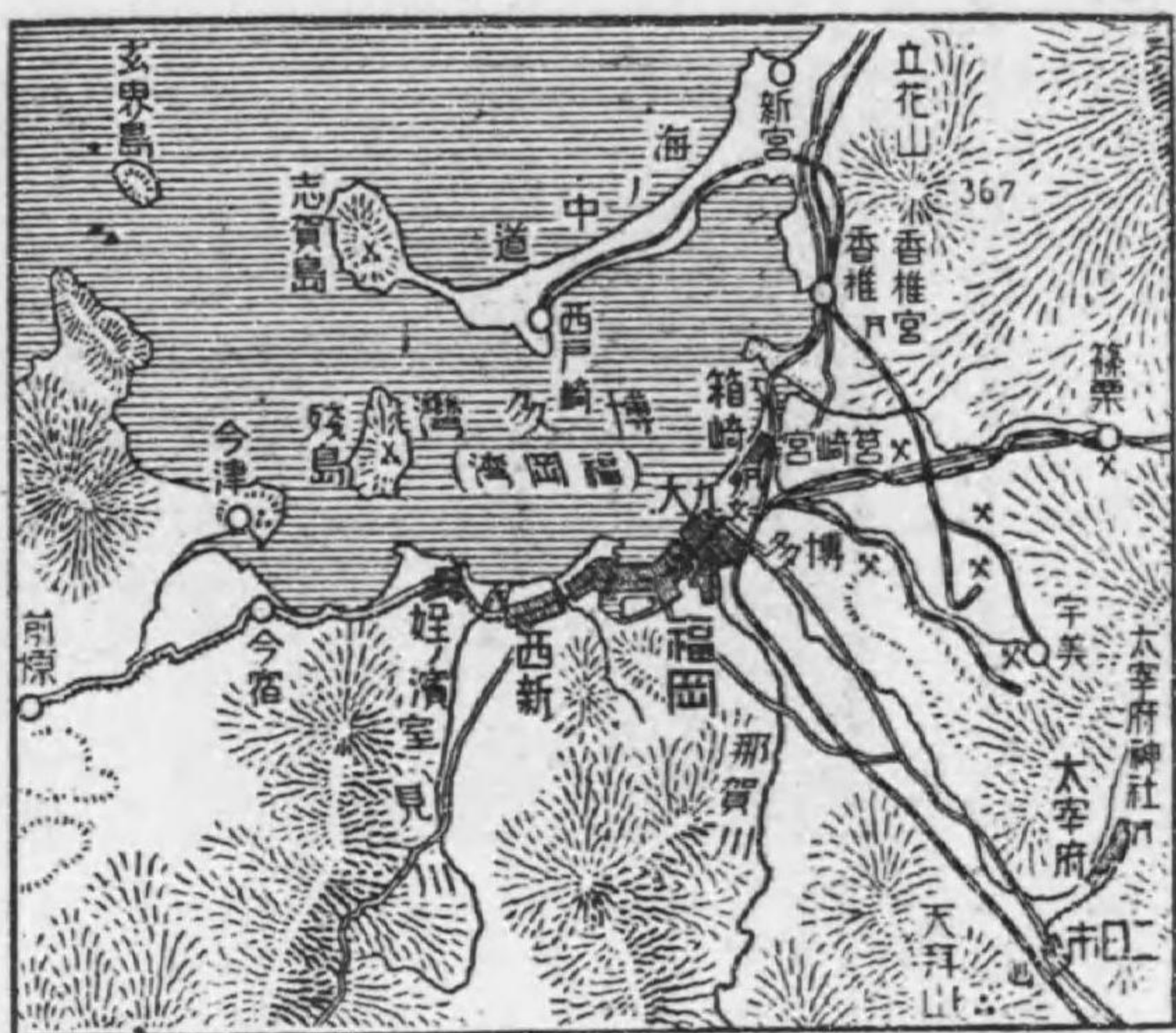


供給も豊かに、製品の販路も廣く、その規模の宏大と、活動の殷盛とは共に、實に東洋第一の榮譽を負はしめるに到つた。この意味に於て製鐵所即市であるといひ得るのである。

ある。

飯塚、直方 遠賀川流域の炭田には鐵道が縦横に走り、その中心として飯塚・直方がある。その産出に係る石炭は一部は門司に送られ、又一部は洞ノ海の口にある若松の開港場に送られて、内外各地に積出されてゐる。

若松市(四、九) 市も亦明治十六年頃までは一漁村に過ぎなかつた。然るに今は本邦第六の貿易港として堂々大阪・門司・四日市など、並ぶに至つた。本市のこの長足の發達は、全く筑豊炭田と八幡製鐵所のおかげで、その輸出入品をみてもうかゞひ知ることが出来る。市も亦工業市の一である。



福岡市近附

西北部(福岡市を中心とする地方)

福岡市(一一、二) 博多灣の南岸に臨み、福岡平野を控えた本市は、那珂川を隔て、相連なる博多と福岡とからなり、地方政治・經濟・學術の一大中心地である。地方政治の中心。市は縣廳所在地で黒田

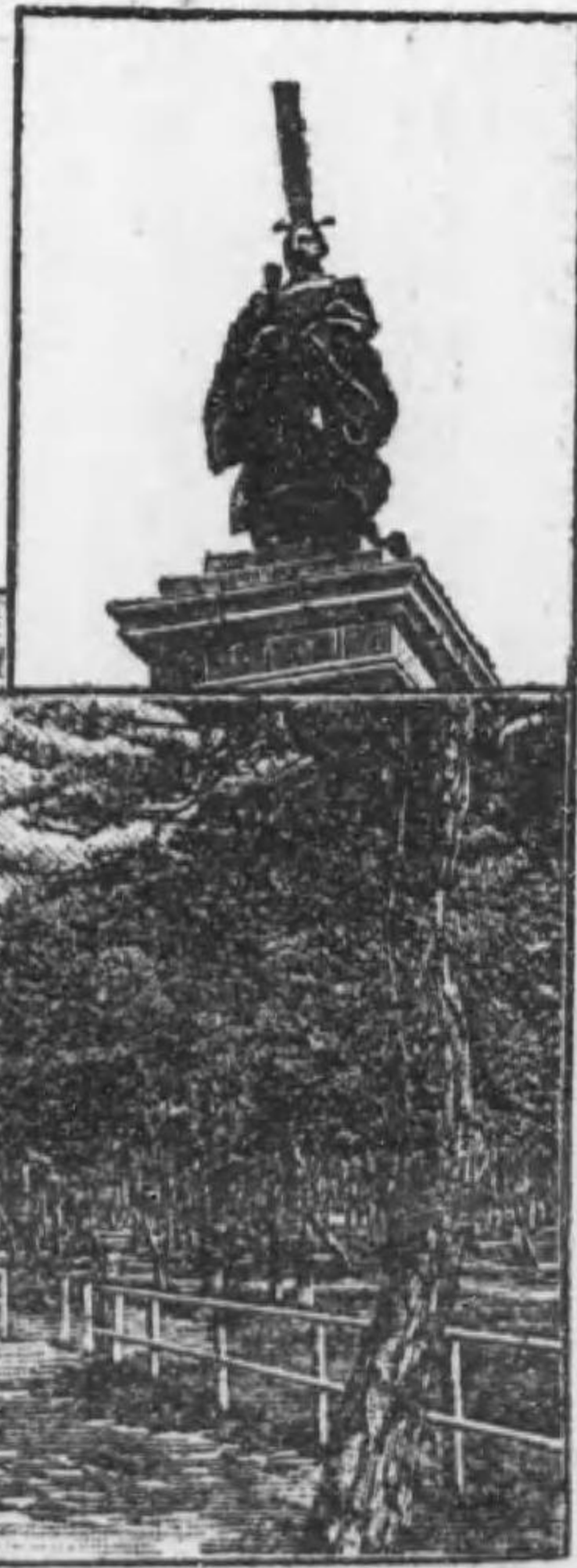


氏五十二萬石の城下町。黒田氏は肥後の細川、薩摩の島津と共に、九州の三大雄藩として名をなしたものである。經濟の中心地。工業品としては博多織・博多人形等精巧



南部(筑後川流域)
筑後川下流の平野は米・菜種の外に多く櫨を植えて木蠟を産

し、又疊表の産もある。川口に沿つて久留米市(四、四)がある。筑後第一の都會で、久留米・綿糸の産出夥しく又米穀・木蠟の集散が盛んである。近郊に師團司

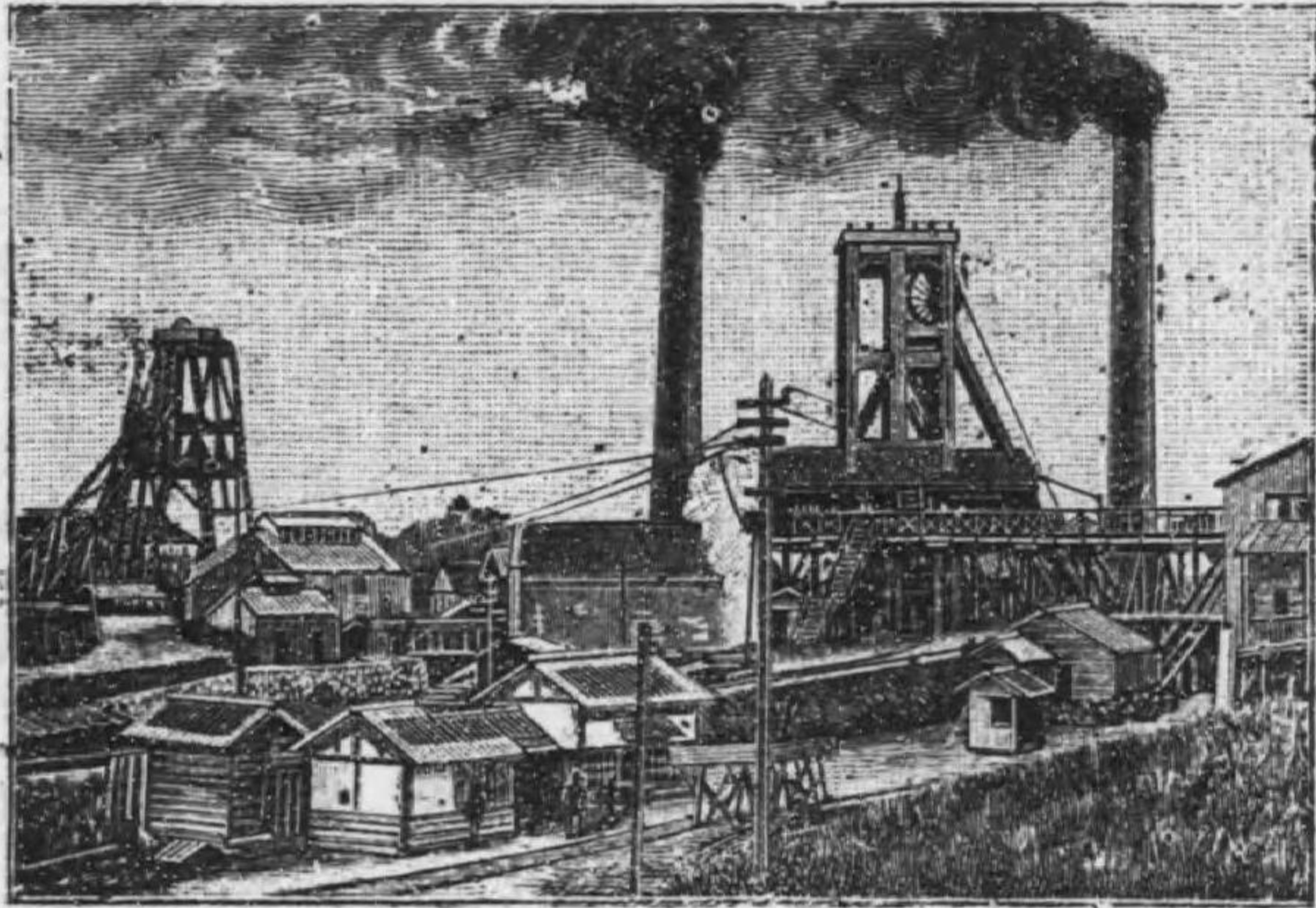


千代松の原と龜山帝の銅像



箱崎宮

優雅なものが古くから産出されてゐたが、今は紡績・織物・麥酒等の大工場が盛んに勃興して來た。内國商業はその活潑なこと六大都市の壘を摩すべく、これ九州の門戸に當れること、背景の力強いことによる。然し外國貿易はそれ程に振はない。學術の中心地。九州大學の外に新しく高等學校も設置されて、今は東京・京都・札幌・仙臺と共に五大學都とはなつた。名所舊蹟。博多港は往古支那及朝鮮に對する要津であつたので、附近には史蹟が多い。香椎宮は仲哀天皇檀日宮の故地に鎮座し、天皇及び神功皇后をまつる。箱崎宮は應神天皇及神功皇后を奉祀するもので、社殿には醍醐天皇の宸筆に「敵國降伏」の額を掲げてゐる。この他元寇の史蹟を訪ひ、南方大宰府に大宰府神社をとふと、そとろに當年が追懷される。



三池炭坑

坑の中心でもあり、又若松・門司の如うに石炭輸出港でもあり、これに加へて、石炭を

動力とする各種の工業も勃興して來た。實に市の將來は注意に値するものである。

三池港 大牟田に近い三池港はもと舢舨を以つて石炭を口ノ津港へ運び、そこで本船に積かへたものであつたが、先年築港がなつてからといふもの、盛んに輸出するやうになつた。それで港は潮汐干満の差がひどいので、朝鮮の仁川港の如うに閘門が設備されてゐる。

【問題】

- 1 遠賀川流域の略圖を描き、これに各炭坑の位置と鐵道分布を記入せよ。
- 2 筑豊炭田と石炭輸出港との間に於ける石炭輸送上の交通系を圖上にて注意せよ。



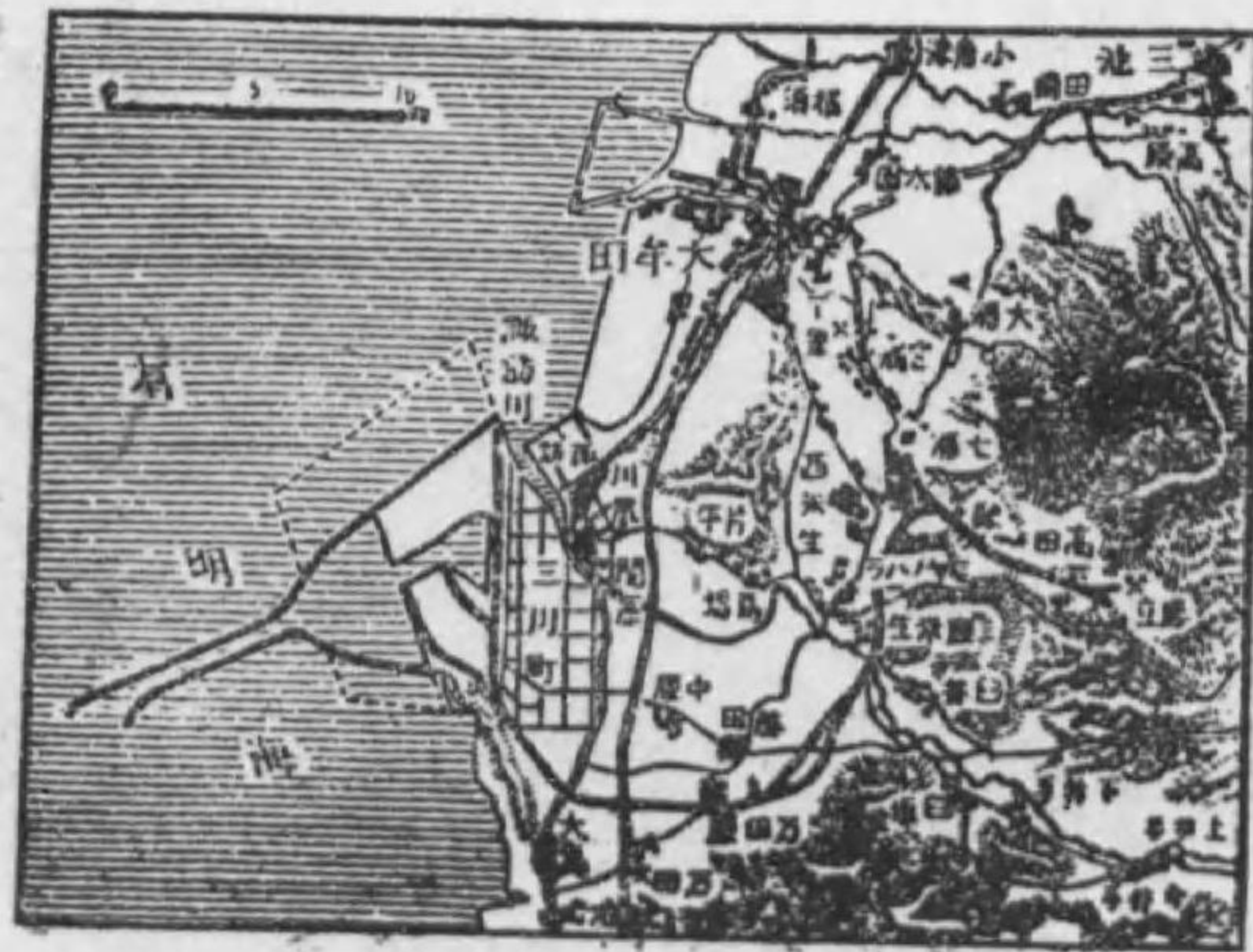
新木綿の製織(久留米)

令部があり、東北方太刀洗には陸軍飛行隊がある。城島・大川・柳河 筑後川下流地方の小邑で、共に清酒の醸造が盛んで、九州の灘ともいはれてゐる。中にも城島は西宮に相當するもので、産額最も豊富、品質亦優良である。柳川は又水都としてきこえてきた。

大牟田市(六、四)

縣の南境に位し、附

近に良炭の譽の高い三池炭田を控へ、炭坑の開発と共に長足の進歩をなした。即ち飯塚・直方等の如うに炭



- 3 九州の Black Country ともいふべき地方につきて、大工業の發達せる理由を明にし、他の大工業地帯と比較してみよ。
- 4 本縣の商工業を初め一般文化が九州第一の發達をなすに至つた理由を考へよ。
- 5 略圖に七大都市の位置を示せ。
- 6 地形上、洞ノ海の成因につきて考察せよ。
- 7 海の中道の成因を明かにし、之と類似の例が既習地方にあるならばあげてみよ。
- 8 福岡市の西方今津・前原間の低濕地を何とみるか。
- 9 芥屋大門に類似した勝地を他に求めることが出来るか。
- 10 筑後川中流で州方に、東西に眞直に走る山脈がある、その成因を既習事項から推究せよ。
- 11 筑後川と縣境(福岡・佐賀兩縣の)との位置的關係を讀むことによつて、少なくとも河道の變遷を知ることが出来る。従つて又變動性に富む自然的境界線は、政治的境界線と永久に一致されてゐるのでないことに氣附く。
- 12 福岡・門司・八幡三市の特徴を比較考察せよ。
- 13 潮汐干満の差の大小と地形との關係につきて考へよ。
- 14 本縣の略圖を描け。

【佐賀縣】

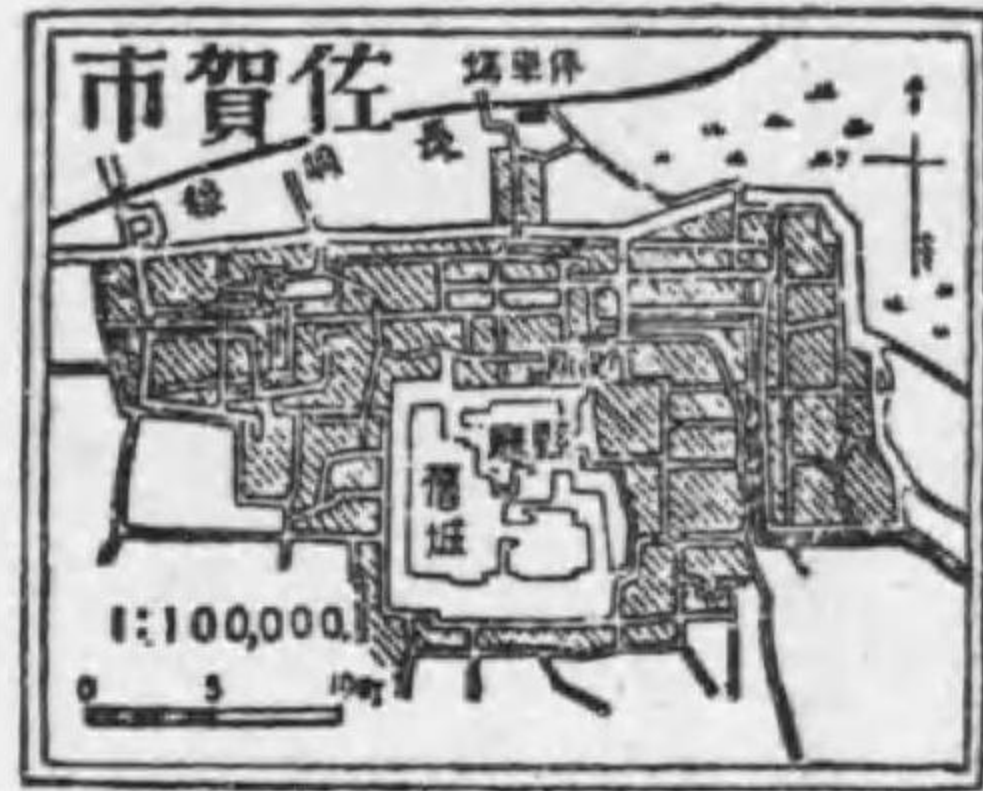
南部は有明海に瀕して筑紫平野の一部をなし、米産に富む。北部は筑紫山脈東北から西南に連つて陥没地に炭田多く、東松浦半島は北岸に突出して、唐津・伊萬里の二

灣を擁してゐる。

鹿兒島線から分岐した長崎線は、鳥栖で分れて西南に向ひ、縣下を横斷して長崎縣に入る。

有明海方面

佐賀市(三、四) 縣廳の所在地
佐賀市は、筑紫平野の西方にあり。鍋島氏三十六萬石の



舊城市で、明治の維新に際しては、藩公を初め志士輩出して、薩長土三藩と提携し、もつて大業を扶翼し奉つたのである。彼の江藤新平・副島種臣・大隈重信等明治初年の政界に其の名をなした人士の多く出たのも故なきに非ずである。近年市に高等學校が設置された。



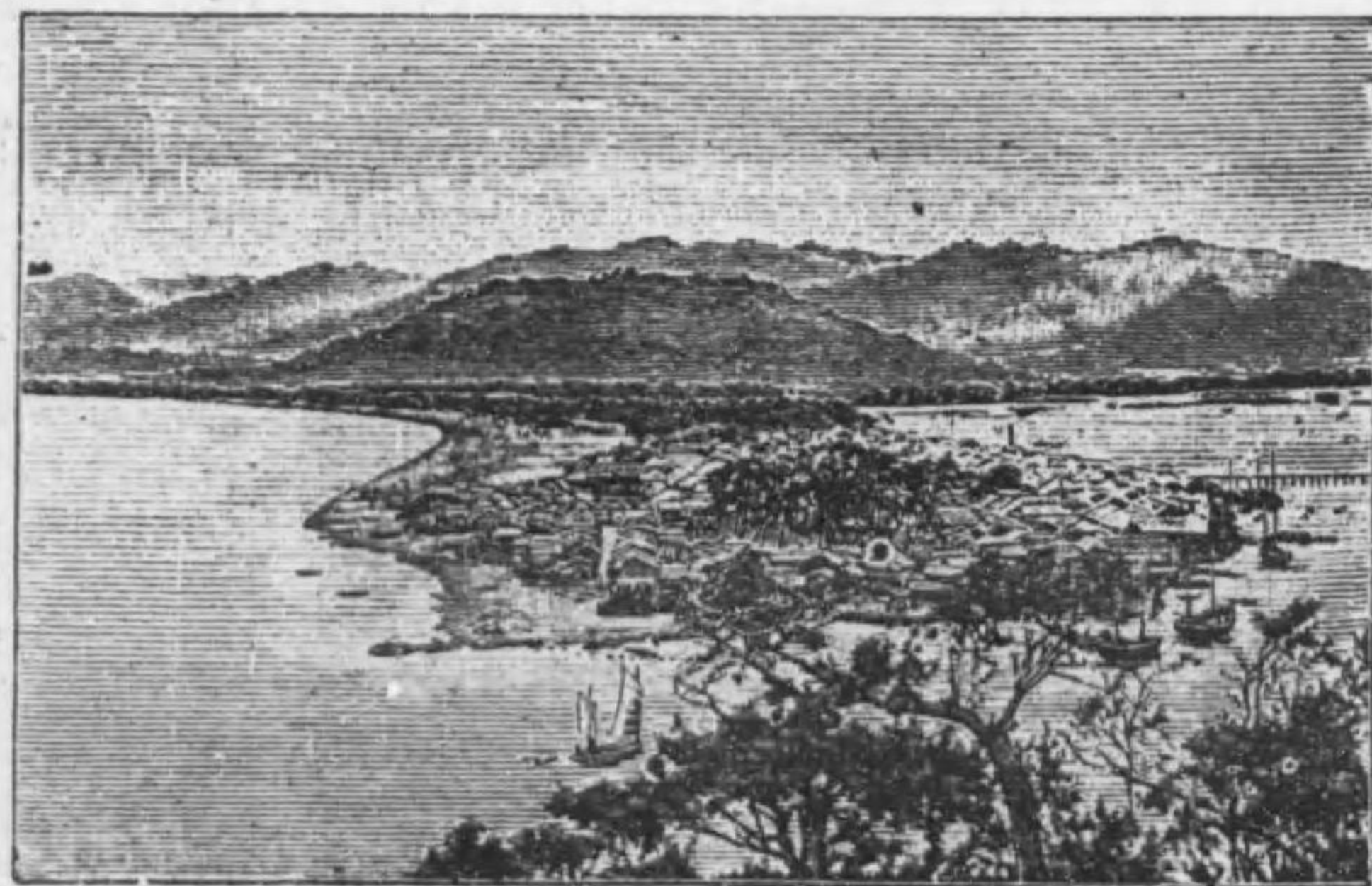
鍋島閑叟銅像及圖書館

北に進み、やがて松浦川の谷を下つて唐津に至る。港は東と西との二部に分れ、西港は大きく、汽船の碇泊に適し、盛んに石炭を輸出してゐる。東方虹ノ松原の風景は美しいもので、別けて舊城趾か



壹岐海峡
方面
唐津 長崎
線を久保田
で分岐した
唐津線は、
例の陥没部
の低地を西

動を語つてゐる。



唐津舞鶴公園より巾振山を望む

設備も良いから年中浴客の絶える時がない。武雄の南方には嬉野の温泉があり、その又南縣境上の多良岳、島原半島の温泉岳等と相連つて、阿蘇火山脈の活



佐賀七偉人

住ノ江 有明ノ海の北岸にある貿易港で、貿易額の殆ど全部が石炭の輸出のみで占められてゐることによつても、附近の杵島炭坑の開発に伴つて起つたことが十分解る。附近の海に牡蠣や鯉の澤山産出するがその理由は何か。
武雄 長崎線に沿つた有名な温泉場で、交通も便利で



佐賀舊城門



有田の焼煉製造

して伊萬里線の終點伊萬里港が古くから利用されてゐたからで、往時伊萬里の灣頭には帆橋の林立するのをみたものである。然るに鐵道開通と唐津の開港とによつて全く凋落してしまつた。

【問題】

- 1 本縣を南北兩斜面に分けて地形上比較研究をしてみよ。
- 2 炭田の分布と石炭の輸出港との關係を、圖によつて簡單に示してみよ。
- 3 虹の松原の風光の美しい理由を考へ、既習の千代の松原や明石附近の松原と思ひ合せて、何か共通點があれば摘出せよ。
- 4 伊萬里から輸出するから伊萬里焼といつた風な産物の例が他にあるか。



部



有田陶器工場陶窯

來有田焼を出すによつてきこえ、その有田工業學校は斯業の發達に貢獻してゐる所が少くない。この有田焼を別に伊萬里焼ともいふは、有田焼の積出港と

ら瞰下した場合が最も佳い。市は又唐津焼の名産を出す。

名古屋 東松浦半島の北岸にある名古屋は、豊大閣征韓役の根據地として知られてゐる。

有田、伊萬里 有田は小丘陵で取圍まれた盆地に、溢れるばかりに發達してゐる町で、古



唐 津 港

- 5 東松浦半島の海岸地形と、多良岳の東海岸の地形とが大いに異つてゐる。その理由は如何。
- 6 五万分の一地圖をよむと、佐賀圖幅などに「江湖」が諸所に用ひられてゐる。讀圖する者は注意してみよ。
- 7 本縣の地圖を描け。



【長崎縣】
縣の主部は殆ど半島からなり殊に西彼杵・島原の兩半島は纒



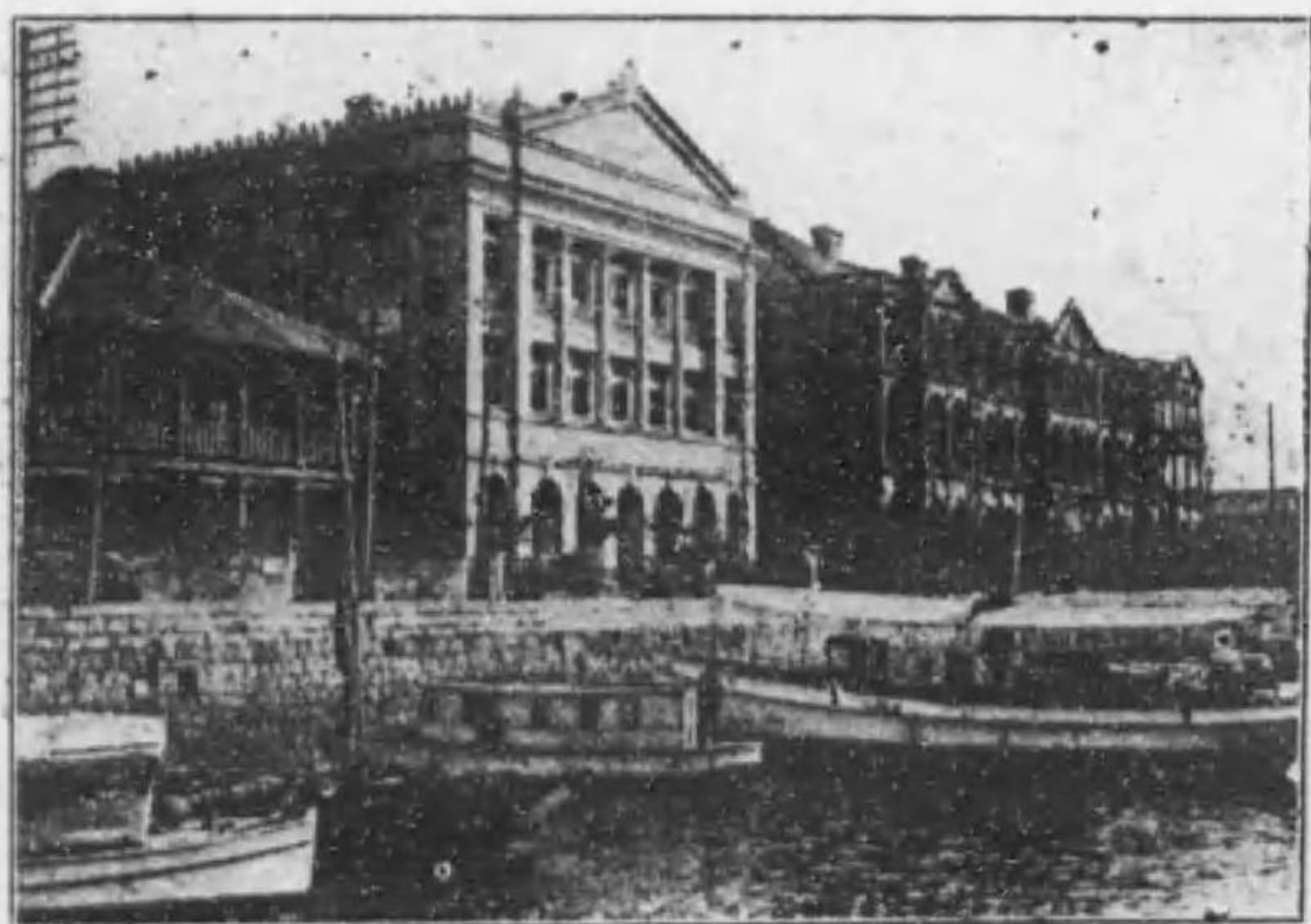
伊 萬 里 港



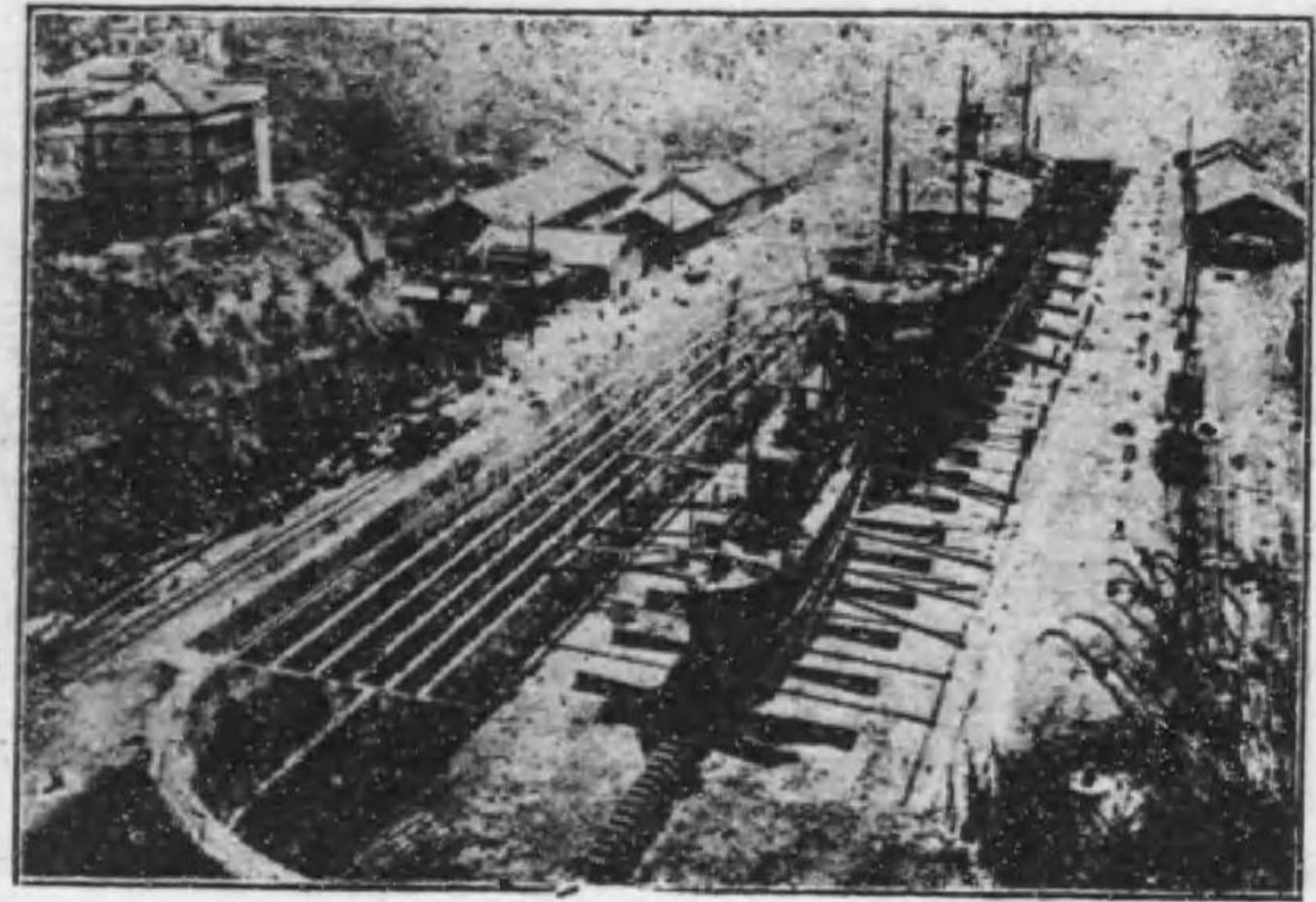
長 崎 港 全 景

に諫早の地峡で、九州島の軀幹と連るだけで、西彼杵半島は東に大村灣を擁してゐる。そして縣下は平地に乏しいため、米穀は殆ど産しないが、畑地には甘藷が栽培され、又牧牛・養豚も行はれてゐる。然し産業としては漁業が最も盛んで、九州第一位に位し、石炭の産出額も亦頗る多い。

地理的關係からして、又本縣は海事に關する思想全國中で最もよく普及し、従つて遠洋漁業、海外移住等に志す者が多く、都會・交通等の發達も、概ね



長 崎 港 海 岸



長崎三菱第二ドック

海事と深く關係してゐることが注意に値する。

長崎市（一七、七）九州の西部、典型的 Rias 式の灣入である長崎港に臨みて、無二の良港を爲し、九州第一の良港である。

而も開港場中最も古く、鎖國の昔にあつても尙支那・オランダとの貿易は許され、西洋の學藝も獨り此地を

經て我國に傳はつた。當時は殷盛無比であつたが、維新後九州諸港の開港によつて、漸く前途を憂ふるにいたつた。然し尙經濟的後背地を控へて、多額の物



佐世保鎮守府

資の輸出入を示してゐる。市の工業は専ら造船業で、附近に東洋屈指の造船所があり

又高等教育の機關である長崎醫科大學や、高等商業學校があつて、九州西北部の學術の中心地でもある。

高島 港外の一小孤島である。石炭坑があるので古くから世間に知れてゐる。北方の崎戸島、松島から南方の端島にかけて横はる海底の炭田を總稱して西彼杵炭田といふ。

佐世保市（八、七）長崎線は大村を經て大村灣岸を通り、早岐から支線を出して佐世保に至る。明治二十年頃海軍鎮守府が置かれてから、一寒村は一躍して九州屈指の大都會となつた。本市の今日あるは、一



佐世保市街

つには海軍工廠の存在するによるといへやうが、尙外に最近三大戰役の策源地であり兵站地であつたことを考へねばならぬ。



香港等から來遊す。東岸にある島原は半島の主邑で、水陸交通の便を有し、南岸の口の津は三池炭の輸出港ではあるが、三池開港後頓に衰へて、今はその額も大いに減少した。

島原半島 半島の中央に温泉岳が聳え、東方に緩く裾を曳いてゐる。頸部には見事な断層崖(Fault Scarp)が発達して、その好例を示してゐる。西南山麓の温泉は夏季外人の避暑するもの多く、遠く上海・



(む望を部要主りよ面背)港江福島五



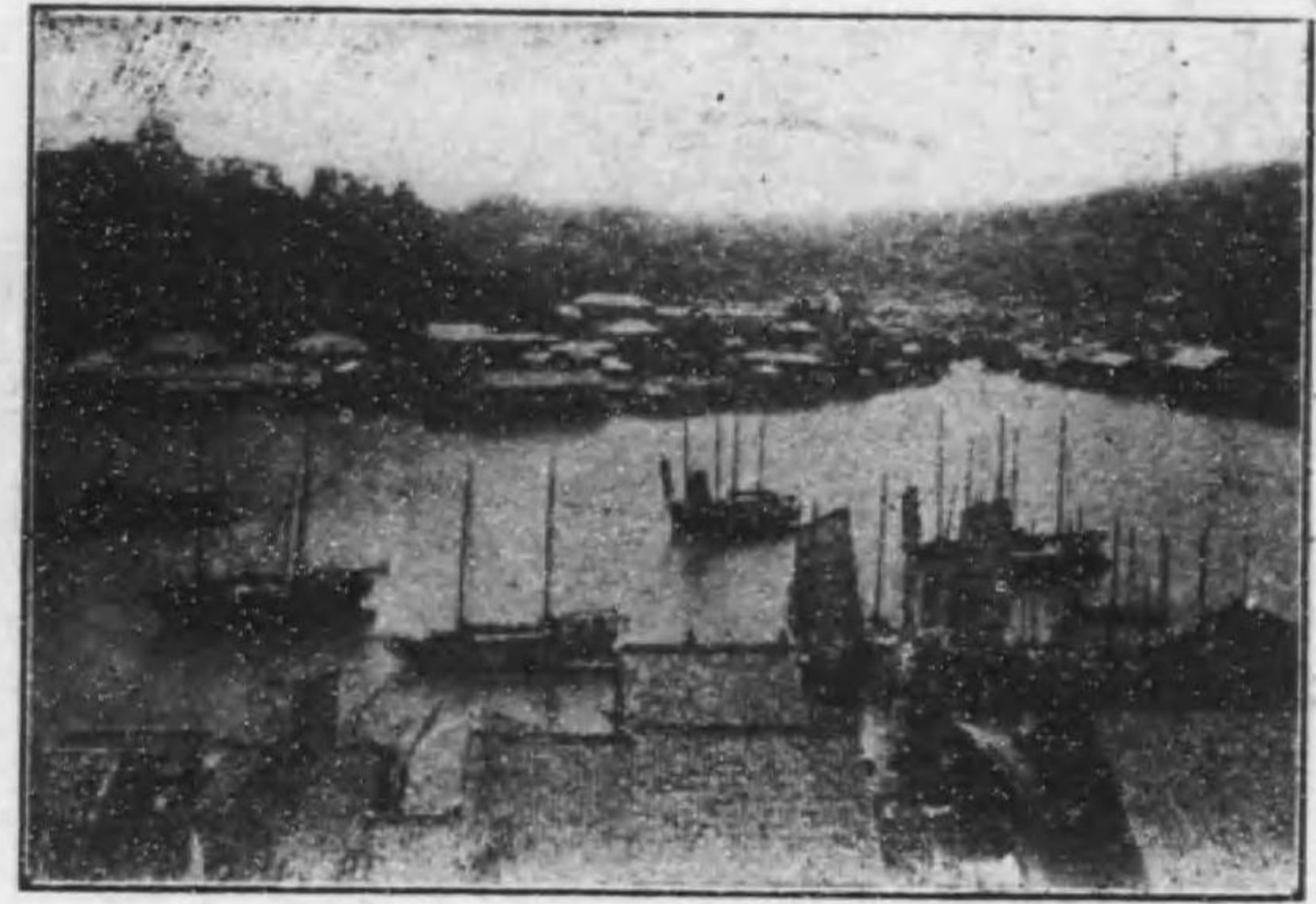
五島福江本町本通り

平戸 平戸島の東北端で、同名の海峡に臨んだ平戸は、長崎開港以前西日本第一の港としてそ

五島列島 近海は水産頗る豊で、五島鯨・五島珊瑚は有名である、五島とは福江・久賀等五島を主島とする群島であるが、島中福江島の福江は一小錨地であり先には五島氏の城地であつた。西南の大瀬崎には無線電信局があつて、洋上の船舶及臺灣との間に通じてゐる。



五島大瀬崎燈臺



崎方天満宮より平戸港を望む

の名を馳せた。

壹岐の名邑 古來朝鮮との交通の要衝に當つてゐるので、外寇を蒙つた事が幾度かある。勝本はその小邑である。

對馬の名邑 對島は日本海の南門を扼し、国防上主要な位置に置かれてゐる。されば古くは此處に防人を置

き、今は要塞を設けてゐる。中央部に淺海灣灣入して上・下の二島に分つ。竹敷は日韓併合前は軍事上の最重要地として要港をおかれたが、今は防備隊のみ



平戸城下全景



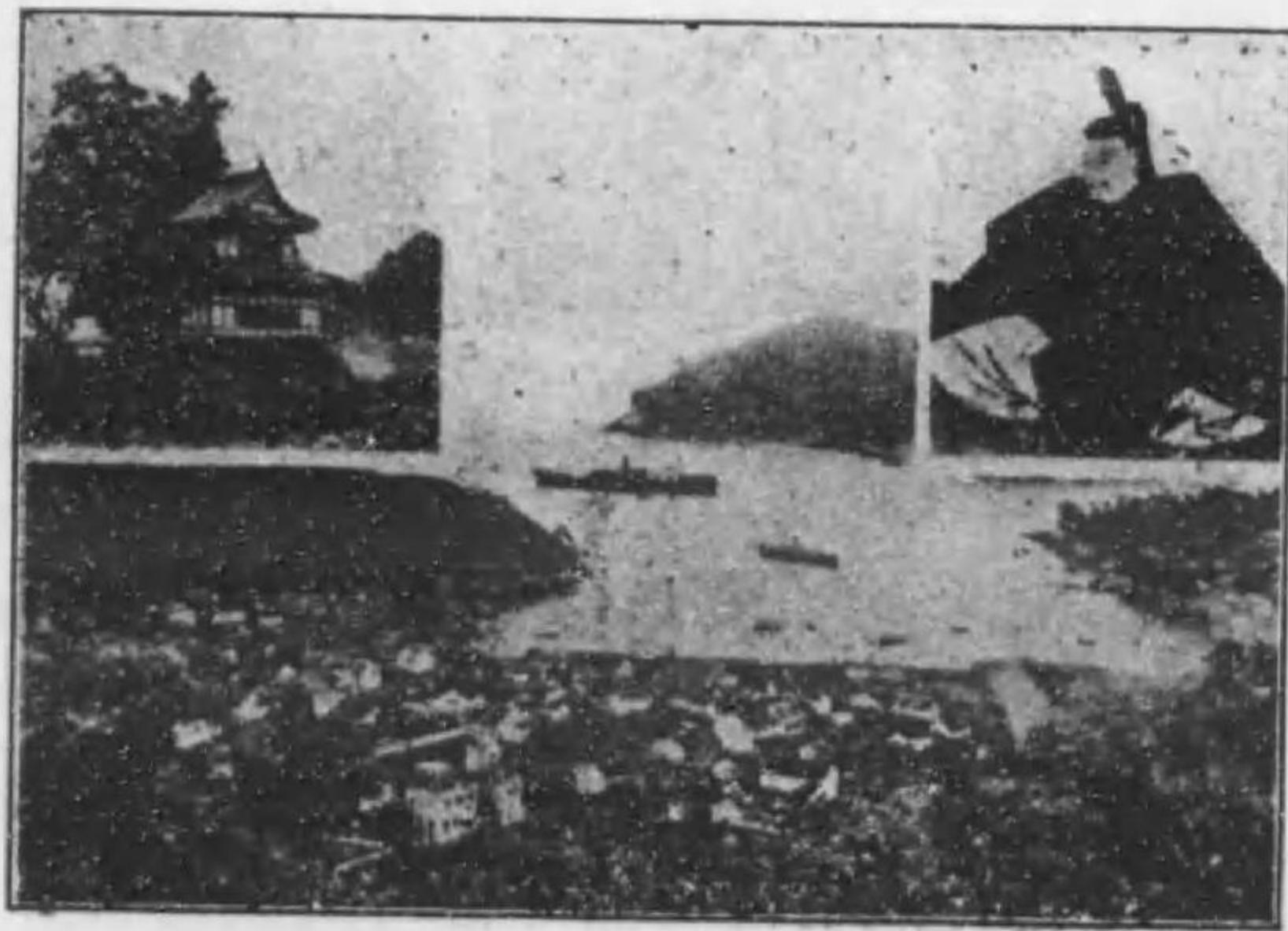
壹岐、郷之浦

を置いてゐる。嚴原は島廳所在地で、佐須奈・鹿見は共に開港場ではあるが、元來朝鮮に對しての開港場であつたので、今は全く振はない。

【問題】

- 1 本縣の地理を海と人文との關係に於て考へまごめてみることは興味がある。
- 2 本縣が半島と島からなつてゐるところが一産業、一交通、一氣候、

- 3 一都邑、一風光、一住民の氣象等に如何なる關係を示せるか、一つ一つにつきて考察せよ。
- 4 長崎港の古來より發達せる理由は何にあるか。佐世保が軍港として指定された理由を港灣の形狀、及びその地理的位置の上から研めよ。



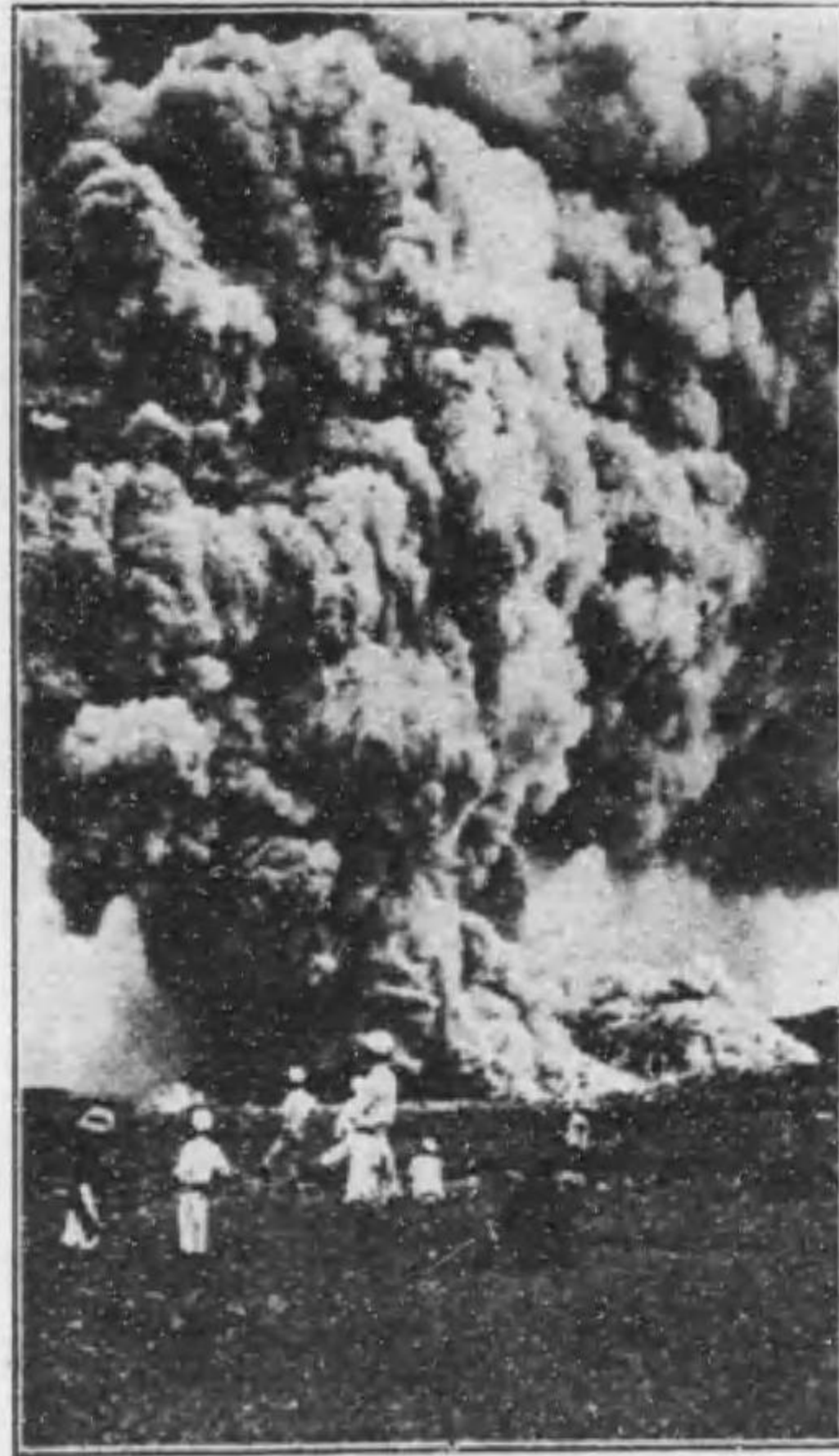
嚴原港全景



【熊本縣】

東北部には阿蘇の活火山があつて、其の舊噴火口は世界第一の大いさである。熊本平野は其の西に横つて農業地頗る廣く、良質の米を初め粟・麥を多量に産す。而して製茶も縣下主要の農産である。牧畜では阿蘇の牧馬が世に聞え、天草下島からは無煙炭と陶土を出す。この縣は人口・都邑の分布餘り密ではない。主要な都會は大概平原に

- 5 西彼杵炭田と唐津炭田・筑豊炭田と何等か關係ありや。
- 6 五島列島の排列は何を語るものか。
- 7 壹岐・對馬の國防上、その重要さが昔と今とで變つた理由を考へてみよ。
- 8 鳥原、及び口ノ津附近を五萬分の一の地圖によつて Map Reading してみよ。さすれば興味ある地形を發見するであらう。
- 9 地形に關係して其縣民が海外に發展せる例を知れる丈あげてみよ。
- 10 本縣の略圖を描け。



在る。
 阿 熊本市(一三、五) 市は白川に跨り、
 蘇 熊本平野を控へて、略々九州の中央に
 の 位し、九州第二の大都で、縣廳の所在
 噴 地であ
 煙 る。其
 舊城は

加藤清正の築く所、細川氏五十四萬の大大名として築えた所である。今はこゝに第六師團司令部をおく。市の郊外に本妙寺・成趣園(水前寺)がある。前者は清正公の廟所、後者は舊藩主細川氏の別墅で、共に賽客遊覽の士を蝟集してゐる、市は又九州中部の學術市で、醫科大學・高等工業學校・第五高等學校等の所在地であ



阿 蘇 山



じてゐる。九州の勤王家として、楠木氏と並稱された菊池氏の根據地で、城址は今も町の東北にある。別格官幣社菊池神社は菊池武重・武光を祀る。山鹿 隈府の西北、菊池川中流の温泉町で浴客が多く集る。

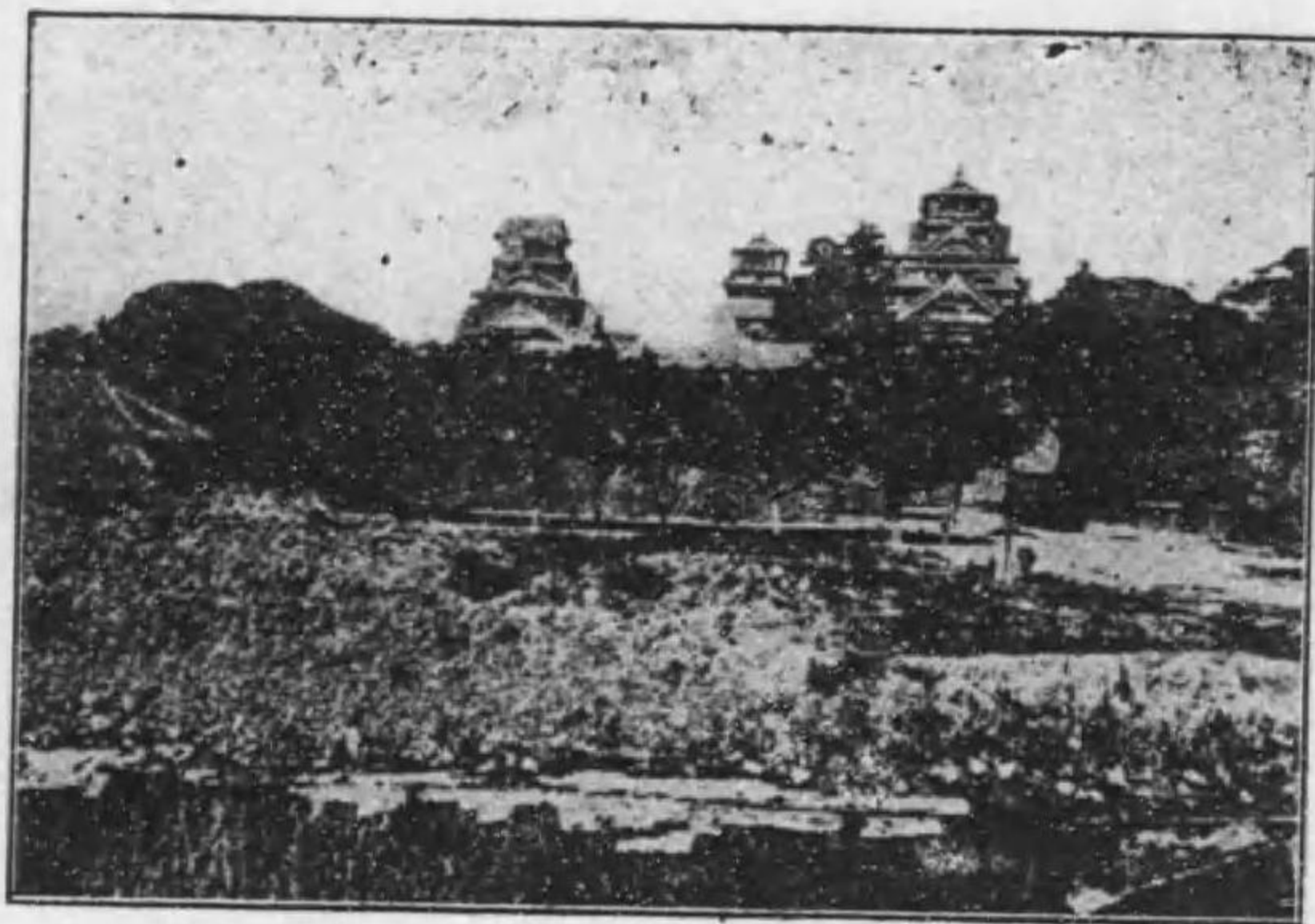
る。西南の役に激戦のあつた植木・田原坂は共に市の北方に位置してゐる。

隈府 隈府は熊本市の東北菊池川の上流に沿つた名邑で、菊

池平野の中心をなし米穀の集散盛んに、菊池軌道が通



水 前 寺 の 全 景



熊 本 舊 城

ついで考へてみたい。又五萬分の一の地圖などによつても想像されるが附近の風光は縣下第一の稱がある。八代 従前球磨川流域に於ける經濟・交通の唯一の

三角 水力發電に利用されてゐる緑川の口に近く宇土半島が突出して、有明の海と八代海とを分つてゐる。その先端に開港場三角がある。熊本平野を Hinter-

land としてゐる

當港の輸入品中、

肥料が最多額を占

めてゐるのは當然

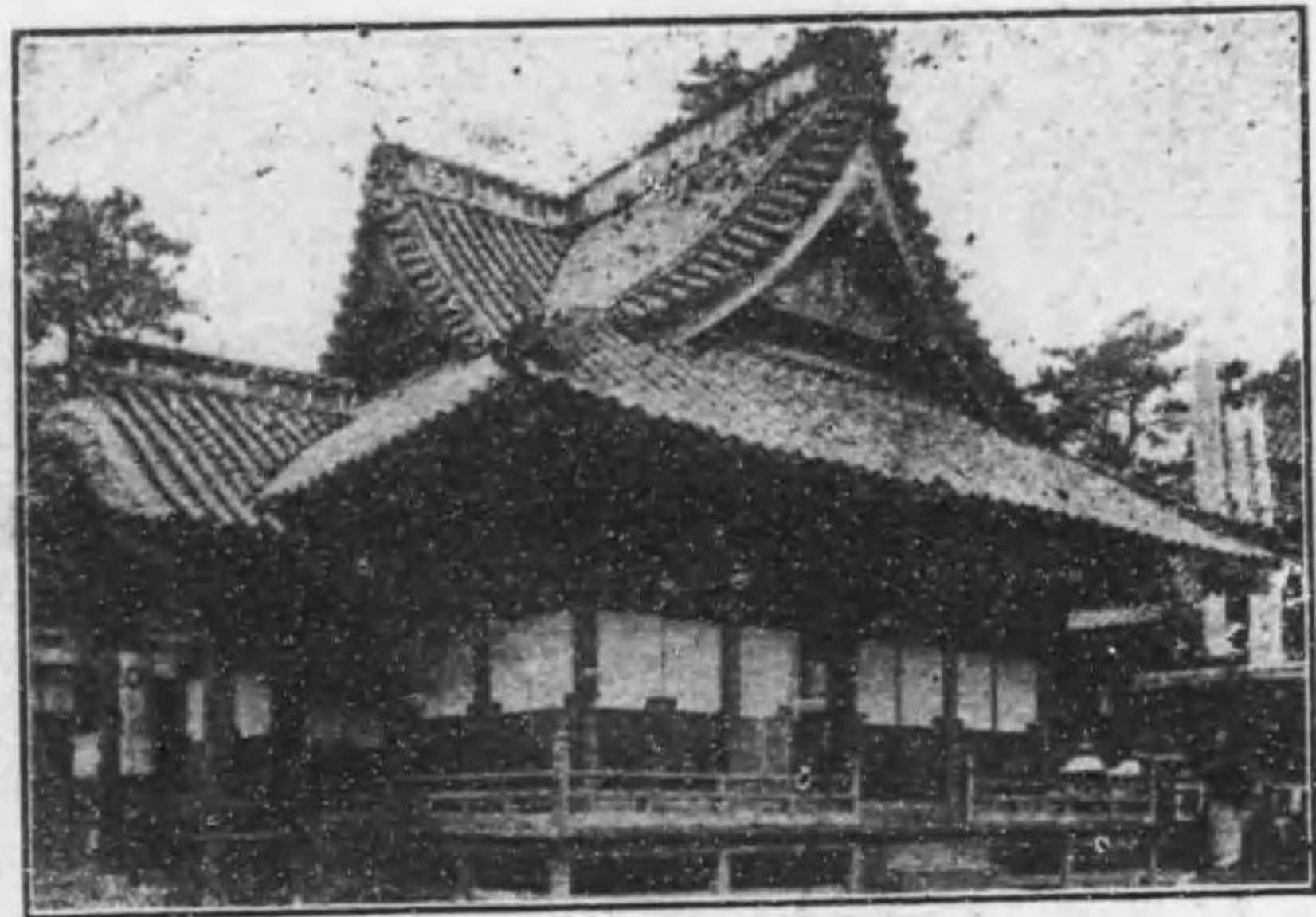
であらうが、肥後

米の輸出の殆ど無

いのはその理由に



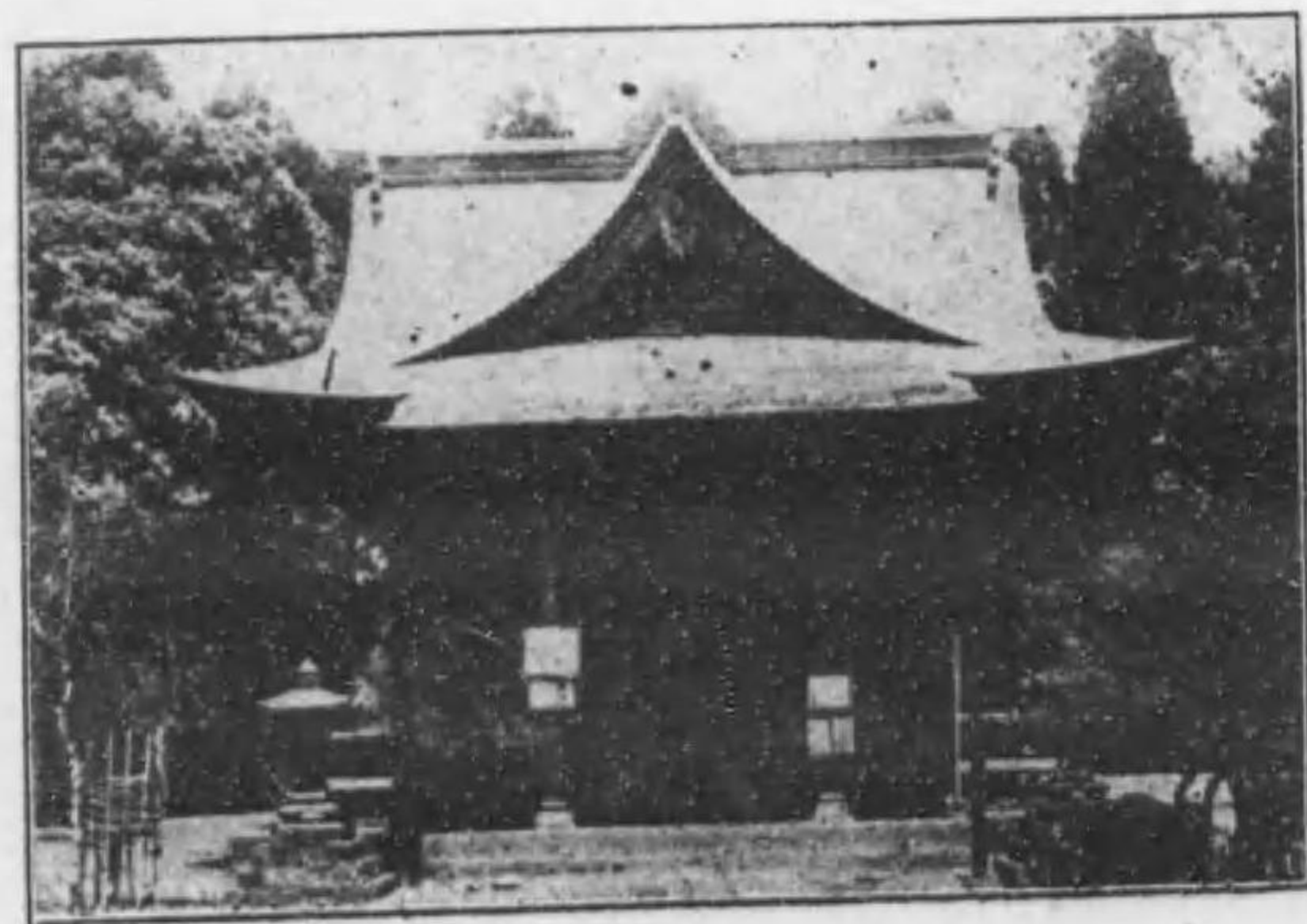
熊 本 市 街 全 景 及 阿 蘇 山 の 遠 望



本妙寺清公正の御廟と拜殿

門戸であつた八代も、鹿兒島線の開通によつて、少なからずその意義を減少した。然し盛んに木材を集散し、又セメント・洋紙の工業も振つて來て、市況は賑かである。八代・有明兩海の不知火は、遠く人皇第十二代景行天皇の頃から名高かつたもので、太陽曆八朔前後の満潮時にみえるとのことであるが、その何故に現出するかは、まだ學說の一致しない所である。

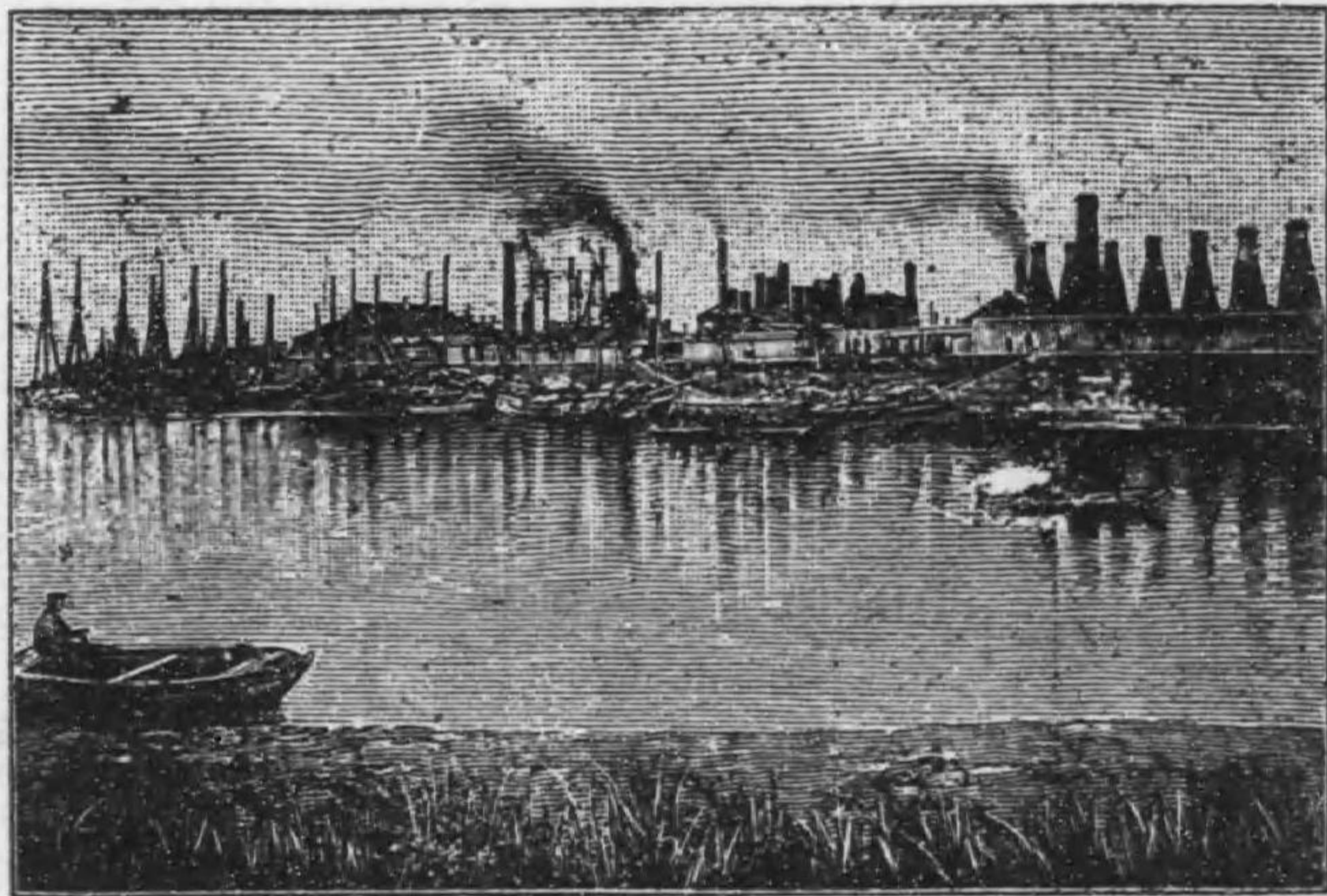
八朔前後の満潮時
たもので、太陽曆
の頃から名高かつ
第十二代景行天皇
知火は、遠く人皇
代・有明兩海の不
は賑かである。八



菊池神社(限府)

にみえるとのことであるが、その何故に現出するかは、まだ學說の一致しない所である。

八朔前後の満潮時
たもので、太陽曆
の頃から名高かつ
第十二代景行天皇
知火は、遠く人皇
代・有明兩海の不
は賑かである。八



る。全く深山の中で、霧多く雲深く、言語・風俗・習慣等他と異つて太古の風がある。米

に出る。盆地の入口にその中心都邑である人吉がある。今は材木・椎茸・茶等の取引が行はれてゐる。鹿兒島線は此地からループ線によつて矢嶽の險を越えて南へ走る。このループ線は、碓氷のAPT式・鴨綠江の廻轉橋などと共に本邦交通機關の特殊なもので、矢嶽附近の如うに人吉盆地へ向つての傾斜の急な斜面の昇降には、このループ式を採用せねばならなかつたのである。即ち盆地から螺旋を描きながら山脈上に上りつめ、それから大小數多のトンネルを潜りながら山脈を南へ下るのである。

五家ノ莊 球磨川の上流に五家莊の別天地があ

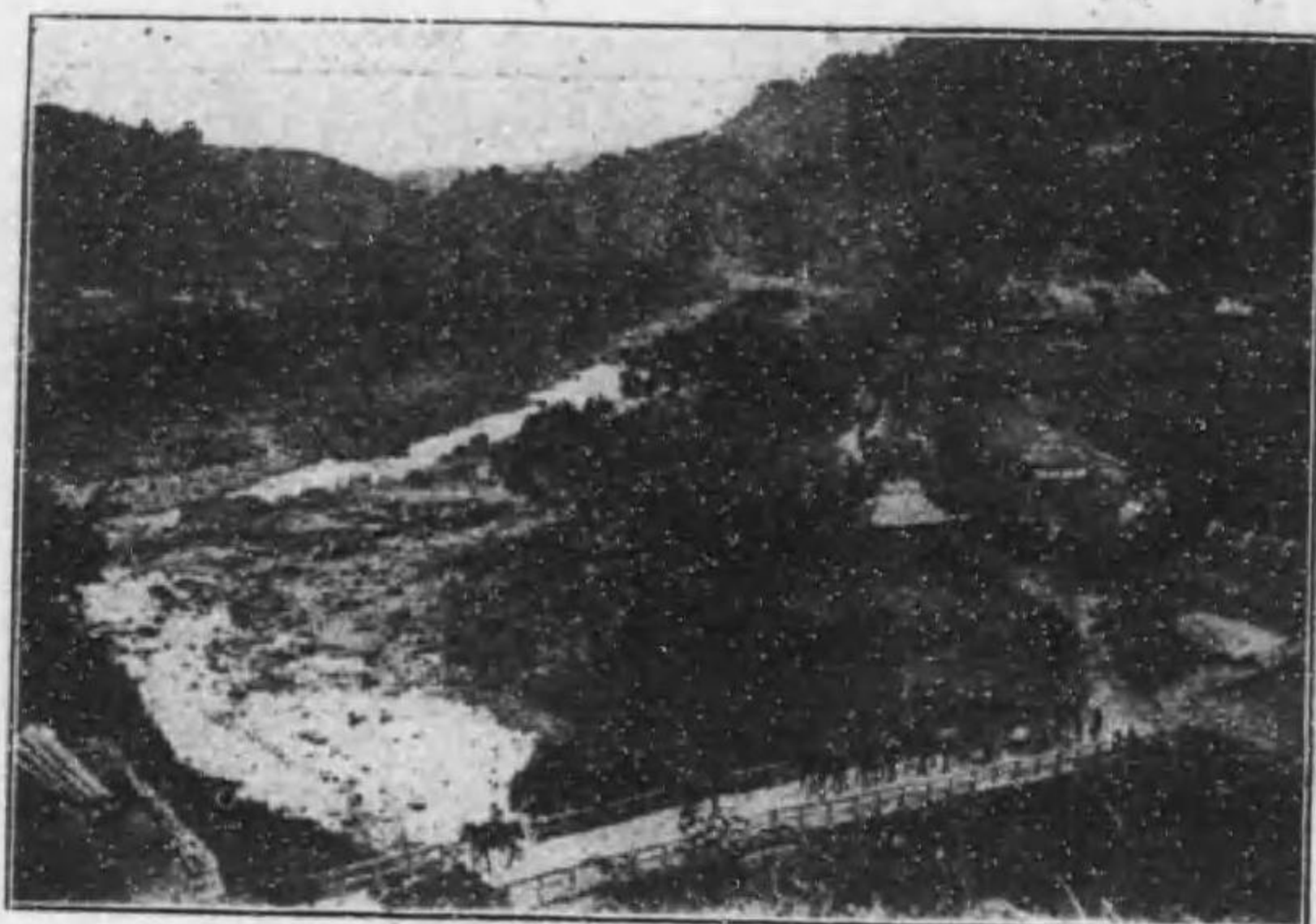


【問題】

- 1 阿蘇火山の断面圖を描け。
- 2 本縣の農産中粟の多き理由を、牧馬の盛んな理由を考察せよ。
- 3 白川の口に近い百貫石が熊本市と古來如何なる關係に立つてゐるかを研め、兩者の關係を類似した適例を他に求めよ。
- 4 三角附近の地圖を適宜擴大してみよ。
- 5 球磨川の急流である理由を研め、これと事情を同ふする河川を二三挙げよ。
- 6 五家莊の如うな避村を他に求めよ。
- 7 阿蘇火山と温泉がその殆ど中間に位する金峯山(六六六米)につきて Map Reading を行へ。
- 8 熊本市は、九州中寒暖の差甚だ著しく且つ空氣は年中乾燥がちである、其の理由如何。
- 9 五萬分ノ一地圖によつて熊本城附近・白川の谷及水前寺附近を讀んで地形的に興味ある問題を發見せよ。
- 10 熊本縣の地圖を描け。

がとれぬところから、小豆・稗を常食としてゐる。傳説には平維盛が此處に逃れて、その子孫が繁殖したのであるといふ。人口は約一千。

【大分縣】



耶馬溪を望む

下の絶景で、十數里の間、奇岩・怪峯、深淵・急灘各所に、中にも青の洞門・羅漢寺のあたりが最もすぐれてゐる。尙上流には新耶馬溪があつて更に人目を新たにする。

海峽及び水道方面は水産業頗る發達し、陸上は農業工藝にて琉球表の産額多く、尙北部は養蠶稍著しく南部は柑檮類を出す。

人口及都邑の分布は割合に疎である。

國東半島以西の都邑

中津 英彦山に發源する山國川は中津で周防灘に注いでゐる。中津は縣の門戸に當り、奥平氏十萬石の舊城市で、商市として米穀の集散される外近年綿絲紡績・綿織物工業も漸く盛んになつて來た。本町から山國川を逆れば耶馬溪の勝に達する。耶馬溪は天



別府府町の市街の一都

宇佐 國東半島の頭部にありて、こゝに和氣清麿の誠忠て名高い官幣大社宇佐八幡宮がある。和銅五年の創建で、應神天皇を祀る。

別府灣岸の都邑

別府(二、九) 背後に由布・鶴見等の火山を負ひ、前面に別府灣を控へた有名な温泉場で、噴泉量の豊富と、



別府の港

設備の完全と、交通の便利とは他に其の比をみぬ。而も温和な氣候と、明媚な風光とは、愈々保養地としての本町を値づけてゐる。されば日本各地から集り來



る浴客が頗る多い。附近は海岸、山地の別なく温泉到る處に湧出して、中にも鐵輪、海地獄等が有名である。

大分市(四、三)

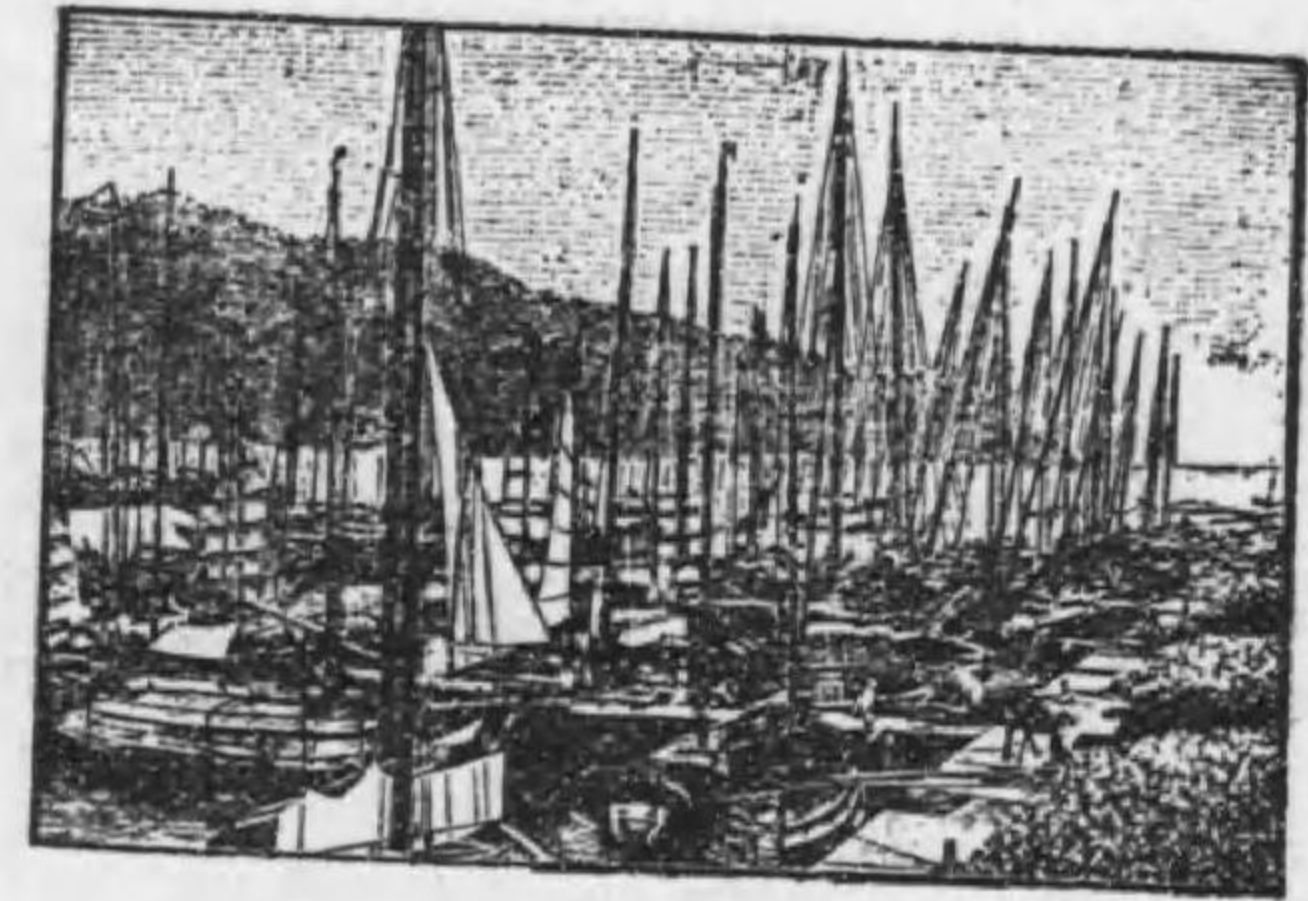
別府灣南灣の良港で、日豊本線に沿ひ、水陸交通の要地を占む。もと府内と稱して、松平氏

二萬一千石の舊城市、今縣廳及び高等商業學校の所在地で、日豊線開通後、益々繁盛に向つてゐる。

佐賀關 九州山脈の豊後水道に至つて盡きる處には、



大分縣廳



佐賀關の鑛石運搬船

數多の岬灣が出入してゐる。その最北なのが佐賀關半島で、其の地峽部に當つて佐賀關がある。元來水産物の集散地で、附近の漁民の中には、朝鮮近海等に出漁するものも尠くないが近年其の名の高くなつたのは私設の大製煉所が設けられてからで、金銀の製煉が盛んに行はれて、その産額も多く又銅の如き、足尾・小坂・日立等に次いでゐる。

杵築 別府 灣の沿岸か

ら、國東半島へかけては疊表の製造が盛んで、其の一中心城市は杵築である。

豊後水道沿岸の都邑

佐賀關半島以南豊後水道に面する地

方は、天然の良港にとんで、數多の漁港



山下公關廣瀬中佐銅像(竹)

が相並んでゐる。臼杵・佐伯等はその主なものである。共に舊城市で、前者は稻葉氏六萬二千石、後者は毛利氏二萬石の據つた處である。港は共に亦大阪・内海航路の重要碇泊地で、日豊線開通後、對岸南豫方面との交通も繁くなつて來た。

山間盆地の小邑

山間盆地の中心都市としては、北の日田と南の竹田とを挙げたい。日田は筑後川の上流、日田盆地の中心で、久留米との間に輕便鐵道を通じてゐる。竹田は中川氏七萬石の舊城市で大野川上流の盆地に位し、鐵道を大分方面に通じてゐる。豊肥線が開通して、大分熊本間の交通の開けた曉には、必ずや繁華を増すことであらう。

【問題】

- 1 温泉場として發達した別府、神聖都市として起つた宇佐、製煉所として勃興した佐賀關の各々を類似せる都市を挙げてみよ。
- 2 式海岸に於ける臼杵佐伯の都邑と同様の位置に立てる都邑を他の地方に於てあげよ。
- 3 三重縣に於ける伊賀盆地と、本縣に於ける日田盆地を比較して共通する事項はなきか。ありとすればあげよ。
- 4 一般文化の發達の上からみて、本縣が直ぐ隣してゐる福岡・熊本の兩縣に劣つて、振はない理由は何處

にあるか。

- 5 縣下の火山と温泉を地圖の上であたつてみよ。
- 6 日豊線開通後の現状如何。豊肥線全通後の状況如何。
- 7 舊藩時代本縣下に諸藩が割據せる理由を地理の方面から究め、尙この歴史的事實が本縣の文化發達の上
に如何に影響せるかを考察せよ。
- 8 本縣の略圖を描け。

【宮崎縣】

この縣は、我國史の發端をなした地方であるけれども、文化の中心が東方に移つてから、長く邊陲の地となり、現今は人文の發達九州中最下位に位してゐる。然し日豊線開通後は文化の輸入漸く易く、今後に期待すべきものがある。

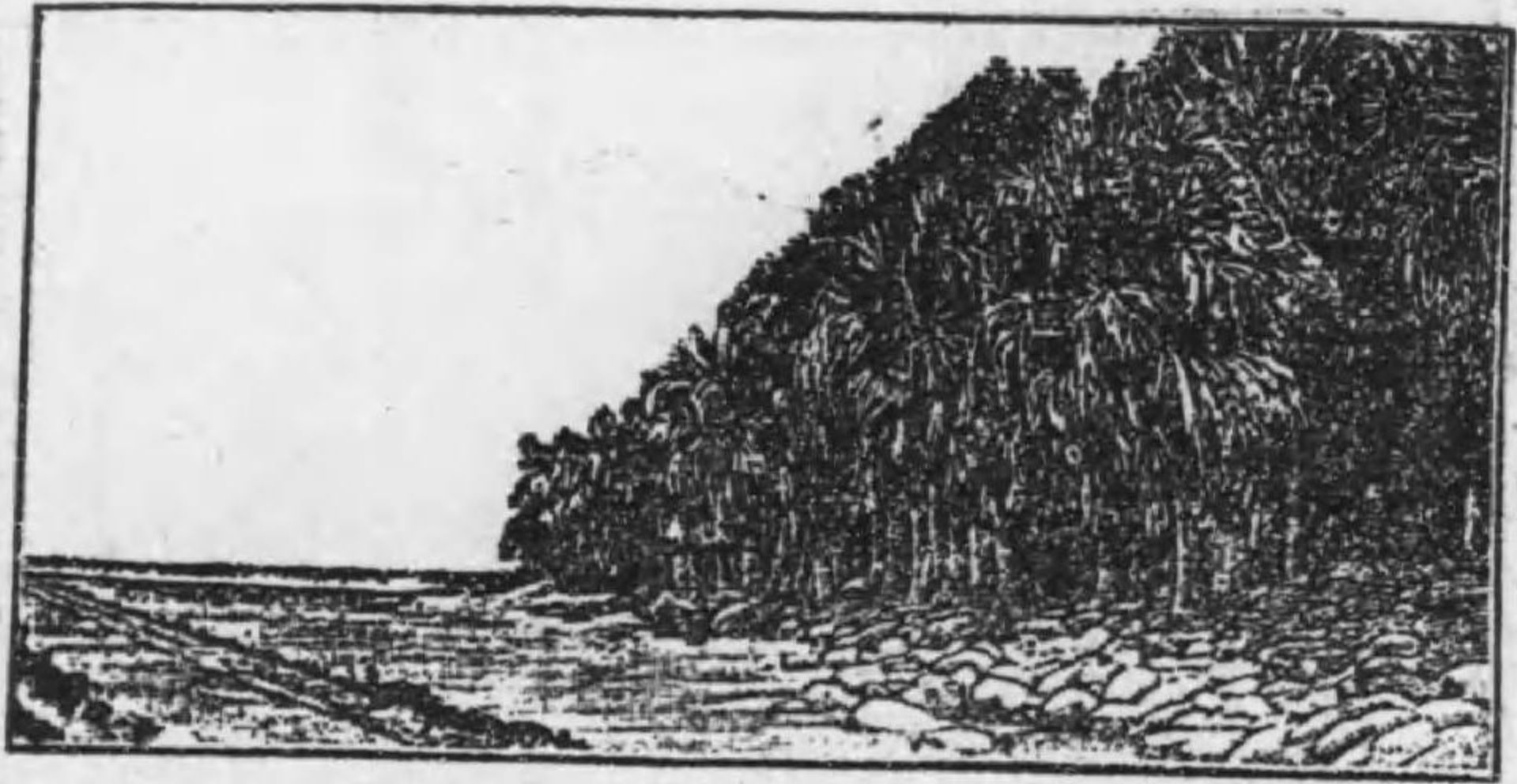
産業中主なものは農林の業で、殊に林業は、縣下の大部分が山林原野に蔽はれ、高温多雨であるために、大いに發達して、木材・薪炭を出し、椎茸も亦多く産す。尙各所に樟林も茂り、竹材もとれる。此の外牛馬の牧養も盛んであることは、容易に氣附かれる。

日平、槇峯 縣の北方五箇瀬川の上流に日平・槇峯の鑛山がある。共に銅の産額が

多い。

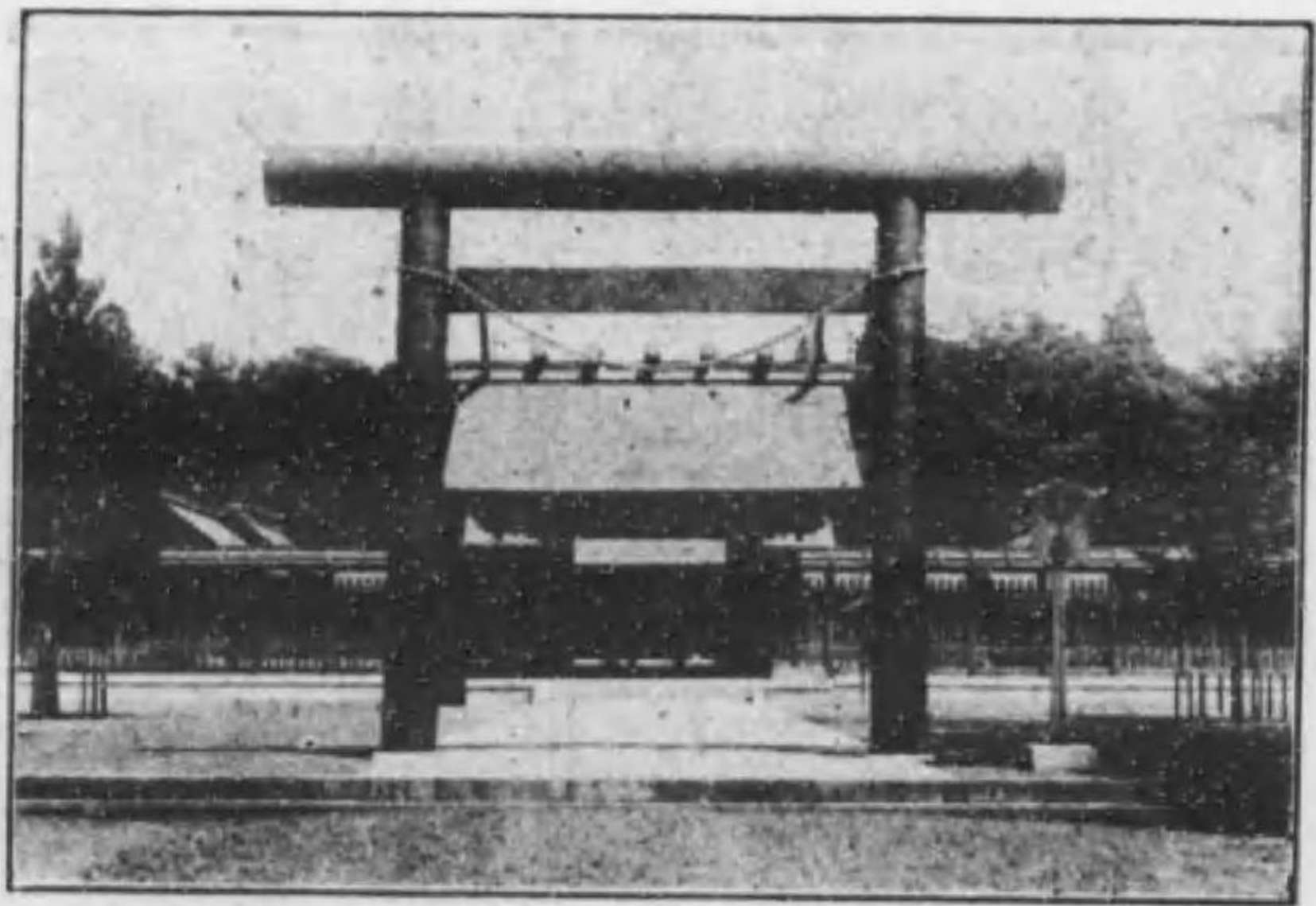
延岡 五箇瀬川の川口に位し、内藤氏七萬石の舊城地で、本縣北方の名邑である。日豊線開通後活氣を呈するやうになつた。

青 島 蒲 葵 林



宮崎(二、一) 大淀川
の下流に臨み、宮崎平
野を控へたれど、元は
寂寞たる一寒村であつ
た。然るに、一度此の
地に縣廳が設けられて
から繁盛に向ひ、後太
町と南方内海港との間

に輕便鐵道が設置されて、航路が開始されて以來一



官 幣 大 社 宮 崎 宮

層繁華になつた。附近の宮崎神宮は神武天皇を祀つたもので、町の北方約二十町の所

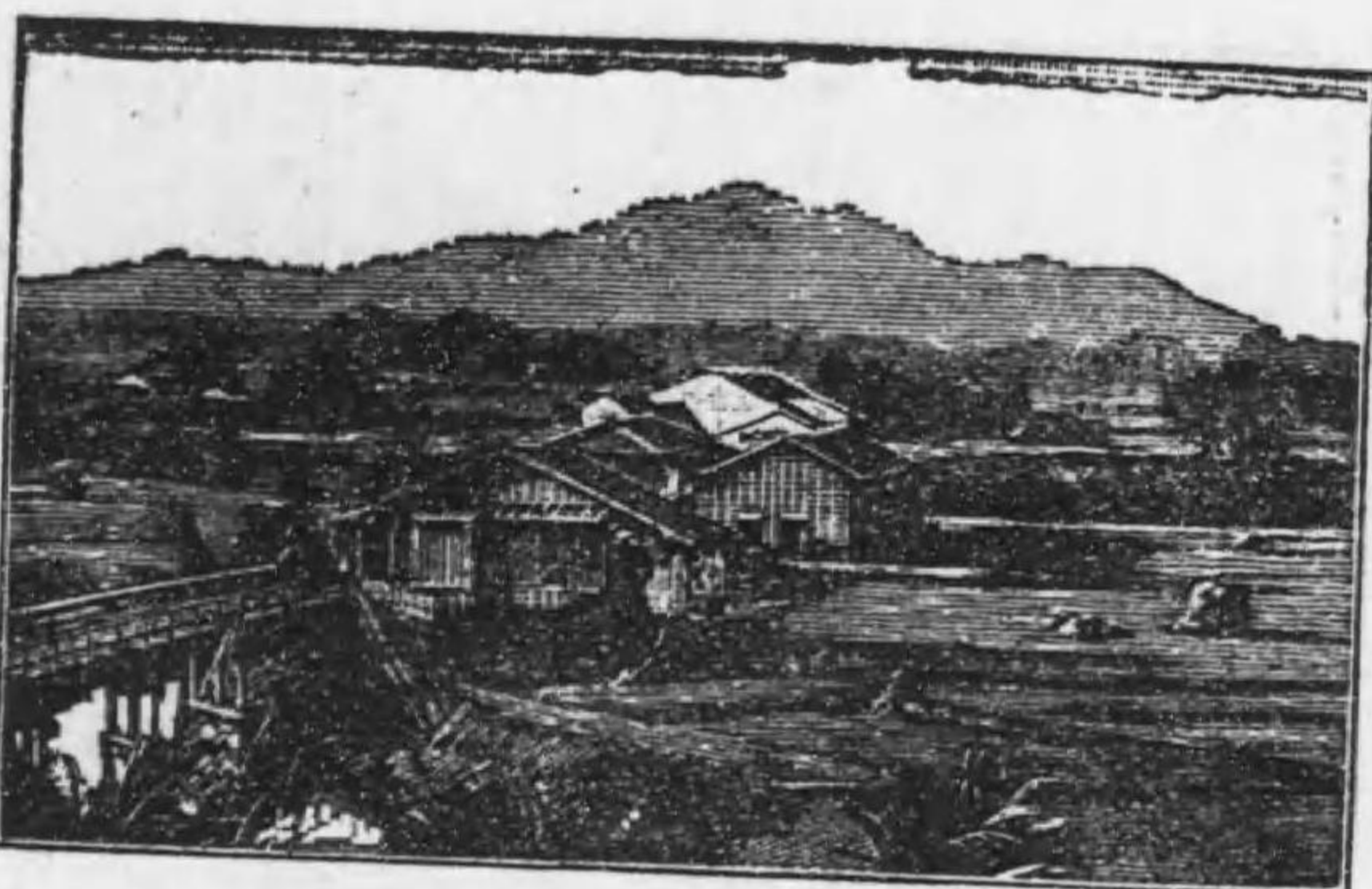
にある。

都城市 人口僅か二萬六千の小都邑ではあるが本縣下第一の大都會、縣の西南隅鹿兒島分界に近く、大淀川上流の小盆地にあり。附近は養蠶と製茶とが盛んで、また兵舎が設けられてから發展殊に著しかつた。その他美々津・高鍋・飢肥等の名邑がある。

港津

細島 北部にあつて第一の良港、大阪商船の寄泊地である。

内海・油津 内海は宮崎の外港ともいふべく、宮崎との間交通便に、米を盛に積出す。油津は飢肥地方の中心飢肥の外港で物資を吞吐す。中でも木材は殊に多い。



都城市附近の山島望む

【問題】

- 1 本縣の人文の發達が振はなかつた理由を考察推究せよ。
- 2 本縣の自然と人文との關係につきて考察せよ。
- 3 本縣都邑の分布について特徴とする處は如何。
- 4 河川の分布圖及び都邑の分布圖を描け。
- 5 五万分の一の地圖によつて美々津から北と南との海岸地形を比較研究してみよ。
- 6 青島・油津附近の興味ある地形を擴大圖によりて觀察せよ。
- 7 都城が近年市制を布くに至つた盛況は何によつて示されてゐるか。
- 8 日豊線の開通が本縣の人文發達に如何なる影響をもつて來たか。
- 9 本縣の略圖を描け。

【鹿兒島縣】

薩摩・大隅の二大半島突出して、鹿兒島灣を抱く。灣内の櫻島は、大正三年の大噴火で熔岩を流し、大隅半島と連續して、半島となつたことは前に述べたところである。平地は無いけれども米の外粟も多く、甘藷も煙草も名高い。牧畜亦盛んで多く馬を牧し、牛、豚が之に次ぐ。林産には木材・樟腦があり鑛産には牛尾・山ヶ野の金・谷山の錫が有名である。又近海は水産物に富んでゐて鯉・鰯・烏賊の産多く、鯉節が特に著はれて



櫻 島 大 根

ゐる。

この縣は南方に僻在してゐるので、文化の發達他の九縣と違つてゐる點が多い。

大隅の名邑

加治木 大隅國第一の都會で、煙草・鍋・釜等を産す。

國分 鹿兒島灣の北岸地方は薩摩煙草の産地で、煙草は所謂國分煙草、品質の優良を以つて聞え、國分はその中心地である。附近に鹿兒島神宮があつて彦火々出見尊を祀つてゐる。

薩摩の名邑

薩摩の名邑

質の優良を以つて聞え、國分はその中心地である。附近に鹿兒島神宮があつて彦火々出見尊を祀つてゐる。



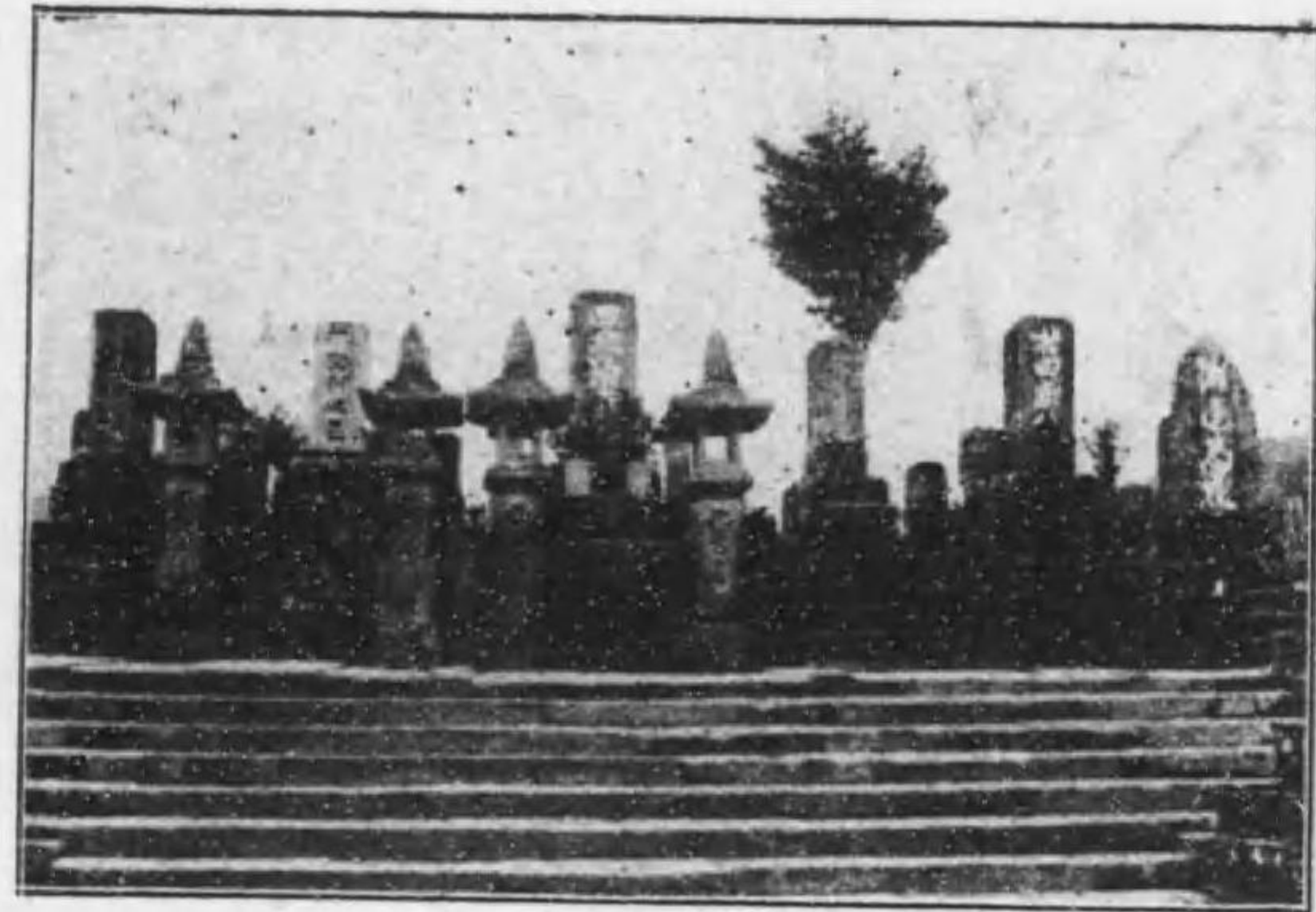
鹿 兒 島 港 さ 櫻 島



鹿兒島市(一〇、三) 前面は鹿兒島灣を隔て、櫻島を控へ、後は城山を負つて、形勝の地を占め、風光も美しく又九州南部の政治・學術の要都である。もと七十七萬石の雄藩島津氏の據つた處で、現時南部九州唯一の大都會で、市に第七高等學校造士館・高等農林學校等がある。又本市は近時貿易港として指定されて、物資を集散す。産物には薩摩焼、薩摩緋・大島紬・錫器等を出し、煙草の製造も行はれてゐる。市の内外には名勝・史跡が多く、中にも城山は西郷隆盛の死を以つて有名で、何れも維新當時の勳功を物語るものである。

山川 鹿兒島灣口に臨んだ要津で、鯉節の主産で名高い。港は伊豆大島の波浮港に似て火口港で、その規模の大きいものである。附近に湧出する温泉の数は頗る多く、五

萬分一地圖などによつてみればよく判る。



西 郷 隆 盛 以 下 の 墳 墓

坊ノ津 薩摩半島の西南岸にある小港であるが、昔支那と交通した當時は要津として活動したもので、彼の津・博多と共に日本の三津と稱せられたのである。時代の推移に伴ふ港津の盛衰がこの港によりてもうかゞひ知られる。

又薩摩半島の内外側には人口一萬以上の都邑が連つてゐる。

谷山(錫の産地) 揖宿・阿久根・出水等はそれ、多くは水産その他の地産と關係してゐる。これ等の聚落は廣大な地域を占め、人家の集合内地の聚落の如くに密でないことは、附近の擴大圖を見る場合の興味あることである。

薩南諸島 諸島の中には霧島火山脈に屬する吐噶喇諸島もあり、其の東北には種子

ケ島・屋久島がある。

種子島 全島平野が多く、牛・砂糖を多く産する。天文十二年ポルトガル人が初めて來つて、鐵砲を傳へたのは此島である。

屋久島 中央に九州第一の高峯八重岳(一九二八)が聳えてゐる。従つて全島殆ど山地で、加ふるに高温多雨であるが故に、樹木は鬱蒼と茂り、中にも杉材の良質なものを出す。大島 風俗寧ろ沖繩縣に類似し、黒砂糖の産多く、大島紬は上質を以て聞えてゐる。北岸の名瀬は良港で島廳の所在地である。従つて本島産物の集散地であることはもとよりである。

【問題】

- 1 舊藩時代鹿兒島藩に人材を輩出せしめた理由を、自然人文の兩方面から考察せよ。
- 2 本縣が甘藷・甘藷・烟草の栽培に於て、本邦有數の大縣をなすに到つた理由を説明せよ。
- 3 氣候・産業の方面からして、本縣に類似した縣があるならば、あげて彼此を 較せよ。
- 4 縣下の鑛山分布圖を描け。
- 5 鹿兒島附近を「日本のナポリ」と稱する所以は何か。
- 6 熔岩流の爲に島が本陸と連續するに至つた適例として櫻島をみのがしてはならぬ。他に同類の例ありや。

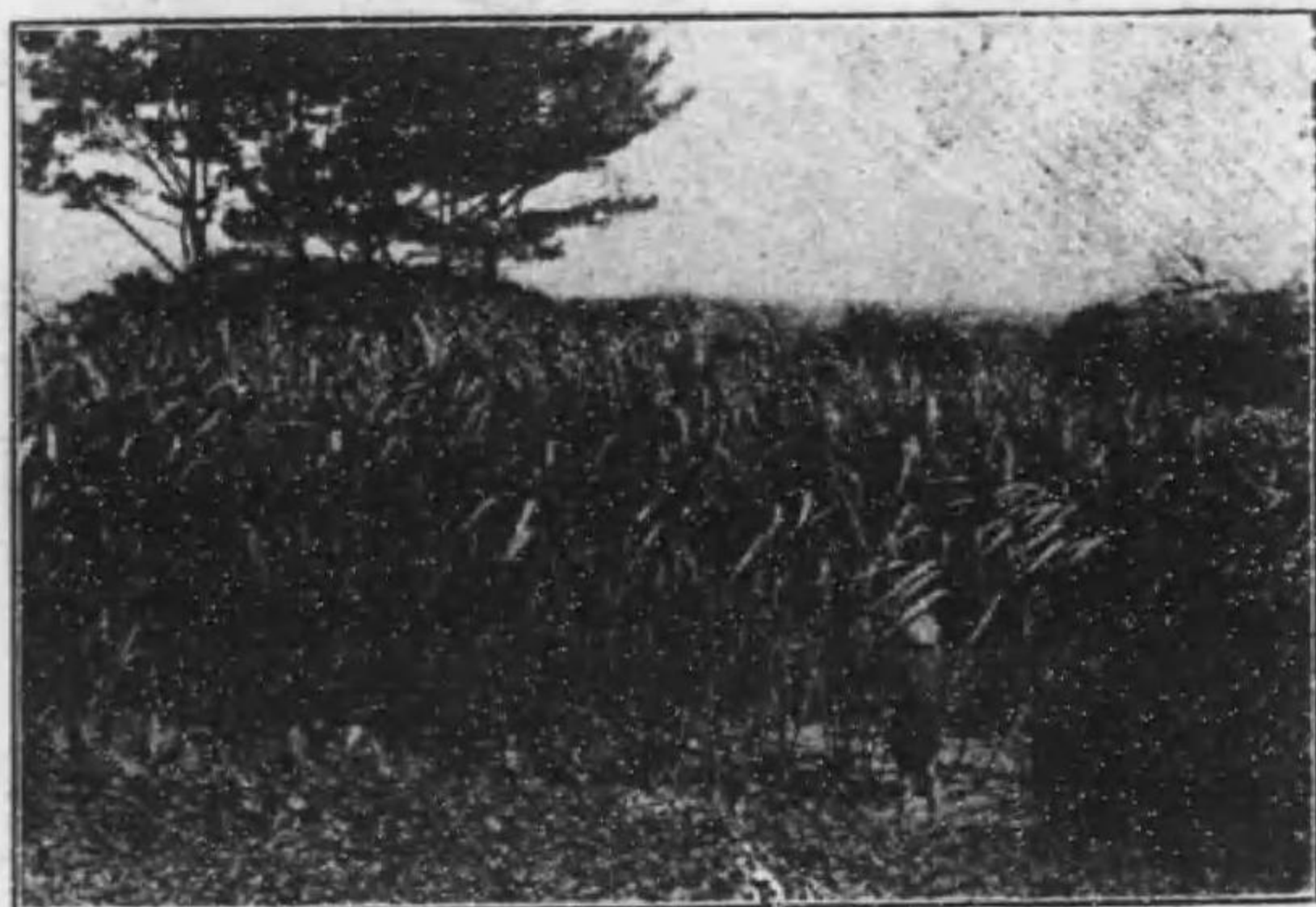
- 7 五万分ノ一地圖開闢岳圖幅の研究をなせ。地形學上實に興味ある讀圖が出来る。
- 8 吹上濱に於ける砂丘の發達につき考察せよ。
- 9 五万分ノ一地圖によつて、志布志灣(有明灣)岸の東北部と西北部と其形狀の余りに違ひのあるのは何に起因するか。
- 10 本縣の略圖を描け。

【沖繩縣】

琉球諸島は薩南諸島の西南に連り、共に東支那海の邊縁をなしてゐる。北部に沖繩諸島があつて沖繩島が最も大きく、南部には先島諸島があつて、分れて宮戸・八重山の二群島をなしてゐる。氣候は亞熱帶性で、溫暖多雨、夏秋の候颶風の中心が屢々此地方を通過して内地に來襲する。植物には榕樹・蒲葵が茂り、果實には香蕉・鳳梨・龍眼等があり、動物には飯匙倩の如うな毒蛇もゐる。又沿岸には珊瑚礁が尠くない。



榕 樹 (琉球)



琉 球 の 甘 蔗

は常に甘薯を食してゐる。又泡盛を醸し、芭蕉布を織つて衣服を製し、甘蔗を作つて砂糖を出してゐる。又豚を飼ふことも極めて多い。

本縣はもと琉球と稱して一國をなし、我國と支那との間に介在して、兩者に隸屬してゐた觀があつたが、豊臣秀吉の時から我に歸し、爾來多少の變遷を経て今となつた。

されば住民は其習俗に於て内地と異なる所があつて、特有の方言を有してゐる。人口密度は甚だ大で、彼等



沖 繩 の 風 俗

宮古群島 主島は宮古島で、その平坦で高さの凡百二十米内外であることは、容易に本島の成因を知ることの出来るものである。尙我國西部標準時の境界線は、本群島の西方を通過してゐる。

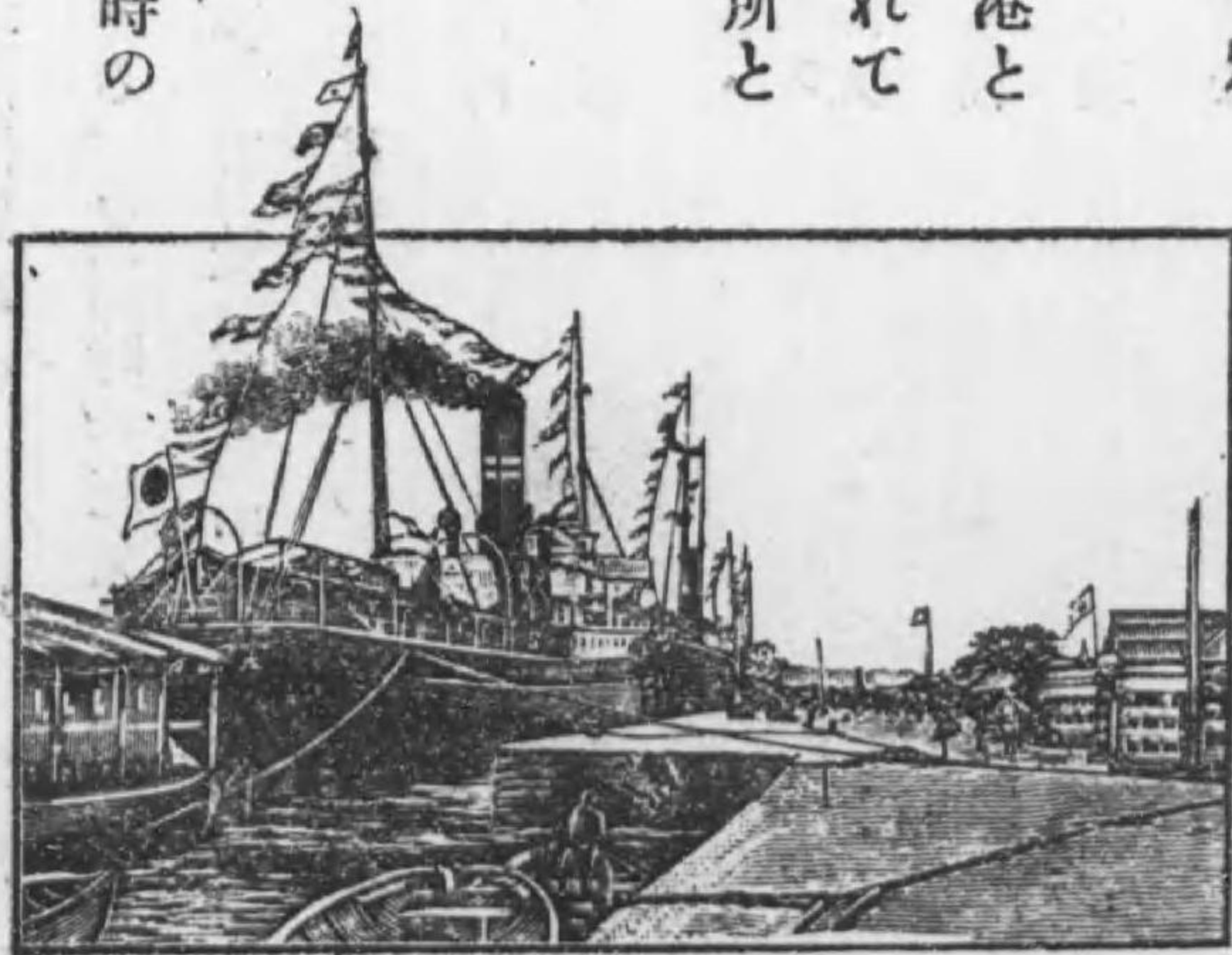


で、その珊瑚礁上に立てるは面白し。縣の師範學校・中學校も此處に置かれ、名門舊族も亦こゝに住してゐるので、市況は那覇の如く繁盛ではないが、別趣味に富んでゐる。

運天 北部の小錨地て港としては縣下第一と稱せられてゐる。海軍に重要な給水所としての設備がある。

先島諸島

頭 埠 の 那 覇



頭 埠 の 那 覇

餘の丘陵上に位す。市の中央の墟址は藩主尙氏の居城

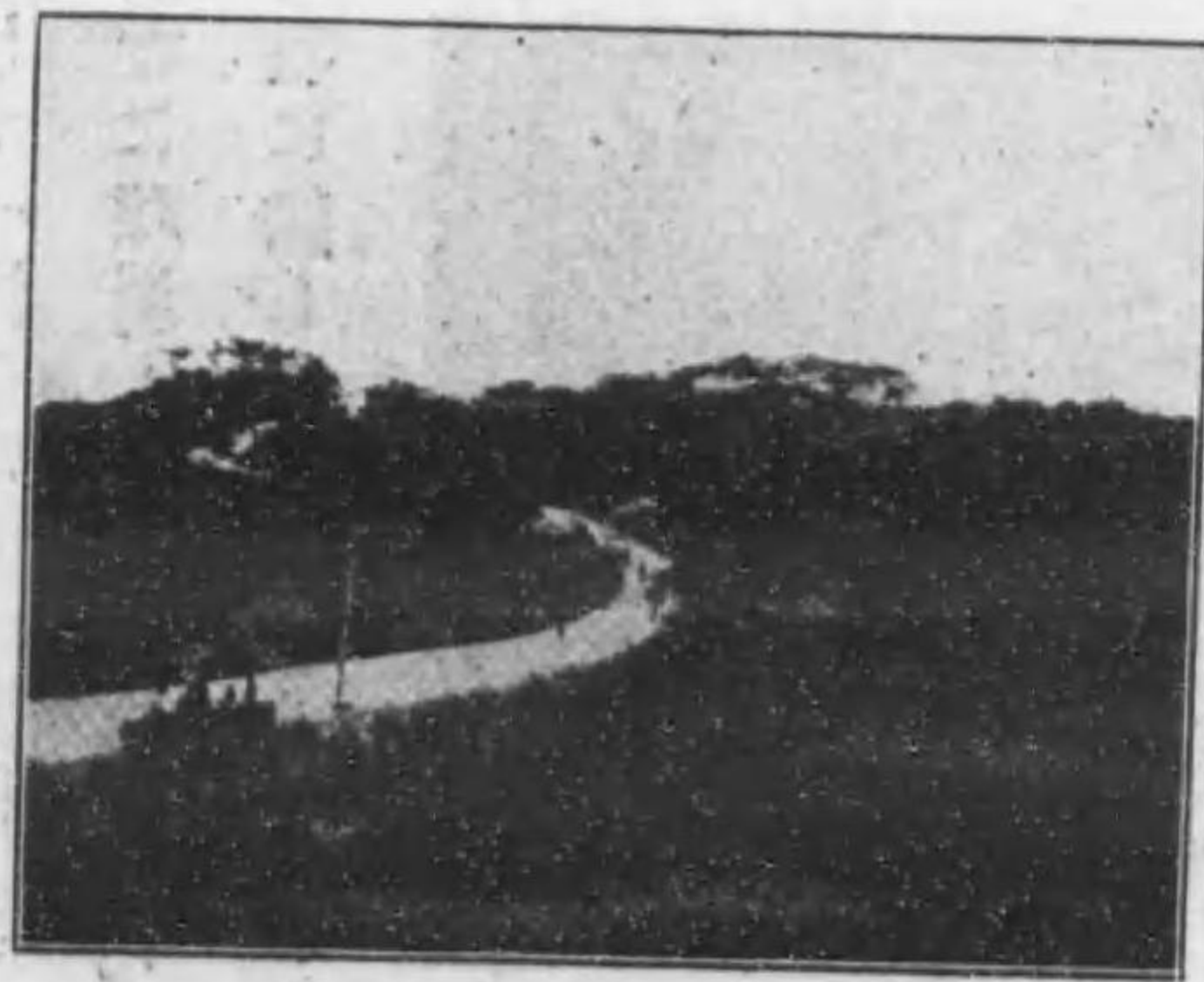


沖 繩 の 豚 肉 市 場

都會の中で那覇市(五、四)は沖繩島の西南隅にある開港場で、縣廳及び警備隊司令部がある。産物には琉球絣・漆器・夏帽等があつて、取引が盛んに行はれてゐる。開港場としての本港は必ずしも良港といふのではないが琉球唯一の開港場である所から勢力があるといつてよゝ。

首里市(二、三)
那覇の東約一里

道 街 間 里 首 那 那



道 街 間 里 首 那 那



首 里 城 の 門

珊瑚礁の内部に多く燐鑛を藏し、今盛んに採掘してゐる。

【問題】

八重山群島 石垣島は島廳の所在地で、又石垣島測候所の所在地である。又同時に鹿兒島淡水間の航路及海底電線の仲繼所で、琉球列島中一重要地である。

大東諸島 全島低平は珊瑚礁である。大東島は、動植物の分布全く南洋的で、鬱蒼たる檳榔樹の蔭に、信天翁・鷲・鴨等が啼る。沖大東島はラサ島とも稱し、周圍をめぐる珊瑚



沖大東島燐鑛採掘

- 1 小縣沖繩縣を以つて大縣なりといふは如何なる立場から見ても云つた場合か。
- 2 本縣が、我が國の經濟・交通・軍事の上からして如何な位置にあるかを究めよ。
- 3 住民の風俗が他と異つてゐる原因を推究せよ。
- 4 標準時につきて既習事項を纏めてみよ。
- 5 今迄學習した地方で珊瑚礁の例があるか、試みに列挙してみよ。
- 6 沖繩縣の地圖を描け。

第八章 臺灣 地方

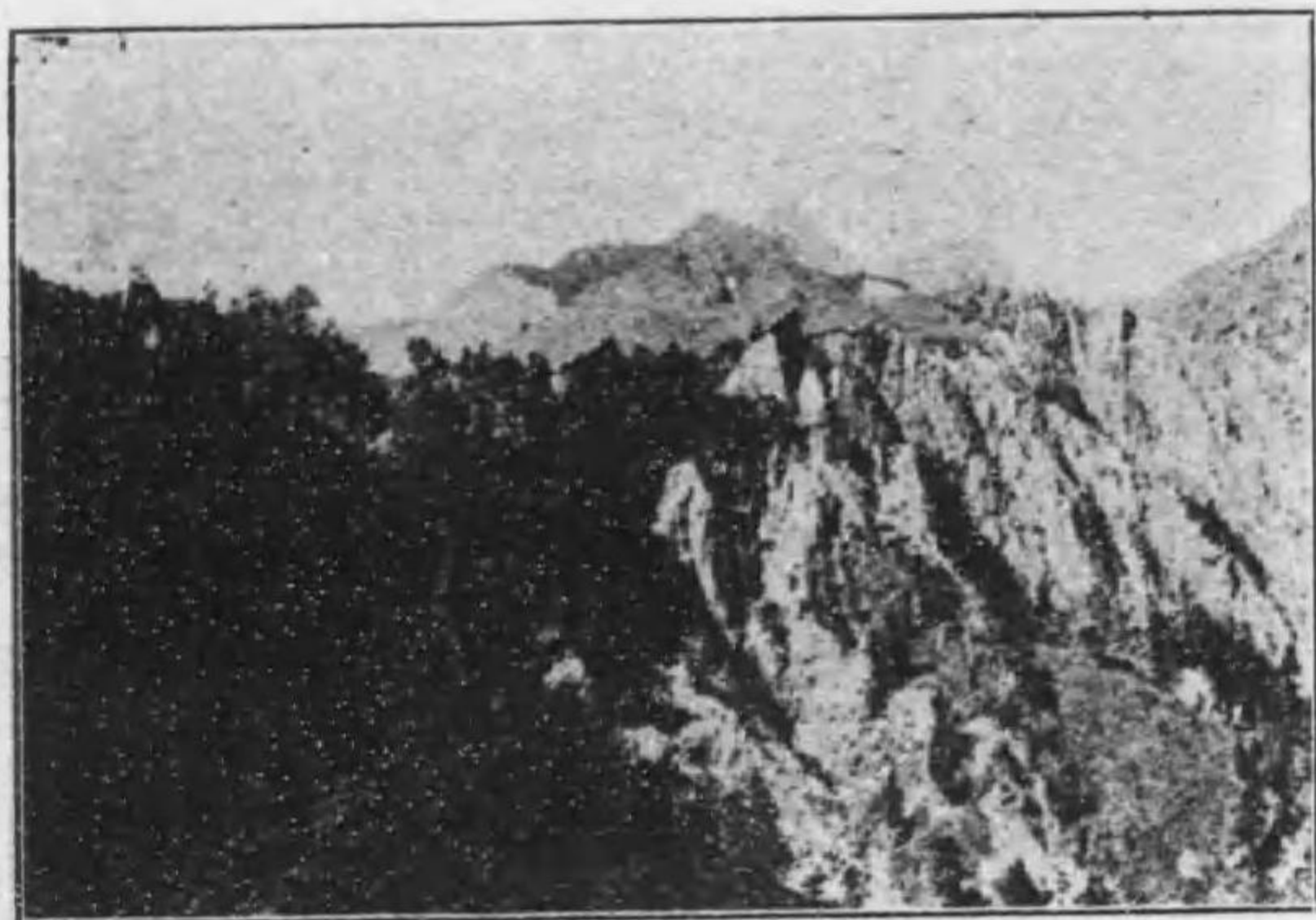
一 自然地理總說

【位置】 臺灣島は我國の西南隅に位置する大島で、西は臺灣海峡によつて支那福建省に對し、南はバシ水道を隔て、アメリカ領フィリピン諸島に對す。即ち我國南方の鎮めて、軍事・經濟の上から重要視されてゐる所である。



【地勢】
 概観 臺灣は島形南北に長く、臺灣山脈は中央を縦走し、これに併行して東に臺東山脈屹つ。河川は西部に發達して、その流域に開けた平野は、海岸平野と共に廣大な沃野を展開してゐる。
 山脈 臺灣山脈。島の中央より稍々東

を縦走する脊梁山脈で、鼻頭角に起つて南岬に終つてゐる。本邦諸山脈中最も高く、三

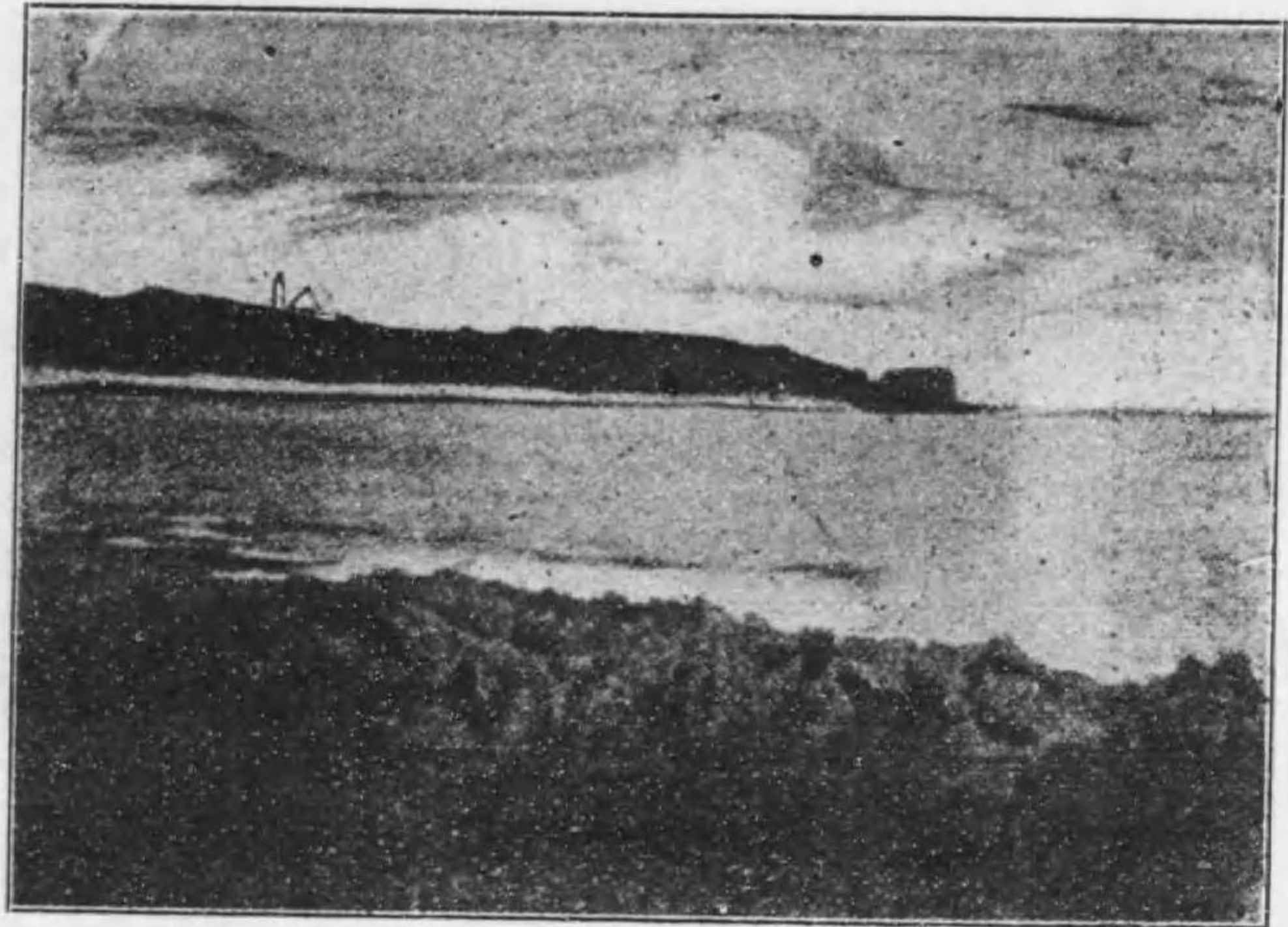


新高山

千米以上の高峰並び峙ち、山勢の雄大なること、飛驒・赤石の峻嶺てさへ及ぶものでない。中にも、シルビア山(三九三二米)、新高山(三九六二米)等富士山以上のもの數個にしてとゞまらぬ。新高山は東・西・南・北及び中央の五峯からなり、中央の主峯が我が國最高の山嶺である。西人のモリソン山といひ、支那人の玉山といふのがこれで、新高山とは明治天皇の命名された所である。

山脈の西側は緩斜して臺灣平野に移つてゐるが、東側は急に下つて、臺東山脈との間に狭長な低地を

挟み、一部は懸崖絶壁をなして太平洋に臨んでゐる。
 臺東山脈 北は奇萊溪口に起り、南は卑南溪口に了る。長さも幅も共に大きくない



にも北投温泉が最も名高い。本火山群の属する火山

が、山勢巍然として東は二千米以上の絶壁を
なして海に臨む。

臺 大屯火山群 本島の北端にある火山群で、

大屯山・七

星山・観音

山等の總稱

で、各峯何

れも火口を

もつてゐ

る。山麓に

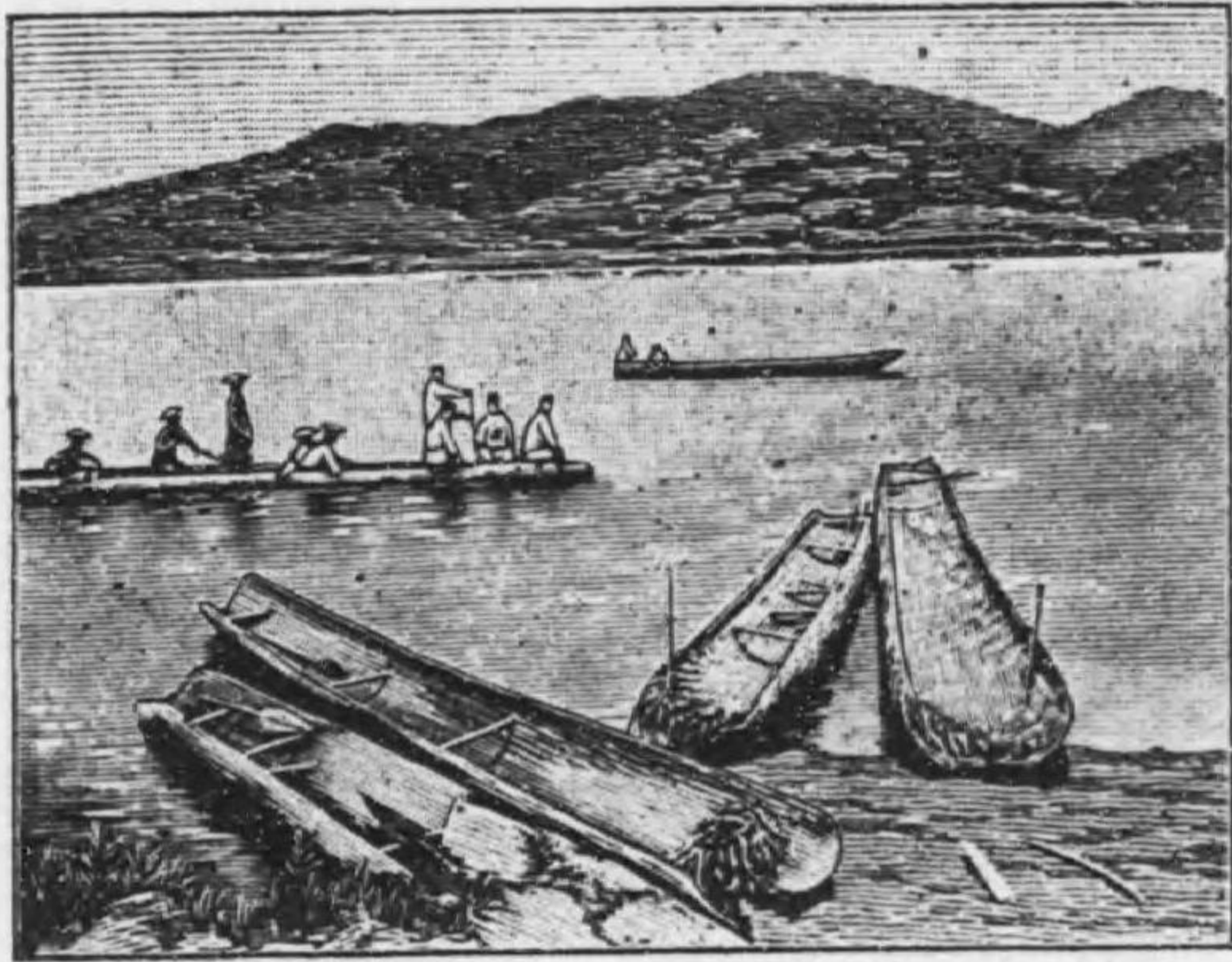
は温泉の湧

出多く、中



濁水溪と鐵橋

脈は西南走して、臺灣海峡中の澎湖諸島に至つてゐる。

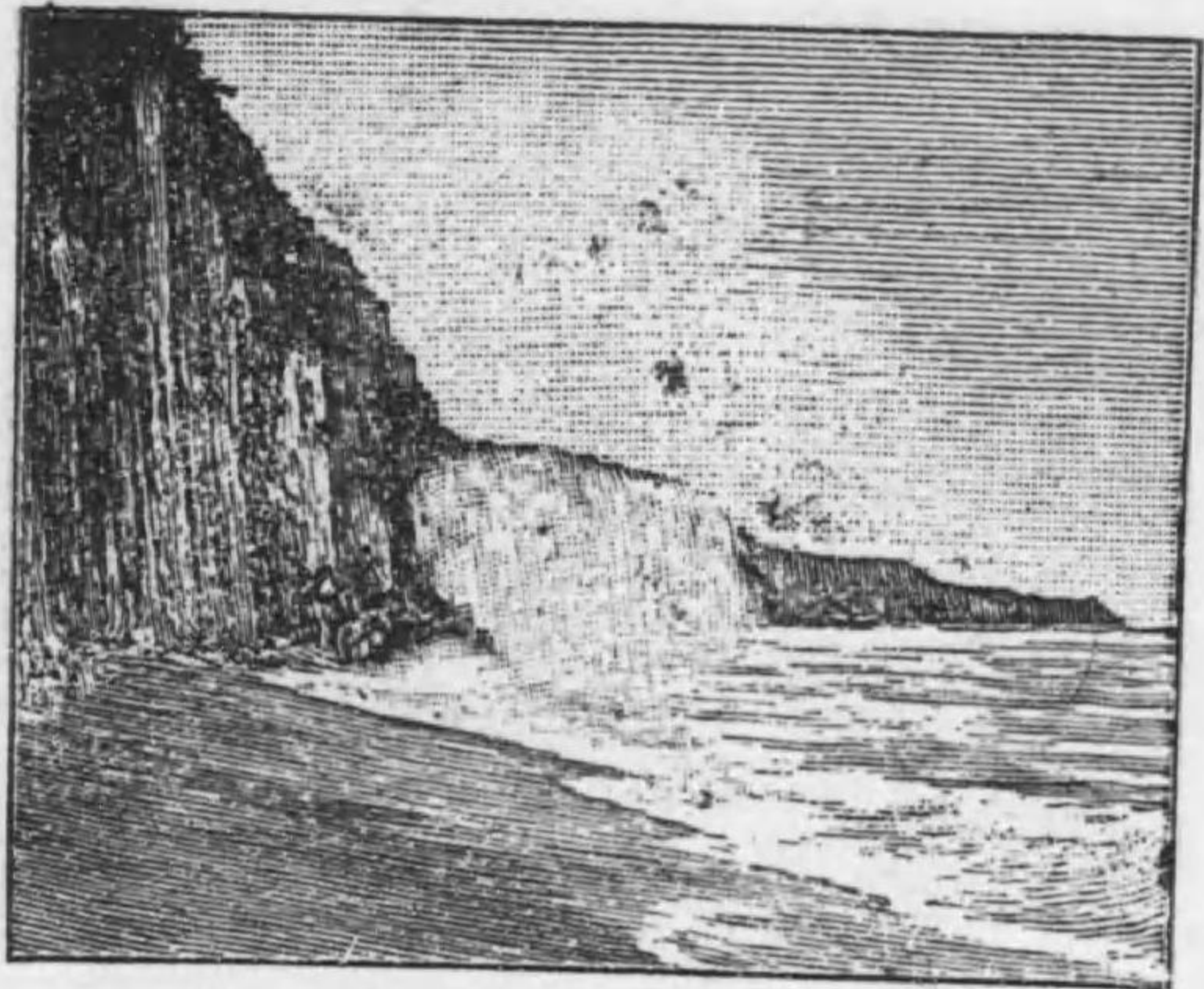


日月潭と丸木舟

河湖と平野 脊梁山脈は島の東方に偏し、且つその
傾斜も東斜面に大であるので、臺灣平野は西方に展
開する。地形の關係上、河川の長大なものは西斜面
に多く、北から淡水河・大甲溪・大吐溪・濁水溪・下淡
水溪等はその主なものである。されど之等の河川は
上流は山地を流れ、深谷急流をなして蕃界に入る關
門をなし、下流は急に平野に出るので、流は數派に分
れ、土砂を流出して廣い河原を作り、大雨の時の如
き、濁水忽ち氾濫して河道ために變遷し、往來を絶つ
に至る。されば舟運甚だ不便で、一二の外下流も舟を

通ぜぬ。斯くの如くて、或は道路の開通、鐵道の敷設等に多大の障害を與へ、本島發展
の上に大打撃を與へてゐる。勿論從來河川の利用の利かない主要な原因には、久しい

間の支那領時代を通じて、何等治水工事に意を用ひることのなかつたといふ歴史的原
因をも考察せねばならぬ。然し近來この狂奔急湍の水力を利用して、水力電氣事業を起



東 岸 絶 壁

すに、多大の便益を興へてゐることを忘れてはならぬ。而して東太平洋斜面は北から、奇萊溪・秀姑巒溪・卑南溪等がある。獨り秀姑巒溪は中國の江ノ川に似て先行河 (Antecedent River) の形式をとつて横谷をなしてゐるが、他は何れも模式的な縦谷を作つてゐる。

湖沼は極めて稀で、唯濁水溪に注入する日月潭のみが、その風光の美を以つて著れてゐるに過ぎぬ。

平野は西側に所謂臺灣平野があつて南北に延長し、東側には北部に宜蘭の小平野がある。

海岸 本邦諸島中海岸の出入最も乏しく、殆ど同面積である九州沿岸線延長に較べた

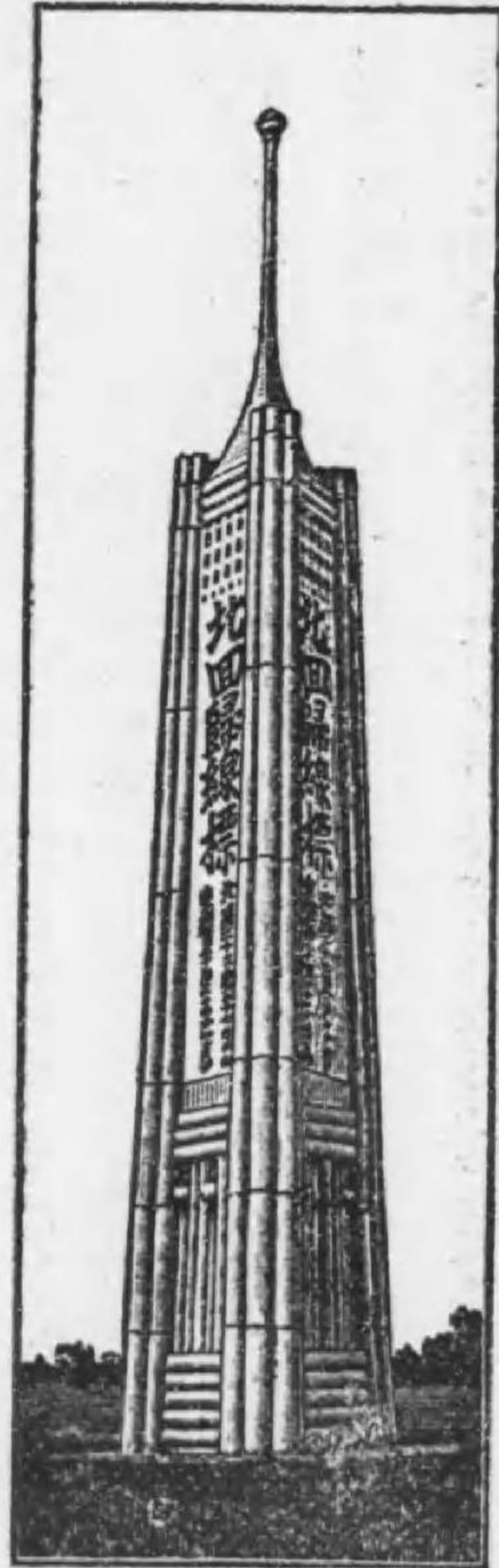
ら其の三分の一しかない。殊に東海岸は前述の如く山脈急斜して概ね峻岸をなし、そのドーム角附近の如きは二千百米以上にも達して、世界有數の高斷崖と稱へられ、蘇澳の外には好錨地をみない。西海岸は概して平直な砂濱で砂洲・潟湖多く且つ遠淺なので、大船の寄船に便利でない。従つて僅かに竹筏によつて連絡を圖つてゐるのである。
島嶼 としては臺灣海峡中に澎湖諸島があり、東南太平洋上に五島嶼等があるに過ぎぬ。

【問題】

- 1 臺灣山脈が日本アルプスと較べて一層雄大なることを例をあげて説明せよ。
- 2 臺灣山脈と臺東山脈との中間にある縦谷の成因を各種の事情からして考へ得られるか。
- 3 本島西斜面に於ける諸川が山地から平野に下る場合、多くの分流をなすことは何の理由か。又既習地方にこれに似た例はなかつたか。
- 4 二十萬分の一地圖によつて臺北盆地附近の地形を Map Reading しよ。
- 5 東西兩海岸を比較して、その著しく異なる點をのべて。

【氣候・生物】

氣候 北回歸線は島の略々中央即ち嘉義の南三哩の所を通つてゐるから、南五分の二



臺灣の北回綫標

涼で、寧ろ内地の高温な所に比敵する位である。唯夏季が稍長く、五月から暑氣を感

じ、十月に及ぶといへば、流石は熱帶

地であるとうなづかれる。一年は乾雨

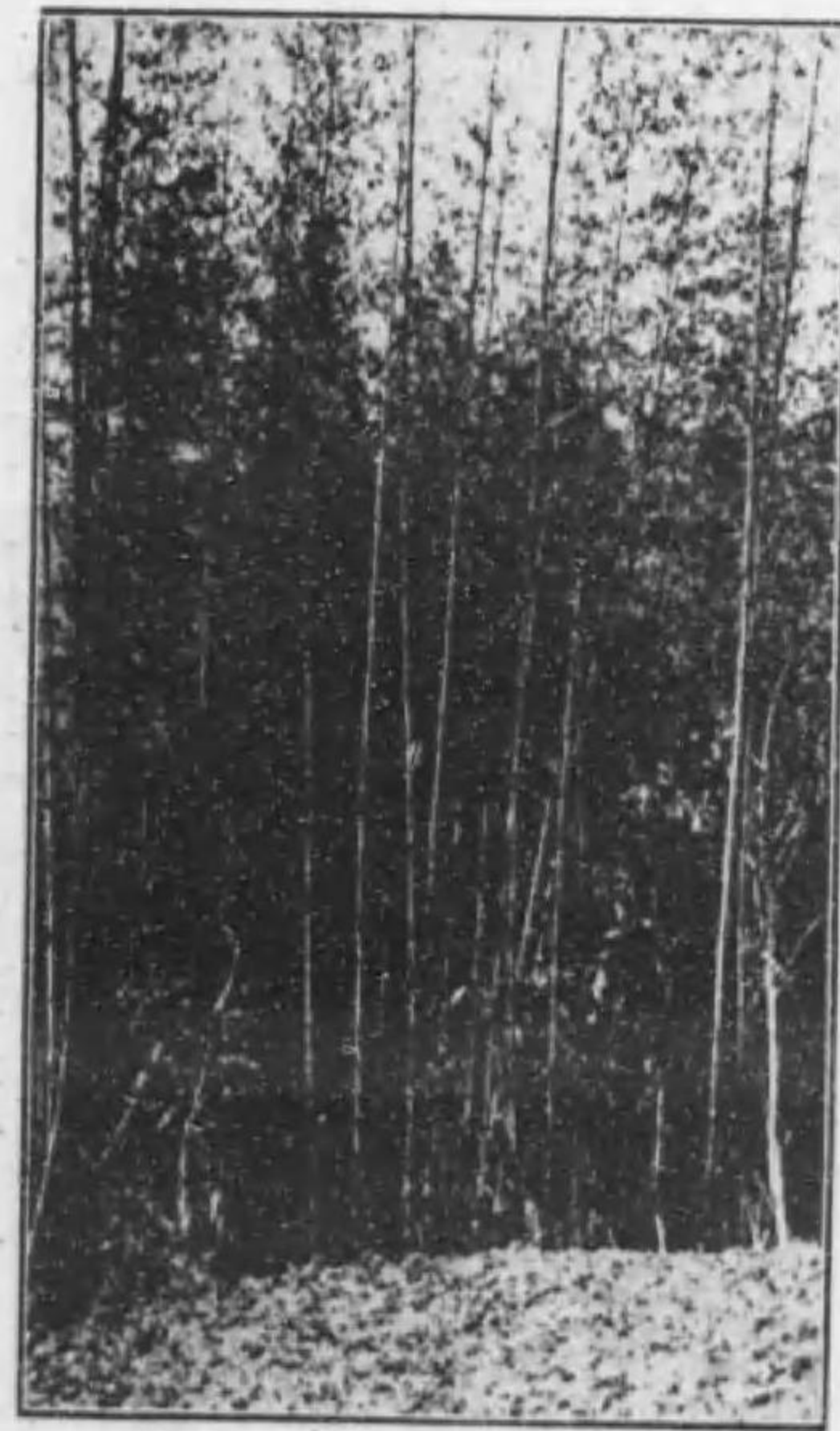
二季に分れ、冬季は東北氣節風が吹い

て北部が雨季に入り、南部は乾季とな

る。夏季は之れに反して西南季節風を

受けるので、南部雨季となり、北部乾

季に入る。雨季に於ける降水量は莫大



桂竹林

は熱帶圈内に在る。然

し、島地なので、同緯度

の土地であつても、印

度・アラビヤ・アフリカ

等に較べると著しく冷



椰子樹の茂り

で、殊に基隆地方は我が國の最大量を
示してゐる。又琉球と同じく年中風が
強い。殊に夏秋の候、フィリピン或は南
洋等
の方
面に

發生する低氣壓が北上して來て、所謂颱風の慘害を
起すことが屢々ある。

生物 生物も、熱帶性に屬し、殊に植物は沖繩又は

小笠原に比べて一層明かにその性を示し、尙垂直的

分布の變化が著しい。但し、動物は植物の如うに著

しくはない。即植物には低地に榕樹・檳榔樹・林投

樹・竹類・杣羅・藤・芭蕉等が茂り、水邊にはマンゴ



穿山甲

プの成長するをみる。又高地には樟・檜等暖帯性の密林がある。動物には穿山甲が特有で、西海岸は珊瑚礁の發育が盛んで、船舶の出入を妨げることが尠くない。

【問題】

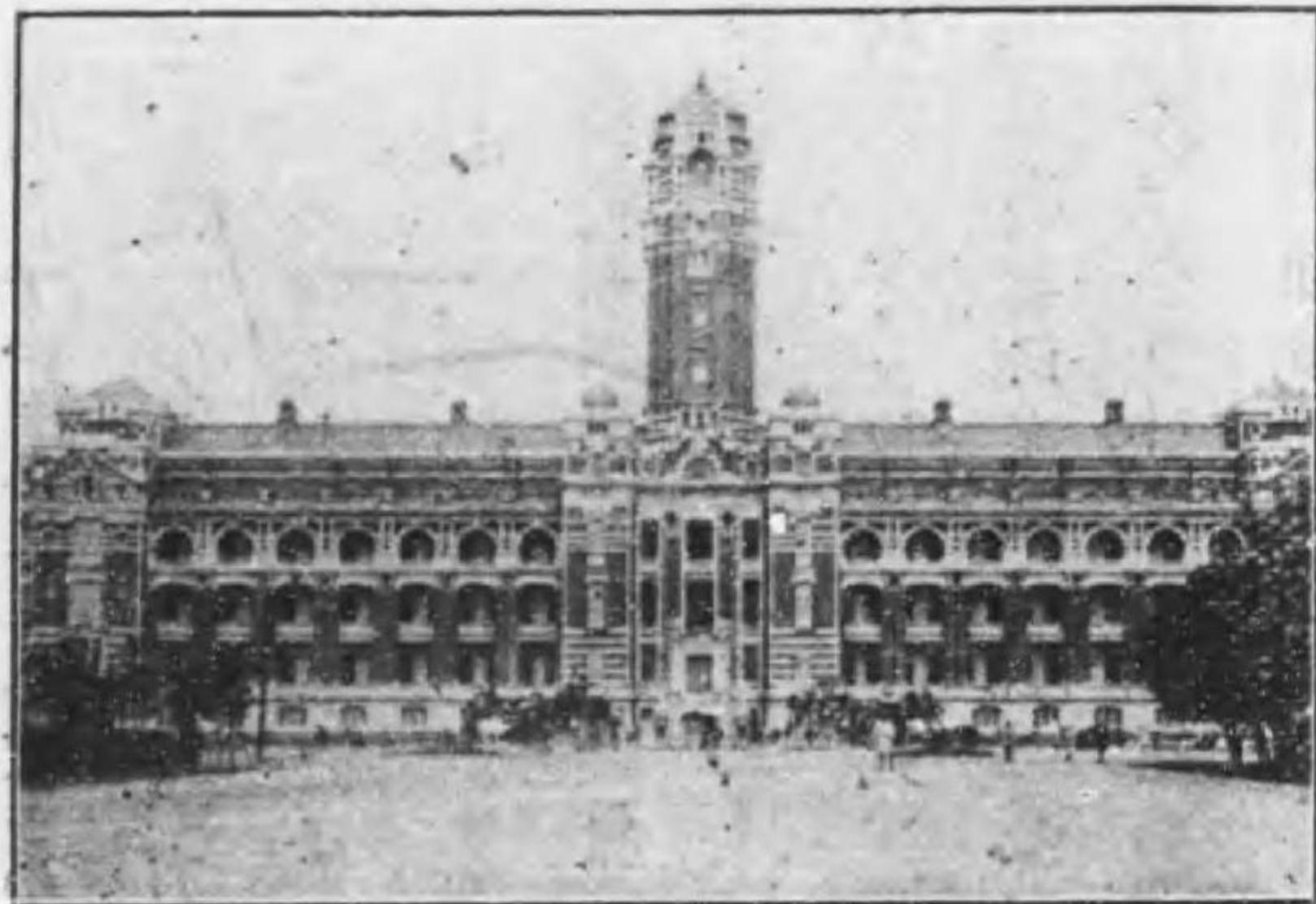
- 1 脊梁山脈と氣候との關係につきて考察せよ。
- 2 夏の溫度表をみるに基隆に高く恒春に却つて低い理由は何か。
- 3 澎湖島の氣候は支那大陸の影響なりと思はれるか。
- 4 世界地圖を開いて臺灣と同緯度の地方を舉げてみよ。
- 5 當地方の氣候が産業に如何に關係するかを豫め考察すべし。

二 人文地理總說

【政治】

行政 中央官廳として總督府を置き、總督はこれが長として立つてゐる。總督は府縣の知事とは趣を異にし、親任で内閣總理大臣の監督をうける。(知事は勅任で、内務大臣の監督をうける)又立法・行政・司法の全權を委任される外に、若し武官總督である時は臺灣軍司令官を兼ねしめられ、たとへ文官が總督であつた場合でも、安寧秩序の

維持のため、兵力の必要を認められた時は、その管轄區域内に於ける陸海軍の司令官に兵力の使用を請求することが出来る。これからすれば兵馬の權をも與へられてゐると見ても差支へない。



臺 灣 總 督 府

さて總督府には總督官房の外に内務・財務・遞信・殖産・土木・警務の六局と別に法務部とを置く。地方行政。今は全島を臺北・新竹・臺

中・臺南・高雄の五州、臺東・花蓮港の二廳に區分し、州知事・廳長を任命し、五州は五市・四十六郡に、二廳は五支廳に區劃し、それ々に市尹・郡守・支廳長を置き、更に郡の下に二



總 督 府 官 邸

百五十八の街庄を置き、支廳の下に三街十八區を置き、もつて圓滑なる運用の下に統治の實績をあげてゐる。

財政 明治三十年度から初められた臺灣總督府特別會計は、本島に於ける收入と國庫の補助とで、經營を支へてゐた。所が明治三十八年度からは、全く國庫の補助を要せずして、獨立の會計を營む能力を得たのである。此の如く短期間に於て、克く財政の獨立を樹て得たことは、もとより爲政家の施設宜しきを得た結果に相違はないが、亦本島に於ける天與の富源の無盡藏なるに負ふ所も少くない。

帝國最初の殖民地財政政策は、此の迅速な効果を齎らしたのであるが、其後年を逐ふに従ひ、愈々順調に運び、同四十二年度からは反つて國庫を補ふやうになつた。この點は朝鮮などと比べて研究すると面白いことである。

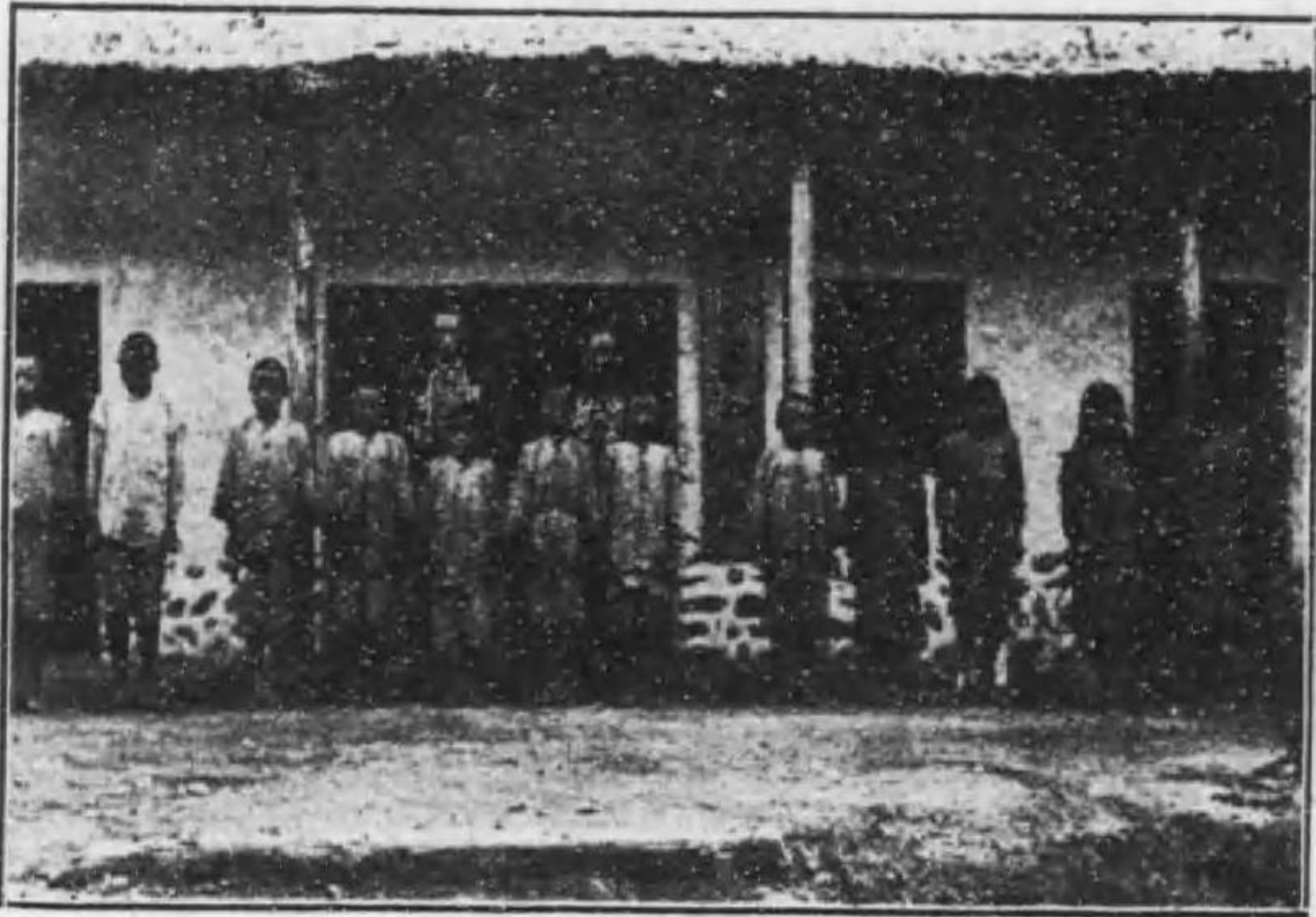
司法 臺北に高等法院、臺北・臺中・臺南に地方法院を置く。司法機關は總督に直屬してゐる。

警察 警察機關について特に他と異つた點は、最近まで蕃人に對する蕃地警察が千

の隘勇を有し、或は多數の飛行機をも備へて威嚇飛行を行つたこと、及び島民をして

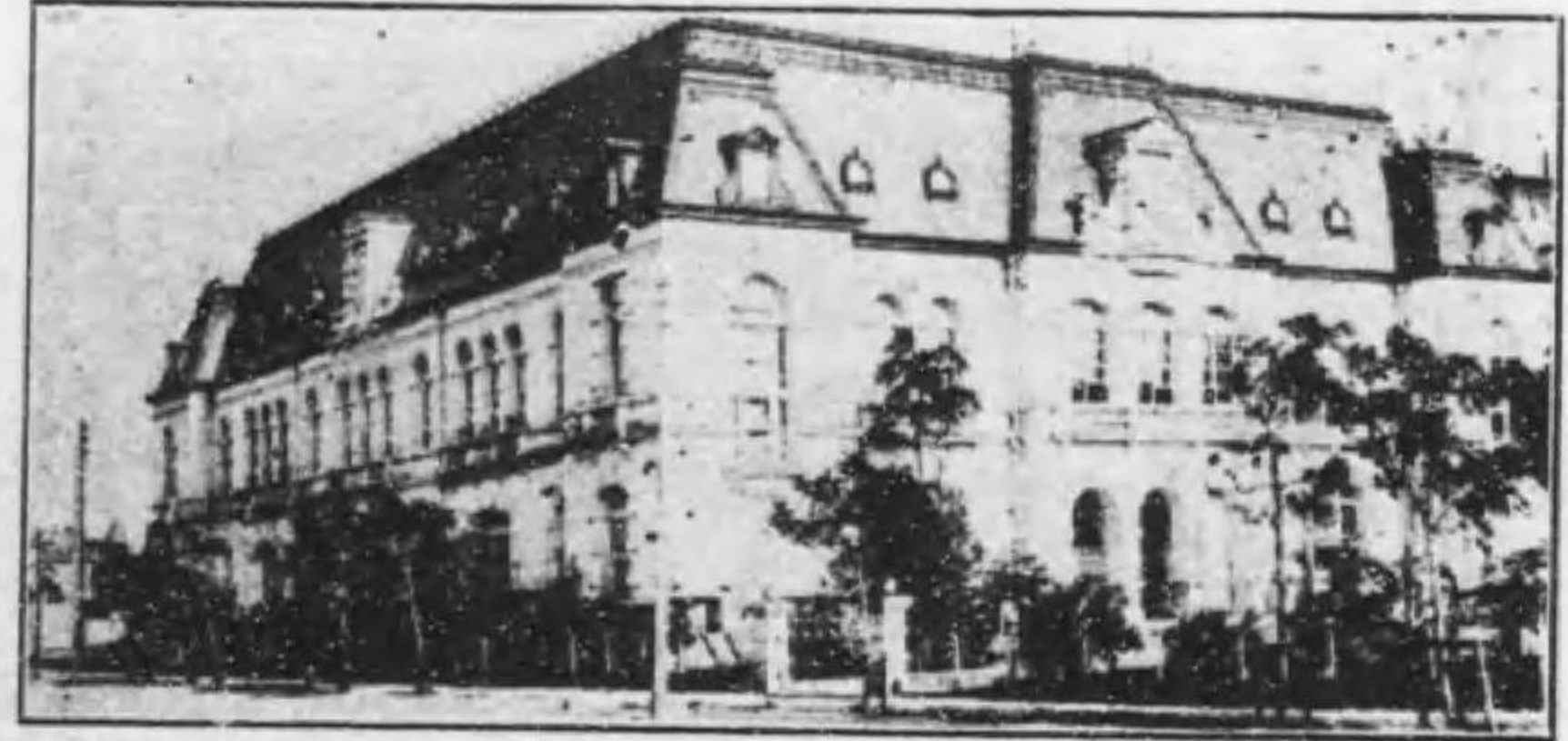
自發的に安寧秩序を保持せんとする美風を發揮するやう、特殊な保甲制度を設けたことなどである。

教育、宗教 教育 一方内地人の教育のためには臺北・臺中・臺南の各地に小學校・中學校・高等女學校・師範學校・商業學校・工業學校を置く外、臺北に高等商業學校及醫學專門學校專門部がある。一方本島人の教育のためには公學校・蕃人公學校の小學程度のもの、外中學程度のものに公立高等普通學校・公立女子高等普通學校・同師範科・總督府師範學校・公立農業學校・同商業學校・同工業學校・同簡易實業學校



蕃學堂女子教育狀況

等、專門學校としては總督府農林專門學校・同商業專門學校・同醫學專門學校等がある。



總 督 府 圖 書 館

宗[○]教。本島人は種族の關係上、固有の宗教として儒教・道教等を信じ、何れも各種を同一廟宇に合祀してゐる。外來の宗教に神道・佛教・基督教等があつて、各教共その傳道に努めてゐる。

防備。本島防備のために、陸軍大中将から軍司令官が親補されて、軍隊を統率する。軍隊には臺北に第一守備隊、臺南に第二守備隊がある。又基隆及び澎湖島に要塞を設けてゐる。澎湖島の馬公は要港部で帝國南境の防備を嚴にしてゐる。



臺 灣 神 社

【住民】 人口約三百八十二萬、全島平均密度は一、九〇六人で、關東地方の三割六歩に當り、奥羽地方よりも遙かに大き

い。五州の中で臺北・臺南兩州は平均以上で、殊に臺北は各府縣中愛媛・廣島兩縣等に比敵するもので、臺東・花蓮港の二廳は殆どお話

にならぬ程の稀薄で、彼の岩手縣等に比しても尙且二分ノ一に少し大きい位である。

蓮[○]花。内地人は約十七萬八千人、蕃人(マライ種族)は約十

港[○]三萬人、他は本島人即支那種族である。

木[○]瓜。本島人は元來對岸の南支那(福建・廣東省)地方から移住した民族で、言語・習慣總て南支那人に異つてゐない。然し近年著しく内地人に同化する傾向が増して、産業上偉大な勢力を有してゐる。普通土人と稱するのはこれである。



蕃人(マライ種族)は本島原住民の住民で、文化の程度によつて分けて、熟蕃・生蕃の二つとする。熟蕃は山麓の地に支那人と雜居して、耕作・力役に従事するので性質は温順

である。然るに生蕃は東部の山地に住み、他種族と接觸する機會が少なかつたので、依然として固有の状態を保ち、甚だ犖猛で、常に鬭争を事とし、首狩の蕃風を有し、幾多の蕃社に分れ、各社に首長があつて之を支配してゐる。中でも中部以北の深山に住んでゐるタイヤル族が最も狂暴である。それで、これ等は甚だしく我が理蕃當局をなやますもので、従つて隘勇線を張つて或は討伐し、或は慰撫し、今日では概ね歸順させることが出来た。

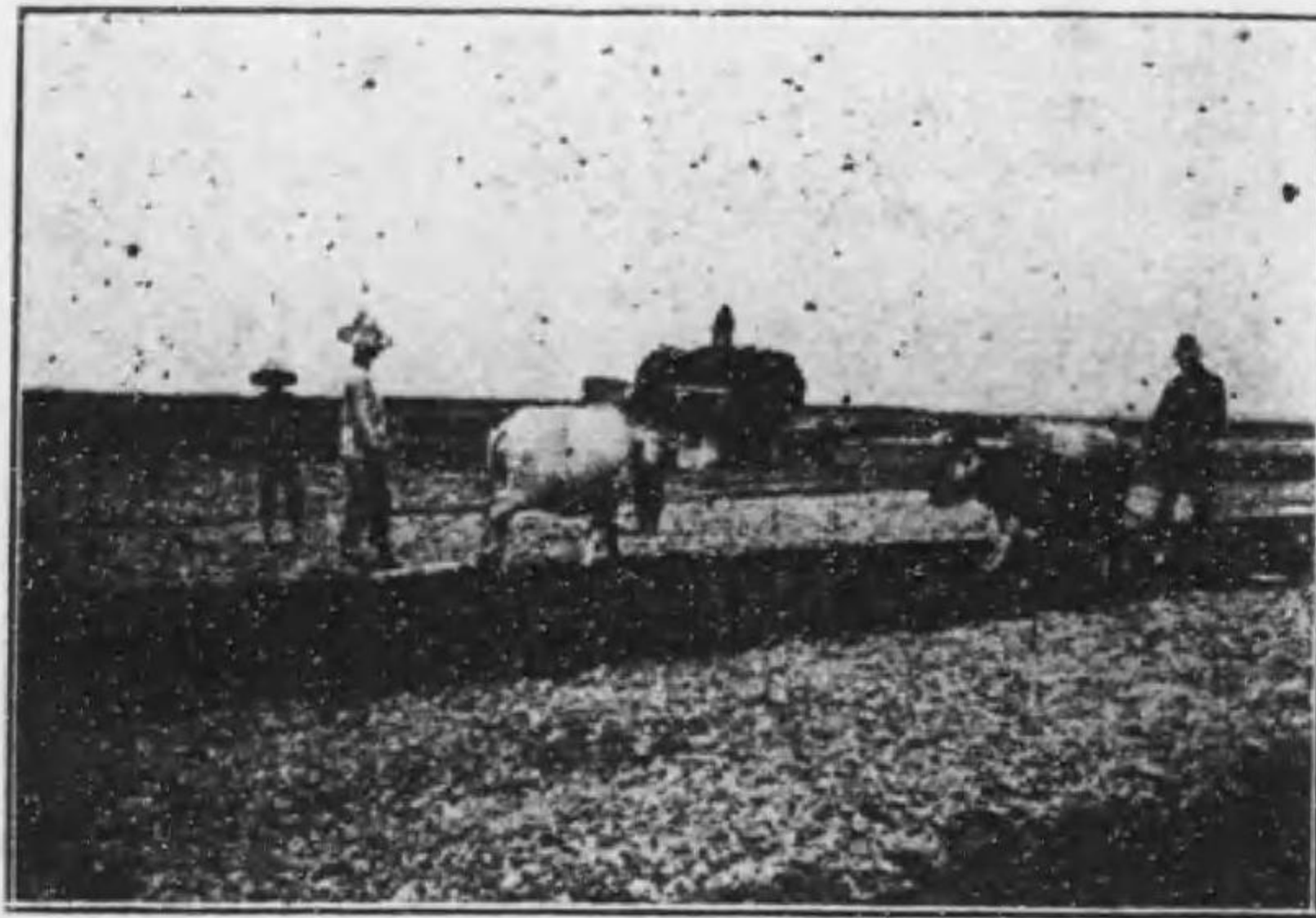
【問題】

- 1 臺灣の政治・軍備が内地と同一様でない理由につき各自の考へを語れ。
- 2 本島の住民が、如何なる點に於て既習地方の住民と異なるか、これを詳に述べよ。
- 3 生蕃人の生活状態について知つてゐる點があらば述べよ。
- 4 本地方の人口密度が奥羽地方に比べて遙かに大なる理由如何を研究せよ。

【産業】

領臺後既に三十年の星霜を經過した今日でも、一部の人を除いた内地人の大多數は、臺灣といふ所は、生首を狙ふ蕃族と毒蛇が横行して、年中むし殺されるやうな焦熱の地

とのみ思つてゐるやうであるが、それは臺灣を知らない迂愚な話である。曾て東洋



水 牛 の 耕 作

に初めて來航したポルトガル人が、海上から遙かに臺灣の緑したゝるやうな風光を眺めて「フォルモサ」と絶叫したといふが、それは決して誇張の讚辭ではなかつた。Formosaとは、もと美しいといふ意味で蓬萊に通ずる。今日の臺灣は全く常夏の蓬萊島である。天恵の豊かな點に於て、生活のし易い點に於て、到底他の樺太・朝鮮・滿洲等の比ではない。内地人の最も懸念する氣候の如きも、内地人の想像とは異り、盛夏でさへ涼風驟雨常にいたつて却つて、内地よりは凌ぎよい位である。

農業 領臺以來本島の農業は著しく發達して、生産總額明治四十四年に九千三百萬圓（蔬菜を含まず）から十年後の大正九年には二億百七十一萬圓。實に當年の二倍を超え

るに至つた。而して耕地も倍加し、住民の約三分の二が之に従事してゐる。されば今や農業は本島の主要産業で、其産物は島内の需要を充たすに止まらず、漸次内地及び海外へ輸出する様になつた。



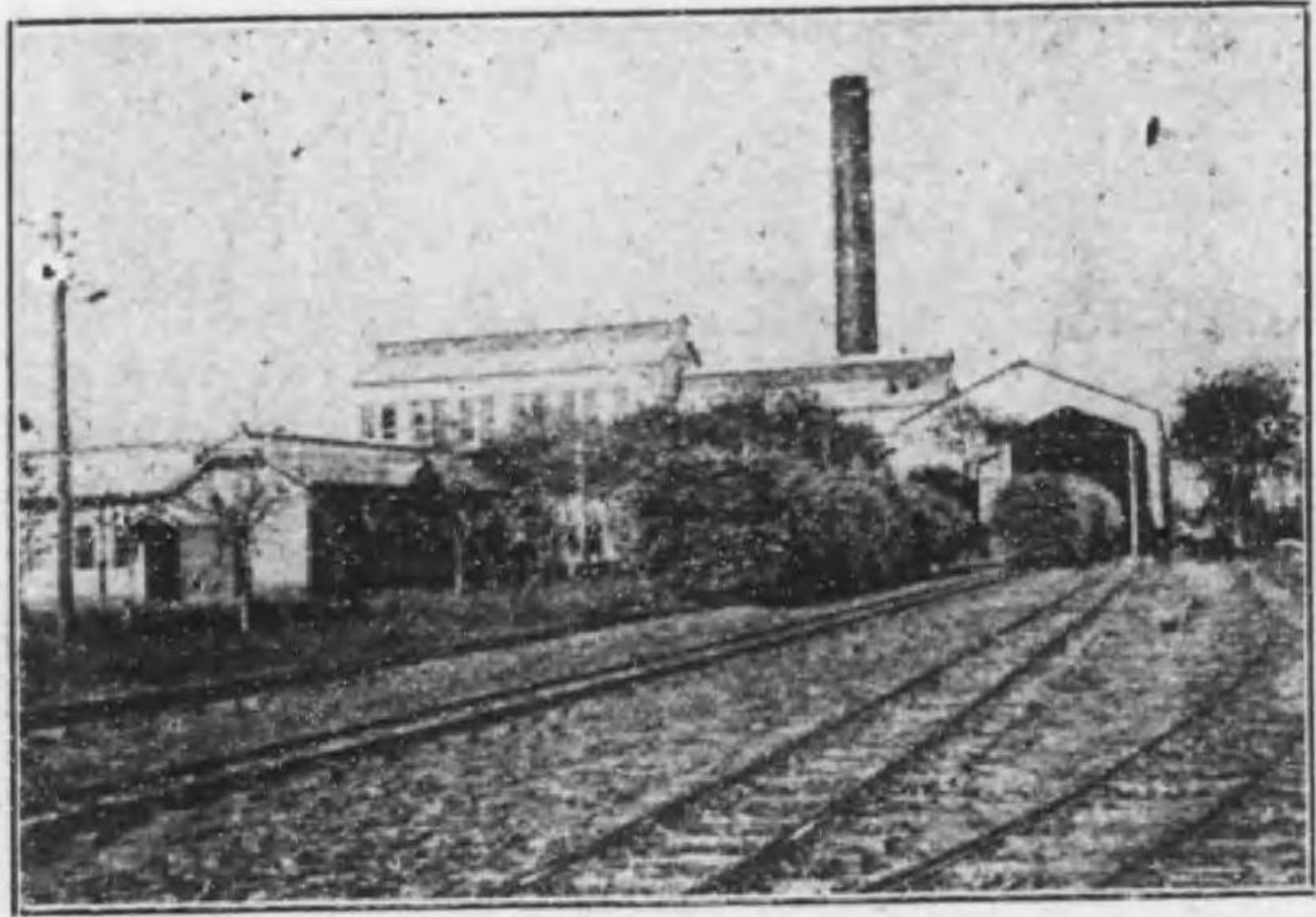
桶 灌 水 (南 臺)

米。本島の氣候は米の栽培に適し、西部諸州に産して、年二回の收穫がある。領臺以來、品質の改良、栽培の奨励に努めた結果大いに面目改まり、年産額五百萬石に上り、従つて移出額も年百數十萬石に達し、甘藷・甘蔗と共に本島三大農産物の一と數へられてゐる。

甘藷。米に亞ぐ食用農産物で、良く本島の氣候に適する故四時到来る處に栽培される。其品種も多いが、近年盛んに新優良種を入れて栽培に努めてゐる。主

産地は臺中・高雄二州で、直接食料とする外切干薯・酒精原料として輸移出し、又澱粉原

料にも供してゐる。



大 日 本 糖 業 株 式 會 社 製 糖 工 場 (南 臺)

甘。蔗。臺灣といへば、誰でも砂糖と生蕃を思ふ。とほど左様に臺灣の糖業は盛で、我が國の財政經濟上に及ぼす影響は甚大なものである。即ち本邦全産額の四分の三を占め、樹木の繁茂の許されてない澎湖島を除けば、全島産出しな所はない。殊に中部以南の臺中・臺南・高雄三州に最も多く、その粗糖は本島第一の富源をなし、高雄・安平等を経て、北九州及京濱等の工業地帯に運ばれて行く。又支那へも輸出される。

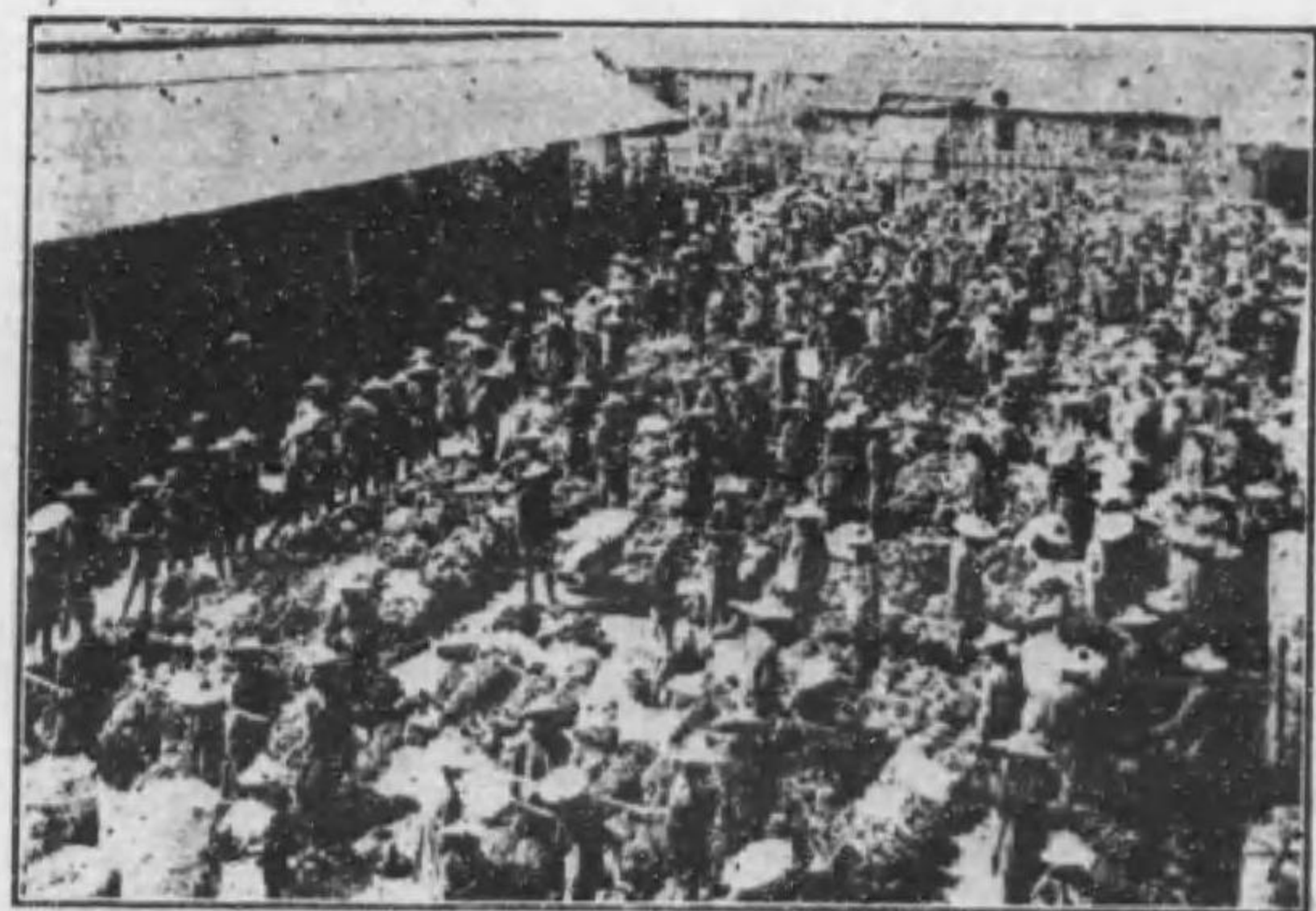
茶。臺灣には、世界的な産物がいくらかもある。烏龍茶の如きもこれである。此頃銀座邊りのカフェーを初め、一寸した場末の喫茶店でも、烏龍茶を飲ませるやうになつた。これから烏龍茶王國時代が来るかも知れぬとは、屢々耳

がするところである。



臺灣の茶園

にするところである。産地は、臺灣北部の新竹・臺北二州の丘陵地帯で、この邊の農家で粗製されたものが、仲買商人の手に買ひ集められて、船や汽車の便で臺北の大稻埕に運ばれる。こゝは臺北の最も賑やかな本島人街で、臺灣茶の唯一の市場のあるところである。こゝで粗製の



台北市

茶が烏龍茶・包種茶の二種に再製されて、烏龍茶はニューヨーク・ワシントン・シカゴ等主として米國方面に、包種茶は南洋方面の殖民地に輸出される。茶に



果物店の光景

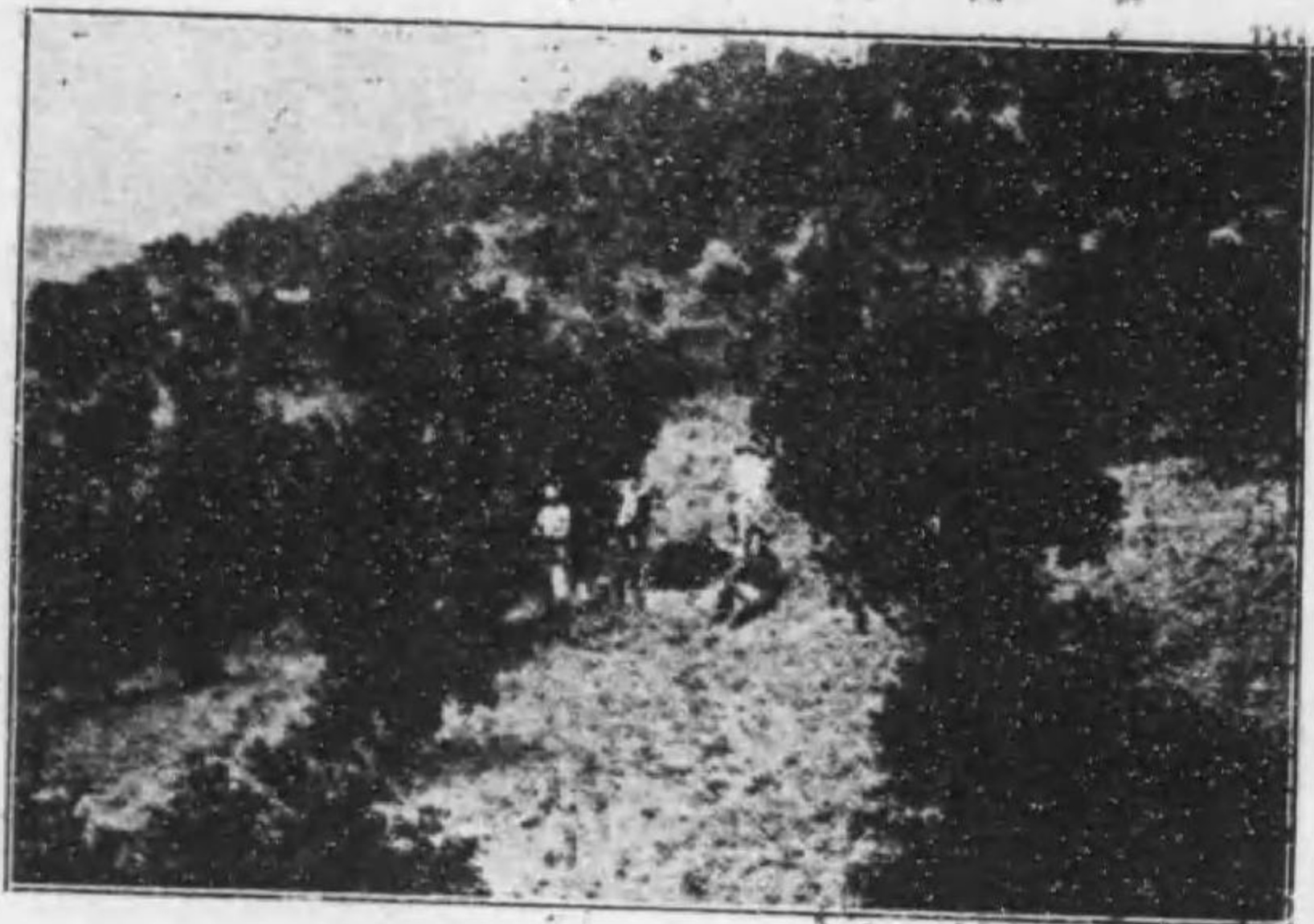
將來、現在の收穫の二倍以上になることはたやすい。果實 臺灣を旅行した人は、到る處にバナナの大きな房の下つた芭蕉をみるであらう。山地へ行くと野生の芭蕉すら澤山ある。四季を通じて常に花が咲いて、實を結ぶのはこのバナナ、だけである。

門司や下關の埠頭で賣つてゐるバナナ、が、東京・大



果物

肥料を施さないことの臺灣人の迷信によつて、何等施肥をしないでも今日の産額を示してゐるので、若し適當な肥料を茶園に施せば



價が漸く高まつて來た。

畜産 未だ盛んであるとはいへぬ。

牛類 本島の牛類は水牛と黄牛との二種で、その専

新 竹 柑 橘 園

阪邊りのに比べて安く且つ美味なのは、臺灣航路の汽船によつて直接運ばれて來るからである。琉球や小笠原にも産するが、それは臺灣の二割にもつかぬ。

バナ、の外パイ
ンアツフル・龍眼
等の果實が最も多
く産出され、近年
は柑橘も栽培され
文旦・斗柚等の聲



牛 水 の 中 水



ら農耕・運搬用に使用されることは内地の馬匹の如うである。水牛は性温順、體格肥大、

力強くて粗食に耐え、耕作上缺くべからざるもの。

黄牛は體格大小不同であるが、一般に水牛よりも小

さく、且亦温順で力強く、而も動作敏活で運搬用に使

用される。されば共に遍く全島に飼養されてゐる。

豚は本島人主要の副食物であるので、盛んに飼養

してゐる。頭數實に内地の約五倍である。

林業 山林面積は本島全面積の約八割を占め、その

中過半は蕃地に屬する。蕃地の森林は、蒼鬱たる樟

の自然林、檜の美林等で、今尙千古斧鉞を加へず、

昔乍らの原性林であるが、蕃地以外の地は支那民族

の渡來して濫伐濫墾をなして結果、满目荒涼の狀をすら呈してゐる。こゝに總督府が莫

大の費用を投じて、林政の振興に努めてゐる理由もわかる。造林事業中、最も盛んなの



阿 里 山

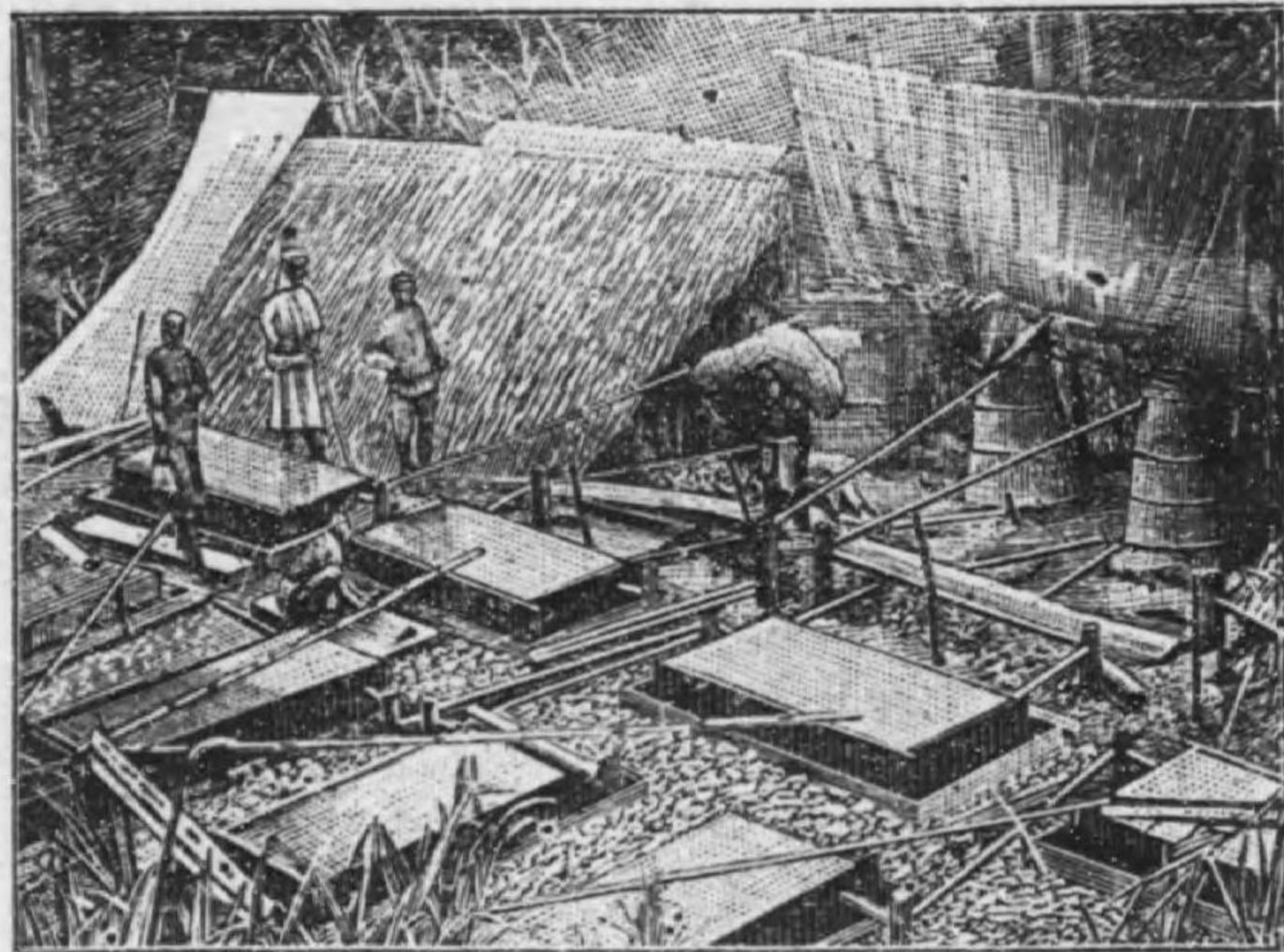
は樟樹で、その他、規那・護謨・古柯・椰子・有加利・チーク等も望を
 囑されてゐる。それで最も有名な森林は、阿里山・入仙山・濁水溪兩
 岸等である。

樟腦 樟腦は東洋の特産で、就中臺灣に最も多く、全世界總産額
 の大半を供給してゐる。樟腦は驅虫用・防臭用・醫藥用に供せられ
 る外、此頃歐米共に、セルロイド工業が急激に發達して來たが、そ
 の原料の大半が臺
 灣産であるから、
 製腦事業の將來は
 益々多望である。



阿 里 山 の 神 木

阿里山の森林 新高山の西に連なる一
 團の林地で、林材に富む。現今伐採中
 で、特設の鐵道によつて運搬する。嘉



樟 腦 の 製 造

多く、西海岸は一帶に海が浅く、それに幾多の大河川が
 流れ入つて、干潟の發達が著しいので、昔から筏漁業
 が盛であつた。

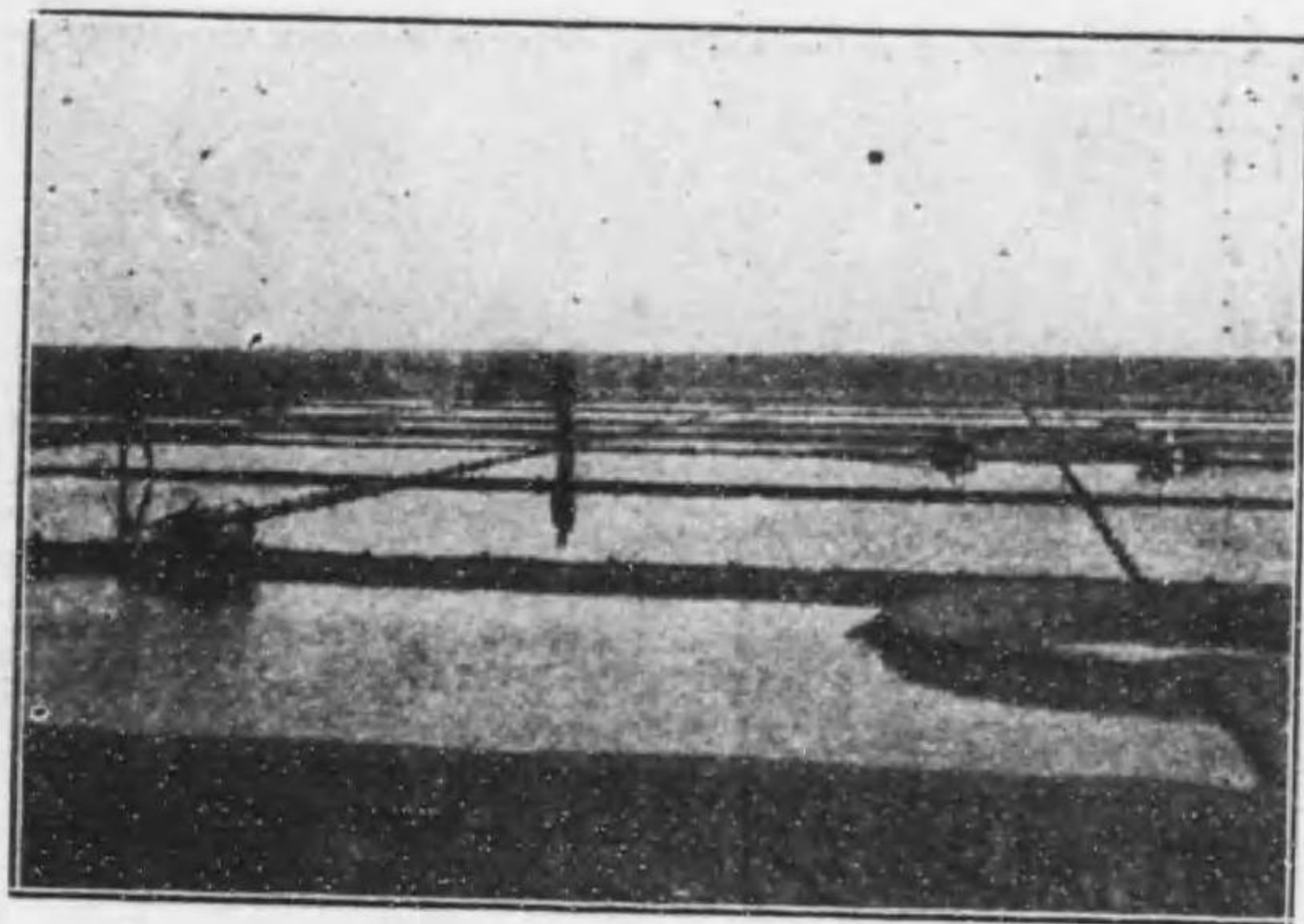
義に大製材所があ
 る。

水産業 山と平野に
 恵まれた臺灣は、水
 にも恵まれて、四面
 環海の水には無盡藏
 の水産がある。東海
 岸は水が深い上に黒
 潮が流れてゐるので
 鰹やまぐろや飛魚が



嘉 義 の 官 林 廠

尙南部の海面にも北部の海面にも好漁場多く、産額は十年前に比べて八倍近くの増額を示してゐる。實に著しい發達をなしたものと云へる。又最近有名になつた基隆沖



鹽 田 (南 臺)

合大珊瑚礁の珊瑚採收は、多大の注意を拂はれてゐる。由來我が國の珊瑚は、土佐と長崎が本場であつたが、此頃は、同地方は殆ど荒廢に歸して、基隆の産額とは比較にならない。尙臺灣は日射が強く、風の多いため西南海岸は天日製鹽に適し、臺南・高雄その他の地に盛んに行はれ、臺灣鹽と稱して内地に移入する外、樺太・朝鮮其の他へも積出されてゐる。この製鹽の事業は樟腦と共に政府の專賣である。

炭・銅等は基隆の南方に、硫黄は大屯、火山に産出する。其の他石油も大いに囑目され

鑛業 未だ幼稚の域を脱することは出来ぬ。されど

北部には盛んで、金は金瓜石・瑞芳等から出され、石

て來た。油田は殆ど本島の全部に亘つてゐるといはれてゐるが、新竹・臺南兩州の如き盛んに鑿井に努めてゐる。

工業 未だ盛大なりとはいへぬが、各種の原料に豊富なこと、今後の本島に於ける工業界の發展に力

強い點である。現時

は製糖業を除くと小

規模の手工業又は家

内工業であるとみた

い。

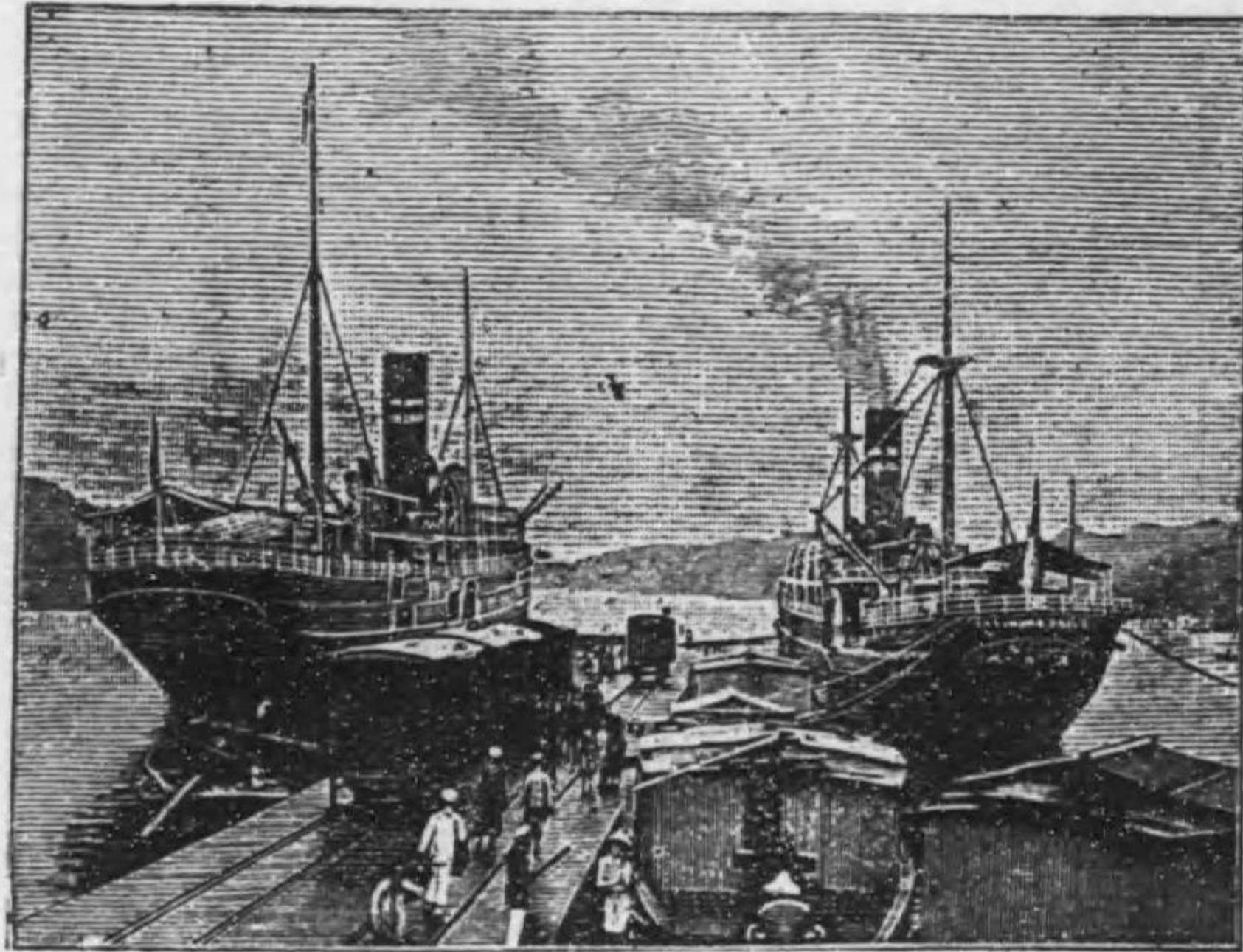
商業 臺北・臺南は主な商市で、基隆・淡水・安平・高雄

を四大開港場とする。中にも基隆及び高雄は築港工事

の完成と共に、内外船舶の寄泊いよく頻繁となつた。



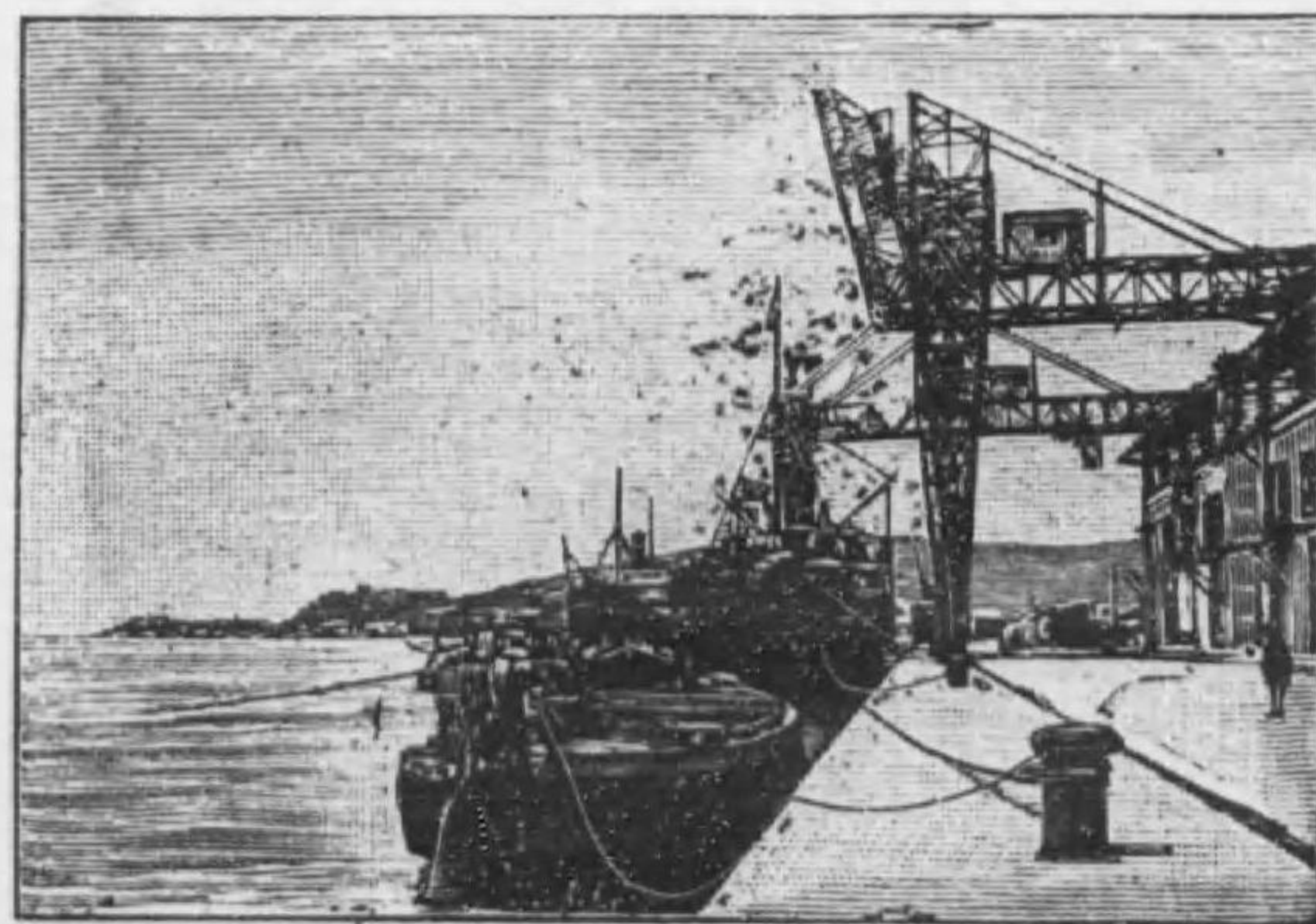
金 瓜 石 鑛 山 全 景



基隆港の棧橋

又支那型船の貿易のためには舊港・後龍・梧樓・鹿港・東石・馬公の六港を特別開港場としてゐる。四貿易港の輸移出入額が逐年増加して行くのに對し、この六港の全く反對の傾向にあるは注意すべき現象である。

内地との取引は基隆・高雄を經由して・粗糖・米・樟腦及び樟腦油等を



高雄港

移出し、外國貿易は支那・アメリカを主とし、基隆・淡水を経て米・樟腦を輸出し、阿片・煙草を移入す。

【問題】

- 1 本島産業の分布圖を描け。
- 2 本島の産物中主なもの數種(例へば、米・甘藷・樟腦・金等)の産額を他地方のそれと比較してみよ。
- 3 阿里山産の良材を用ひて造營した神宮等を知れりや。
- 4 四大開港場の年々發展するに對し、特別開港場の年々衰微し行くは何故なりや。
- 5 本島の産業上に及ぼせる地形及び氣候の影響如何を考察せよ。
- 6 臺灣産の樟腦に對して他に競争品の發明されしことを知れりや。

【交通】

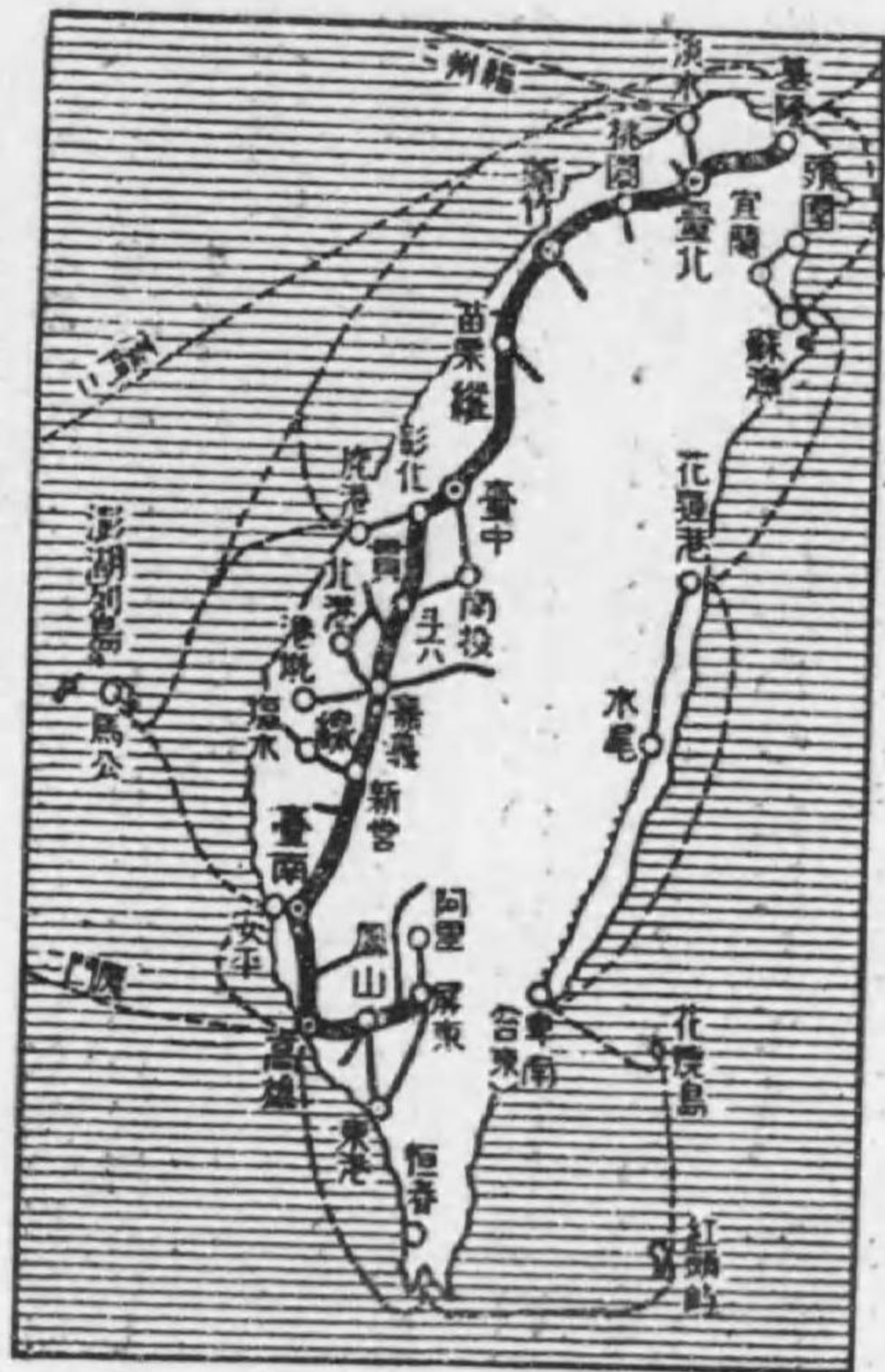
道路 本島古來の習慣として官府は殆んど道路に關與することなく、富豪等の特志經營に委ぬべきものと見做され、偶々官府が補助をするか、若しくは官府自ら施設する所があつたにしても、計劃が區々たる上に維持方法も備はらず、隨つて領臺の當初は運輸・交通の困難な事は名狀すべくもなかつた。されば先づ我が工兵隊の手で南北縦貫車道が出来た。以後意を道路の改修に用ひてゐるが、當然不完全を免れ



橋

ない。東方蘇澳・花蓮港間の如きは清領時代にはあつたが、今は全く廢道となつてゐる。斯くの如くてあるから横斷道路の如きは思ひもよらぬ事である。

鐵道 幹線は明治四十年に完成した。基隆・高雄間二四六、六七哩である。地方的交通



臺 灣 交 通 圖

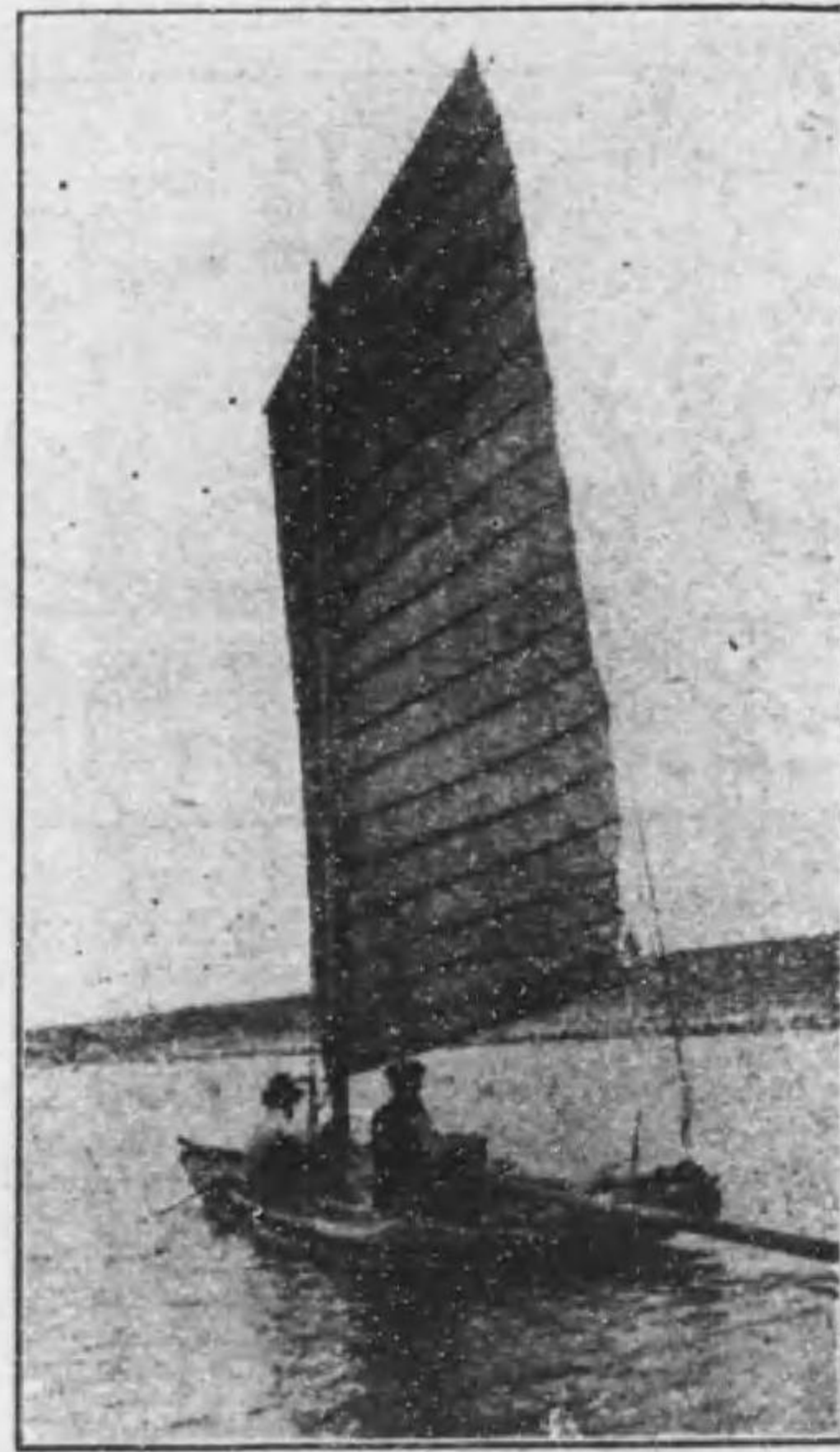
の上には、多くの支線があつて便宜を與へてゐる。

航路 領臺以前の本島の航海權は英商ドグラス汽船會社が獨占して、一は淡水を起點に、他は安平を起點に、南支那間の航海に當つて來たが、領臺後總督府は、直ちに大阪商船と日本郵船の二會社に、毎年一定の補助

金を與へることとし、内地と支那方面とに定期航海を命じたので、多年多額の利益を壟斷して來たドグラス會社も、終に廢航の止むなきに至つた。爾來基隆・高雄の兩港を

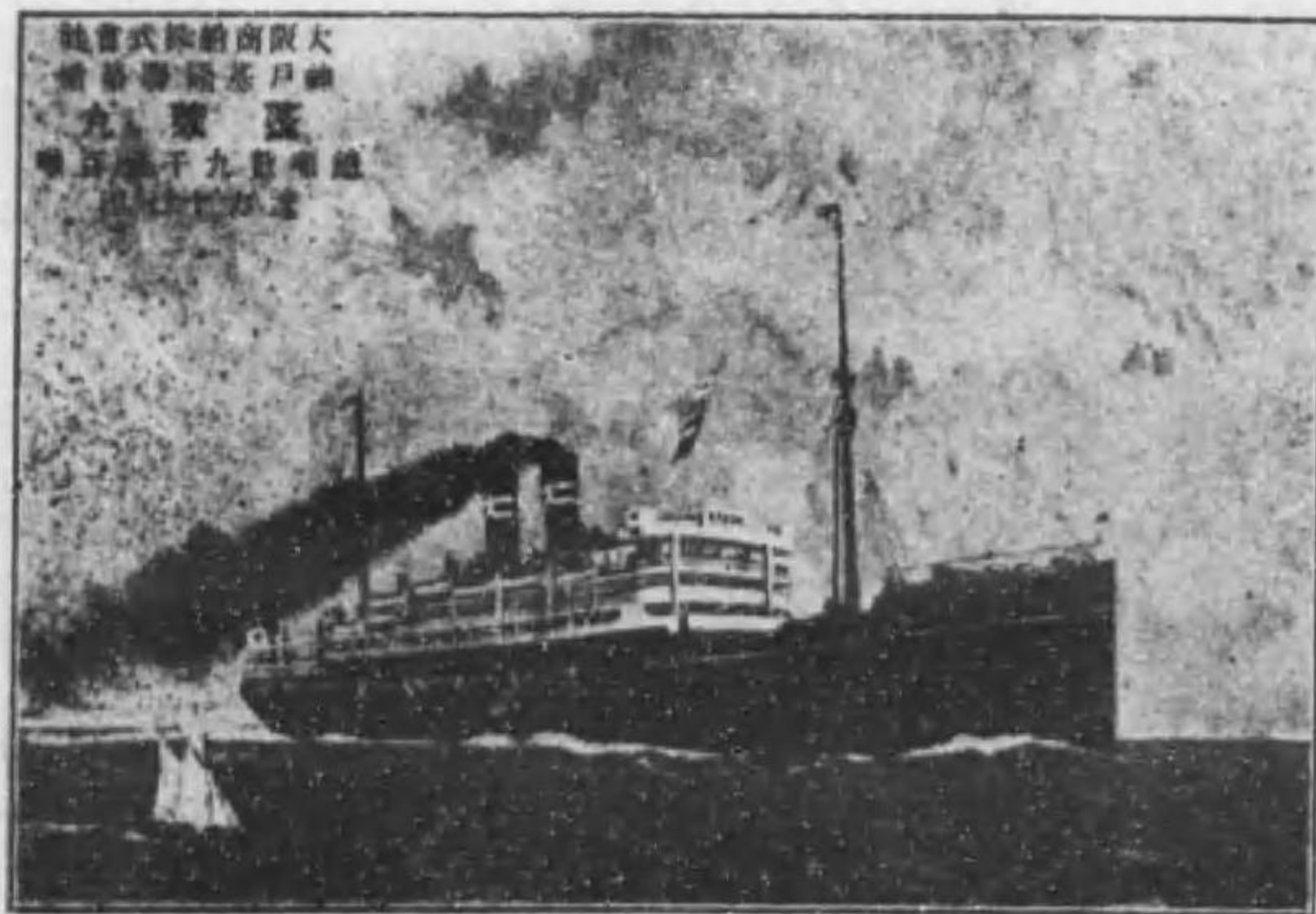
改築し、命令船の隻數を増加し、航路を擴張し、航海度數を増し、益々盛況を示すに至つた。然しそれも多くは基

竹 隆・高雄の外 淡水の



安平の開港場と六特別開港場とを有する西岸のことて、東岸は一般に文化も發達せず、良港灣も乏しく、風浪も險惡で、蘇澳・花蓮港・卑南等に僅かに碇泊があるのみである。

電信 海底線は淡水から福州・長崎・琉球に通じ、北端の富貴角には無線電信局がある。



蓬 萊 丸

- 【問題】
- 1 臺灣山脈の東西兩部を交通上から比較考察せよ。
 - 2 臺灣の河川と交通線との關係につき考察せよ。
 - 3 臺灣の交通圖を描け。

三 地 方 誌

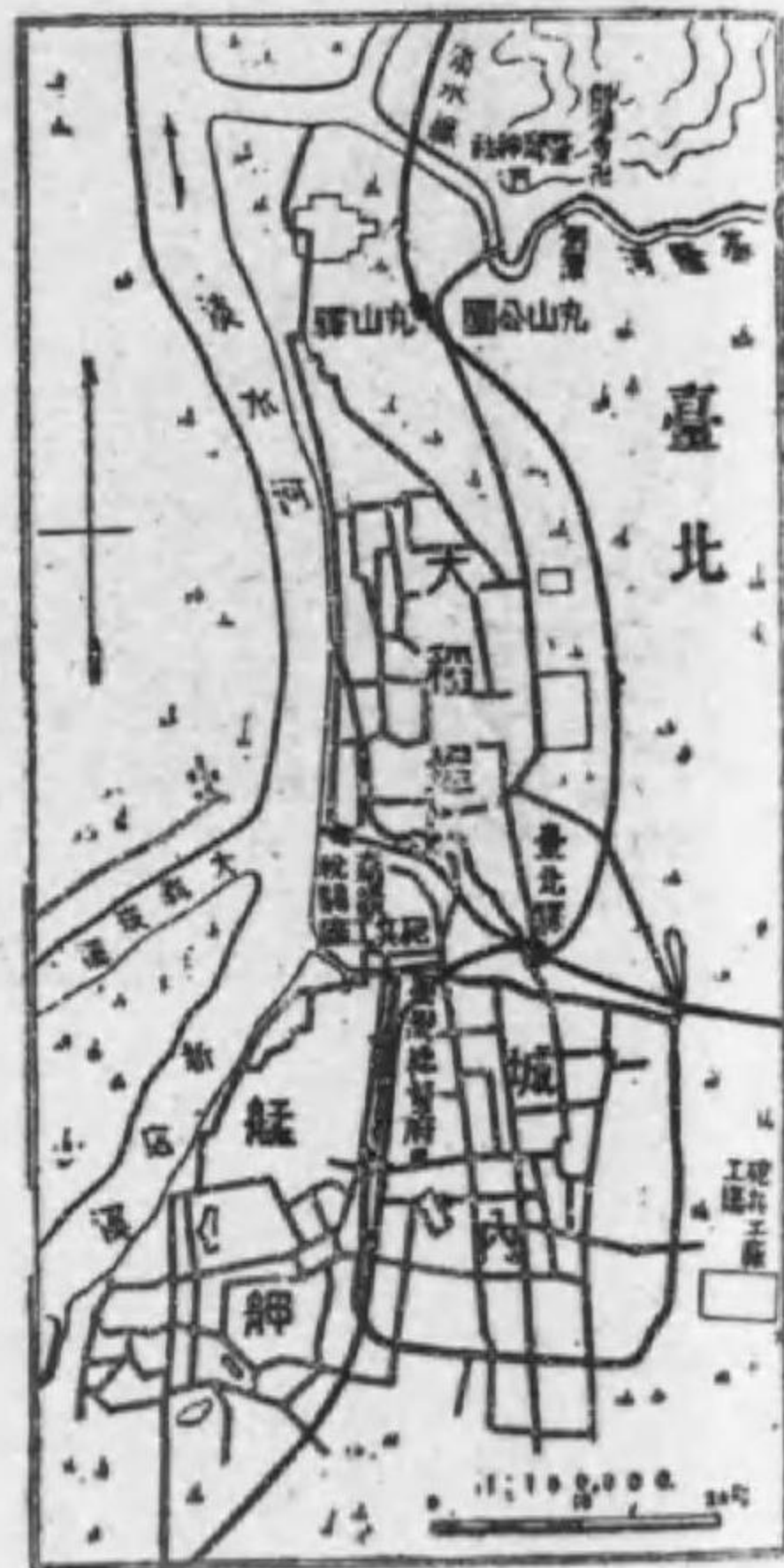


臺 北 附 近

都會は概ね、西部平原に多く集り、その建造支那風（最も著しいのは周圍に城壁又は土壘を繞らすことである）であるのが常であるが、北部の内地人の多く入り込んでゐる地方は、漸く内地風に更まり、尙この變化が南方の地にも及ばんとしてゐる。

北部（臺北・新竹兩州）地方の都邑

臺北市（一六、二） 本島の北部淡水河中流、臺北盆地の中心に位し、臺灣第一の大都會で、全國の首都として立ち、市街は分れて府城・大稻埕・艋舺の三都となり、その府城



は總督府・高等法院等のある所で、政治區ともいへる。その總督府は明治二十八年六月、樺山總督が初めて文武百官を率ゐて政治を行つた所で、

高等法院は本島最高の司法機關である。而して府城の周圍にはかつて城壁を繞らしてゐた。大稻埕は烏龍茶の製造取引が盛んで、又林投帽の大製造地である。従つて商業區とも見做される。交通市としての本市は、本島縦貫鐵道の要驛となる外に、淡水との間にも鐵道・船舶の便があり、學術市としては本島文化の中心地であるだけに、各種の教育機關が設置されてゐる。市の北部にある臺灣神社には征臺の役に陣没せら



臺 北 大 稻 埕 本 島 人 市 街

大を極め、優に本島第一の位置を占め、米・金・樟腦・樟腦油・茶等を輸移出し、綿布・メリケン粉・酒



北 拔 温 泉

基隆(五、一) 淡水河の支流基隆川を溯つて海岸に出た所にあつて、港前の社寮島は一大防波堤をなし、灣内は廣く深くて自然の良港をなす上に、人工的大修築を加へた好開港場である。本島の北門に當り、又縦貫鐵道はこゝに起り、茶・米・砂糖・樟腦等の産の豊富な臺灣平野を南走してゐるので、内地との交通・商業及外國貿易に盛

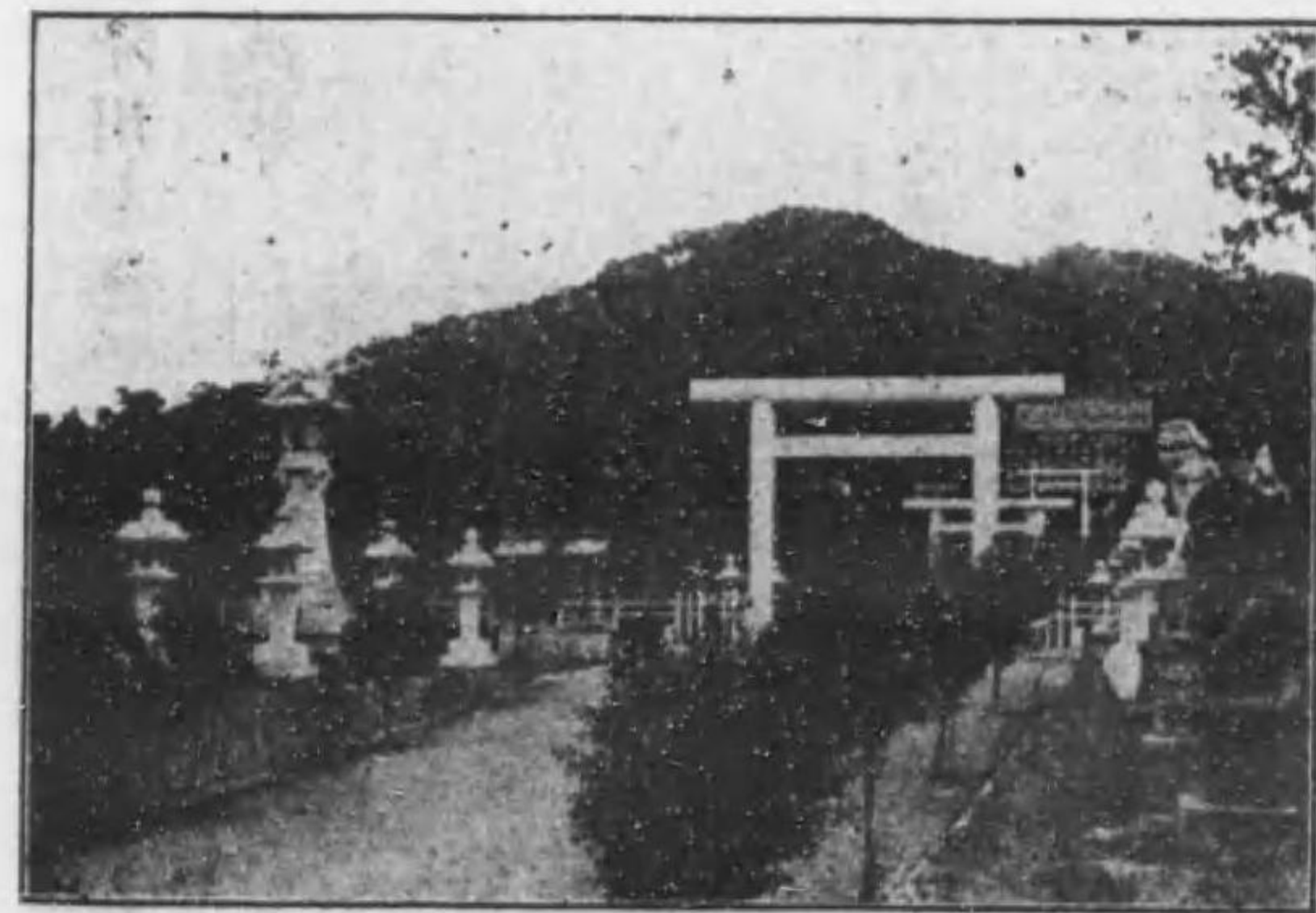


淡 水 港



つてゐる。然し淡水河の吐出する土砂は、大汽船の碇泊を妨げ、加ふるに基隆の發達は、益々本港をさ

北 臺 場の設置もよく整つてゐる。 淡水(滬尾)(二、〇 五) 古來支那に對する交通貿易の要樞を占め、殊に厦門・香港等の南支那地方に茶・樟腦を輸出し、又海底電線の起點とな

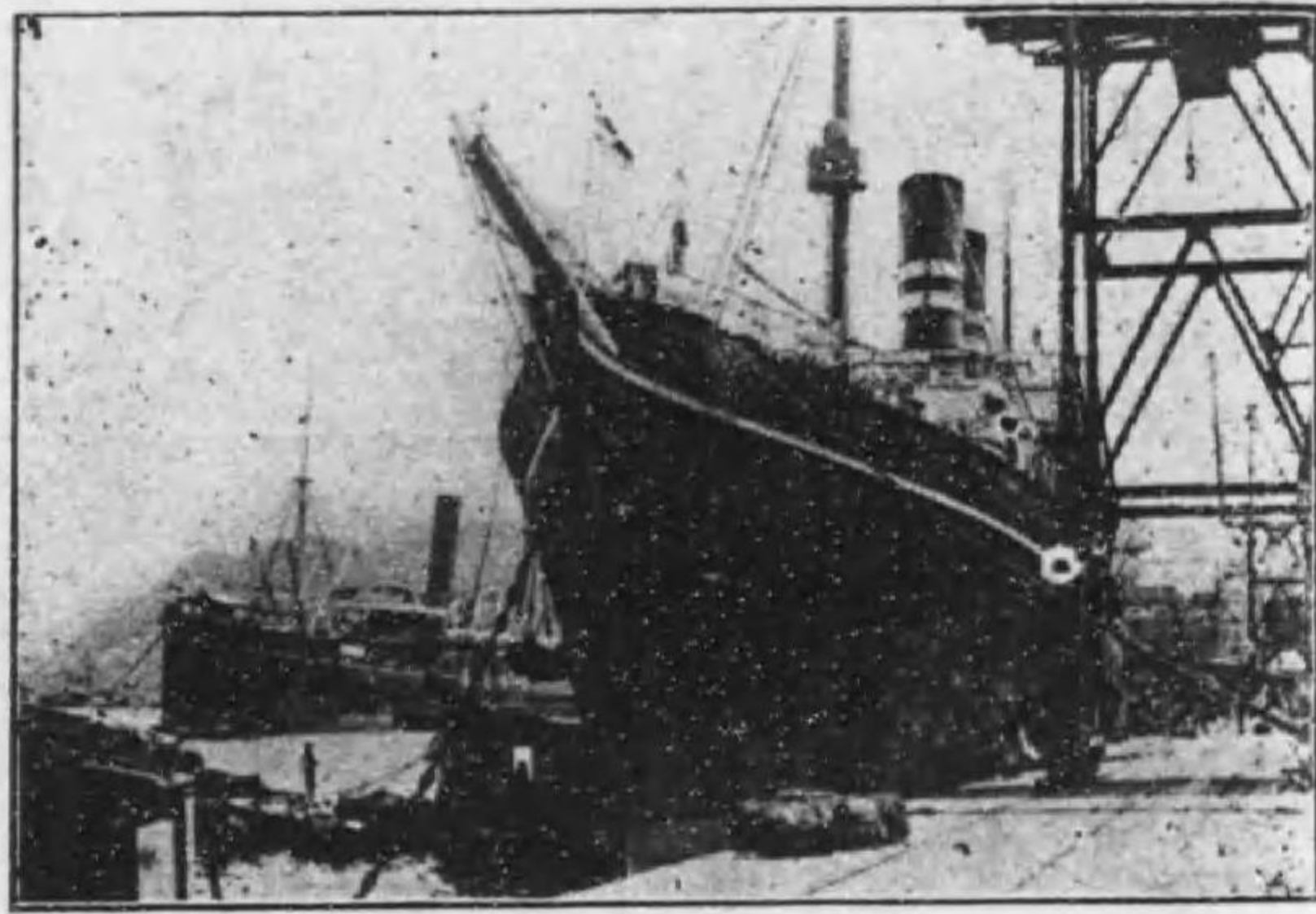


社 神 灣 臺 社 大 幣 官

れた能久親王を合祀してゐる。北投温泉は大屯山の麓にあつて、泉量に富み、ラヂウム放射能が大で、浴

と、良質の石盤石 (Slate) とを有し、又炭酸泉の湧出する所もある。

中部(臺中州)地方の都邑



壁 岸 港 隆 基

蘇澳[○] 市況は盛んであるとはいへぬ。然し土地は三方山嶺に倚り、東の一方僅かに海に面して水深十尋乃至十三尋ある。

東岸唯一の良港として、一時は特別輸出港たりしこともあつて、大いに其將來を囑望されてゐる。その山中には無盡の大理石

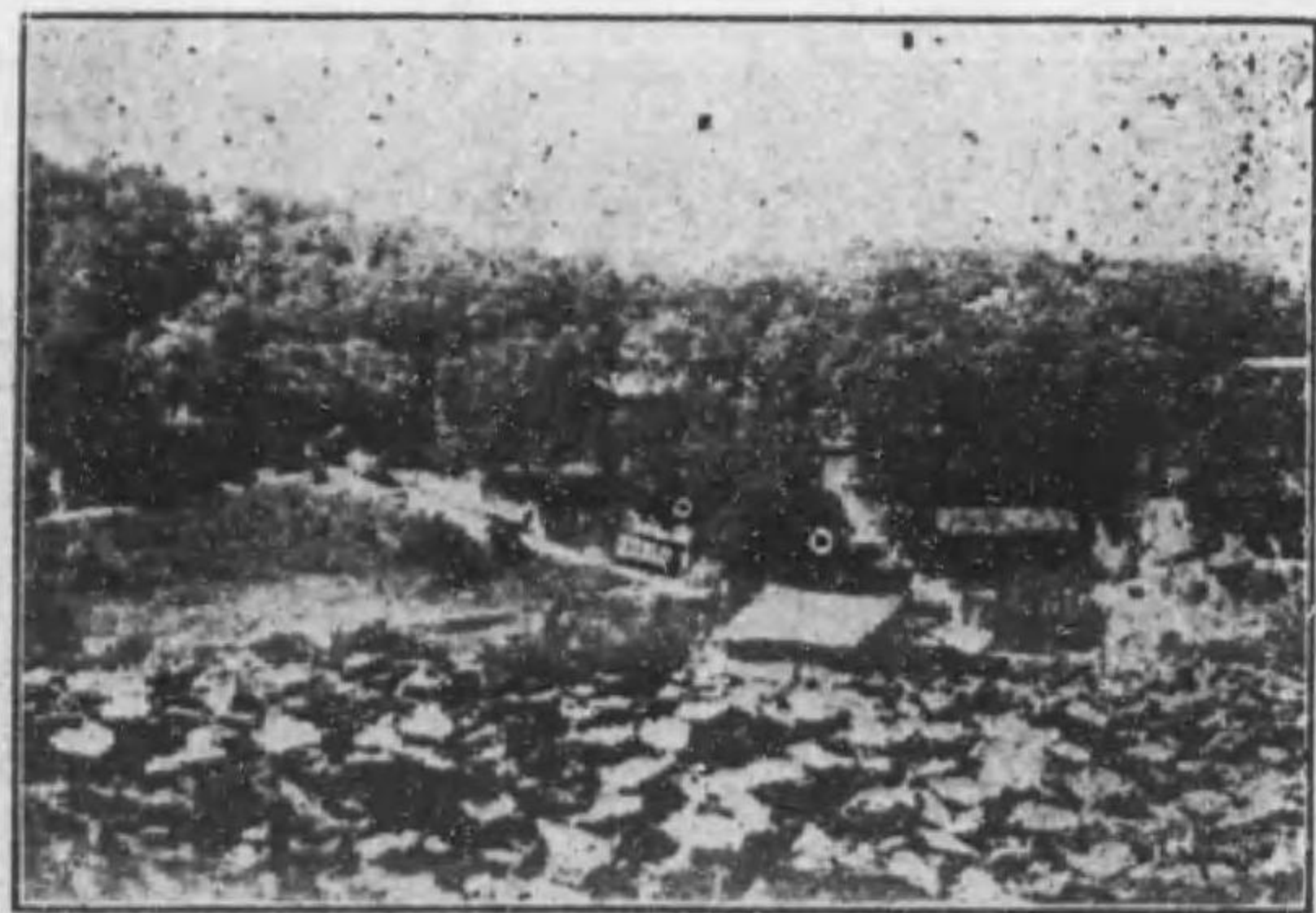


港 隆 基

類・木材等を輸移入する。附近には金・石炭の産が豊富で、主要金坑としては瑞芳・金瓜石があり、主要石炭坑としては丘陵地に石硬港・田藁港等がある。



宜蘭[○] 本島 東岸地方で最大の市街で、附近に千古の大森林と、茫々無涯の沃野とを控へてゐる。今日尙交通は便利でないが、宜蘭線の遠からずして竣成を見るなれば、今後の繁盛は一段であらう。



泉 温 投 北



臺 中 新 富 町 通

この地方の平野は米・甘蔗の産が多く、又木藍・落花生を産し、臺中市及彰化等の都會がある。
 臺中市(三、五) 本島西部の略々中央に横つてゐる
 大肚溪流域平野に
 位し、清領時代臺
 灣府と稱し、中部
 に於ける樞要の都
 市であつた。今も
 尙商業市として榮
 え、附近に産する



臺 中 公 園

樟腦・米穀等を集散する。
 彰化 臺中市の西南に近く、縦貫鐵道本線の外に數
 多の地方的小鐵道はこゝに蝟集して、四通八達の要

地を占めてゐる。本島舊都の一で、康熙の古から幾度か興廢した。殆んど純本島人都
 市として、島内稀に見る繁昌の地で、附近に名蹟が多い。米穀と落花生とは盛んに集
 散されてゐる。

鹿港と梧樓 共に特別開港場で支那との貿易が行はれてゐる。中で鹿港は彰化の西方
 約十二軒、昔時は一に臺南、二に鹿港、三に艋舺と稱されて、人口十萬を數へたといふ
 が、今は水淺せて大船巨舶の出入不便で、到底昔日の佛を偲ぶことは出來ぬ。

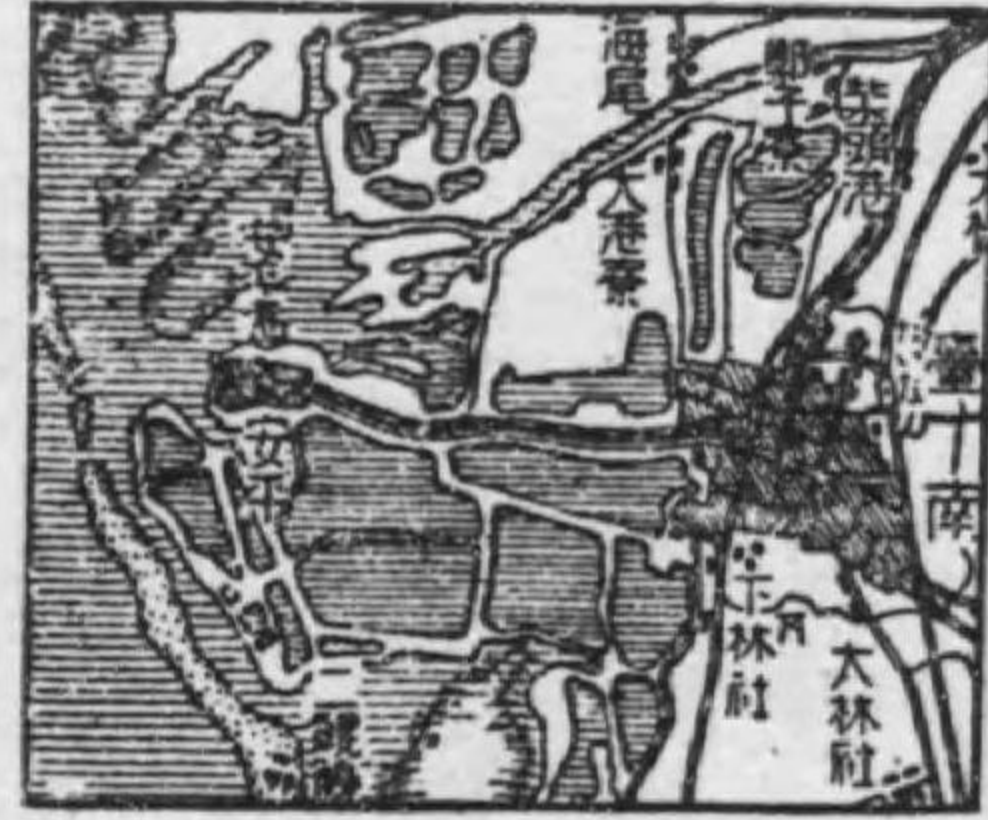
大甲 大甲溪の下流に位し、林投帽を原料とする大甲帽・大甲蓆の産が多く、近時更
 に卷煙草入を製する。

埔里 蕃界との境上山間の小盆地の名邑で、蕃地に對する要地である。その南方の日
 月潭は風光の美を以つて名高く、湖は又蓄水池とし、これに濁水溪の水流を導き、そ
 れに十四萬馬力の電力を發生することを得べく、工事竣功の曉には、西部平野の各地に
 廉價にして豊富な電力を供給することになり、臺灣に於て新しい大工業を興し、専ら
 農産にのみ依つた臺灣産業界に一革新時期を劃し、其の富力を進め、南支那南洋方面

への経済的發展の眞の策源地たらしむることとならふ。
苗栗 南部臺南州の斗六と共に山岳地方に産する樟腦の集散地である。

南部(臺南・高雄兩州)地方の都邑

この大部分は熱帯に入つて、平野には甘蔗を作り、砂糖の製造が甚だ盛である。また落花生・鳳梨・檳榔子・龍眼肉等を産する。海岸には天日製鹽が行はれる。



臺北の政治的都市に對して商業的都市で、内地で云はば東京に對する大阪の如うなものである。

舊都である本市は、我が奈良・京都に於けると同様、その内外踏むところとして名

所舊蹟でないものはなく、オランダ人の城塞の址、

鄭成功の廟等

殊に有名であ

る。安平は昔

名にしちふ名

港であつた。

ポルトガル人

樓が Formosa

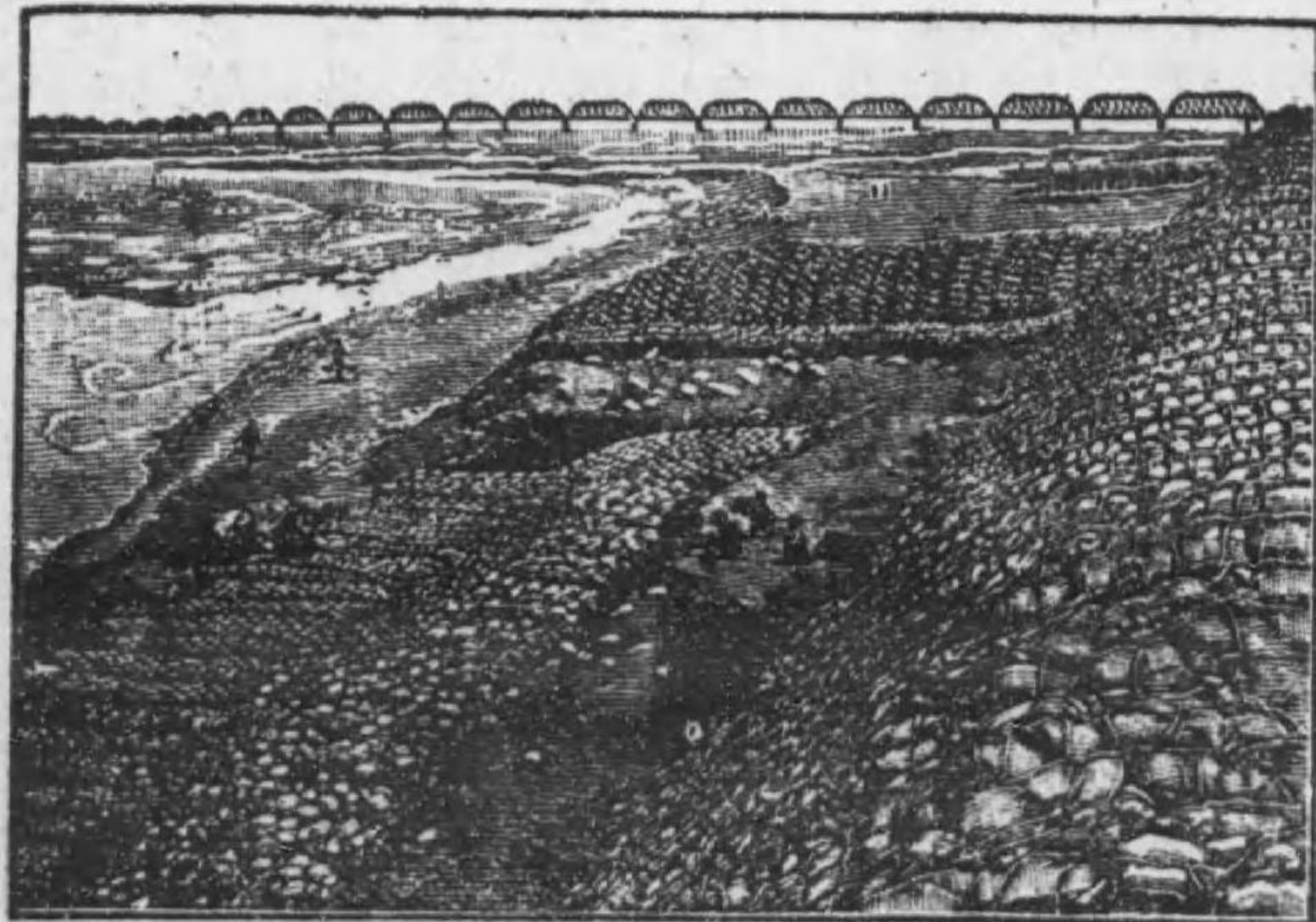
(綠美しき島

よ)と嘆美の

聲を放つたのは此の附近の形勝を愛で、のことであるといふ。然し今は海深徒らに淺せて、昔日の繁榮も漸次高雄の奪ふところとなつた。



臺南赤嵌樓



濁水溪の堤防

嘉義(四、〇) 臺南州の中央に位し、南部に於ける一大經濟市として壯大な製糖會社と、盛大な製材所とがある。前者は全く四近に打續く甘蔗畑のためて、後者は全く東方阿里山の



營林所 嘉義製材所

の大森林によるものである。又當地方に進捗中の嘉南大灌漑事業は、日月潭水力電氣事業と共に臺灣の二大事業で、その完成の曉に農産收穫の増加著しきもののあることは疑ひもない。

阿里山方面からひかれる北回歸線の西南を通過する。

高雄(三、七) 縦貫鐵道の終點たる高雄は、臺北を距る二百二十九哩、幾多附近の小鐵道の起點としてゐる。基隆につぐ貿易港で、築港なつて以來、眞に臺灣最南部地方の門戸と稱すべく、盛んに米・砂糖の輸出をなす。今後南洋方面との經濟關係の愈々密なるを加ふるに随つて、益々その



高雄 雄 港

繁盛を加ふべく、現在に於ても優良の商港たる以外に、島内の工業都市としてセメント會社・鐵工場等を有し、新進の氣の溢るゝ如うなものがある。

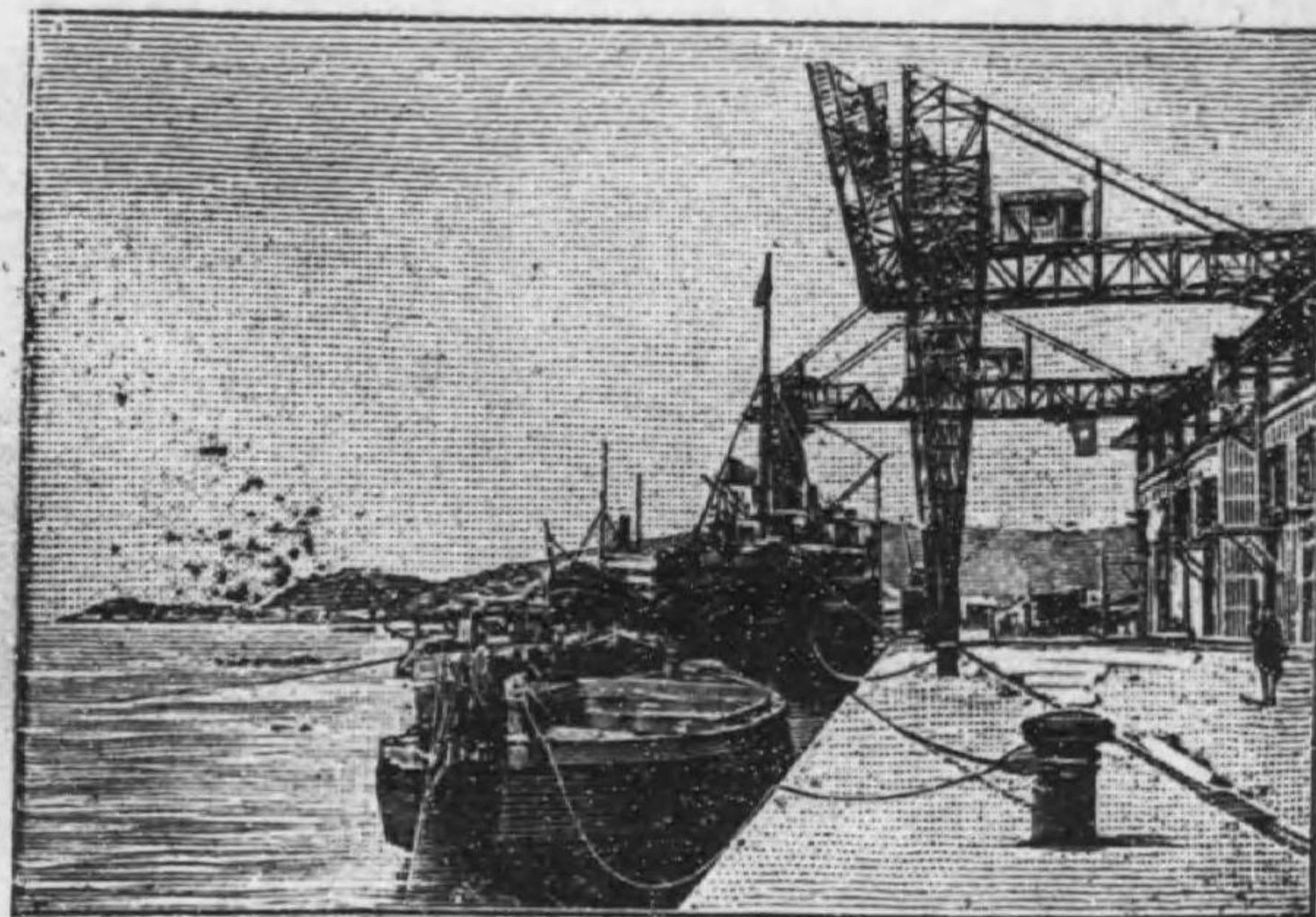
鳳山・屏東共に下淡水溪の下流に近く、製糖大工場があり、又特に

鳳山附近からは鳳梨を産し、罐詰又は生果として積み出してゐる。

恒春 本邦最南の郡邑で、年平均二十四度半を示し、氣候頗る溫暖、恒に春の如しといふべく、熱帶植物



高雄港内汽船の碇泊



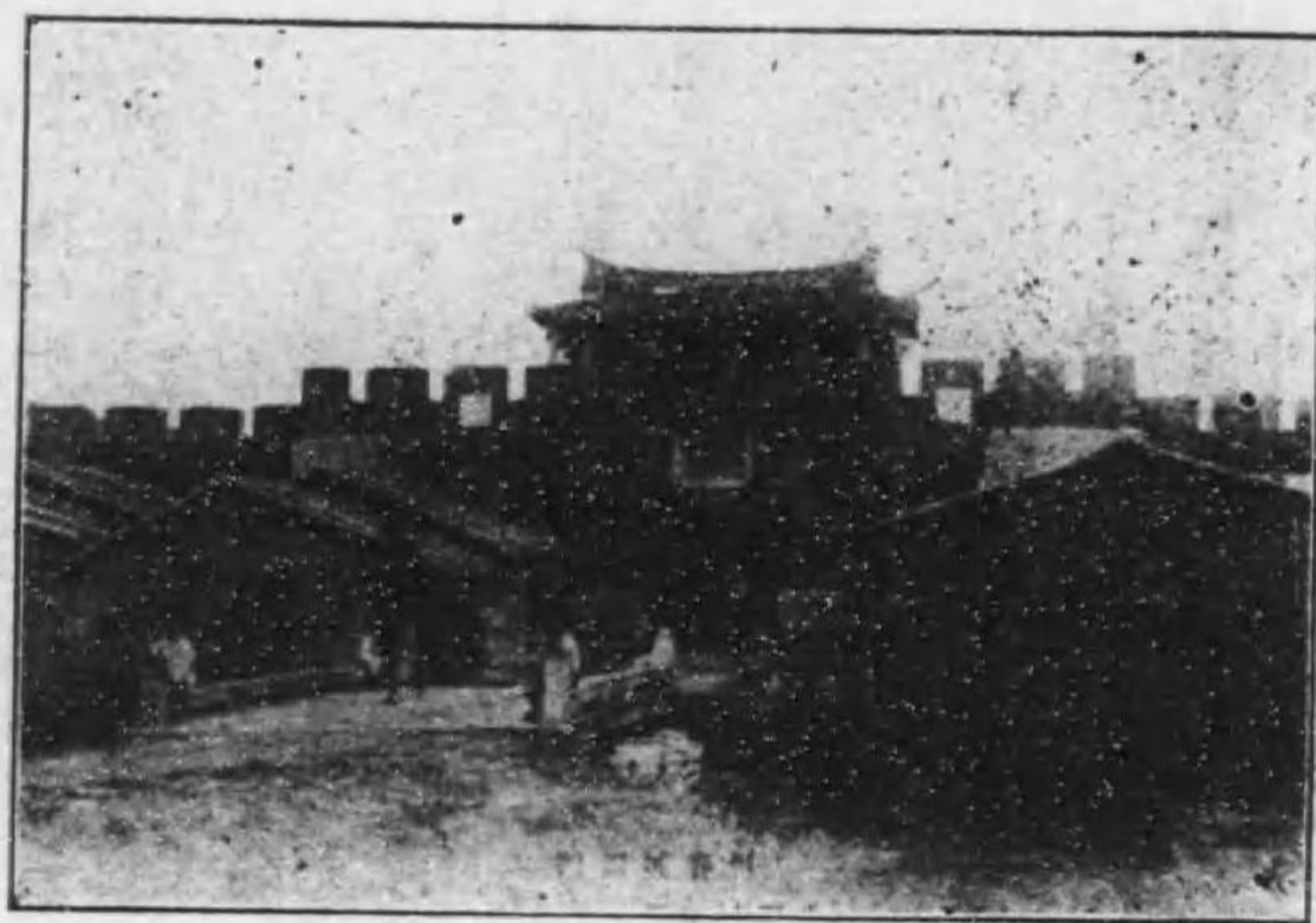
を殺戮した蕃人の居る處である。
東部(花蓮港・臺東兩廳)地方の都邑

頭 埠 の 雄 高

よく繁茂して、試験場が設けられてもある。又數十年前の築城になつた城壁は、島内稀に見る完全な形を留めてゐるものである。然し、土地餘り僻陬で産物も亦豊かではない。従つて恒春の繁盛を來さんには尙前途遼遠である。
北方山中の牡丹社は、明治七年琉球の漂流民



(橋長一第島全) 橋 鐵 溪 水 淡 下



門 西 城 春 恒

土地が未だ開けず、マライ種族は部落を造り、中には農業を力めてゐるものもある。
臺東 卑南大溪の江口に近い臺東は、Hinterlandとして卑南平野を控へてゐるが、文運未だ遙かに西方都市に及ばぬ。そして、近年製糖工場も設置され、開墾事業にも着手したが、荒蕪の地は未だ漠々として、將來に開拓を待つものが多い。北方臺東鐵道が完成し、花蓮港との連絡がつくやうになれば、漸次繁盛を加ふるに至らん。
花蓮港 臺東と同じく、西部都邑に比べて文化は大いに後れてゐる。然し、本島人よりも内地人の多い島内唯一の都邑である丈に、新進潑刺の氣が漲つてゐる。今後臺東鐵道全通し、又能高越の横斷道路を完成して、西部臺灣との交通の便が整へば、必ずや繁盛に越くことであらう。附近には吉野村とか林

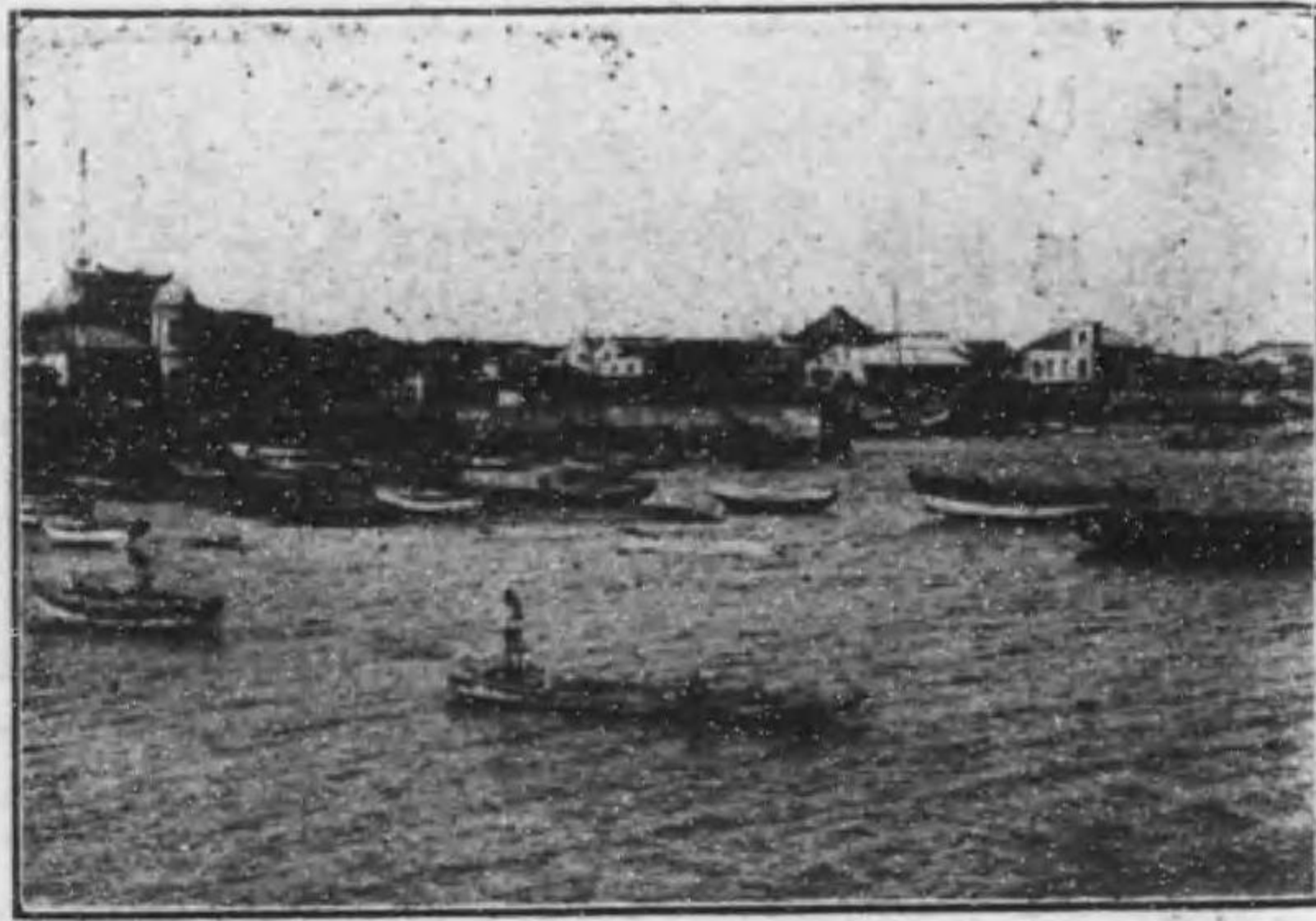
田村とか内地移民の部落が散點してゐる。

【問題】

- 1 臺灣島の略圖を描き、これに主な都邑を記入してみよ。
- 2 西部臺灣に都邑の發達してゐる理由を、東部臺灣の都邑の振はな理由を考察せよ。
- 3 臺灣の都市にみられる支那式都會の特質は如何なることか。又その特質が大陸諸國の共通性であることにつきて考察する所があるか。
- 4 天然の好錨地である蘇澳が、都市として發達の遅々たる理由如何。
- 5 鹿港の今昔を比べて、その盛衰が地理的事情に如何に關係あるかを究めよ。
- 6 清朝時代に全島の首府であつた臺南から政廳が、北端に近い臺北に移轉した理由が考へられるか。移轉後の臺南は如何にしてたつて行つてゐるか。
- 7 四開港中基隆・高雄の二港に對して、淡水・安平の二港を考へあはす時に直ちにその勢力の如何が比較されてならぬ。
- 8 安平に築港説の喧しい所以を知れりや。
- 9 北回歸線とは如何なるものなるかを簡單に説明せよ。
- 10 北方の門戸である基隆港に對し、南方の門戸として立つ高雄港の將來につきて、考察する所あらば述べよ。
- 11 恒春の振はな理由を自然・人文兩方面から研究せよ。
- 12 東岸諸都邑が他地方との交通の發達することによつて、面目を一新するだらうと豫測される例二三を舉げてみよ。

達してゐる。

人口五萬五千餘、産業としては水田なく、只僅かに高粱・落花生・甘藷の栽培又は漁業等が行はれてゐ

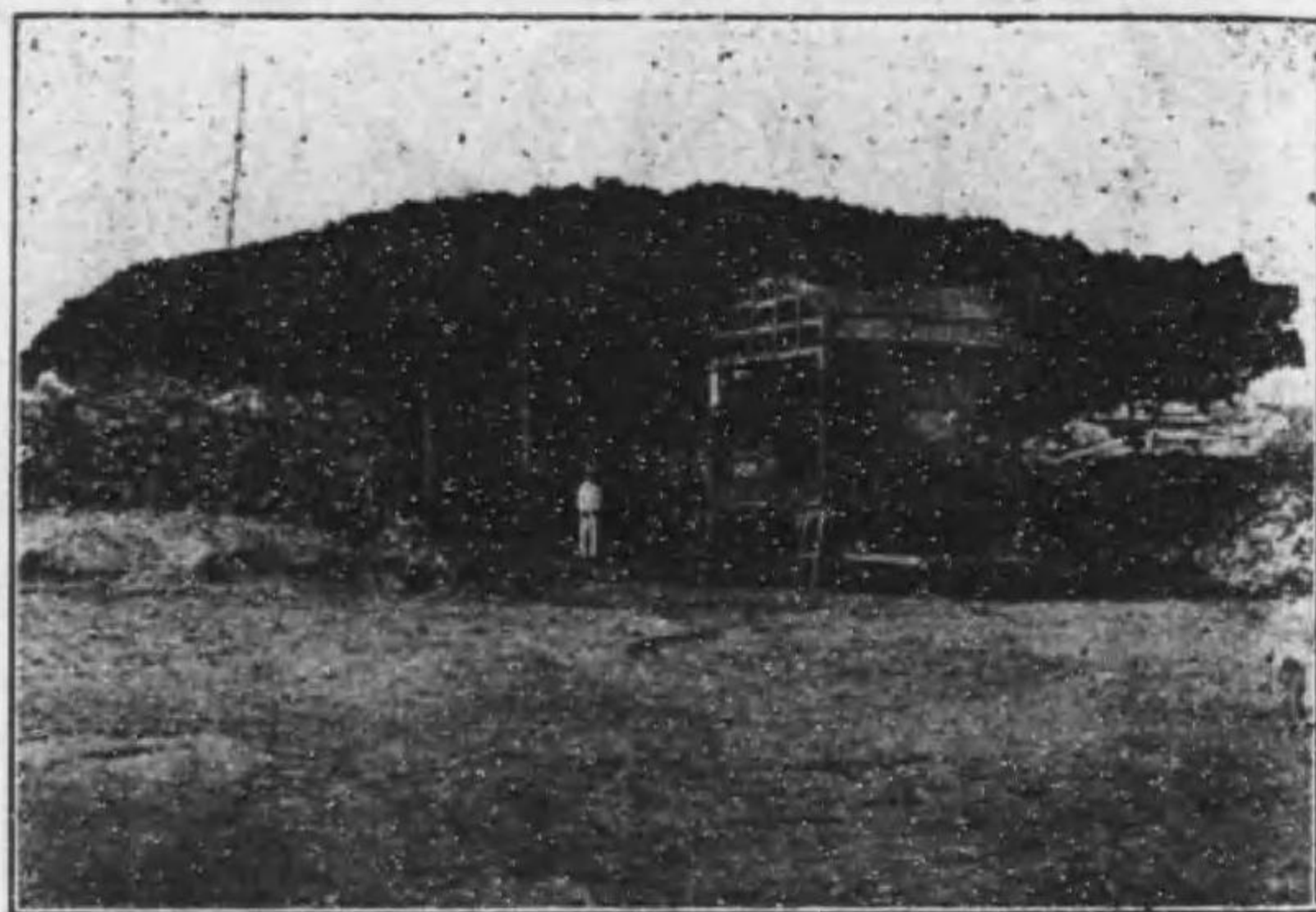


澎湖諸島

澎湖諸島 澎湖・漁翁・白沙の三大島以下大小數十の島からなつてゐる。何れも低平で、最高點と雖も海抜五十米を越えず、而も風力強き故喬木は殆ど生育せず、河流は全くなく、飲料水に乏しく、漸く數個の井からくんでゐる。而して全部火山島で、沿岸には珊瑚礁が著しく發



馬公海岸



樹 榕 大 梁 通 島 湖 澎

西方の小島花嶼
は我が國最西端に
當つてゐる。

【問題】

- 1 澎湖島の火山島がテール状に低平な地形を示す理由を考察せよ。
- 2 澎湖島の軍事的意義につきて各自の考察する所を詳細に述べよ。

3 家屋の高さが地平線に均しい紅頭嶼と東洋稀にみる天興の樂土といひ度い火燒島とにつきて研究せよ。思ひがけない興味ある材料を得ることが出来やう。

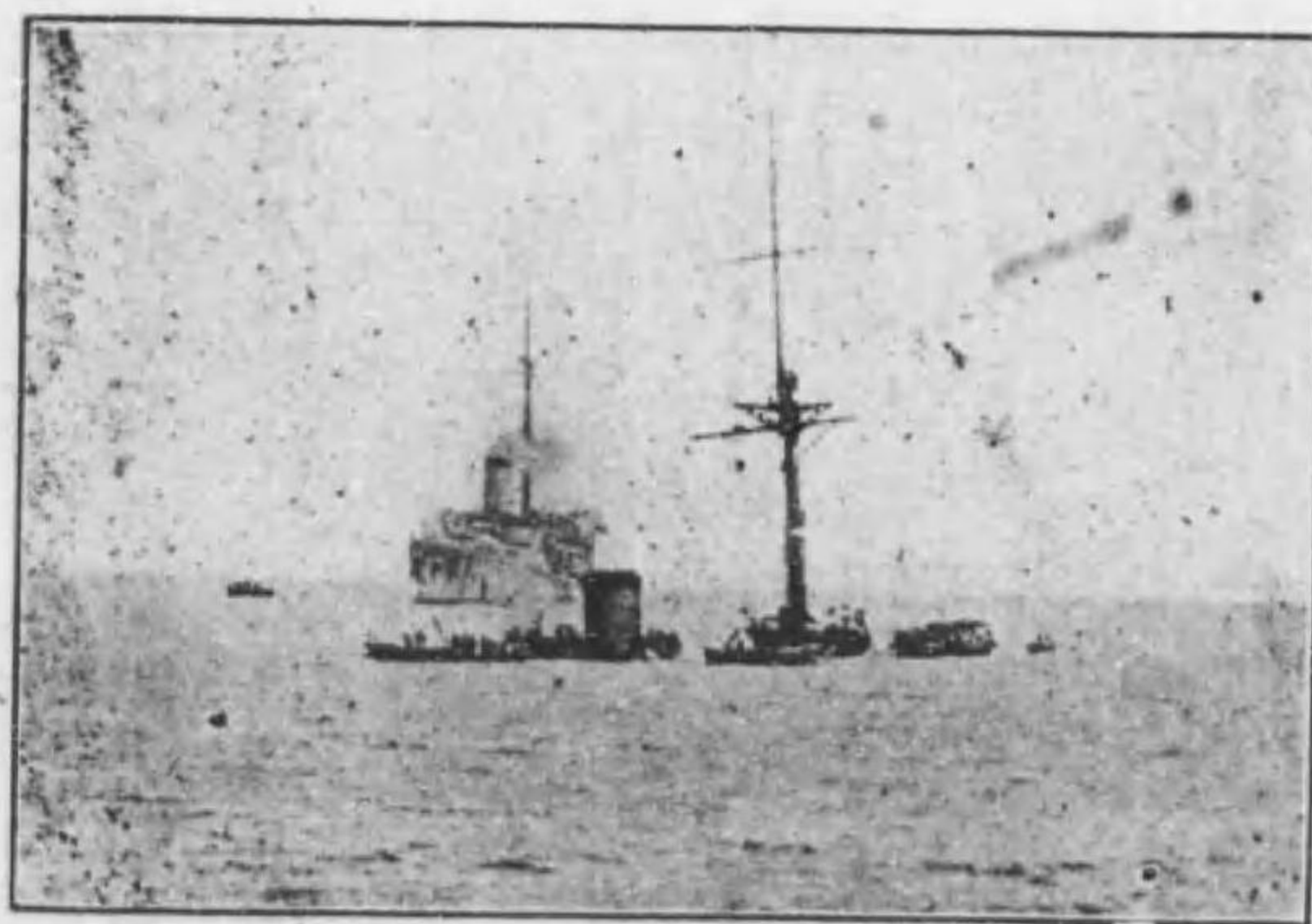


舟と族ミヤるけ於に嶼頭紅



リ 通 岸 海 市 公 馬

るばかりである。澎湖島以下前述の三島によつて圍まれた灣の一小灣に馬公港がある。本島の名邑で、風浪荒き臺灣海峡を通過する船舶の避難港となり、又本邦南門の要鎮として海軍要港部があかれてゐる。オランダ人の本島に據つたのは、實に慶長の昔で、その頃已に漢族は棲住し、馬公の舊名媽宮の因つて生じた港口の媽祖宮の如き、既に此時に存したといふから、澎湖文明も亦其由來は久しいものといふべきである。



艦島燈と島松艦軍るせ没沈

第九章 北海道地方

一 自然地理總說

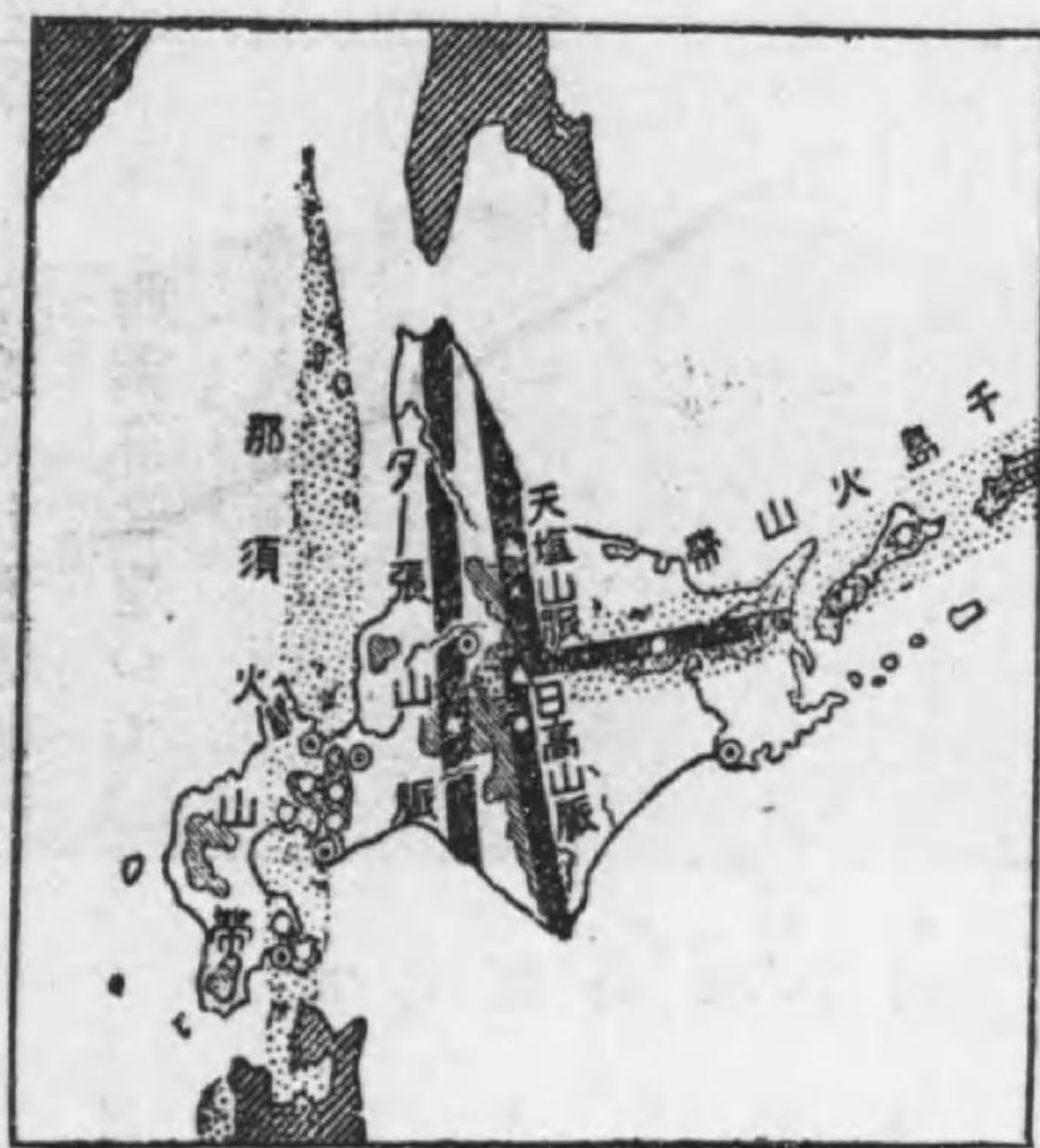
【位置】

北海道地方は北海道本島と千島諸島とから成つてゐる。我が國の最北部に位

し、殊に北及び西の二方面が直ちにシベリヤに對することは樺太と同様、軍事的防禦の上に重要な地點で、はた經濟的進展の上にも、重要な策源地をなすものと云はねばならぬ。

【地勢】

概観 地形上北海道本島は石狩平野を界として東西兩部に分れてゐる。東部は軀幹部で略々斜方形になつてゐて、河川・平野の



北海道地勢圖

配置、海岸線の状態等皆それに支配されてゐる。山がちな渡島半島は大魚の尾の如うに、この西南部に連つて、西部の所謂半島部を形づくつてゐて、一般丘陵性の土地の上に、那須火山脈の活動が割合に著しい。千島諸島は全然火山列島である。

山脈

蝦夷山脈 本島の主軸をなせるもので、南は襟裳岬から北は宗谷岬に連り、中央部に於て千島火山脈と十字形に交叉する地點から、南部を日高山脈といひ、北部を北見山脈といふ。日高山脈中のピバロ岳(二〇一七米)は全蝦夷山脈中の最高峯で、北見山脈中の天鹽岳(一五九〇米)の如きも亦高い。而して山脈の最高部は古生層であるが未だ化石が発見されないので正確な時代は明かでない。その古生層の上の所々に花崗岩の噴出がみられる。全く褶曲によつてなる山脈で、恐らく斷層といふものはないであらふ。山脈の西側には中生層が廣い範圍に亘つて發達してゐて古生層との境は至極明瞭である。地質構造上北上山脈に連續するやうに見られるが、事實は入違つてゐる。天鹽山脈・夕張山脈 蝦夷山脈の西方に併走して二つの山脈が南北に並んでゐる。そ

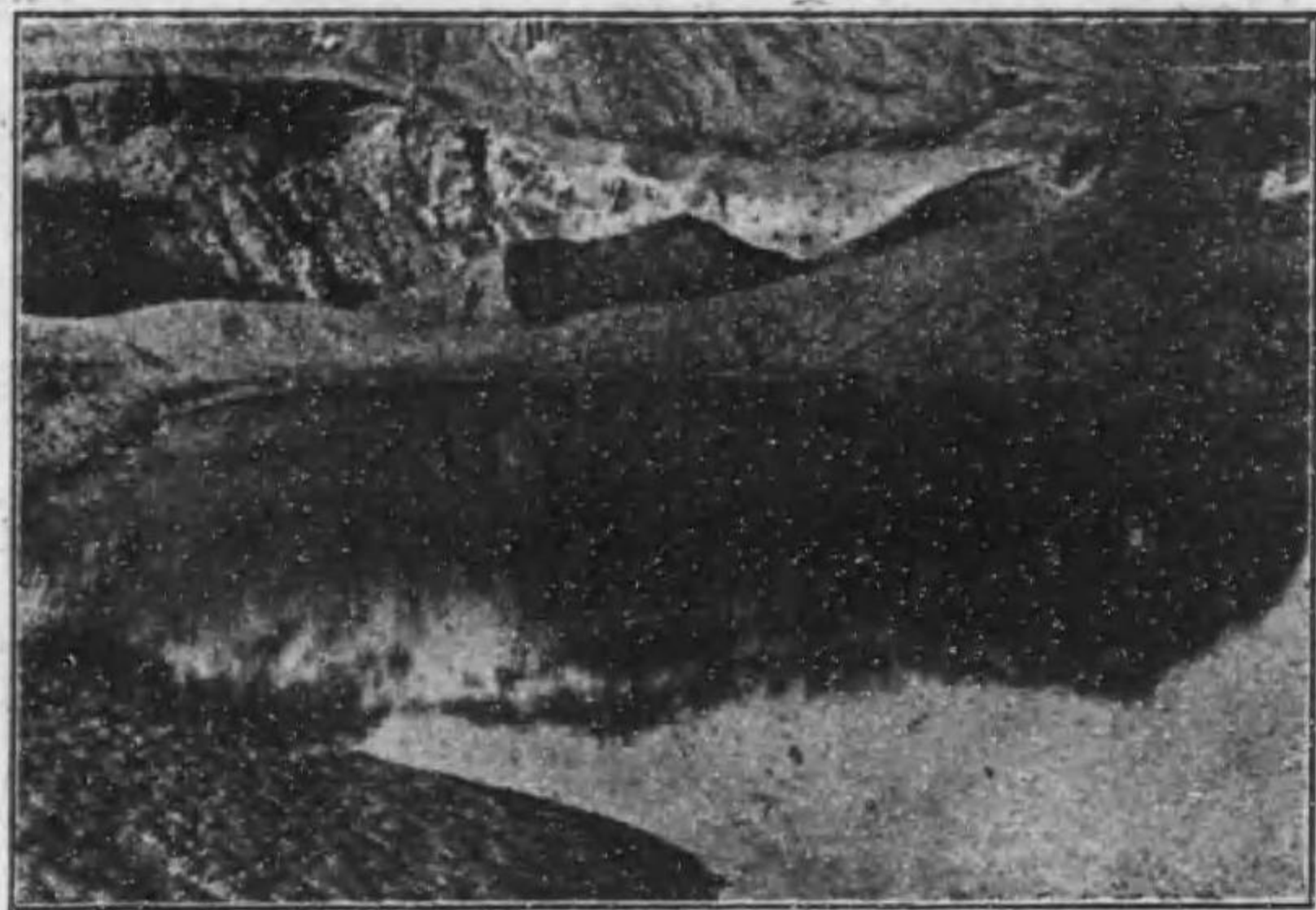
の石狩川谷のなすのくの北は天鹽山脈で、南が夕張山脈である。中には夕張岳の如く



マツカシの遠望

一六六八米の高度を示す高峯もあるが、概して丘陵性の山脈で第三紀層から成つてゐる。即奥羽山脈の連続とみるべきものである。
千島火山脈 千島列島は唯、南部の花咲半島の延長と見るべき色丹島等を除いた他は、全部火山島で、活火山の如きも實に十五座の多きに達し、我が國活火山の数の約四分の一を占めてゐる。遠くカムチャツカ半島に起つたこの千島火山脈は、千島列島を経、主體部の中央で蝦夷山脈と直交し、こゝに本島第一の旭嶽(二三四五米)オプタテシケ・石狩岳・十勝岳等を噴起し、東部には雌阿寒岳・雄阿寒岳を起し、西部は近年の爆裂で有名な樽前

岳・有珠山等の活火山となつて、奥羽地方から北上する那須火山脈と連絡する。樽前



駒ヶ岳頂上の池

火山はConide式であつてその項にTholoide式の小丘を載せてゐる。

有珠火山も同様Conide式で、頂上にはTholoide形の熔岩塊が突出して双子をなしてゐる。

那須火山脈 本火山脈は本島に入つて、南に恵山・駒岳等を起し、北に山容秀麗なるによつて蝦夷富士の稱あるマツカリヌブリ岳等を起す。尙日本海中の島々、奥尻・天賣・焼尻・利尻・禮文等も皆火山島である。

に似て第三紀層で、兩者は相連れるものと考へられる。積丹岳は脈中の高峯であるが高度は僅か千二百米を越えて居るに過ぎぬ。

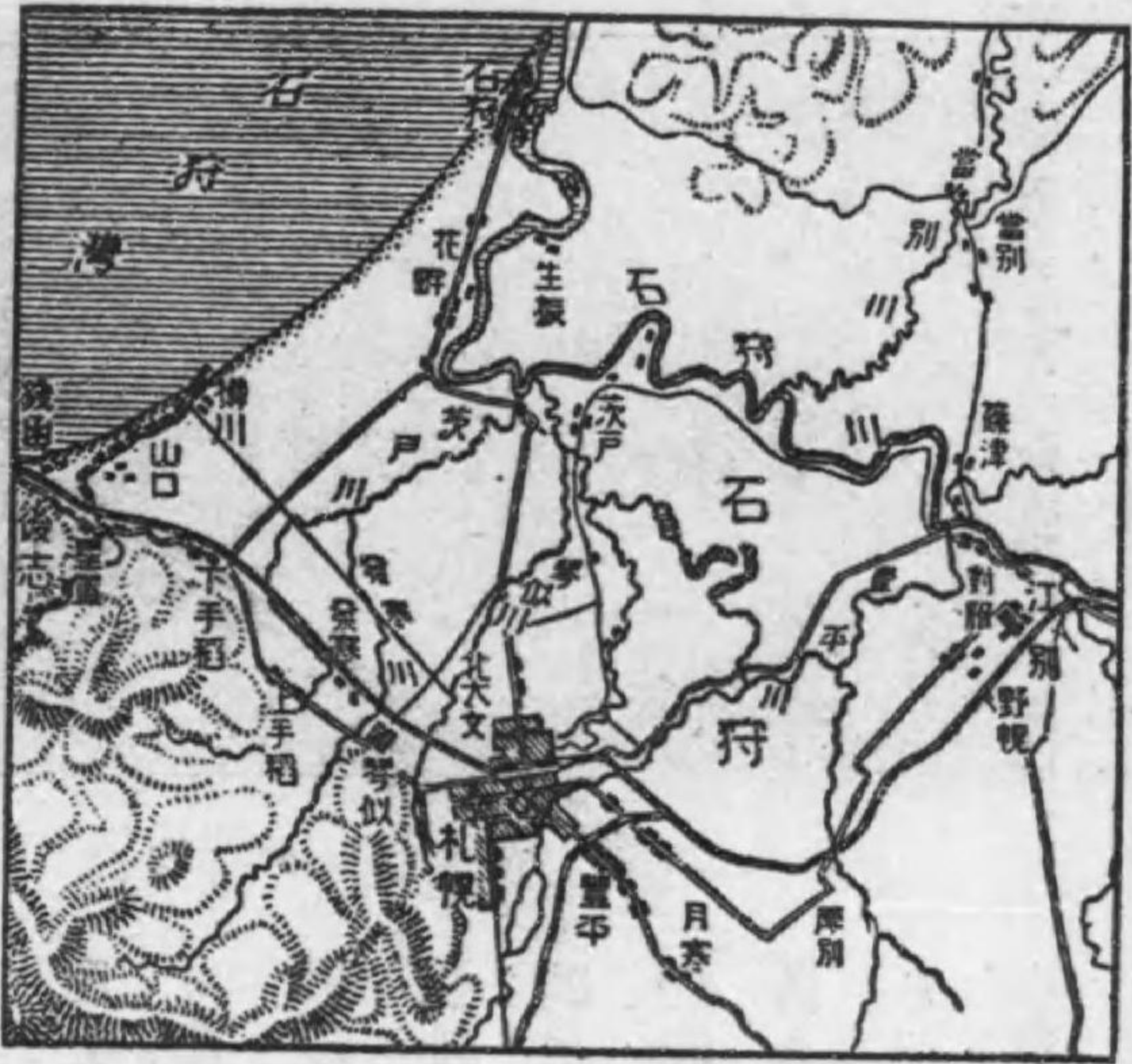
半島部の山脈 丘陵性の本山脈は、地質も出羽丘陵

河川と平野 河川^c 半島部は山勝て著しい河川の發達をみない。軀幹部は、中央諸山脈の會合する地點に發源して、放射狀に流れ

てゐる。

日本海斜 面 〓 石狩川・天鹽川
オホーツク海斜面 〓 常呂川・湧別川
太平洋斜 面 〓 釧路川・十勝川

これ等の河川は何れも巨流で流勢緩かに、共に將來を囑望される各大平野に灌漑の利を與へ、又舟運の便をもたらすことも少くない。釧路川の如き、殆ど上源まで舟を通ずるのである。概して平坦な地を迂餘曲流、全く老年期 (Old stage) に入つて、所謂 Meander をな



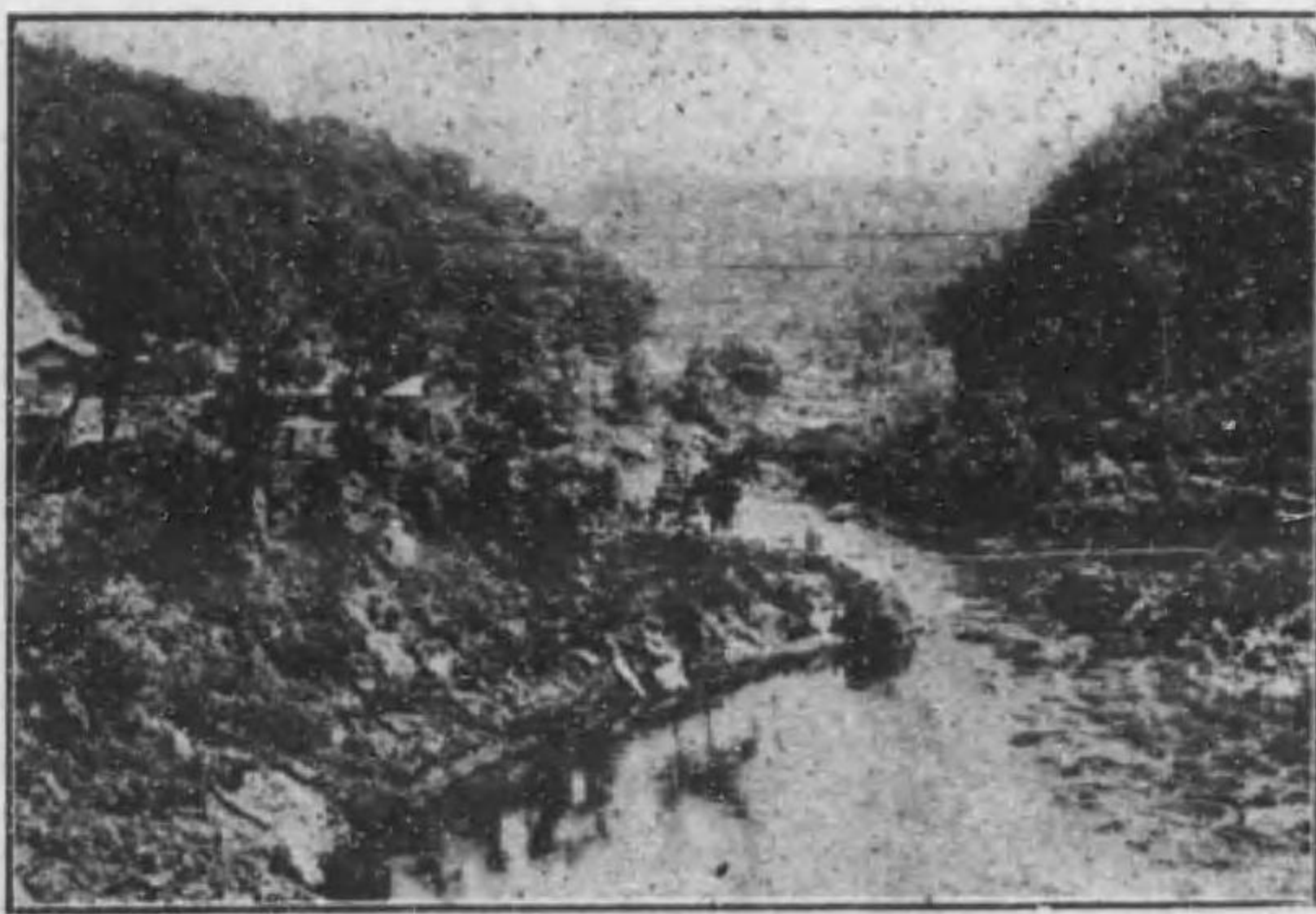
し、加ふるに河川工事未だ十分でないので、往々流域に低濕地を横へ、春季雪解けの時節となつて、一度洪水が出ると濁流は氾濫し、河道は變遷し、ために人畜の損害を受けることが少くない。

石狩川は本道第一の長流で、石狩岳・旭岳に發源し、上流に上川盆地を潤し、西流して天鹽・夕張山脈を横斷する處に神居古



流上の川平豊

譚の峽流 (Gap) を過ぎ、以下諸大支流を合せて水量は愈々豊富に、廣濶なる石狩平野を盛んに蛇曲して日本海に入る。水運の利大に、下流は汽船を通ず。



景絶の潭古居神

平野^〇 中央高地に發する諸川の流域に平野の開展するのを見る。即、

日本海斜 面^〇 石狩平野・上川盆地・天鹽平野

オホーツク海斜面^〇 北見平野

太平洋斜 面^〇 釧路平野・十勝平野・日高平野

て、此等の平野の開拓は未だ餘り古くないので、灌漑・排水等も不充分であるが、何れも面積が廣く、或は耕地として、或は牧場として大いに期待されてゐる。

石狩平野 本島最大の平野で、廣大なること、關東平野と比ぶべく、石狩川本支流これを貫流し、地味肥沃であるので、米國式の大農法が行はれて、稻田・麥畑が遠く連り、又處々果樹園の點綴するがある。實に本邦屈指の大生産地である。

上川盆地 石狩川上流の別天地で、冬期氣温甚だしく低下すれども、夏期は高く上昇して米作も行はれるから、従つて本島有數の農牧地である。

天鹽平野 天鹽川流域に連なる狹長な平野で、地積廣大、地味亦豊饒であるが、荒蕪の地面廣く、氣候亦寒冷で開拓未だ進まず、人煙至極稀である。政府が特に植民鐵

道を敷設し、植民の保護獎勵法を定めて、その開發に意を用ゐるのも理りである。

十勝平野 十勝川流域臺地性の平野である。北方に横つてゐる山脈がよく稟烈な北風を遮り、かつ南風を受けて雨を作るので、北見・天鹽等の平野とは大いにその趣を異にして、農牧に適し、開拓も將に普からんとしてゐる。

釧路平野 平野は廣大なれども、土地僻在してゐる上に、夏季の濃霧は農作の生育を妨げることが甚だしく、開拓未だ充分でない。

湖沼 本島には湖沼頗る多く、火山地方の洞爺湖・支笏湖・阿寒湖・屈斜路湖・摩周湖等は共に火山湖で、洞爺湖は原形のまま、圓形に残存し、湖内に島があつてTholoide式である。支笏湖は、樽前火山の北部にあつて、Caldera-lake である。湖底は海面下に及ぶ程の深さである。さて屈斜路湖と摩周湖とは屈斜路火山群内にあり。今若し兩湖を含む Caldera を想像するならば、その面積は九州の阿蘇山よりも大きくないか。以上の外に駒岳の麓にある大沼や専菜沼等の堰塞湖があるが、これ等は當然火山湖に屬せ

しむべきである。火山湖の他の種類ともみるべきは Lagoon であつて、數多ある潟湖の中で、猿間湖・能取湖・網走湖・風連湖等は何れもその大なるものである。

海岸 半島部は平野に乏しいが海岸は屈曲に富み、數個の良港を控へ、軀幹部は平直な砂濱が連亘して、天然の良港を缺いてゐるが平野はよく發達してゐる。

半島部 軀幹部に比して海岸線の複雑であるのは、那須火山の活動脈が重なる理由をなすものといひたい。惠山岬・白神岬は本州の尻屋・龍飛の二岬と相對して、津輕海峡を



割し、海峡から彎入する函館灣に良港函館がある。市街の部分は近き過去、島であつたものらしく、さすれば、既に各地で學び得た Land-tiedisland の模式的のものといへる。

中央に内浦灣がある。その一大火口の如き形狀は鍋狀陷沒 (Kettle depression) の好例とみるべく、沿岸に駒岳・有珠山・登別岳・マツカリ岳等、多くの噴火山の存する所から、別に噴火灣とも呼ばれ、その東口なる繪鞆岬の内側に、室蘭の良港を匿

してゐる。而して北方積丹半島の東側に石狩灣(小樽灣)がある。その南岸の小樽は藥港の結果本島有數の良港となつた。

軀幹部 十字形に交叉する兩大山脈の各海岸に盡くる所は宗谷・知床・納沙布・襟裳等の角狀の突出をなしてゐる。その突角と突角との間は所謂弓狀の砂濱で、弓狀砂濱の標式的なものを連ねてゐる。例へば、北に北見の濱、西に天鹽、東に根室の砂濱、南東に釧路・十勝、而して西南に膽振・日高の濱がある。濱口は到る處に砂丘 (Sand dune) が連なり、潟湖 (Lagoon) が各所に湛へられてゐる。此の如ければ良港、良灣として、いふべきものは殆どなく、厚岸・根室位が漸く灣形良好を以つて知られてゐる位である。

島嶼 島嶼には火山島が多く、日本海に奥尻・利尻・禮文島等の那須火山脈に屬するものがあり、千島列島は大部分千島火山脈に屬する火山島と花咲半島の延長である色丹島とからなつてゐる。中で國後・擇捉・得撫・新知・幌筵・占守・阿頼度等の諸島が最も著はれてゐる。

【問題】

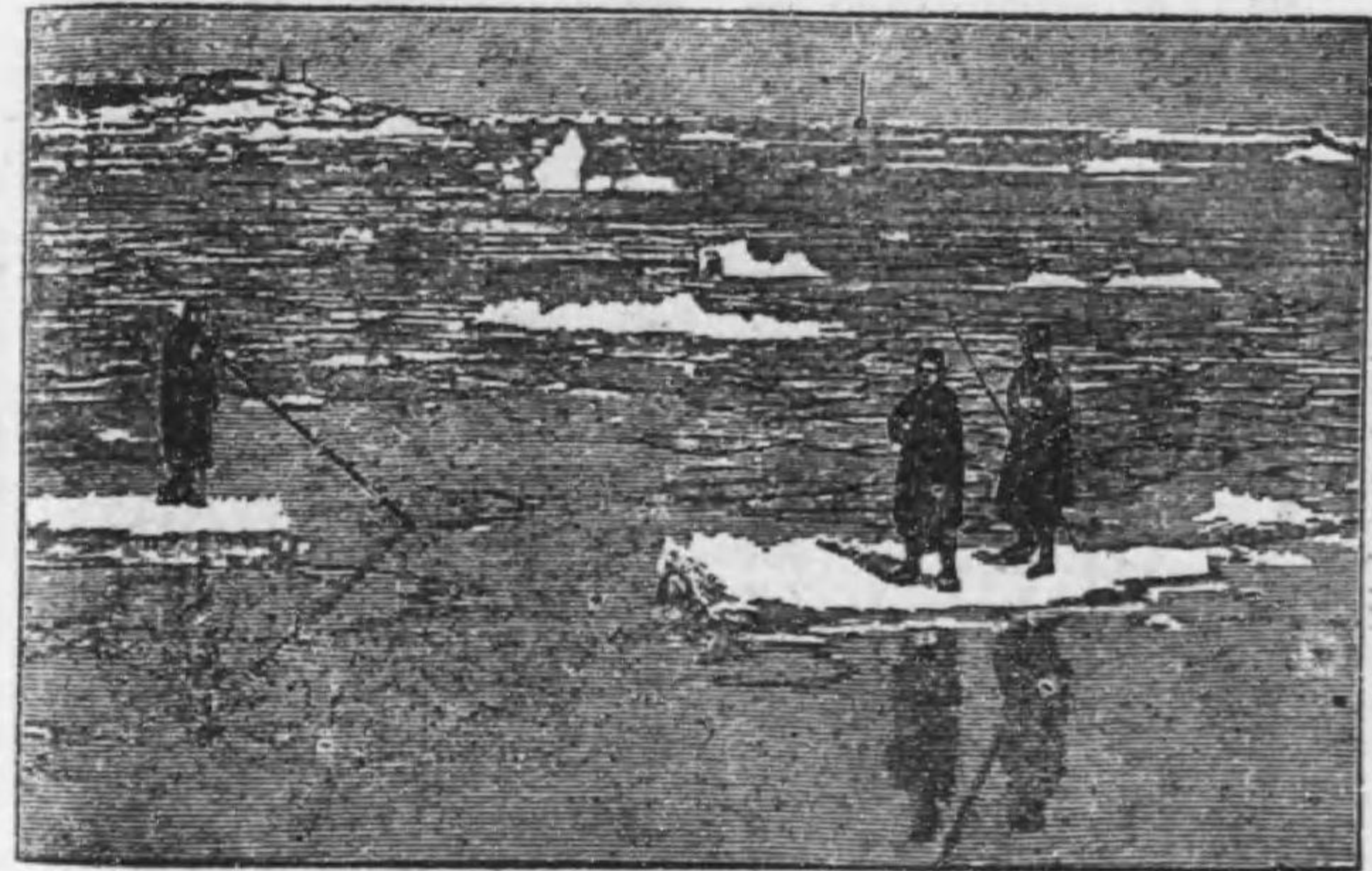
- 1 北海道本島の軀幹部は何故菱形をなすか。
- 2 奥羽地方の諸山脈は本地方に來つて、それ／＼如何なる名稱でよばれてゐるか。その連絡するものなりといふ理由を擧げてみよ。
- 3 本島の諸山脈で奥羽以外の地方に連絡するものはないか。若しありましたら例をあげて説明せよ。
- 4 本島の諸山が左程高峻でないのに、高山性に富むといはれる理由を推究せよ。
- 5 河道の Meander について既習の事項をまとめ、その發達に相異なる二つの場合があるが、本島に於ける多くの場合は、二つの中の何れに屬すべきか。
- 6 五萬分ノ一地圖、砂川、妹背牛・雄信内・十勝池田等の中、何れかの圖幅によつて、河跡湖(三日月湖)を讀め。同時に既習地方の同様の成因による湖沼を知れる丈あげてみよ。
- 7 本島の數多い湖沼を成因上何つに區分されるか。而して其各々の位置形狀について特徴を比較考察せよ。
- 8 洞爺湖の五萬分ノ一地圖によつて火山湖の特徴を讀圖せよ。
- 9 弓狀砂濱の好例の多い理由は如何。
- 10 本島には海岸段丘がよく發達してゐるといふが、如何なるものなるかを知れりや。又如何にして出来るものか。
- 11 一小局部の地形に限られるが、(1)根室灣北岸の野付崎の Sand spit (2)駒岳北方、砂崎の尖角形の岬 (Caspate Foreland) (3)函館附近及濱中灣附近の (Land-tied island) は讀圖した丈でも興味のあるものである。
- 12 火山島につきて地圖と寫眞とを比べて研究した上、考をまとめてみよ。
- 13 北海道本島の地形圖を描け。

【氣候】

本島は土地が北に偏してゐるので、一般に冬季が長く、寒氣が酷烈なことは内地諸地方中隨一であることは勿論であるが、殊に十勝平野の中部と、上川盆地と釧路平野とは最も峻烈である。然し四月には雪解と共に温度は急に上昇し、植物も盛に生育する。

年平均氣温最高は矢張り函館で、最低は千島である。大體はよく緯度による氣温の變化を示してゐる。然し尙少しく詳細にみやうとすれば、地形とか海流とかいふもの影響の關係を考へねばならぬ。即ち南に山脈を負ひ、北にオホーツク海に向つてゐる北見の低平の海岸は、南部の十勝・釧路の海岸に比べて、冬の寒さ強く、殊に北風吹き荒れる時は吹雪を起して、咫尺を辨ずることが屢々である。夏は反對でその暑さが甚だしい。又周圍に山岳を續らしてゐる上川盆地は、大陸的の氣分が大いにする。

又東岸は寒流の影響によつて温度低く、西岸は暖流に洗はれて氣温が高い。従つて雨量も亦西斜面に多い。



この特に注意したい事に流氷と濃霧とがある。東部の沿海は冬から春にかけて流氷

が襲来し、沿岸亦凍結して、舟行はこれがために杜絶することがある。東南部の近海は夏季濃霧を生じ、航海は頗る危険で、燈臺には銚子の場合に似たやうな霧笛を設けて、その用に當てゝゐる。

【問題】

- 1 日本及其の附近の気温分布圖につきて、本地方が同緯度のアジヤ大陸の各地に比べて、高温である理由を考察せよ。
- 2 本島の雨量の少ない理由を研めよ。
- 3 本島の各平野の開発が氣候によつて左右される所が大であることを例によつて示せ。
- 4 海流の影響によつて氣候の著しく相違する地方をあげてみよ。
- 5 寒さを以つて有名な上川盆地に米作の比較的盛に行れて

根 室 灣 の 流 氷

6 わる理由を氣候の方面から研めてみよ。本島近海の航行に於て注意すべき事ありとすれば何か。

二 人文地理總説

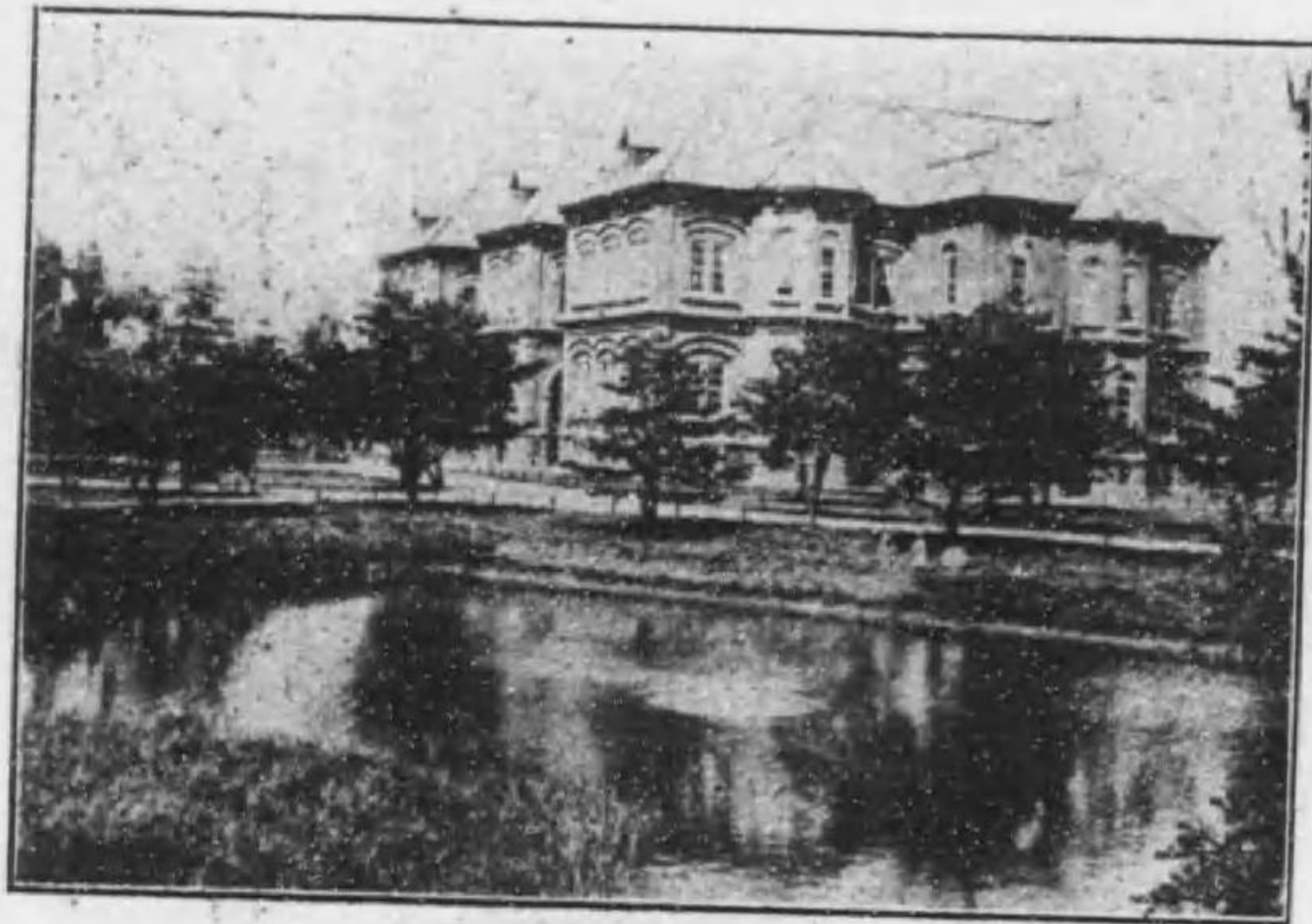
【政治】

本地方は人文の發達、到底本州・四國・九州に及ばない。それ故行政に關しては府縣廳を設けず、北海道廳を札幌に置き、中央集權的政府を組織し、六市十四支廳は各地普通の事務を扱ふのである。即ち實情は寧ろ植民地に近いといへよう。

【住民】

内地人の移住者は年々七八萬に達するけれども、未墾の土地が尙廣く、人煙また稀薄で、僅かに二百四十萬を算するに過ぎない。然し新開地であるので住

北 海 道 廳



民は皆元氣にとみ、企業熱盛んに、言語風俗等はよく東京に似てゐる。
全島の平均は三八三人で、丁度關東地方の五、三二〇人に對し十四分の一にしか當
らず、諸地方中最少で、奥羽地方のそれに比較してさへ、僅かにその二割八・九分にしか



アイヌの熊祭

當らない。而して、三八三人の平均數
以上の密度を有する地方は札幌平野・
炭田地方・函館地方等で、平均密度以
下の中、特に稀薄な地方は網走・留萌・
根室等の地方である。

本島には大和民族の外に、土着の住
民アイヌがゐる。古くは、本島は勿論、
利根川以北の本州の地にもはびこつたもので、大和民族の發展に連れて、漸次北退し
たことは歴史にみえてゐる。而して今は本島の所々に散在して、其の數も僅かに一萬七
千に減退した。



4 新開地であるのに聚村的で、都邑密度の大なる理由は如何。

【産業】

水産業 沿海は寒暖二流の通ずるところとして、魚介・海草に富み、世界屈指の大漁場

北 海 道
多くは浦河支應及び室蘭支應に住し、殊に平取及
その附近に最も部落が多い。そして宗谷・留萌など
の如うな互寒の地には矢張り少ない。
體格何れも偉大で、男には鬚髯多く、既婚の女子
は口邊に黥する奇習がある。性質は温順であるが遅
鈍で、農業漁獵を業としてゐる。

【問題】

- 1 本島の人口密度をみるに、札幌・函館及夕張地方は大で、網走・留萌・根室地方に小である。その理由を考察せよ。
- 2 アイヌの風俗について知れる所を述べよ。
- 3 アイヌ人保護のために、政府のこつた方法について知つてゐる所があるならば語つてみよ。

麥 麥の栽培は最も盛んである。勿論現在の産額は、その耕地の宏大なのに比べて左まで多いとも考へられぬが、麥酒醸造・製粉等の工業の發達と相俟つて愈々將來を囑目されてゐる。

は肥料として内地に供給する。この他、石狩川・西別川等諸川の鱈、東部近海の鱈、渡島半島の烏賊、東南海岸の昆布等亦多く、これ等は多く鹽漬としたり、乾製としたりして、内地や支那方面に送る。尙千島近海には臘虎・海豹・膾・豚獸等の海獸が棲息する。農業 平地廣く、土地よく肥えてゐるので、今や農業は、水産業と共に本島の主産業となつた。渡島半島・石狩平野・上川盆地・十勝・釧路の諸平野をはじめ、全島の平野は開拓次第に進み、動物と機械とを用ふる米國式の大農法が行はれ、耕地の規模は頗る宏大である。然し農業の行はれてゐる所は未だ全道可耕地の九分の一にしか及んでゐぬ。

米 寒冷の土地であるので、元々米産地ではない。然るに灌漑の利に富むのと、夏季一時高温に達するので水田が開け、石狩平野・上川盆地等の如きは有望な米産地たらんとしてゐるのである。



北 海 道 漁 獲

は鍊で、西岸及び北岸を主とし、福山・江差・岩内・壽都・留萌等をその中心地とする。身卸鍊・數の子は食用とし、鍊粕

であるから、漁期には奥羽・北陸の各地方から渡來するものが多い。而して水産業は本島の主業の一つであるだけに、水産漁獲高、水産製造物高共に本邦諸地方中嶄然として頭角を表はしてゐる。産額の大



石 狩 川 口 の 鱈 漁



林 檜 の 花

豆類 大豆・豌豆・小豆等の産出多く、中にも大豆は府縣中第一の岩手の上に出てる。即本邦第一で東京・大阪を初め内地に積出される。

玉蜀黍 食料又

は酒精原料として

用られる玉蜀黍

は府縣第一の愛媛

縣の約二倍額をも

産す。

馬鈴薯 本邦第

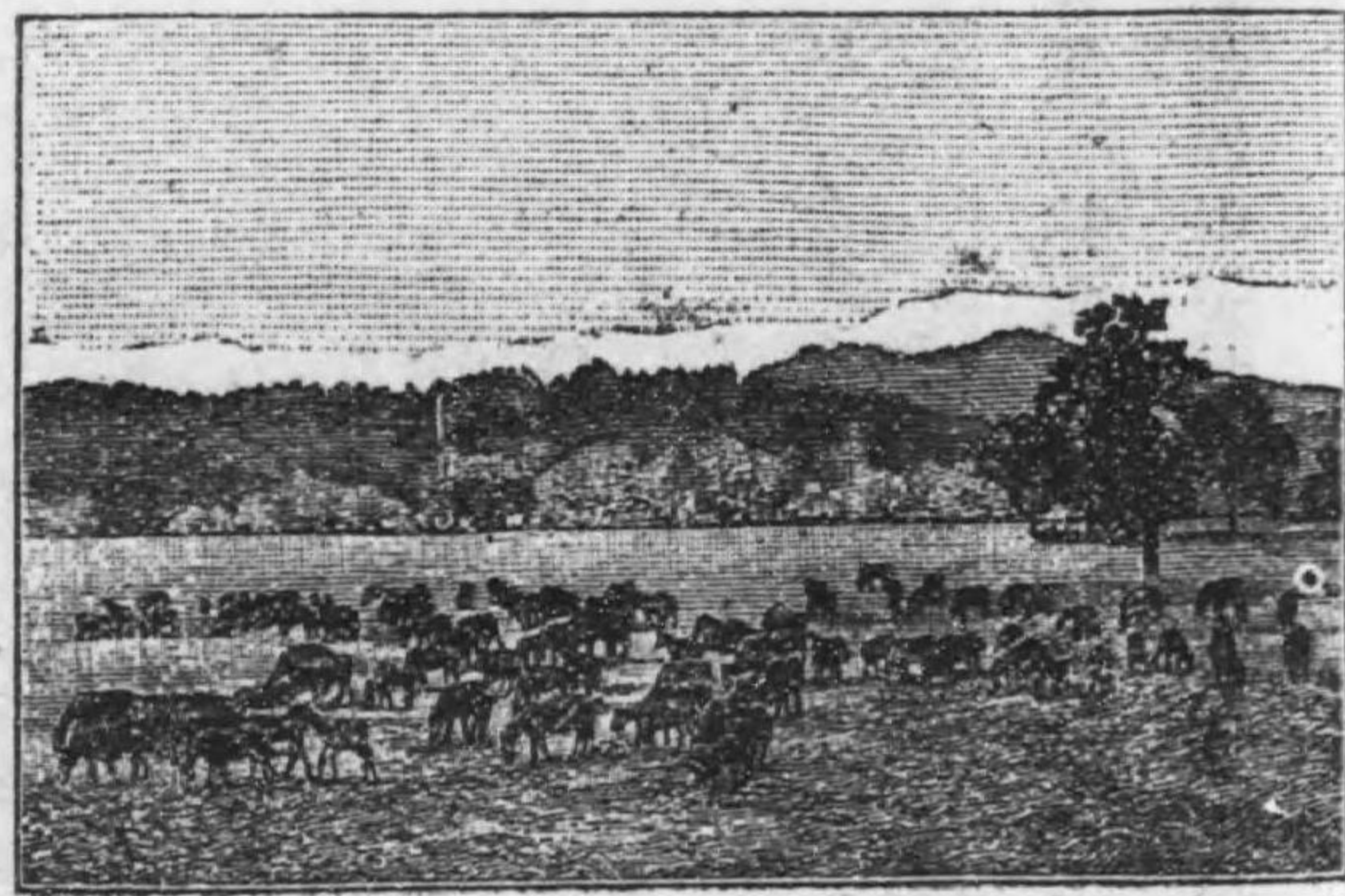
一の産額を有し、食料となり、澱粉製造に用ひ、酒精

原料ともなし、糟は飼畜料とする。

蔬菜と果實 甘藍・玉葱等の蔬菜は、苹果・櫻桃等

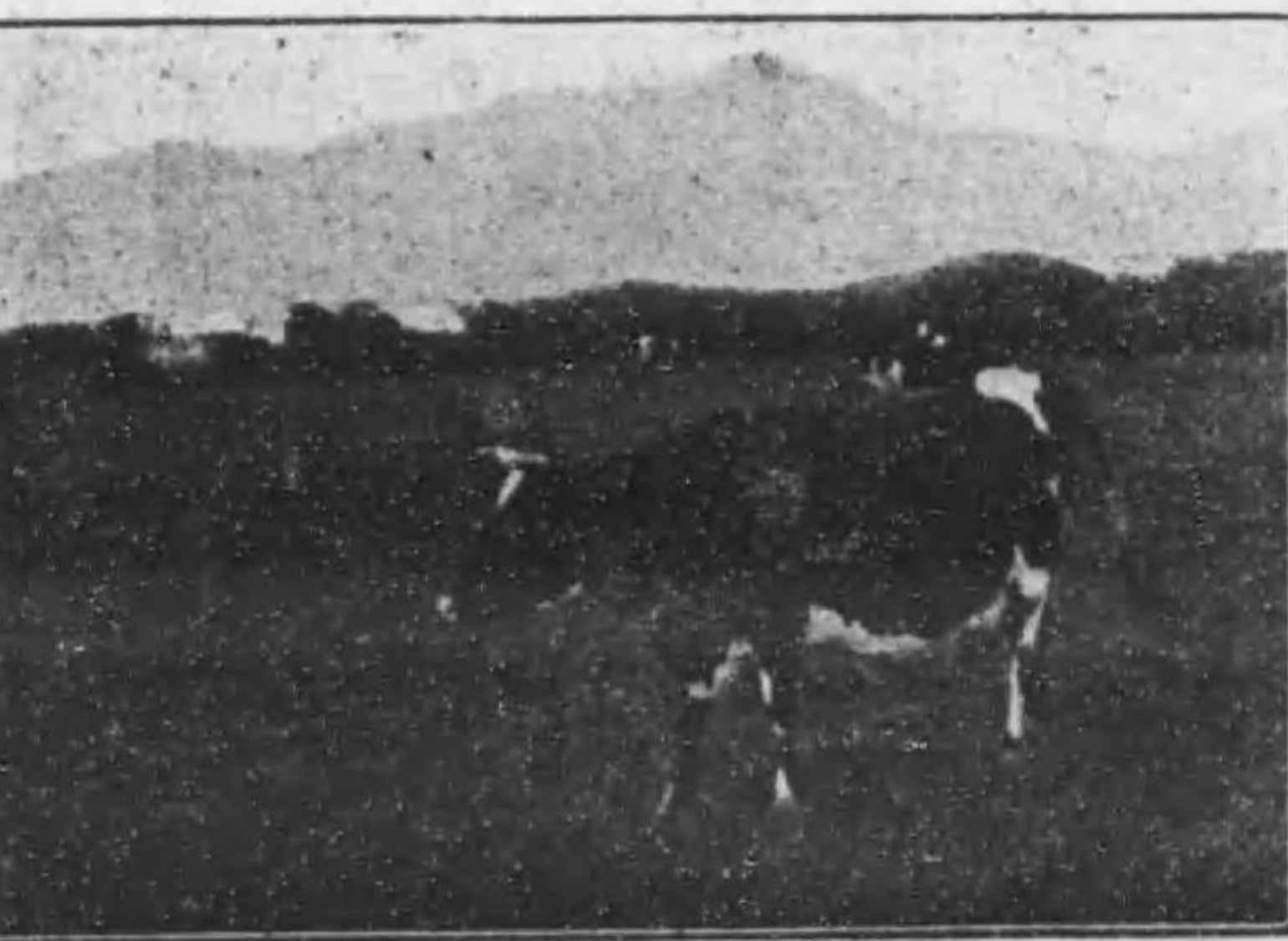


農作取苜の地草牧ユサール場牧寒月



十 勝 の 牧 場

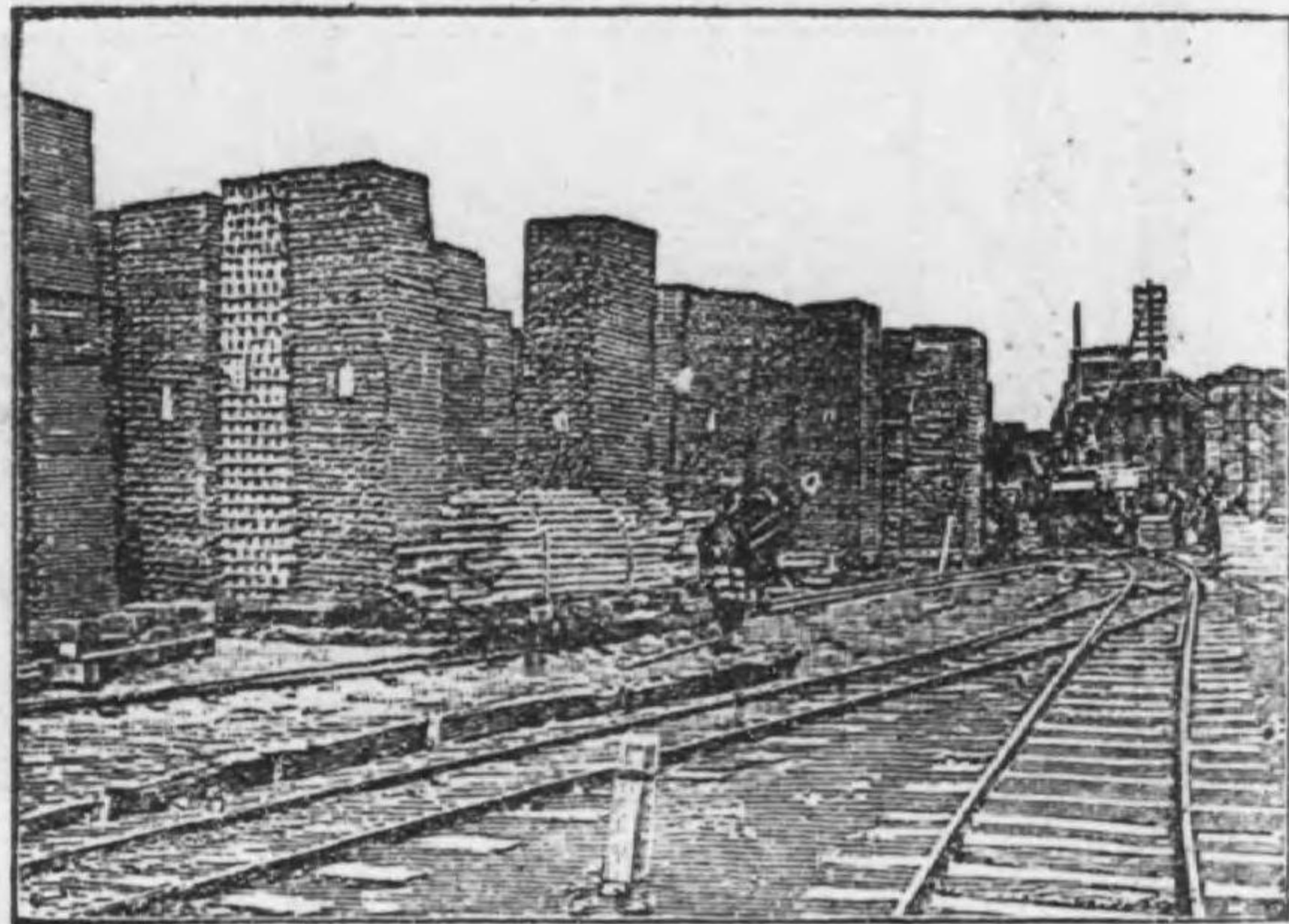
の果實と共に内地及びシベリヤ方面に送られてゐる。苹果と櫻桃とは未だ本邦第一といふ産額ではな
いが、(苹果は青森縣に次ぎ、櫻桃は山形・福島兩縣に
次ぐ)その將來は
有望で、二十町歩
以上も續く大苹果
園に紅果の累々と
して漲れる様は、
流石に北海道なら
ては見られぬ光景
である。



札幌外郊の牛放牧と藻巖山

牧畜 未だ盛んなりとはいへぬ。然しその廣大な原野而も牧草は潤澤で、又玉蜀黍・馬鈴薯等の飼料も

石狩炭田(夕張炭田)に多く、夕張・幌内・幾春別・歌志内等の諸炭坑で盛んに採掘されてゐる。石炭に次ぐのは硫

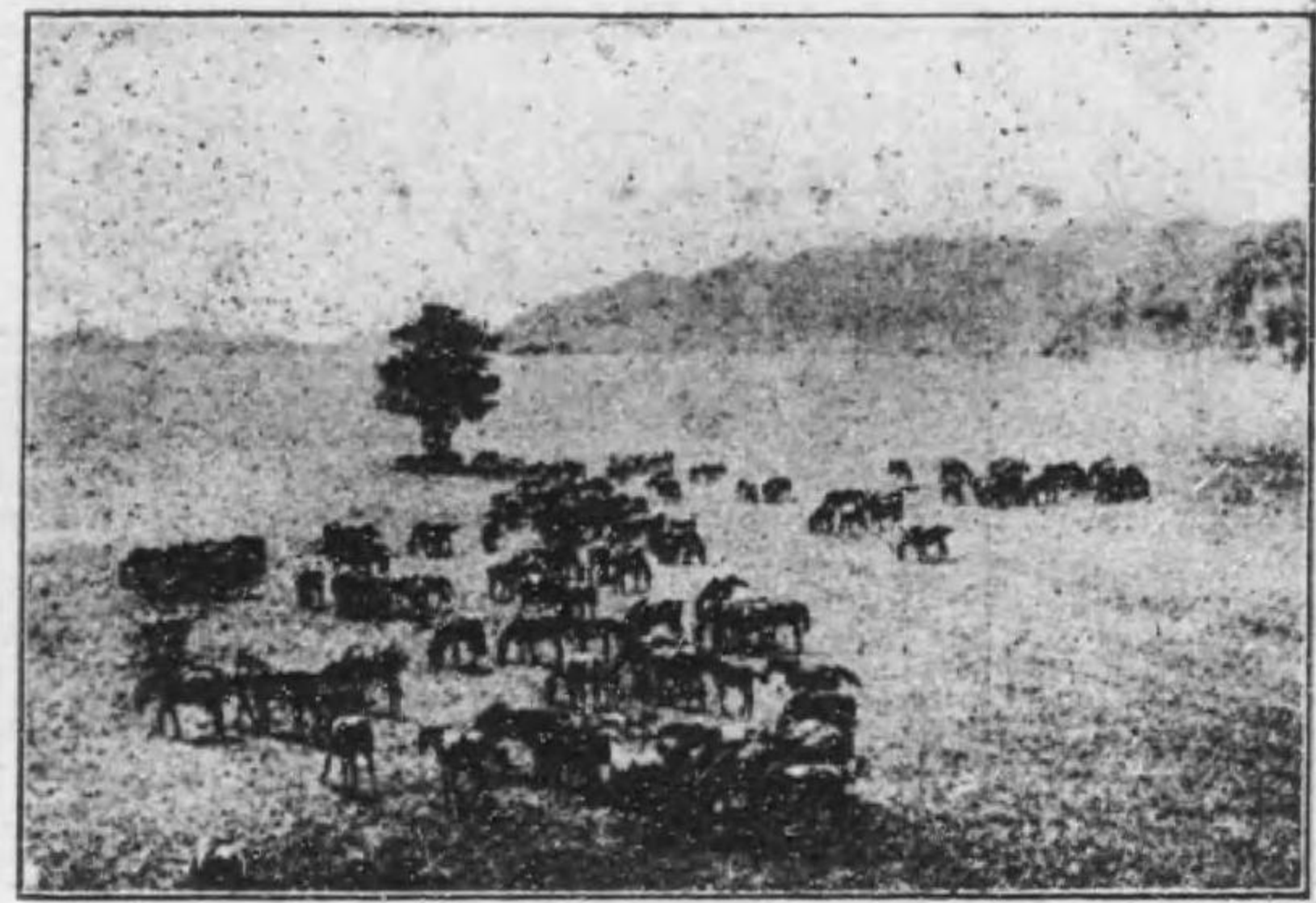


(川 砂) 散 集 の 材 木

れる。小樽及び石狩川上流の砂川の如きは最大の製材所で、釧路は最も有名なバルブ製造所である。又刺楸は器具材として遍く使用せられ、櫛の皮からは、鞣皮用のタンニンを取る。鑛業 鑛産物も亦少くない。石炭は産額九州炭に次ぎ、夕張山脈の西側なる所謂



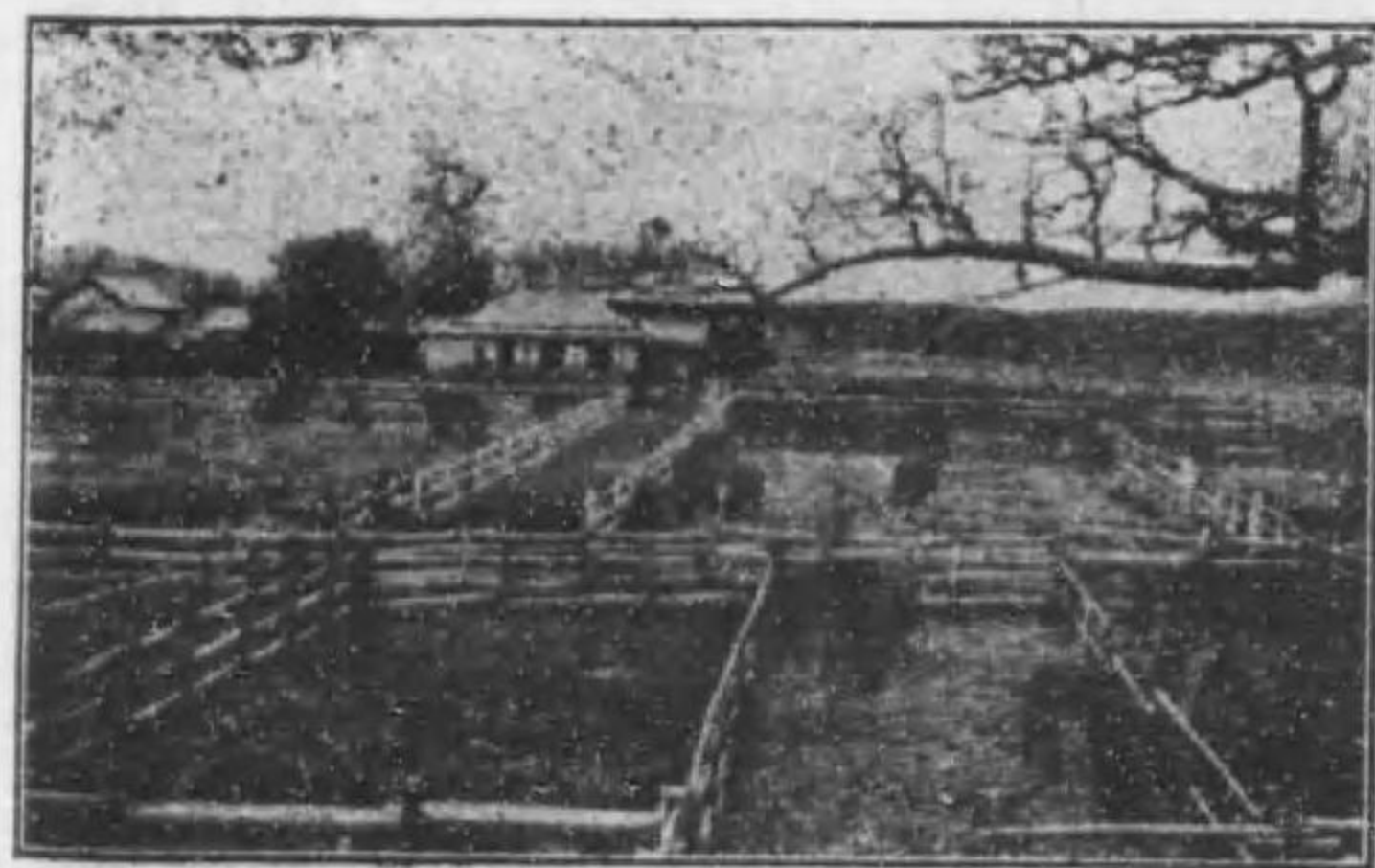
場 工 紙 製 牧 小 苦



牧 放 の 馬 場 蓄 種 廳 道 海 北

林業 林産亦頗る豊富で、山地には蝦夷松・檜松・落葉松・白揚等の美林が繁茂し、鐵道枕木(外國に輸出す)建築材料等を供給し、或は燐寸軸木・製材原料バルブ等に製造さ

豊富であるので、漸次その發達を促し、今や牧馬は本邦第一に位し、牧牛も相當の位置に達してゐる。日高國新冠御料牧場は木柵延長百六十餘軒に及び常に千頭餘の馬を飼育し、又札幌近郊の月寒には畜産試験場があつて、牛・豚等を放牧してゐる。その他、釧路の軍馬補充部支部を初め、公私の牧場各所に散點して良馬を出すことが多い。



場 牧 料 御 の 冠 新

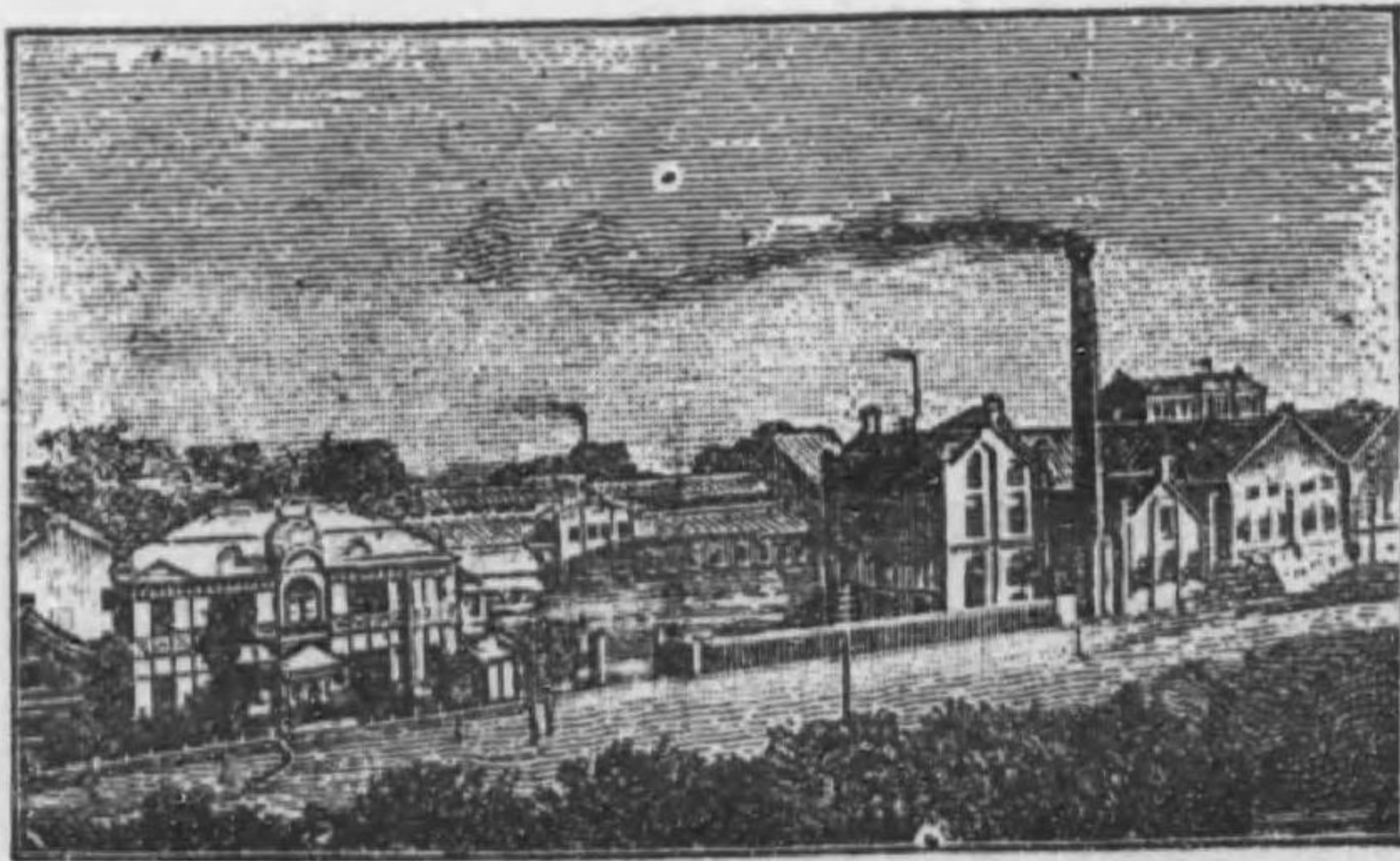
本島内諸取引の外に、内地に對して水産物・木材等を送る。外國貿易は函館・小樽・室蘭・釧路四市の外根室等に行はれ、木材・昆布・石炭等を輸出するが、小樽・



夕 張 坑 本 鏡

よつて、近年大工業が著しく勃興して、中にも札幌の麥酒醸造・製粉・麻類紡織、旭川の酒精醸造、函館の造船、室蘭の製鋼、若小枝の洋紙製抄等は何れも本邦有数のもので宏大な工場を有してゐる。

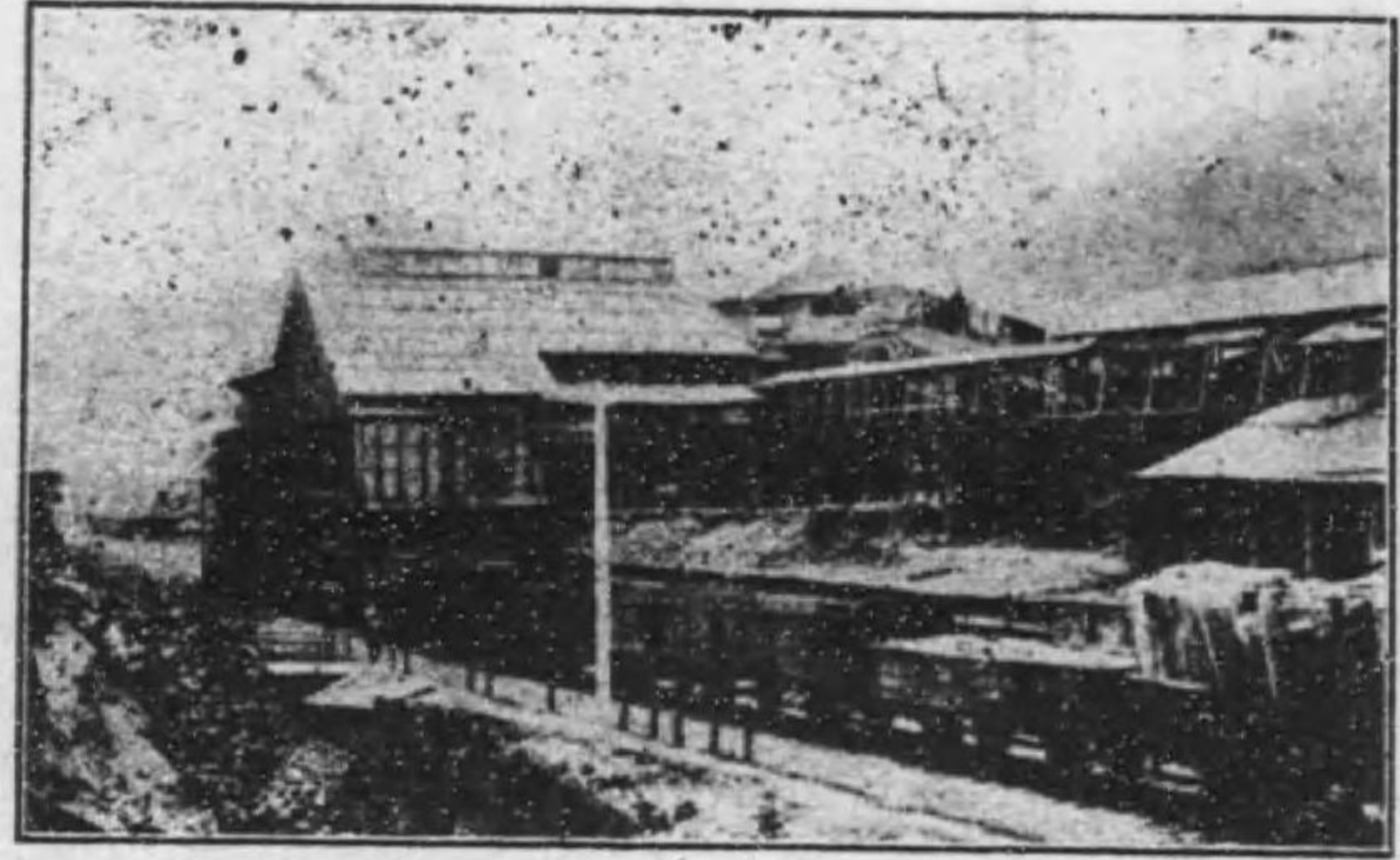
商業 内國商業は札幌・小樽・函館の三市を中心として行はれ



大日本麥酒社會の札幌工場

滿俺等も著名なものである。

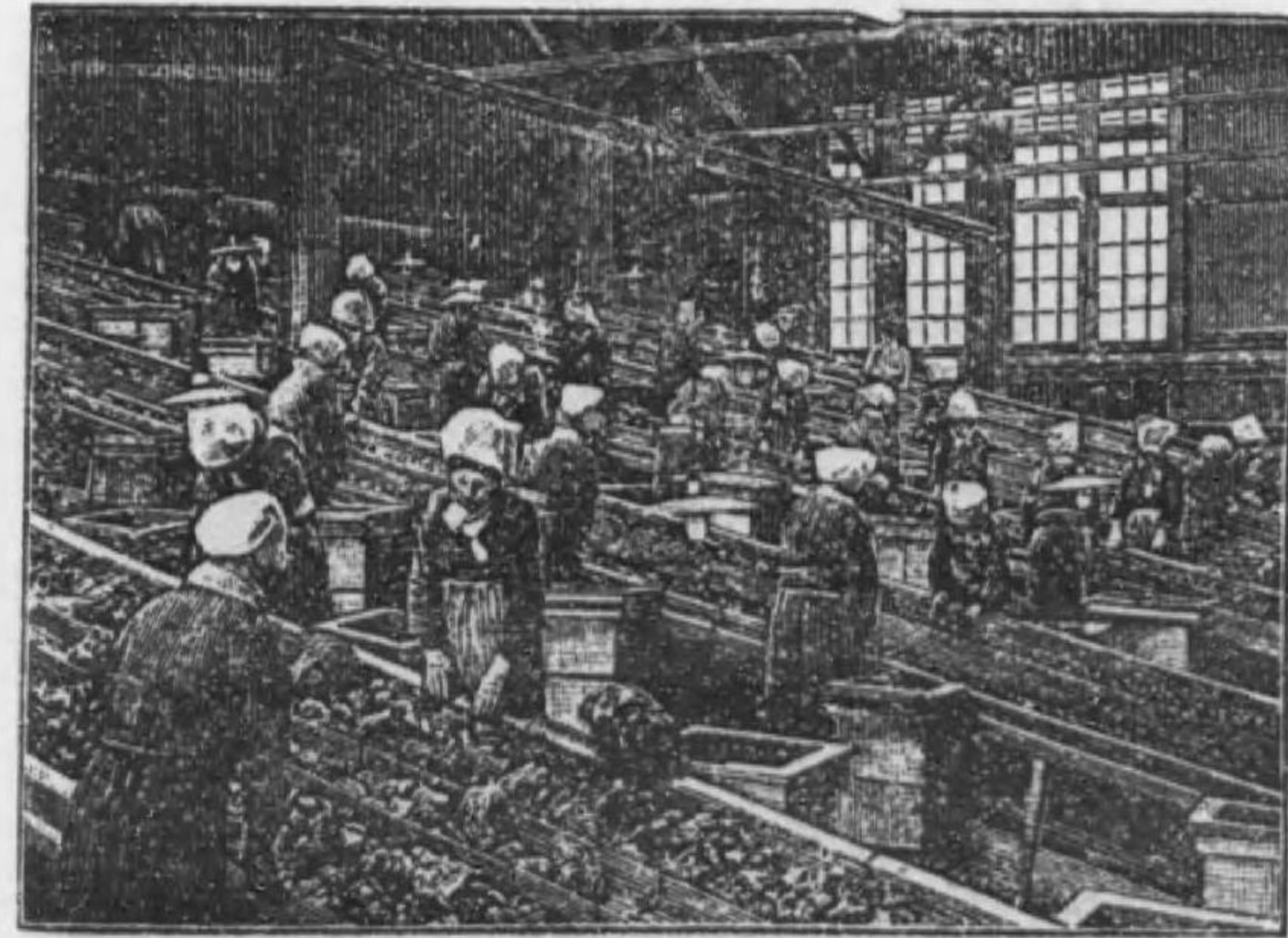
工業 燃料たる石炭が豊富で低廉であること、原料たる農産物や林産物が殆ど無盡藏であることとに



幌 内 鏡

黄て、本島の産は、只に本邦第一といふよりは寧ろ世界有数のものといひ度いので、勿論火山地方に多く、奥尻・岩雄登・古武井等が名高い。尙金は枝幸地方の砂金が第一で室蘭の北方幌別も亦多く産出する。

この他石狩西北部の石油、美利加の



夕 張 炭 山 選 炭 場



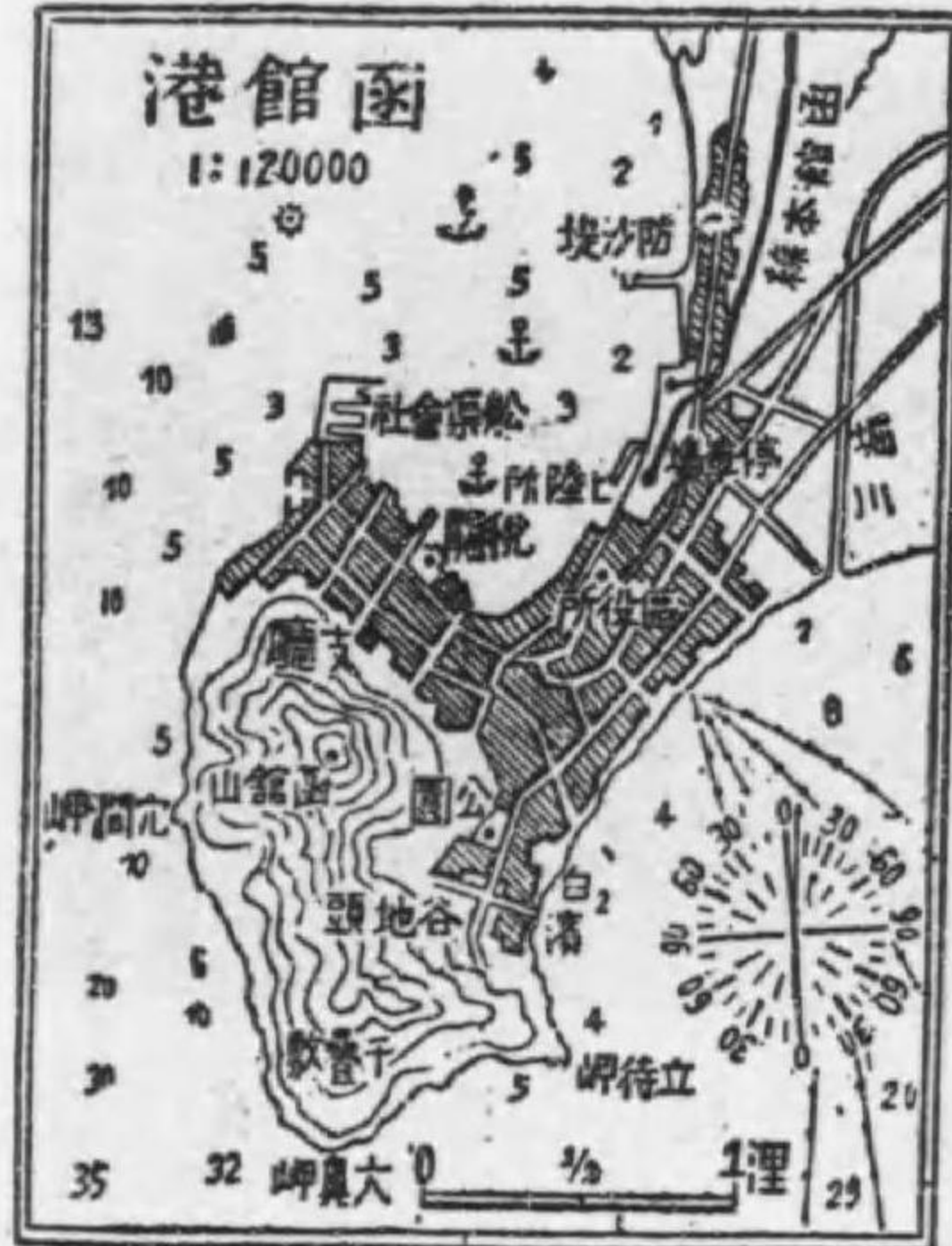
北海海道交通圖

【交通】
 新開地の常として、その主要道路は幅廣く、又僻遠の地にも驛遞所を設け、馬匹を雇つて往來するが如き、興味あることがみられる。又冬季には當然橇の利が盛んである。
 鐵道 は割合によく開通してゐる。これ土地廣くして人口少なき地方に於て、

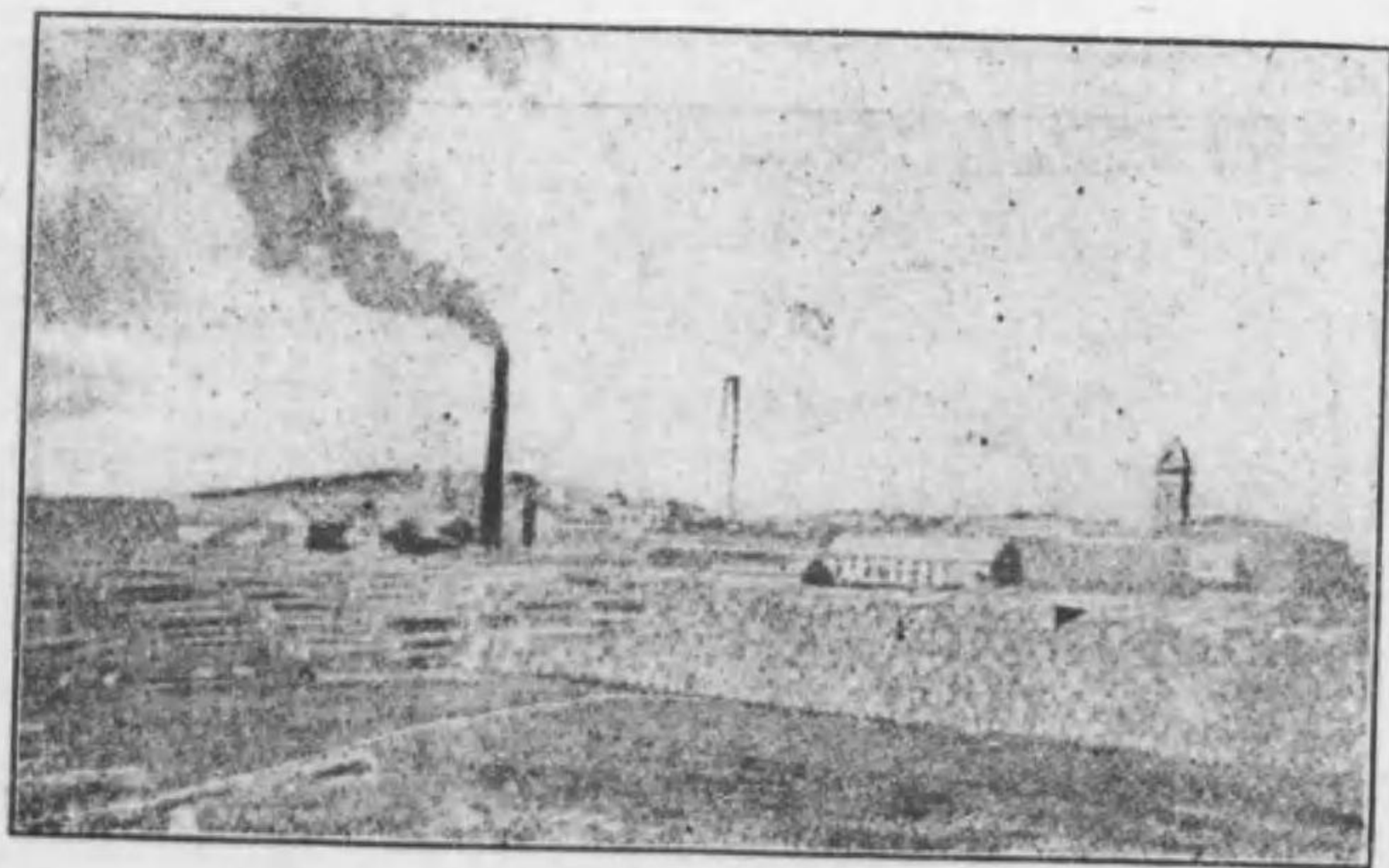
9 新開地であるに拘らず、家内工業に比べて各種大工業の著しく發達せる理由を考察せよ。
 10 工業の種類とその中心地をあげよ。
 10 本島の産業分布圖を描け。

函館の外は盛んだとはいへぬ。

【問題】



1 本島の近海に於ける水産の豊富な理由を考察せよ。
 2 本島の水産物と九州の水産物を比較してみよ。
 3 本島に米國式大農法の採用される理由如何。
 4 農産中工業原料として大いに利用されるものあらば擧げてみよ。
 5 本島産の果物と奥羽・中部・近畿・中國・九州等の果物を比較研究せよ。
 6 畜産中、最も多きものは何か。
 7 而して其の産額の多い理由如何
 8 本島産木材と臺灣島のそれとを比較してその相異を示せ。
 8 鐵産業中、硫黄が多額に輸出する理由をあげよ。



苦小牧製紙工場

文化開發の急先鋒をなすのは、鐵道にまつ外はない。斯うした例は北アメリカの新開墾地方に見られる。函館本線は函館から旭川に至るもので、北海道の四大都會を連れ、最も重要なものである。根室本線は函館本線の要驛瀧川から釧路を経て根室に至るもので、函館本線と相俟つて、本島の大幹線をなしてゐる。宗谷本線は旭川から頓別を経て稚内に終り、天鹽川流域の開發並びに樺太發展の促進を使命とするもので、最近竣工したばかりである。又室蘭本線は岩見驛から室蘭へ至り、網走本線は池田から網走へ至る。後者は宗谷本線と共に本島東北部植民の鐵道ともいへよう。

海運 函館・小樽・室蘭・釧路・根室等の諸港を中心として、沿岸の航通は勿論、内地・樺太・浦鹽斯德等の間にも航行がみられる。然し未だ盛大なりといふことは出来ぬ。殊に東岸地方は、濃霧と流氷とによつて、舟行大いに妨げられ、千島の如き、半歳の間殆ど航海を絶つといふ。

海底電信 函館・青森を中心として津輕海峽を連絡するものが最も多く、樺太との間にも設けられてゐる。然しそれにしても、まだ臺灣のそれにすら及ばぬのである。

根室落石岬には無線電信局があつて、主に北米航路の船との間に通信してゐる。

【問題】

- 1 濃霧は如何にして起るか。銚子附近や、金華山沖のと同様の成因によるか。
- 2 流水とは如何なるものか。氷山は如何なる途ひありや。
- 3 鐵道の開設が、その地方の文化開發の先鋒となつた例を知れりや。
- 4 内地から樺太に渡らんとする場合、成るべく陸路によらうとしたら如何なる道順をさるべきか。
- 5 本島に於ける冬季の交通につきて考察せよ。
- 6 海底電信の發達が臺灣に及ばない理由を考究せよ。

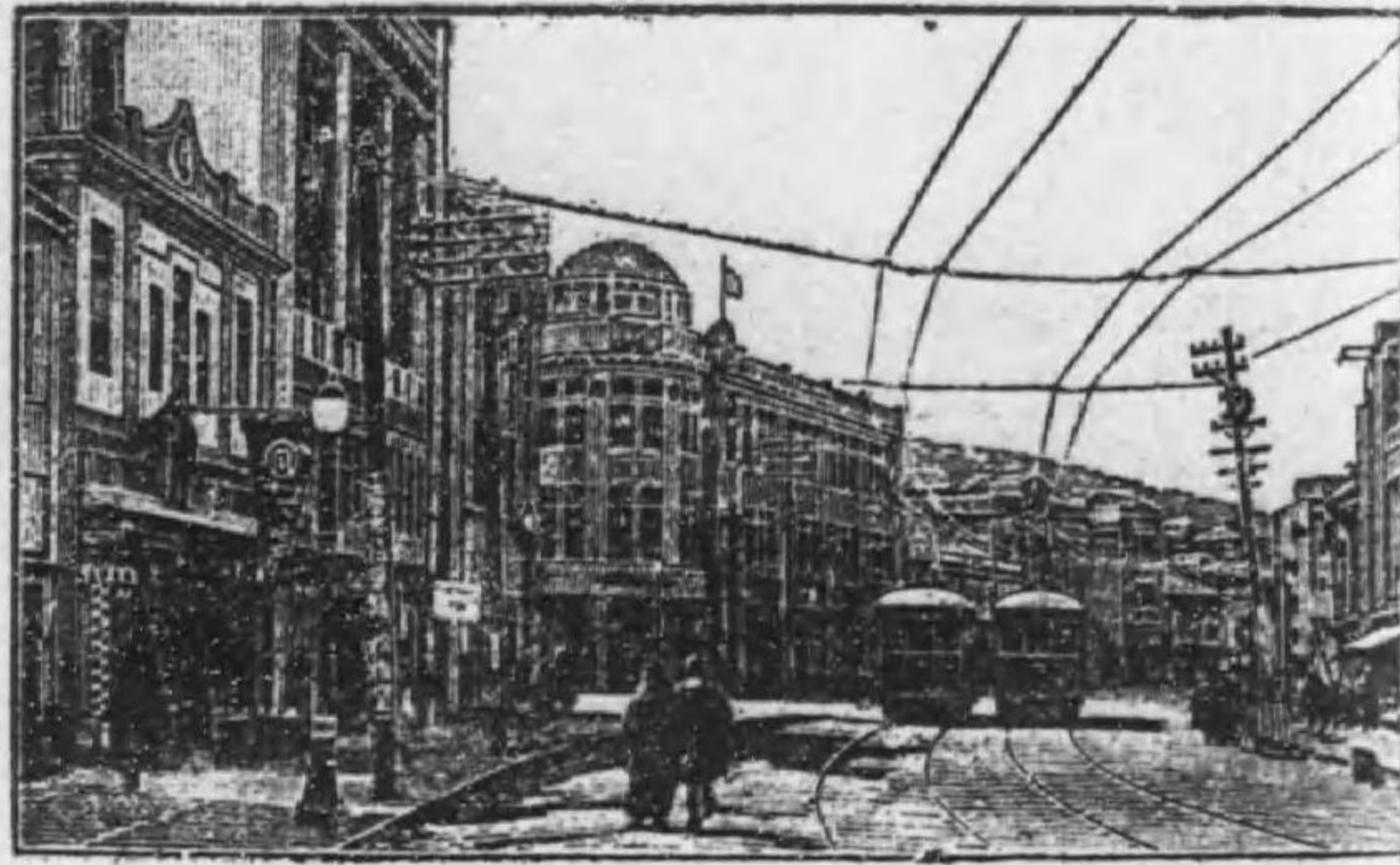
三 地 方 誌

北海道の都會は、その開發と共に、順次起つて來たものであるから、沿岸に密で、内陸に粗である。又内部の開けて行くに従ひ、先だつて起つた都邑には、自ら盛衰がある。

【半島部の都邑】

函館市(一五、二) 沿岸諸都會中、本港は交通上の位置他に優れ、又港灣は自然の良好であるので、夙に貿易港に定められ、本島の關門として活躍してゐる。然し小樽が

部の西岸に良港が無いので、この方面の開発は、自ら小樽の發達を促し、殊に樺太占領以來、新に之が補

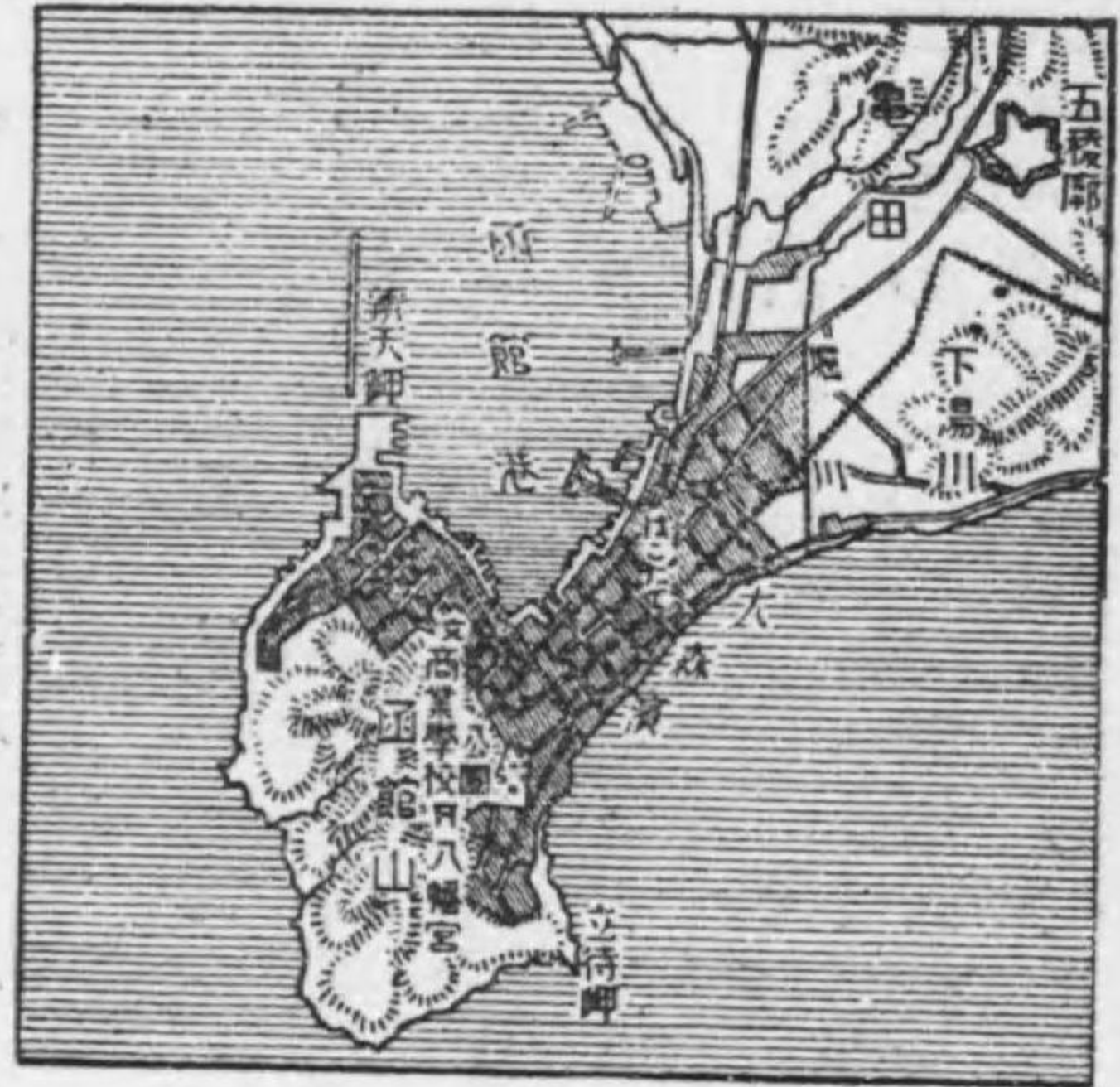


函 館 の 市 街

駒岳の南麓にある大沼は、駒岳の熔岩によつて堰止められた湖である。その大小二個の相連つて瓢形をなした狭隘部を函館本線が走つてゐる。仰げば駒ヶ岳火山の雄姿を望むべく、俯せば散點する島嶼の碧水に浮ぶを見る。小樽市(一一、〇)港はもと大して佳良といふのでもなかつたのに、胴體



五 稜 廓 採 氷 の 景



る。又北日本海の咽喉を扼する所として軍事上からも重要視され、對岸大湊と呼應して要塞を堅めてゐる。附近には函館戦争で名高い五稜廓がある。今は盛んに製氷して本州に輸送してゐる。大沼公園 本島第一の絶景とまでうたはれてゐる

開港して以來本港の生命であつた石狩平野を奪はれたので、貿易額は餘り大でない。主な輸出品は水産物と硫黄とて、前者は主として支那に向つて出されてゐる。造船業は近年勃興した本市の一大工業で、小樽と共に二大造船業地とされてゐる。造船業



函 館 の 青 函 連 絡 棧 橋

る。その中、岩内のみ獨り榮え、他は衰頹に向つてゐる。福山は本島最南の都邑で最も古く、維新前までは松前と稱し、松前氏の居城地として榮えたものであるが、今は昔の倅なく、人口の



港 樽 小

福山・江差・壽都・岩内 函館・小樽两市の間、西岸に福山・江差・壽都・岩内等の小邑があ

た。



大 沼 さ 駒 岳

炭・水産物・木材・豆等を出す。

市内には小樽高等商業學校があり、附近には製油・製材の大工場もあつて、工業市としても活動して來

給地となつて、更にその商區を擴張したので、市況頓に活潑となつた。即ち松前藩時代の鯨魚の一寒村は、札幌市街並びに石狩平野の開発と共に、急激に進歩して、今や人口十一萬を有する大都となつた。港灣の設備も遺憾なきまでに整つたので、水陸の交通も開け、日本郵船會社、東巡り及び西巡航路の終點、樺太航路の起點をなして船舶の出入も繁く、従つて輸出入額の如き本島第一に位し、石



大 沼 米 切 出 の 景

【問題】

- 1 小樽・函館両市の勢力の推移につきて考察せよ。
- 2 港としての室蘭と函館とを自然・人文の



登別温泉街の一部

つて、地學者の訪ねる者も尠くない。
室蘭市(六、一) 噴火灣の東口、室蘭灣の南岸に位置する開港場で、室蘭本線の起點である。背後には石炭の多い夕張炭田を控へてゐるので、本島有数の貿易市をなすと同時に、又本島屈指の工業市で、宏大な日本製鋼會社は有名で、盛に兵器・機械・鐵器等を製造する。



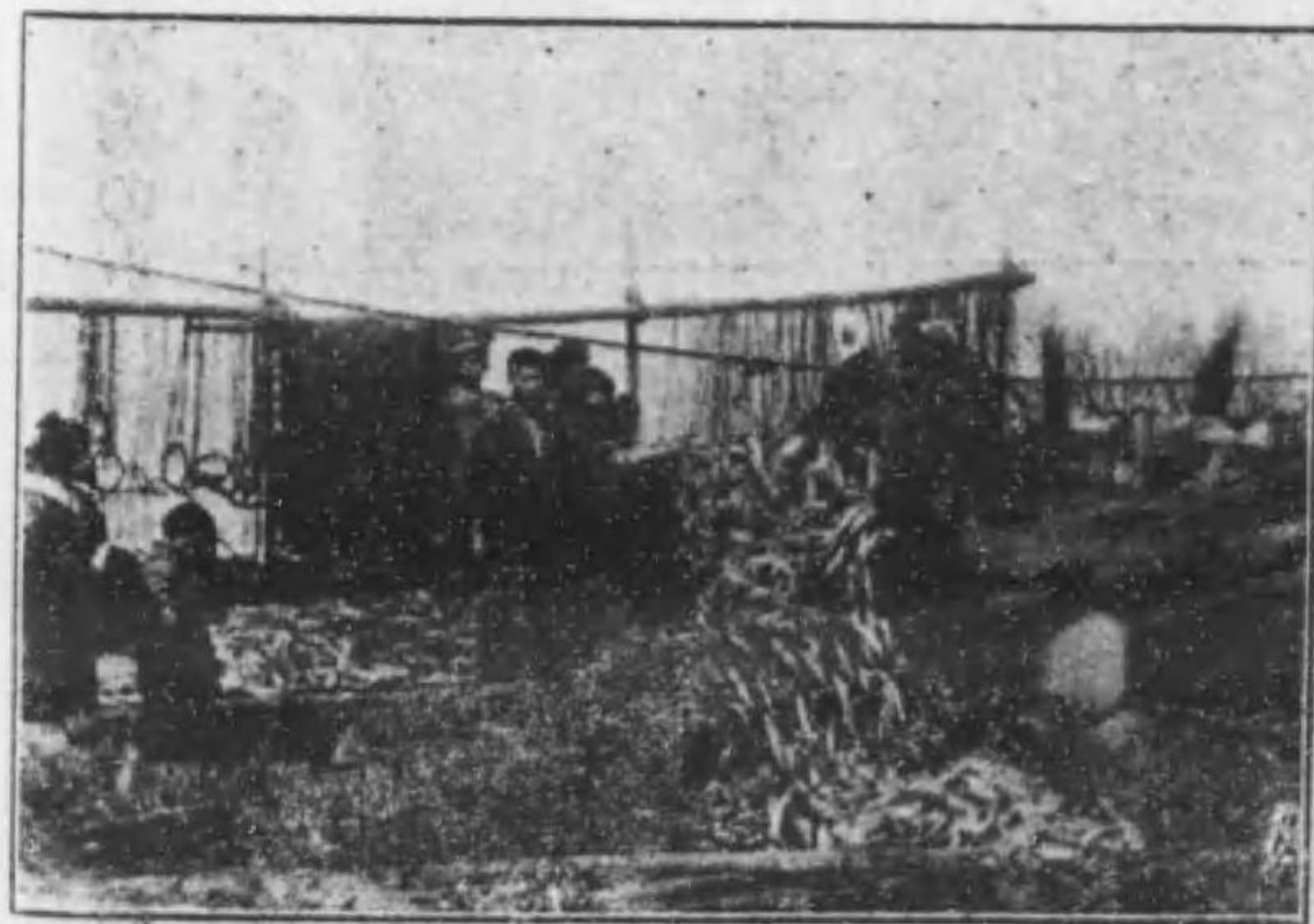
登別温泉地獄谷



岩内港防波堤燈臺

力電氣に動力を得て、盛んに洋紙を製出す。登別は苦小牧の東南方登別岳の山麓に近く、本島第一の温泉場で、夏季の浴客殊に多く、又爆裂孔・熱湖等がある。

如き僅か一萬にも達しないのである。江差・壽都・岩内は共に西岸の漁村で、鯨・鰯を集散し、岩内は附近に金・銀・銅の産地國富鑛山を控へてゐる。
 苦小牧と登別 苦小牧は室蘭線と日高線との分岐點にあつて、本邦有数の製紙業地である。木材に原料を仰ぎ、支笏湖の水



岩内近海の鯨漁



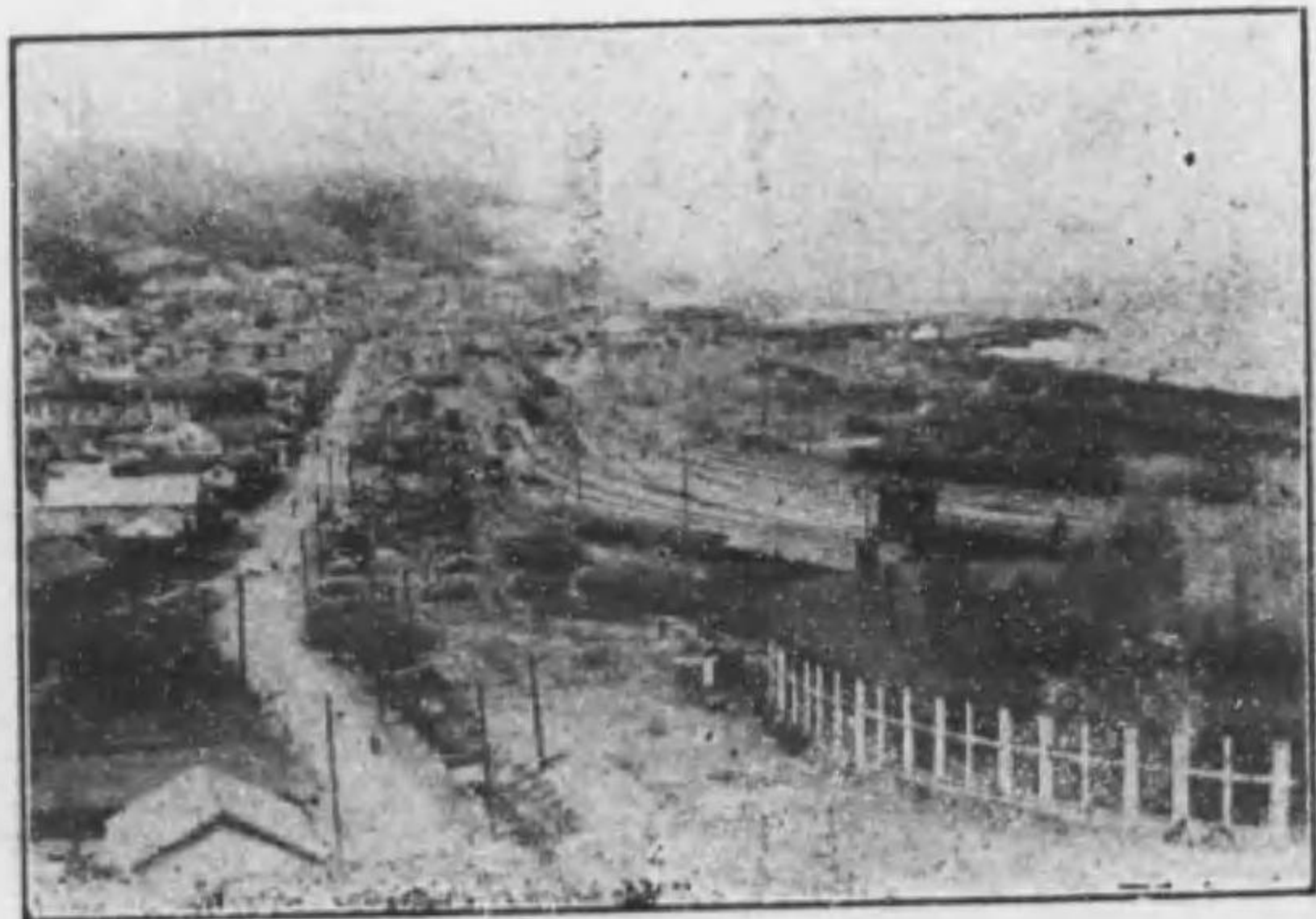
【**樞幹部西半部の都邑**】

札幌（一〇、七） 石狩平野

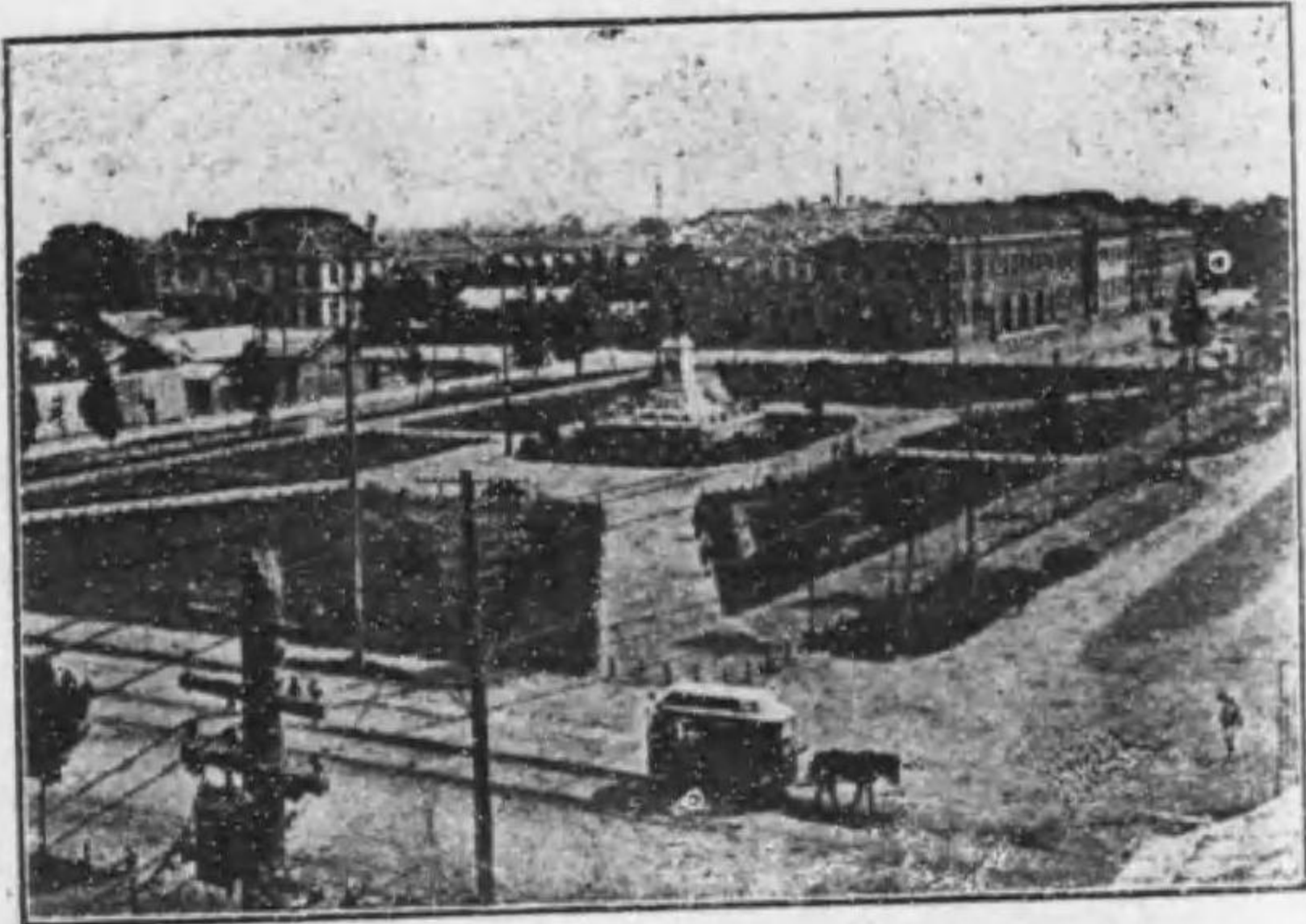
の西南隅に位し、豊平川に沿ふ。全道の首府で、北海

道廳が置かれてゐる。維新前までは唯々荒蕪たる原野に過ぎなかつた。然るに、明治初年開拓使廳をおき、ついで市區を劃し、函館方面の商人約二十人を移住せしめた。これが本市の起りて、市はまだ極めて若いものである。一體本市だけでなく、北海道の都邑は何れも若々しくて、その性質はよくアメリカの諸都邑に似てゐる。

- 3 兩方面から比較研究せよ。
- 3 福山町が現今の如く衰微せる理由如何。
- 4 宗谷本線開通後の小樽市につきて、何か考へられることがないか。

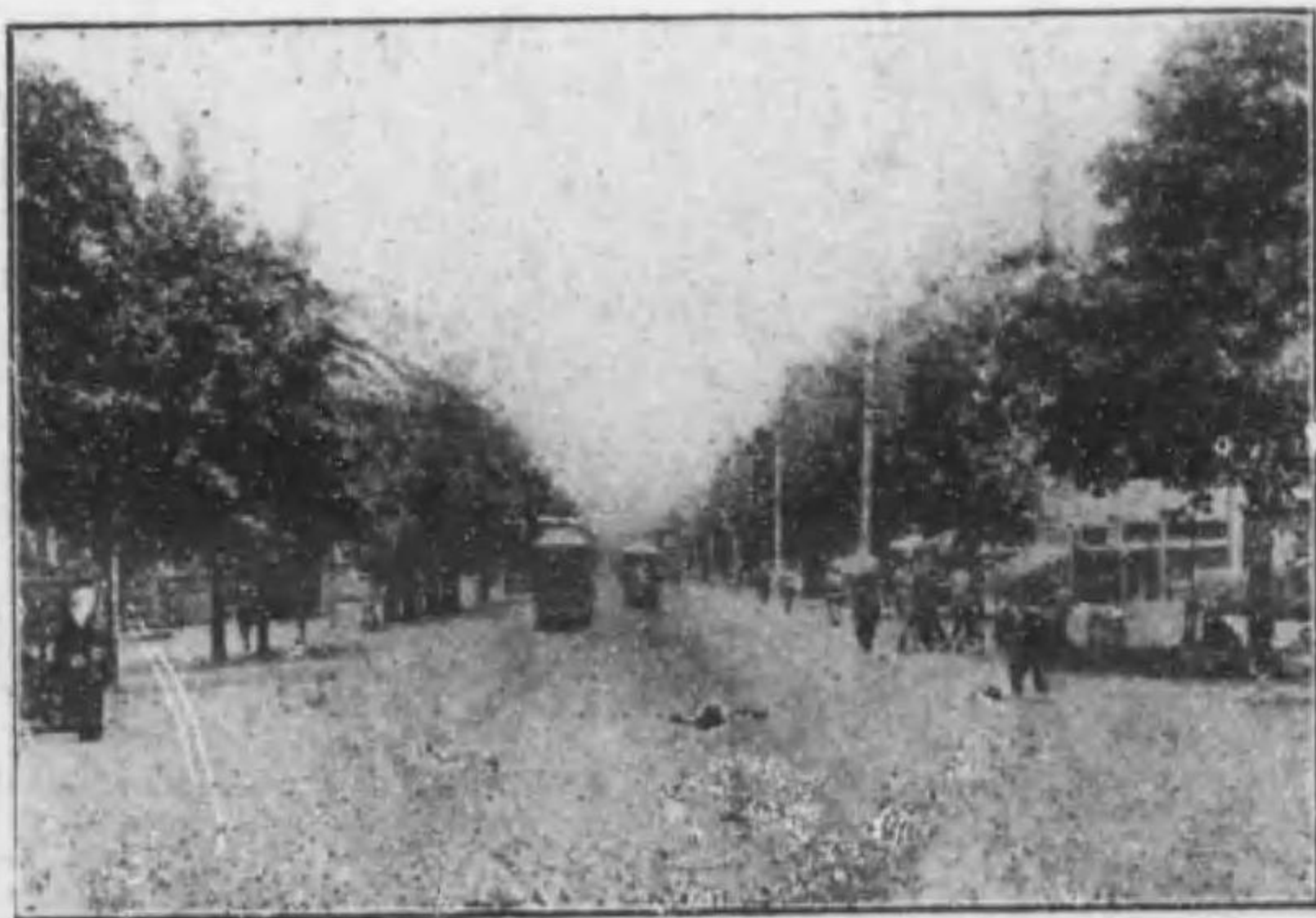


室 蘭 市 の 全 景



札幌大交通公園郵便局及區役所

市には又北海道帝國大學をはじめ、多くの諸學校があつて、別に全島文化の中心地ともなつてゐる。附近には麥酒醸造・製麻その他の大工場が幾つとなく立ち竝んで、工業の盛んな様を示してゐるが、一方内國商業も従つて盛んで、本島第一の稱がある。Hinterlandとして



札幌市街の通リ

天産の豊富な石狩平野を有することを思つた丈でも、その發展の偶然でないことに氣附くだらう。岩見澤（二、三） 東方に夕張・幌内・幾春別等の炭



札幌外郊のヤシカア並木

田地方を背景にもつて生れたこの町は、明治十七八年頃鳥取・山口等の士族が移住し來つたにはじまり、炭鑛鐵道本社並に工場を

設置してから急激に繁華を示すことゝなつた。瀧川と深川 前者は函館本線と根室本線、後者は函館本線と留萌線の分岐點で、交通上の要地を占め、又各々石狩平野内の地方的一中心である。旭川市(六、四) 上川盆地の中心市場たるこの旭川市は第七師團司令部がおかれてから、山間の寒村一



旭川市立旭川帝國大學



アシカアの花

躍して本島屈指の大都會となつた。附近は地味よく肥えて多くの農産を出し、その集散盛んに又燐寸軸木・酒精場も各種の工場も

立つて市街年々膨脹する傾きがある。留萌と増毛 鯨漁業及びその集散の盛んな市邑で、漁期になれば内地から澤山の漁民が集つて來て、賑かである。殊に留萌線が通じ築港も成つて、水陸の交通はいよゝゝ便利になつたので、益々繁榮を來たすことを期待されてゐる。



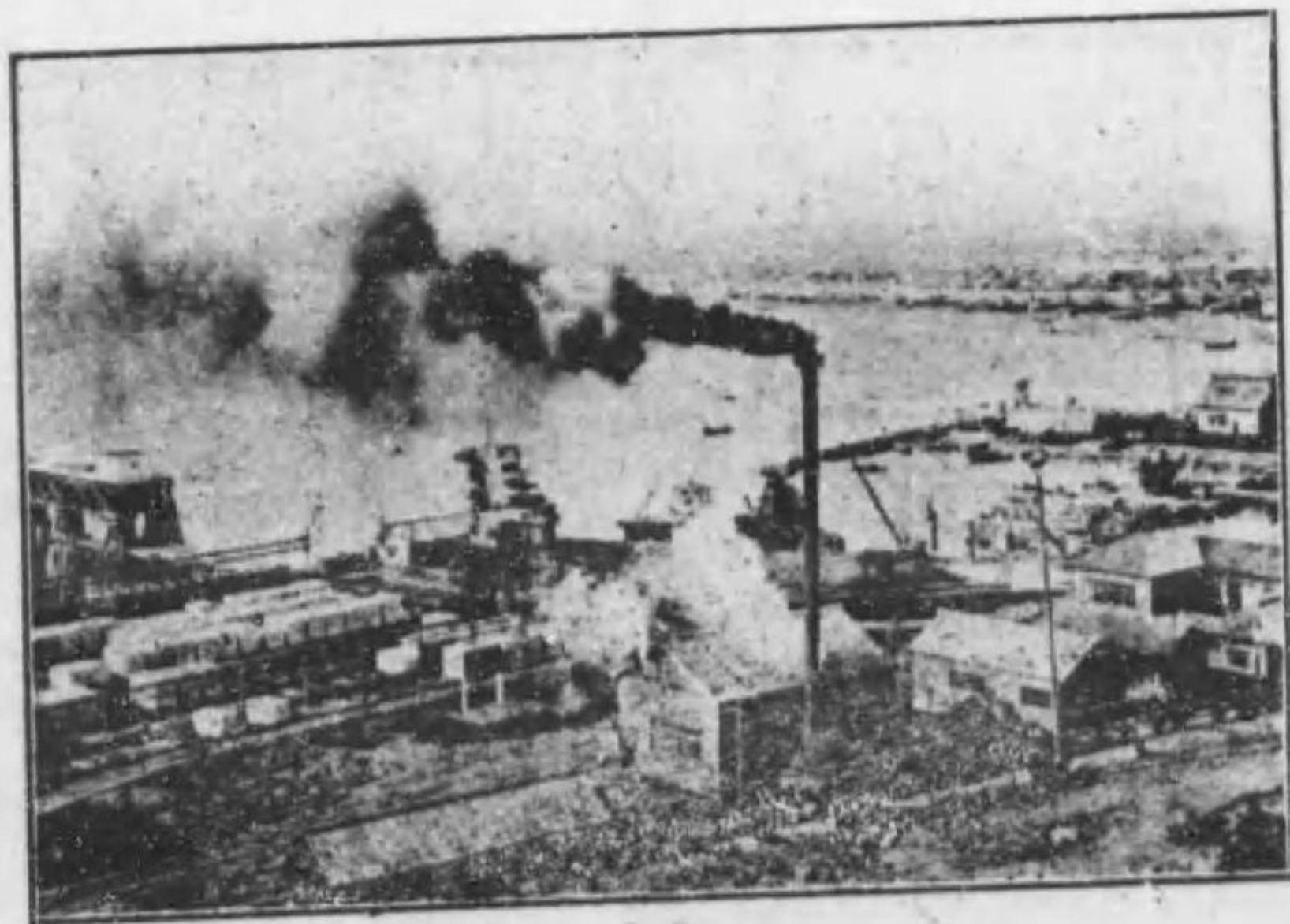
留萌中島公園

開かれる。實に市は釧路平野開拓の中心として、又



(通 條 三) 街 市 川 旭

釧路市(四、二)
釧路平野の中心
で、釧路川口に
位し、開港場で
製材も盛んに行
はれ、水産物の
他木材・燐寸軸
木等の集散も盛
んに、又馬市も

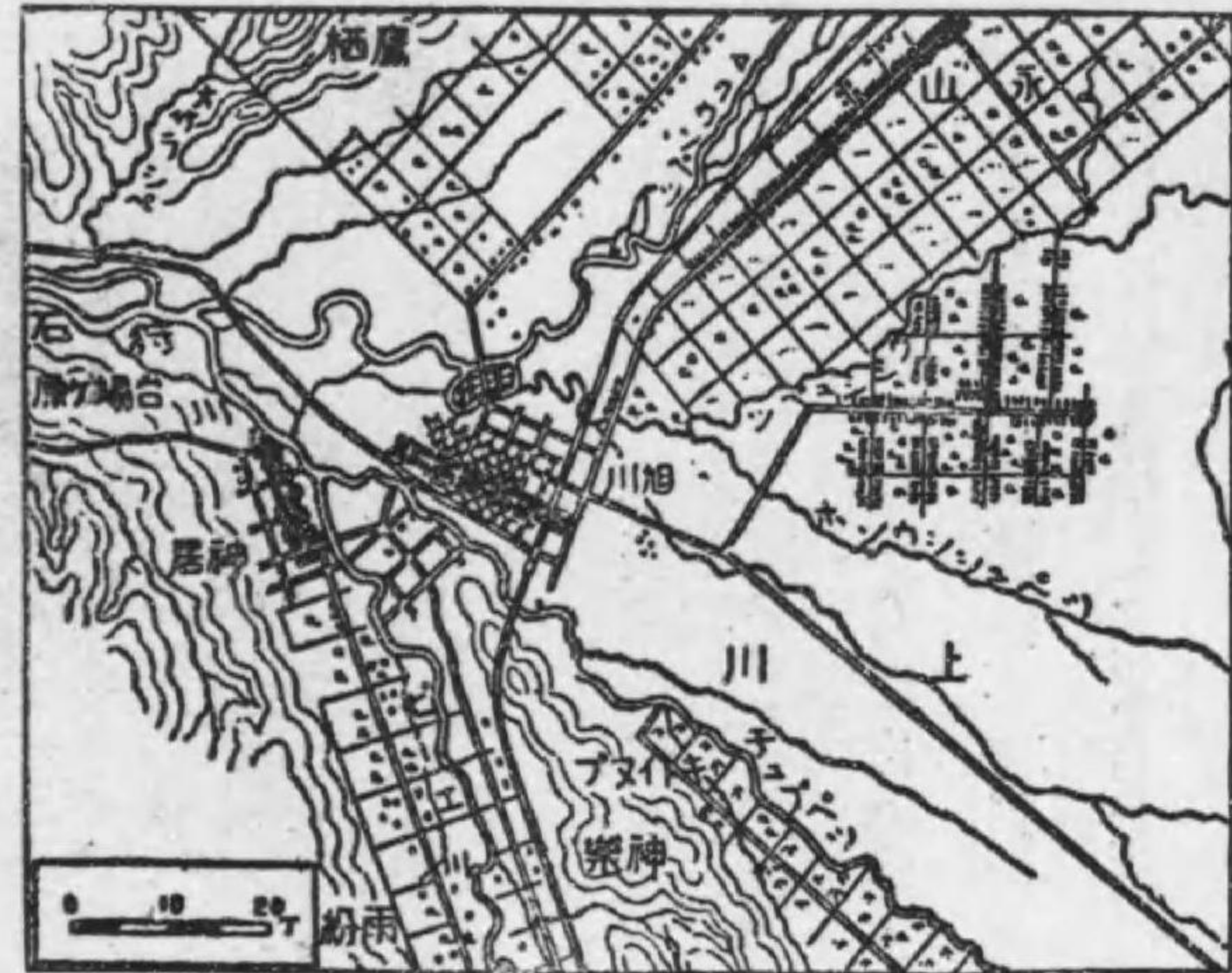


景 全 港 築 及 内 港 路 釧

發達したもので、この平野が石狩平野等に次いで
有望な開拓地であるだけ、それだけこの町も亦有
望で益々繁華に赴くであらう。

帶廣 十勝川に沿った、十勝平野開拓の中心として

【 軀 幹 部 東 部 の 都 邑 】



近 附 川 旭

【 問 題 】

- 1 五萬分ノ一地圖により、札幌及旭川の市區を観察して、他地方の都邑の形状と比較研究せよ。
- 2 旭川に師團司令部の設置された理由、並びに市の今日の發達をなしたる主なる原因を研めよ。
- 3 夏季と冬季に於て人口の多少の差ある地方の實例を他に知れりや。



む 望 を 橋 旭 り よ 鳥 中 川 旭

門戸として發達して來た町で、同時に今後亦この意味で發達するに違ひない。

厚岸 厚岸灣頭に位する一良港で、近海には昆布や牡蠣の特産があるので、その集散が行はれ、又近時木材業のため活氣を呈してゐる。

根室(一、五) 根室灣南岸の根室は、本島最東部の良港で、單に根室平野のみでなく、千島をも控へて水産物の集散が少くない。然しこの根室港は冬季凍結するので、船舶はこの背面の花咲港に寄泊する。

網走(二、九) 北見の東部、砂丘や潟湖の續く單調なオホーツク海岸に稀に見る良港で、近時鐵道網走線の開通によつて、南方十勝平野に通じ、大いに交通の便を得るに至つた。それに水産物の集



夏 季 の 根 室 港

散も盛んに行はれ、燐寸軸木製造の工業も起つて、本島屈指の町をなすに至つた。

稚内 北方第一の漁業地として鯨漁に著はれてゐる。鐵道宗谷線の開通によつて、往昔樺太渡航の要津であつた當時にかへつて、樺太渡航の一起點となり、市況も爲めに繁華に向つゐる。

【問題】

- 1 帯廣が廣大なる十勝平野の中心にありながら、何故に其の發達遅々たりしか。
- 2 釧路及び厚岸の部分な五萬ノ一地圖によつて、讀圖して其の港としての價値を研めよ。
- 3 オホーツク海方面に於て網走が重寶がられるに至つた事情を推究せよ。
- 4 僅かに花咲半島の北岸と南岸との違ひで、冬季一は船を入れ得べく、一つは入れ能はざる正反對の現象を示してゐる。考察に値あることである。
- 5 若返つた稚内とは何を意味するか。

【千島列島】 大小三十餘の島から成り、而もそは何れも悉く千島大小脈に屬する火山島で、現に活火山の數も頗る多い。高緯度であるのと、四圍が寒流に洗はれてゐるのとで氣候は至つて寒冷で、冬季は沿岸が悉く凍結する程である。

面積は合算して略四國と同じであるが、住民はアイヌ人と内地人と合せても僅々一

萬五千餘人に過ぎぬ。されば密度は極めて小で、而も國後・擇捉・得撫・幌筵・占守等を除けば他は殆ど無人島である。産物は全島を通じて硫黄・鱈・鱈等て、近海には臘虎・臘肭獸・鯨等が棲息してゐる。

國後島は地味農耕・植林に適當しないといふではないが、住民は漁業と硫黄採收業とから脱してゐない。擇捉島は列島中最大のもので、落葉松・樺等の樹木、鮭・鱈等の魚類を多く出す。紗那はその首邑で、漁期には漁民が多く來集して大いに繁昌する。占守島は本邦の最東端に當り、報效義會員在住す。一つには帝國北門の防備につとめ、一つには開墾事業に従事するものである。又阿頼度島は最北端の島で、本道最高の山を戴く。固定した聚落はないにしても、漁期には漁民が來集する。

【問題】

- 1 千島列島に住民の比較的僅少な理由如何。
- 2 固定した聚落もなく、漁期にのみ漁民の來集して繁昌を致す理由は何か。
- 3 郡川海軍大尉につきて知れることありや。
- 4 北海道本島の重なる平野を列舉し、尙その各々の中心都會をいへ。
- 5 本島の略圖を描き、それに重なる都邑を記入せよ。

第十章 樺太地方

一 自然地理解説

【位置】

樺太島は北海道本島の北に位し、その間に宗谷海峽を挟み、東は渺茫たるオホーツク海に臨み、西は間宮海峽を隔て、シベリアに對す。

島の南部、北緯五十度以南の地は、我が國の領土である。されば、我北方の要地として軍事上・經濟上重要な位置を占めてゐる。

【地勢】

概観 樺太山系の最北部を占むる本島は、その主軸山脈である西樺太山脈と、これに並走する東北山脈＝鈴谷山脈とから形成されてゐる。所が前者は北海道に入つては天鹽・夕張の山脈となり、尙下つて奥羽では奥羽山

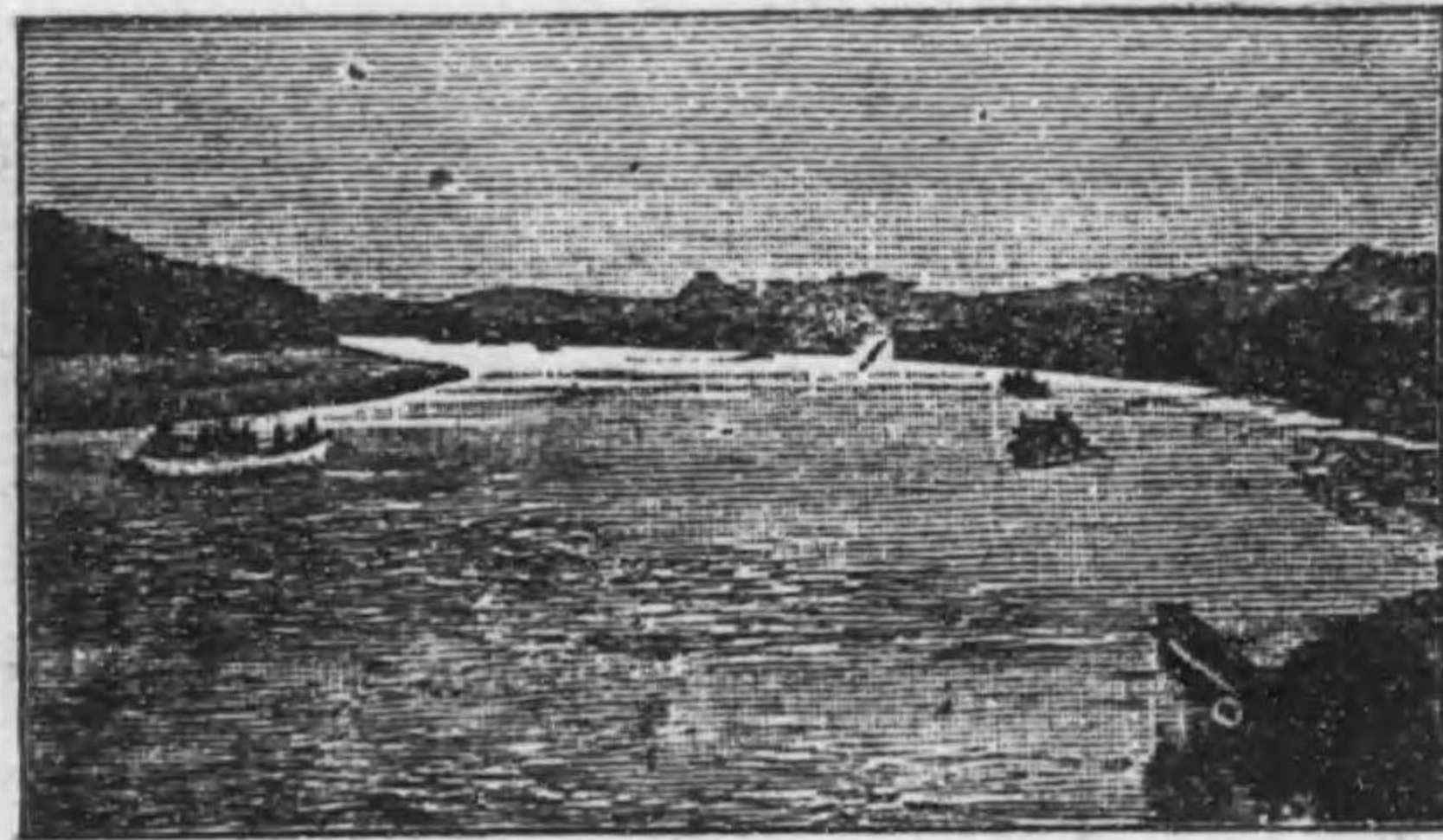


樺太地勢圖

脈となり、後者は同じく蝦夷山脈となり、北上阿武隈山脈となるといはれてゐる。山脈 西樺太山脈 露領から引續いて島の西部を南走し、能登呂半島を起し西能登呂岬に終つてゐる。所謂脊梁山脈で、第三紀層と中生層とから成立つてゐるので、比較的新しい化石や、石炭を埋藏してゐる。面積本島の過半を占め、高度も亦他に優つてゐる。然も山相は極めて穏かである。那須火山脈に屬する鶴城火山群は盟主鶴城山を中心とした多くの火山からなつてゐて西岸に一突起を形づくつてゐる。

東北山脈・鈴谷山脈 多來加灣及び其れ以南の海の陥没によつて、北方東北山脈と、南方鈴谷山脈・中知床山脈とは互に相分離し、又それ等山脈の方向にも幾分狂ひを來たしたが、元來は樺太山系の東を併走する大山脈であつて、古生層や片麻岩系から成つてゐる。海岸に美事な段丘(Terrace)の發達してゐる所をみれば、近年隆起したものと想像される。川はその隆起部を漸次切つて谷を作り、斷崖の下には運搬した土砂で(Platform)を作つてゐる。東北山脈は露領に起り、北知床岬の尖端で没し、海豹島等を興し、鈴谷山脈は中和床山脈の西に並走して、中間に富内浦・遠淵湖等を隔て、

る。



幌 内 川

河川・平野・湖沼 西樺太山脈と東北山脈に鈴谷山脈との間に中間凹地帯がある。こゝが大平野・大河川・大湖沼の横はるところで、北部には幌内川、その流域平野及び多來加湖等があり、南部には、西に内淵川・鈴谷川及びその流域平野があり、東に富内浦・遠淵湖等がある。近代の陥没によつて切離されて、一個の島をなしてゐた中知床が諸種の原因によつて陸續さとなり、海であつた部分には多くの砂洲が發達して幾個ものラグーン(Lagoon)を形づくるに至つた。この部分が即東方の小凹地帯で、斯うした例は既に學んだ佐渡島に於ても思ひ出される。

幌内川は遠く露領に發源して多來加灣に注ぎ、長さ凡三百二十軒にも達してゐる。

川巾も廣く且つ水深も比較的大きく、従つて舟運の便も尠くない。然し流域の平野は

大概、沼澤地で蘆荻類が密生し、矮小な落葉松がまばらに生じ、冬季は地中深く凍結して所謂ツンドラ (Tundra) をなす。されば自ら農耕には適せず、唯僅かに馴鹿の放



島嶼 屬島には臘納獸の繁殖所として名高い海豹島と、海驢の群れ集まる海馬島との

方 地 方 誌

牧地として利用されるのみである。地下の泥炭層はその厚さ十數米にも及ぶ所がある。
海岸 亞庭灣・多來加灣等の灣入はあれども、何れも鈍大であつて良港灣なく、概して海岸は單調であるといへる。而も冬季は海岸殆ど全部が凍結するので、いよいよ不便を感ずる。西海岸の眞岡の如きも不凍港で古くからよく利用されてゐるが、良港としての他の條件は餘り具へて居ない。大泊港の良港の名は本港が本島文化地帯の關門としての位置によつてかち得たものであるといつてよい。

二島がある。前者は東北山脈の海中に没して再び頭をもたげたもので、後者は南方から北上する那須火山脈中の一火山島である。兩者を比較考察する時に、面白い對照てあることに氣附く。

【問題】

- 1 樺太の位置が軍事上・經濟上重大な意味のあることを考察せよ。
- 2 地勢圖を讀み、本島と北海道本島との地體構造上の比較をせよ。
- 3 屬島の海豹島と海馬島とは、自然地理方面で如何なる説明をなすべきものが。
- 4 本島の海岸地形につき興味ある二三問題をあげて説明を試みよ。
- 5 廣大なる幌内川流域平野の開發の遅々たる理由を考へよ。
- 6 何故に内淵・鈴谷兩河流域平野が本島文化の中心地となり得たか。
- 7 幌内川は河道の蛇曲著しいのを以つて有名である。既習の河流に、かゝる例があつたか。
- 8 湖沼につきて語れ。

【氣候】 我が國では最高緯度の土地ではあるし、それにアジア大陸に接近してゐるので、氣温は概して甚だ低く、敷香の如き年平均の溫度零度約一度で、本邦中の最低である。落合は明治四十一年、一月氷點下四十五度餘を示して、我が國最底の記録を作つた。南西海岸のみは、對馬海流の末流に影響されて、氣温稍高く、眞岡の如きは年



3 霧の多い理由をのべよ。
本島の氣候と人文との關係につきて考察するところあり

亞 庭 灣 の 結 氷

平均三度餘で本島に稀な不凍港を藏してゐる。然し亞庭灣及東海岸は毎年十二月から翌年四月迄は海水が凍結して、六月迄流氷が漂ふ。又夏季は東岸が濃霧に襲はれて、航行は甚だ不便である。

【問題】

- 1 統計表によつて、本島の主なる地點の氣温と内地のそれとを比較せよ。
- 2 本島の南岸と西南岸とに濃



雪 中 の 運 動 會

- 4 氣候の方面から(Tundra)を説明せよ。
- 5 本島の文化中樞地帯の氣温が近年高まつたを報ぜられてゐる。果して信ぜられるものか。

二 人文地理總說

【政治】

現時樺太廳を豊原に置いて之を管轄してゐる。域内を九支廳に分ち、近年郡町村を設置するに至つた。地圖によつて九支廳を列擧してみよ。

本島は奥蝦夷といつた久しい昔から、日露兩國の系争地であつたが、維新當時になつてからも北緯五十度を以つて境界とせんとしたこともあり、また五十度以北を三百萬圓で我が國に買收せんとしたこともあつた。が明治八年に至つて遂に所謂千島・樺太の交換問題となり、全部ロシア領となつた。然るに日露戰爭の講和條約に従ひ、北緯五十度以南の地



森 林 と キ ス の 雪 中 の 踏 破



日露境界の標石

は我が版圖に入つた。かくて明治四十一年八月境界制定委員長陸軍少將大島健一氏は、天測によつて四境界點を決定し、こゝに大標石を設置した。尙四個の大標石の間には十七個の小標石を點綴し、更にその中間に標木を樹て、又全境界線に亘つて、幅十米の林空を伐開いたのである。

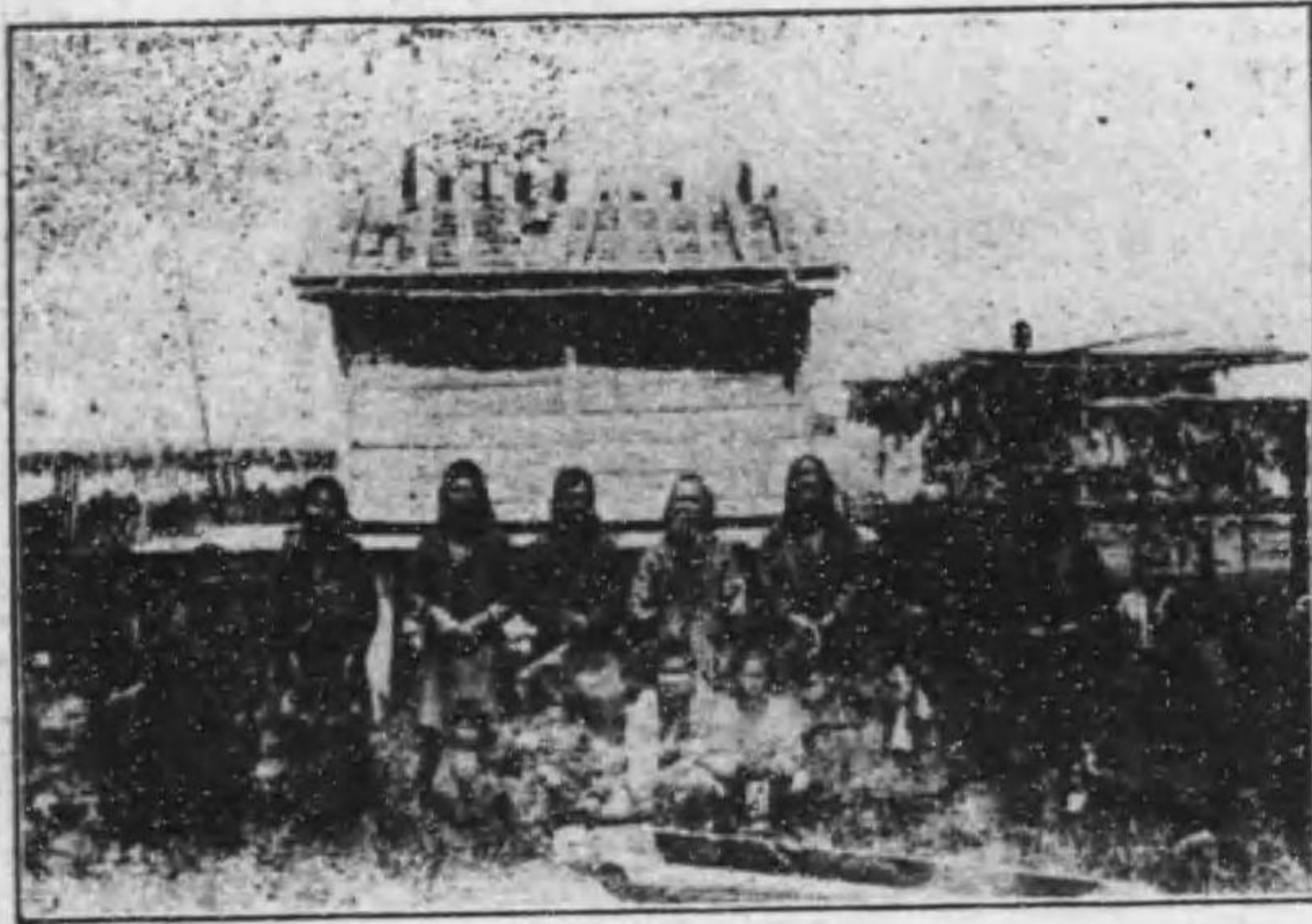
財政 臺灣が明治三十八年度から全く國庫の補

助を必要としないやうになつたのみか同四十一年度からは反つて國庫を補ひ得るに至つたのに比し、樺太は領有以來今尙ほ國庫からの補助をうけてゐる。然し年と共にその額は減少して行つてゐる。

【問題】

- 1 樺太の政治について考へる時には必ず同時に、その沿革について一考するがよい。
- 2 我が國の境界線としては珍らしい直線的なものが樺太にある。斯かる境界線は世界の何れの地方にみられるか。又他の自然的境界線に較べて如何なる相違をもつてゐるか。

3 臺灣は領有後僅か十數年を出でずして、國庫を補助するに至つた、然るに樺太は領有後已に十數年を経ても今尙國庫の補助を受けてゐる。何によつてか、る差違を生ずるものか。



樺太の土人との漁業

【住民】 人口僅か十萬餘、全平均密度は四五人で、内地諸地方中最稀薄地である北海

道に比べてさへ、漸くその八分の一にしか當らぬ。

而して平均密度以上は南部諸支廳で、以下は敷香・

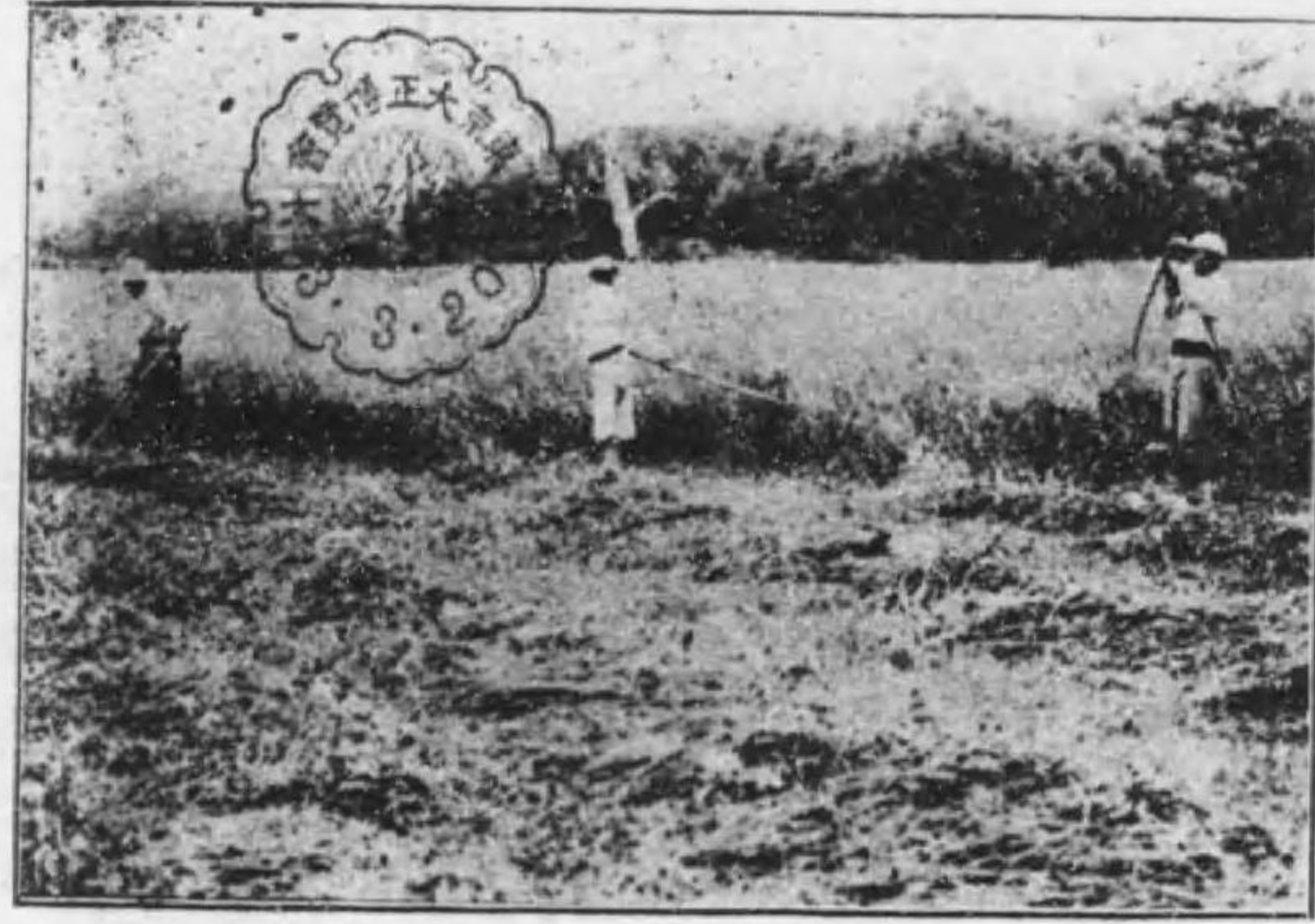
鶴城・元泊等北部諸支廳である。

内地人は領有當時は僅か一萬に過ぎなかつたが、今や十萬以上に達した、殊に近年愈々増加の傾向を示し、漁業者と農業者が多く渡來する。朝鮮人は一千人足らずである。外國人としてはギリヤーク系統の露西亞人數百人で、本島古來の住民にはアイヌ・オロチヨン・ギリヤーク等であつて總數二千に及ぶ。それ等は性溫柔であるが遲鈍で、夏は河海に漁り冬

は林野に狩獵を殊としてゐる。

【問題】

- 1 何故に樺太は人口が少ないか。
- 2 北部地方が南部地方に比べて一層人口密度の小さな理由を知れりや。



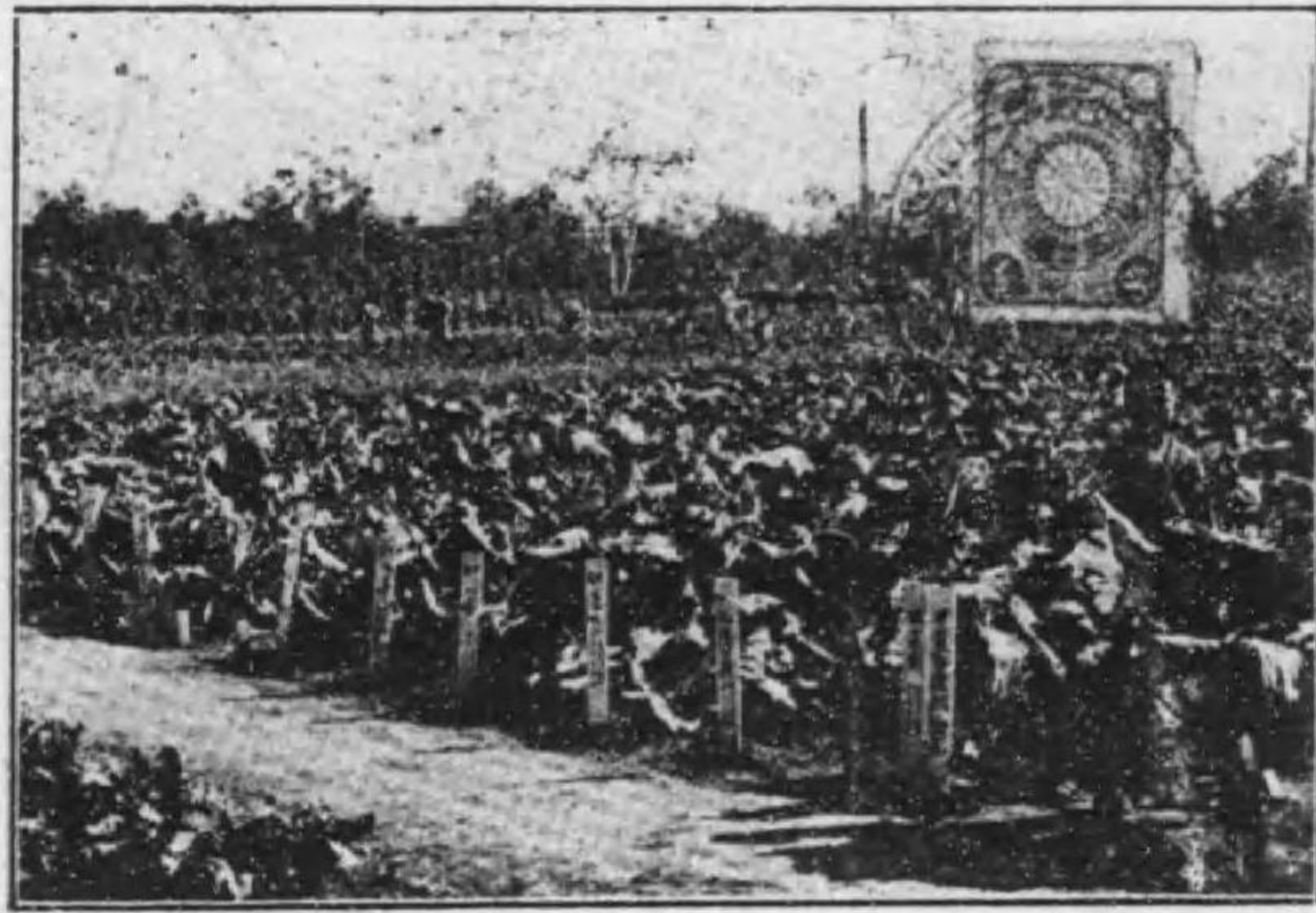
樺 太 の 農 業 圖

農業 氣候が寒冷である上に、人口が極めて稀薄で而も土人は耕作に長ぜず、尙久しい間ロシアの流刑植民地であつたので、當時農民といへばその囚人であつた。斯くの如くで、豊沃であるべき地域でさへも空しく荒れ果てるまゝに捨てられてゐた。然るに我領有となつて以後は、官民共に努めて、農民の招致・土地の開墾・方法の改良に力を致した。その結果として現今では漸く隆盛の運に向はんとしてゐる。

主な農業地帯は南部低地の留多加川・鈴谷川・内淵

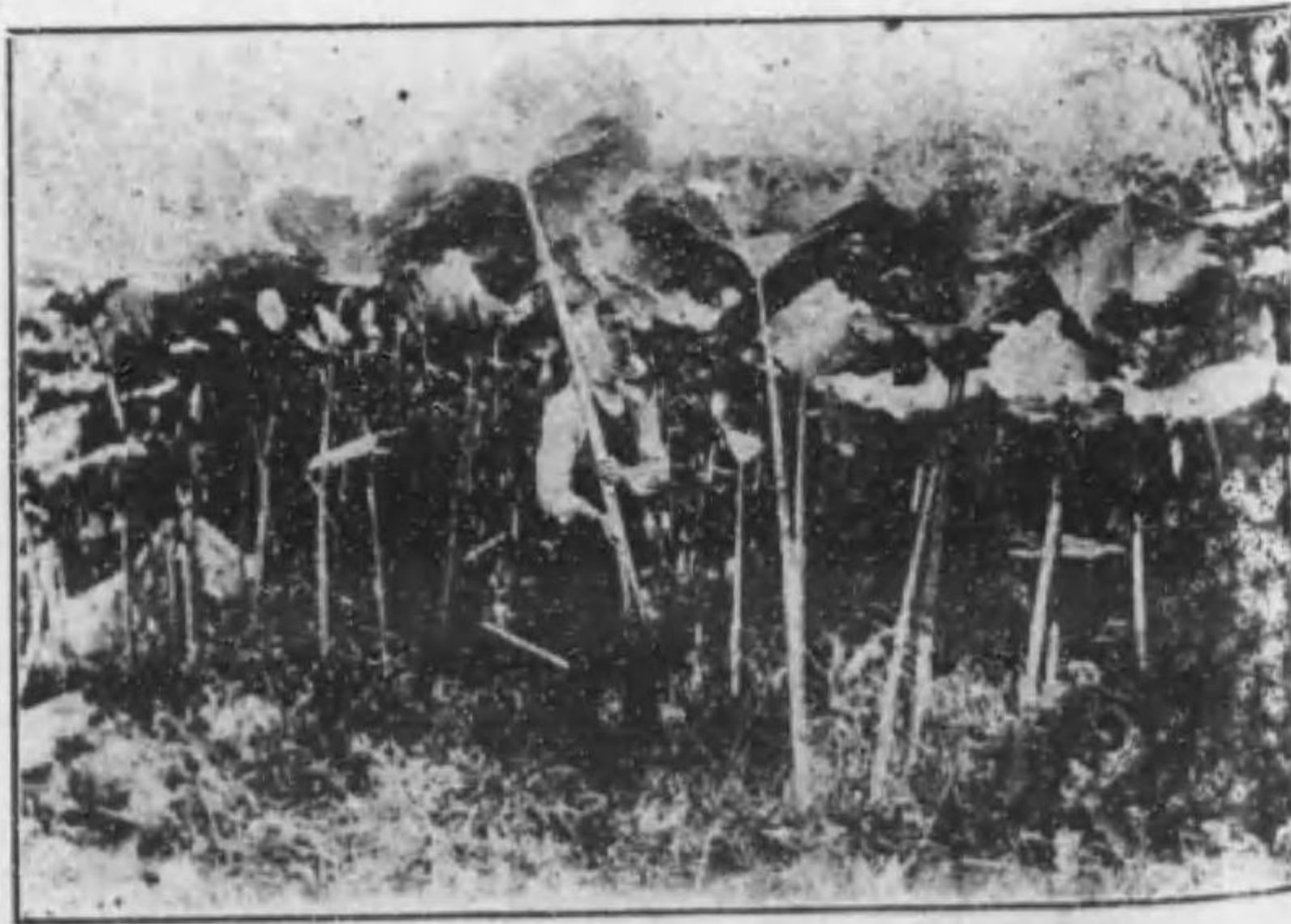
川等諸大川の流域地方で、主として麥類・豆類・馬鈴薯・蔬菜等を産出する。

牧畜 本島の氣候は牧畜に適し、好飼料の野草と清流とに富み、又牧草の栽培に適するのみでなく、本島の農業は其の經營を容易ならしめ、



蔬 菜 畑

収益を増進させるために家畜を必要とし、こゝに家畜・家禽を飼養して耕作・運搬等に使用し或は肉乳卵の生産を計り、或は排泄物を肥料として利用せねばならぬ。されば夙に之の蕃殖使用を



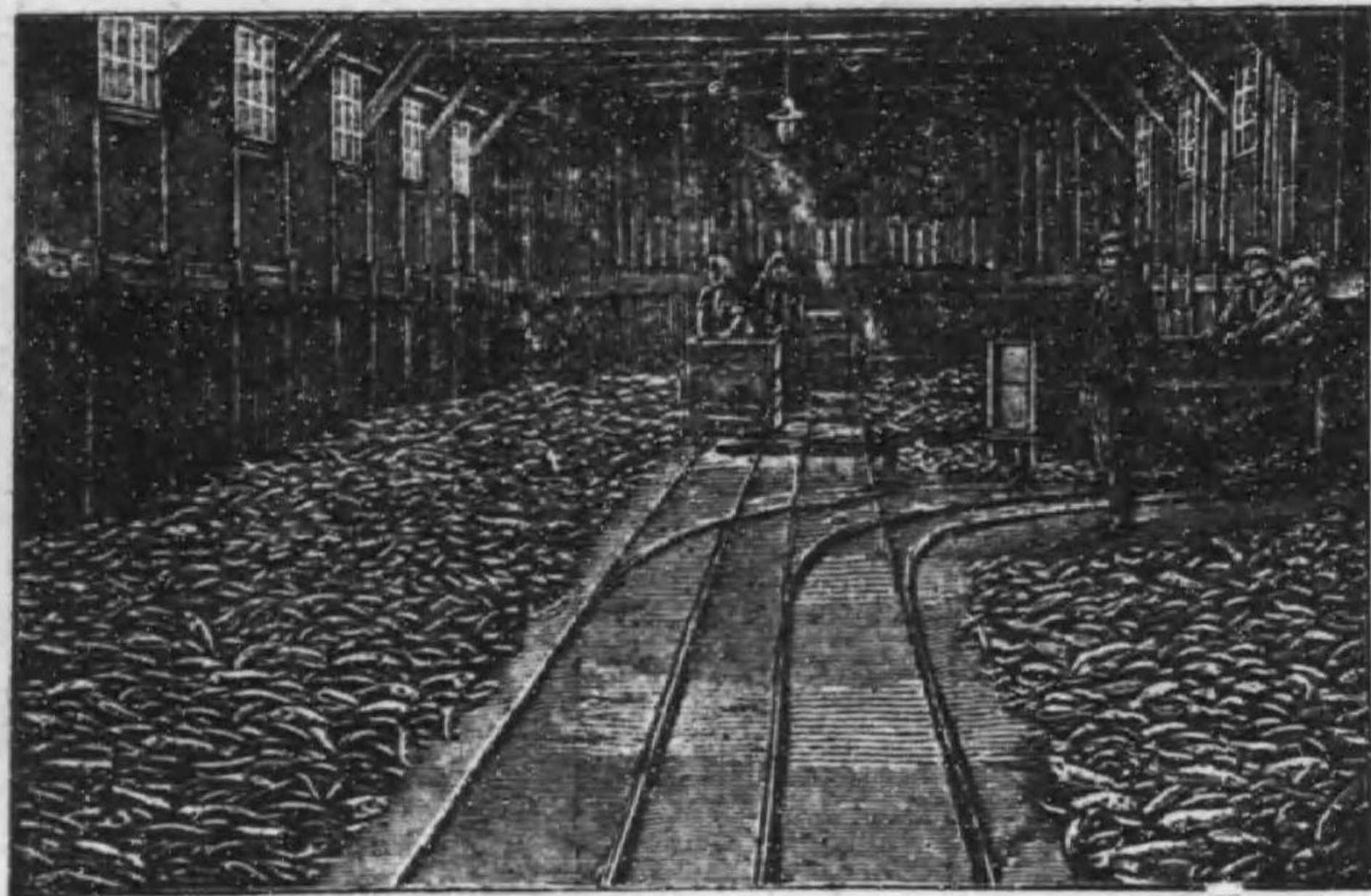
野 生 の 蔬

奨励したので、現今農家は概ね之を飼養して利用しないものはなく、専業の牧畜家も少くない。要するに此の方面の將來は囑目に値するものである。

林業 森林面積は、本島全面積の九割餘を占めてゐる程に廣大なもので、同じ蝦夷松・檜松・落葉松・白楊・白樺等でも北海道に比べて一層寒帯性に富んでゐて、多く建築用材・鐵道枕木・バルブ・燐寸軸木等の原料として廣く供給されてゐる。従つて林産物は、本島輸移出品の大部分を占めてゐる。尙森林中には貂・獺・狐などが夥しく蕃殖して、高價な毛皮を供してゐる。

鑛業 明治三十八年、始めて本島の地質鑛床の調査に着手して以來、三十九年に亘り邦領全部の地質概察を了へ、四十年からは其發見した有要鑛床及鑛産物分布の調査を開始した結果、鑛物の伏在するものが頗る多量であるとみた。就中主なものは石炭・砂金・硫化鐵の三種であるが、尙精査しない部分が多いので、今後の調査によつて、炭脈鑛脈の増大すると共に、其他各種の有用鑛物も亦發見されるであらう。炭田中、内洲川流域の炭田が産額・品質共に良好であるといはれて、その三井の經營になる豊原郡川上村の

川上炭坑の如きは己に年々多額の採掘をなしてゐる。然し現今石炭需要地の餘りに隔



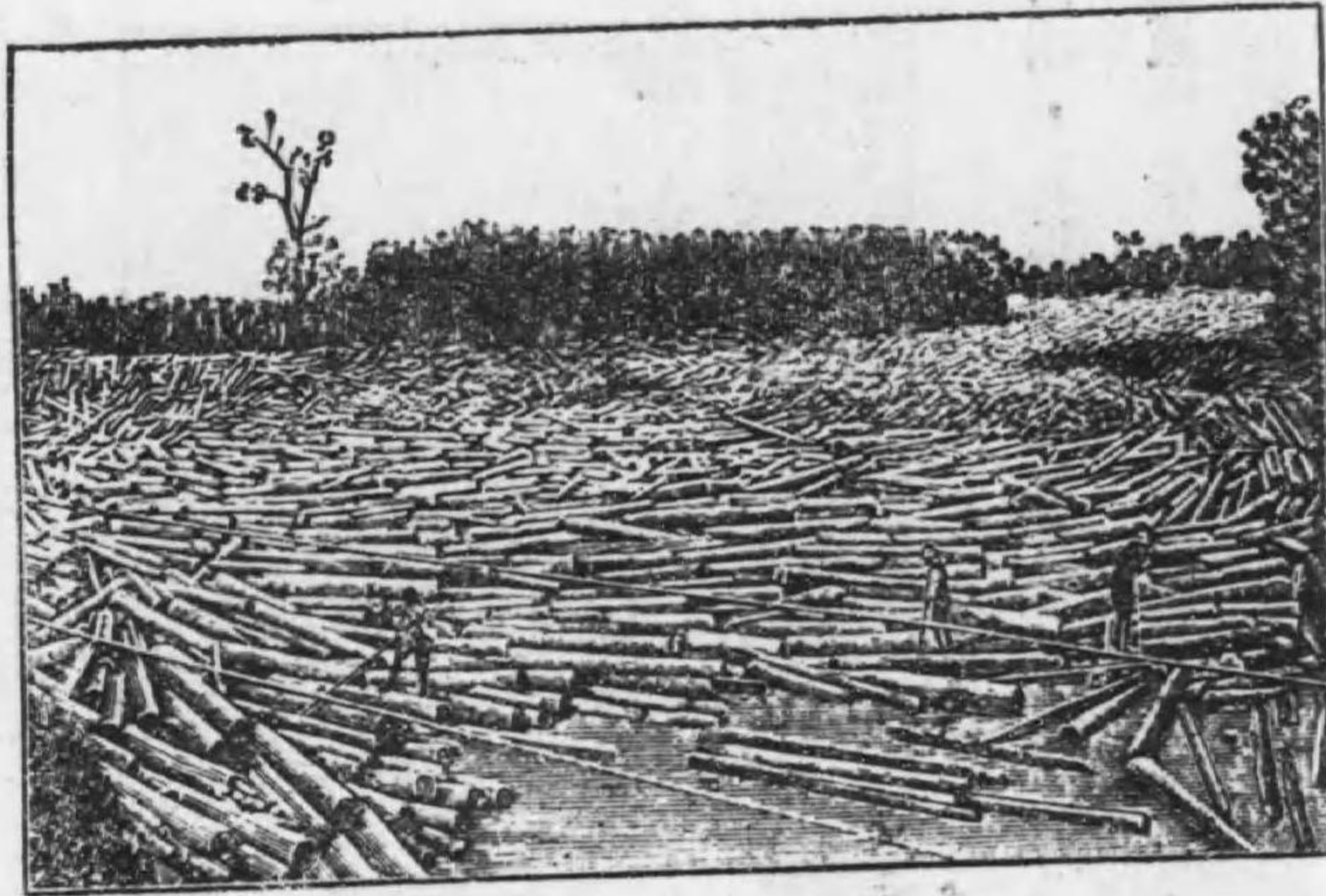
鱈の搾粕等の肥料、魚油・鱈油の魚油等が主なものである。又海獸としては、海豹島

絶せることは、この方面の發展に少なからざる支障を來たしてゐると考られる。この炭田の外に尙、樺太山脈の東斜面では中央に東日浦を中心とするもの、西斜面では北名好・伯居・南名好等が有名で、北方幌内川西部丘陵地帯も認められてゐる。

水産業 北海道と同じく、本島の主生業で、漁獲高・製造高共に多い數に達してゐる。漁獲物の主なものは鱈で、西海岸に多く、東海岸の鱈・鮭は東海岸の夏鮭・西海岸の秋鮭・西海岸の鱈・西海岸の昆布等がこれに次いでゐる。

製造物としては、鱈詰・鹽魚・乾魚等の食料、鱈・

4
てゐるのを知れりや。
本島の地形と氣候とが如何に産業の發達の上に影響してゐ

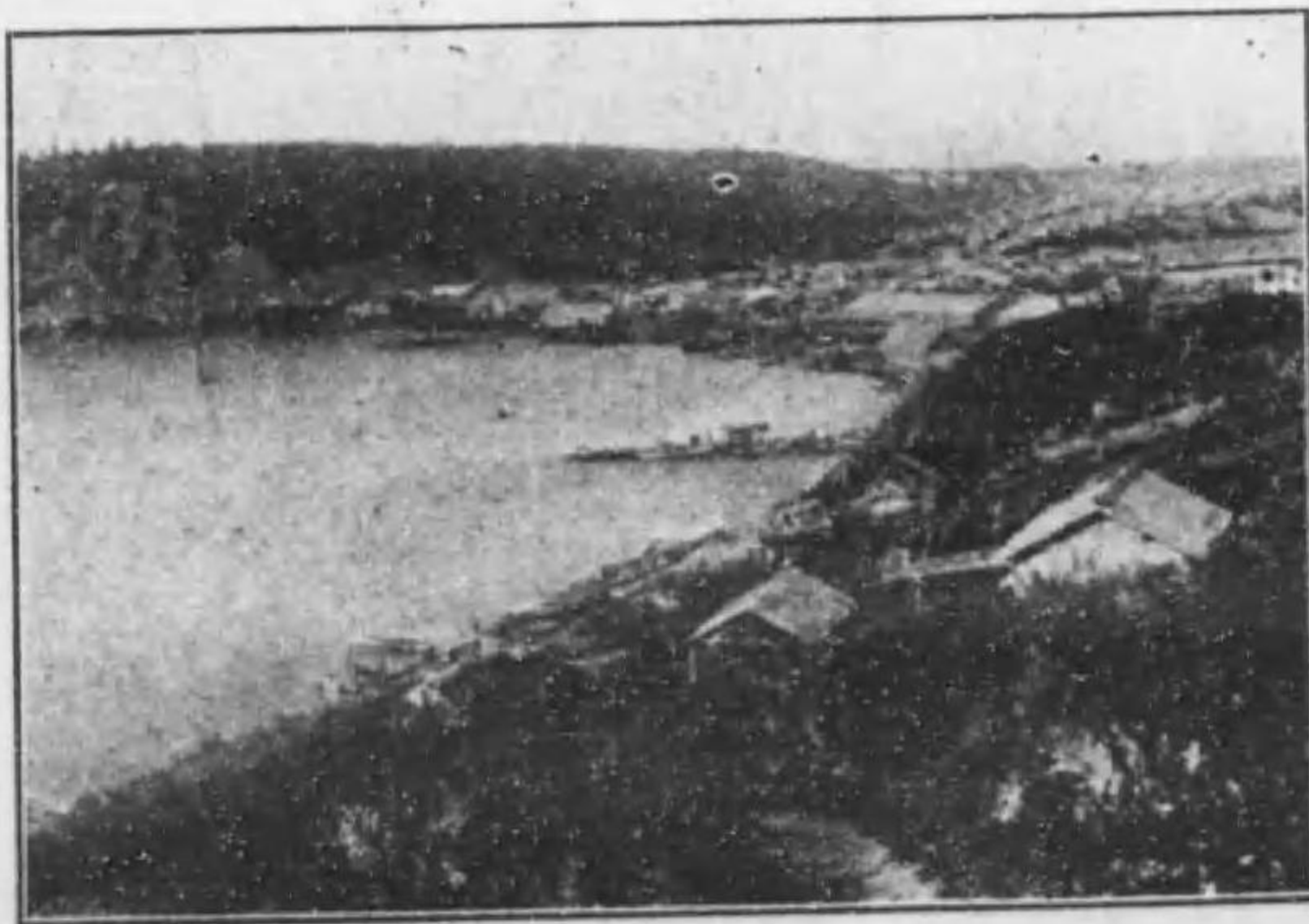


送 輸 料 原 プ ル バ

- 1 幌内平野は耕作に適當なりと思ふか。
- 2 樺太西海岸の南部地方の人口密度の大なる理由を考察せよ。
- 3 臘豚獸保護に關して日・米・英・露間に條約の締結され

【問題】

あるとみてよい。
に引受けてゐる。けれども元來が開發不充分の本島のこととして、貿易額は我國諸貿易港中最下位にあるとみてよい。



景 全 泊 大



海豹島に於ける臘豚獸及水禽の群遊

みて勿論盛大であるとはいへぬ。
商業 大泊は本島第一の開港場で、盛んに内地と取引する外に、ロシア及支那に對する貿易も、殆ど一手

の臘豚獸、海馬島の海驢が本島の特産である。
工業 概して水産物を原料とする工業即ち食料・肥料・魚油製造業と、林産物を原料とする工業即ち製材・バルブ製造、などが行はれてゐる。中にも罐詰業とバルブ製造業とは本島の主要工業と稱せられてゐる。然し工業界全般から



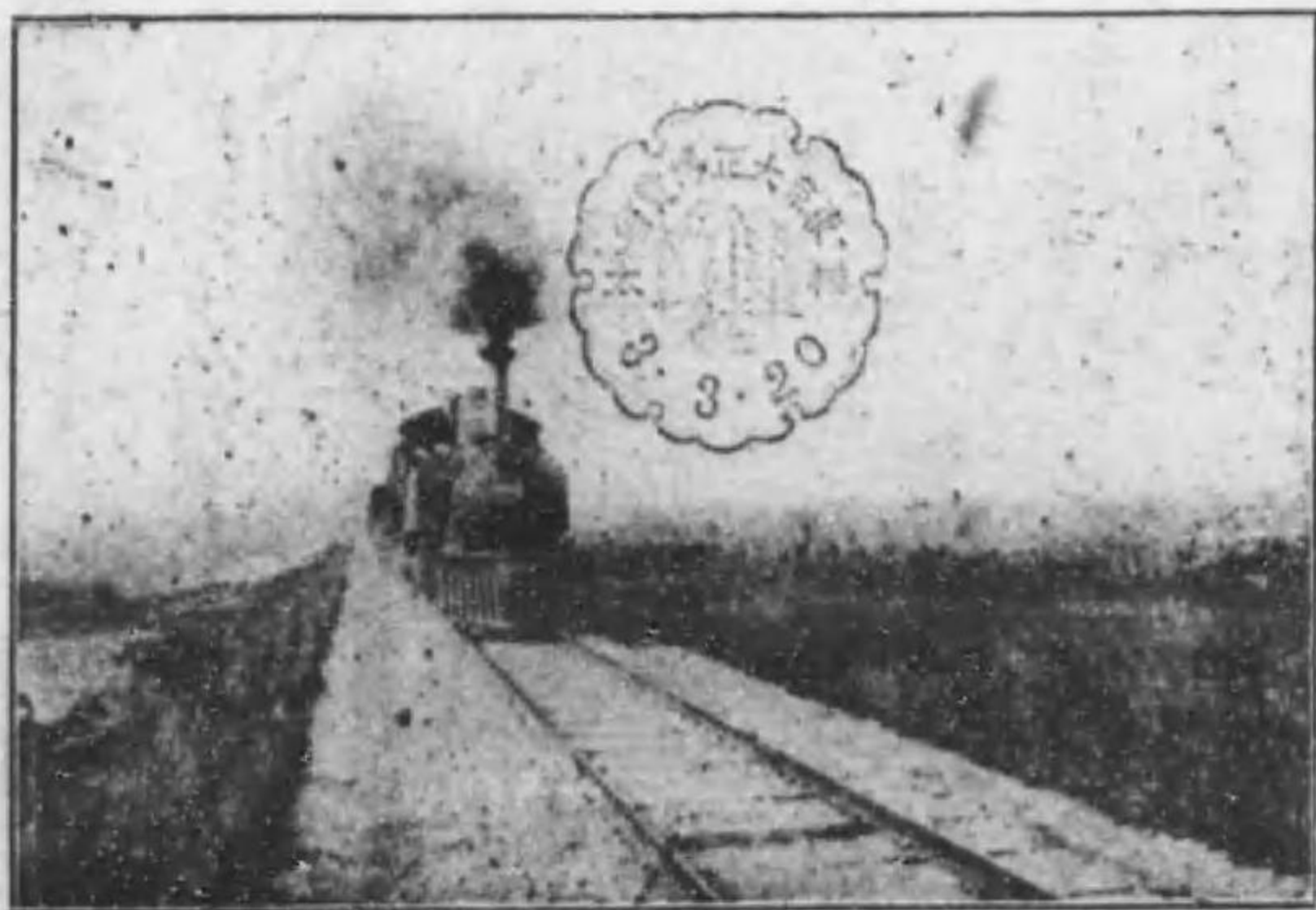
社 分 太 樺 社 會 紙 製 子 玉

せしめてゐる。即これは島内は大泊・榮濱・元泊・散江・真岡・泊居・北名好等相互間、及び、これ等諸港と



料十二百日一こる走を野の雪氷は橇犬

この外特殊な交通機関として冬季に橇の使用が盛んで、馴鹿のひく橇と夫のひく橇との二種がある。犬橇の如きは日に百二十料も走るとのことである。
航路 樺太廳は年々多額の補助金を與へ命令航路を指定して、北日本汽船・日本郵船其他の會社の船舶に往復



道 鐵 殖 拓 太 樺

5 何故に本島の鑛業界は埋藏量の多い割合に振はないか。るかを語れ。

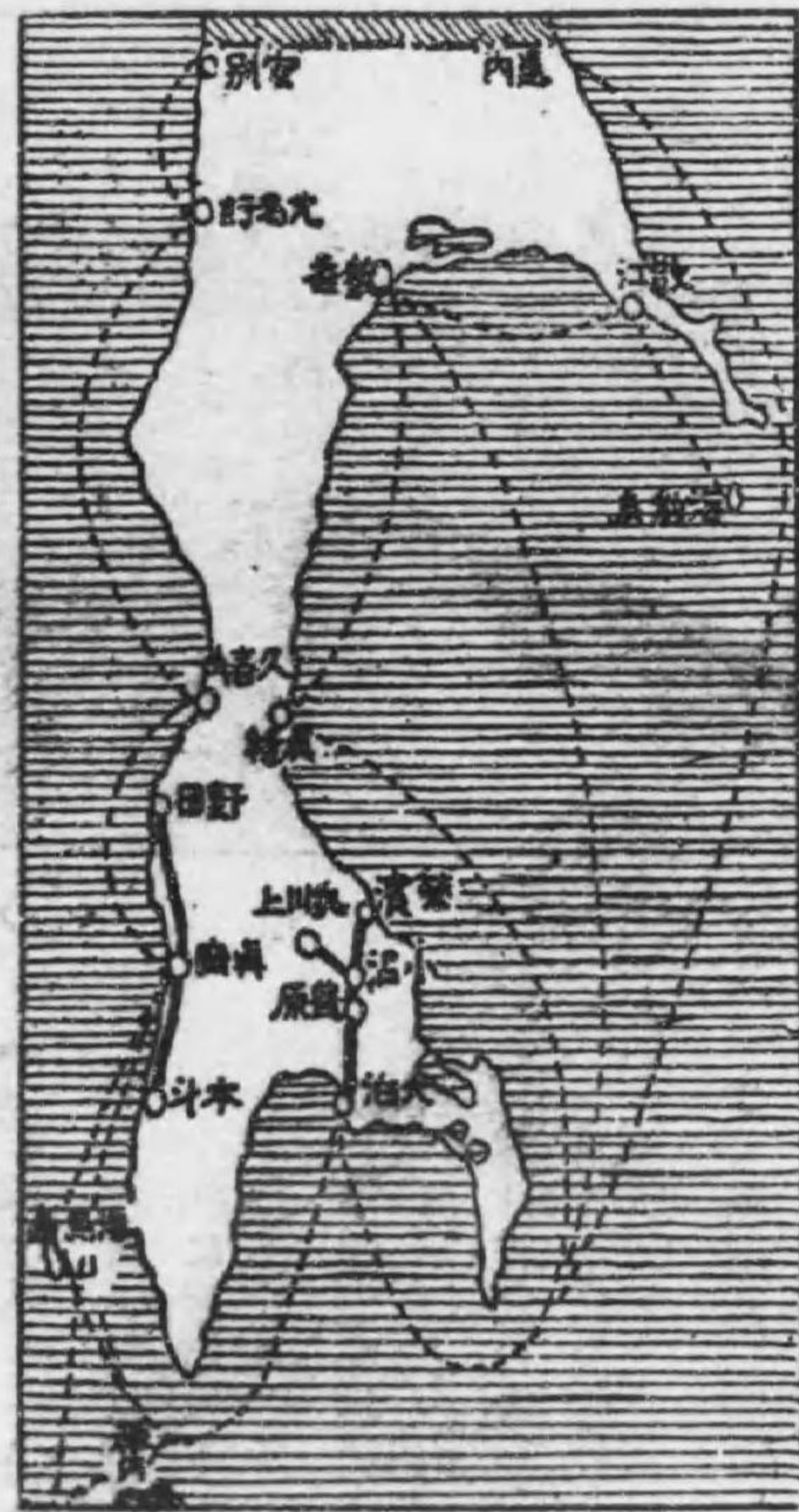


圖 通 交 太 樺

宿泊・人馬の繼立を行ふ驛遞の設けあるに至つた。
鐵道 これも我領有後の開通で、大泊・榮濱の幹線と、その支線である川上線は主要なものである。

【交通】
道路 永く放擲されてゐた道路は、本島が我が有に歸して以來着々開通するに至つて、己に大泊榮濱間・大泊真岡間・大泊富内間等主要地間には道路が新設され車馬も通じ、諸所に旅人の

伏木・小樽・稚内との間である。然るに冬季は海岸が一般に凍結して、大泊でさへも僅かに砕水船で入港する位である。従つて不凍港真岡のみが獨り活氣を呈するのである。

【問題】

- 1 本島の陸上交進につきて語れ。
- 2 命令航路とは如何なることか。又樺太地方の場合の外の例を知れりや。
- 3 本島の交通圖を描け。

三 地 方 誌

大泊 市街地は元の「コルサコフ」(今の楠溪町)と「ポロアントマリ」(今の榮町)との總稱である。亞庭灣内の錨地で、本島の門戸をなすこと丁度北海道の函館の如うなものであるから、内外の船舶が出入する。又内



陸に至る鐵道、道路の起點で、北進すれば豊原・落合を経て、榮濱に達する。尙漁業の一中心である。されど冬季氷結の甚だしいことは、著しい缺點といはねばならぬ。

ねばならぬ。

大 泊 本 町 全 景

豊原 元「ウラジ
ミロフカ」と稱し
鈴谷川上流の沃野
に位し、本島の主
邑で、樺太廳及び
樺太神社のあると
ころである。市區井然、街路廣濶、實に新開地に於ける都會の好例である。

落合 内地に位置するところから、氣候寒冷で、現



コ ロ サ コ フ 通 町